鴨川市文化財保存活用地域計画

（案）

千葉県鴨川市

令和　　年　　月

鴨川市文化財保存活用地域計画　目次

第１章　序論 1

１　計画作成の背景と目的 1
２　計画の名称 1
３　計画期間 2
４　計画の位置付け 2
５　計画の評価と進行管理 4
６　計画の対象 5

第２章　鴨川市の概要 8

１　自然的・地理的環境 8
２　社会的環境 14
３　鴨川市の歴史の概要 17

第３章　鴨川市の文化財の概要 27

１　文化財の指定等の状況 27
２　未指定文化財の概要 32

第４章　鴨川市の歴史文化の特性 42

１　歴史文化とは 42
２　鴨川市の歴史文化の５つの特性 43

第５章　鴨川市の文化財調査 47

１　既存調査の状況 47
２　分野別調査の内容 48
３　今後の調査方針 52

第６章　文化財の保存・活用に関する基本方針及び取組 54

１　将来像及び基本方針 54
２　文化財の保存・活用に関する課題 56
３　文化財の保存・活用に関する方針と取組 59

第７章　文化財の防災及び防犯 67

１　近年の被災状況 67
２　防災及び防犯に関する考え 67
３　防災及び防犯に関する方針と取組 67

第８章　推進体制 70

１　鴨川市の文化財保存活用推進体制 70
２　体制整備の課題及び方針 72

資料編目次 73

１　地域計画の作成体制と経過 74
２　文化財リスト 78
（１）指定文化財等一覧 78
①国指定文化財 78
②県指定文化財 78
③市指定文化財 79
④国登録文化財 80
⑤県登録文化財 81
（２）未指定文化財等一覧 82
①有形文化財 82
②有形の民俗文化財 84
③無形の民俗文化財 84
④記念物 90
⑤文化的景観 104
⑥【石造物】 106
⑦その他の分類 111
・地名（小字） 111
・民話 179
・事績と逸話 182
・方言 186
３　報告書・出版物リスト 195
（１）鴨川市文化財の把握調査及び報告書 195
（２）鴨川市の出版物 197
４　鴨川市文化財に関する市民アンケート 200

第１章　序論

１　計画作成の背景と目的

鴨川市は、平成 17 年に旧鴨川市と天津小湊町の合併により誕生しました。現在の鴨川市の市域は、合併により、古代から明治 30 年まで存続した長狭郡の範囲とほぼ一致しています。

本市では、都市部のような大規模開発による文化財への影響は限定的ですが、開発行為がある場合には、文化財の保存や環境調和などをしっかりと行っていく必要があります。

本市には、先人のたゆまぬ努力により残され、地域に脈々と受け継がれてきた豊かな自然や長い歴史と魅力的な文化があります。また、それらは地域の成り立ちや特性を理解するうえで欠くことのできない貴重な財産であり、市民の誇りでもあります。

清澄・嶺岡山系と長狭平野から成り立つ自然や、日蓮ゆかりの寺院、源頼朝にまつわる伝説、江戸幕府直轄の嶺岡牧、波の伊八の彫刻、黒潮の恵みがもたらす食文化など、我々の身近に多くの文化財が残されています。また、指定文化財だけではなく、地域の人々が大切だと考える資料や行事などのいわゆる未指定文化財についても、守っていく必要があります。

このような地域の歴史や文化を次世代に継承していくには、文化財関係者や行政だけでなく、市民一人ひとりの積極的な参画が必要です。そのためには、まず文化財への関心を高め、地域の歴史や文化を身近に感じられるよう、文化財を支える担い手の育成を図ることが重要です。

文化財保存活用地域計画作成の目的は、地域の文化財は所有者のみならず地域住民や関係団体など地域全体で守り後世に引き継ぎ、文化財を活かした取組により地域活性化を図ることです。地域に残された様々な文化財が対象となることから、まず、ふるさと鴨川に素晴らしい文化財が残されていることを再発見してもらう契機とします。そして、自らが住んでいる地域への関心を高め、郷土愛が深まることでシビックプライドの醸成に繋げていくことを目指します。これにより、市民皆さんの豊かな心が育ち、誰もが愛着と誇りを持てる「鴨川」のまちづくりに向けた取組が進みます。

これらの取組の主体、時期、内容を明確にし、計画的に実施していくことで、本市の文化財の魅力を発信し、更なるまちの活性化を目指します。

２　計画の名称

本計画の名称は、鴨川市文化財保存活用地域計画（以下「本計画」という。）とします。

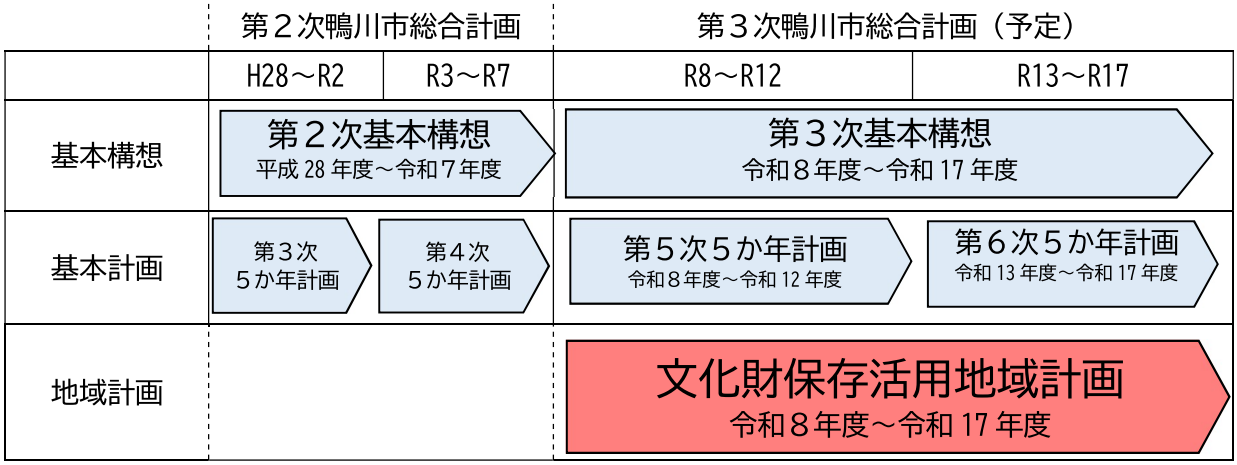
３　計画期間

本計画の期間は、令和８年度（2026）から令和 17 年度（2035）までの 10 年間とします。

また、本市の上位計画である第３次鴨川市総合計画と計画期間を一致させることで、上位計画との整合を図りながら作成を進めることとしました。総合計画の検証・見直しの時期には本計画に位置付けた取組についても同様に見直しを実施し、次期地域計画の作成に反映することとします。

本計画に変更の必要が生じた場合で、「計画期間の変更」、「市域内の文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「本計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」に該当する場合は、法第 183 条の４の規定に基づき、文化庁長官による変更の認定を受けます。軽微な変更を行った場合は、当該変更の内容について千葉県及び文化庁に情報提供することとします。

【鴨川市文化財保存活用地域計画と鴨川市総合計画の計画期間のイメージ】



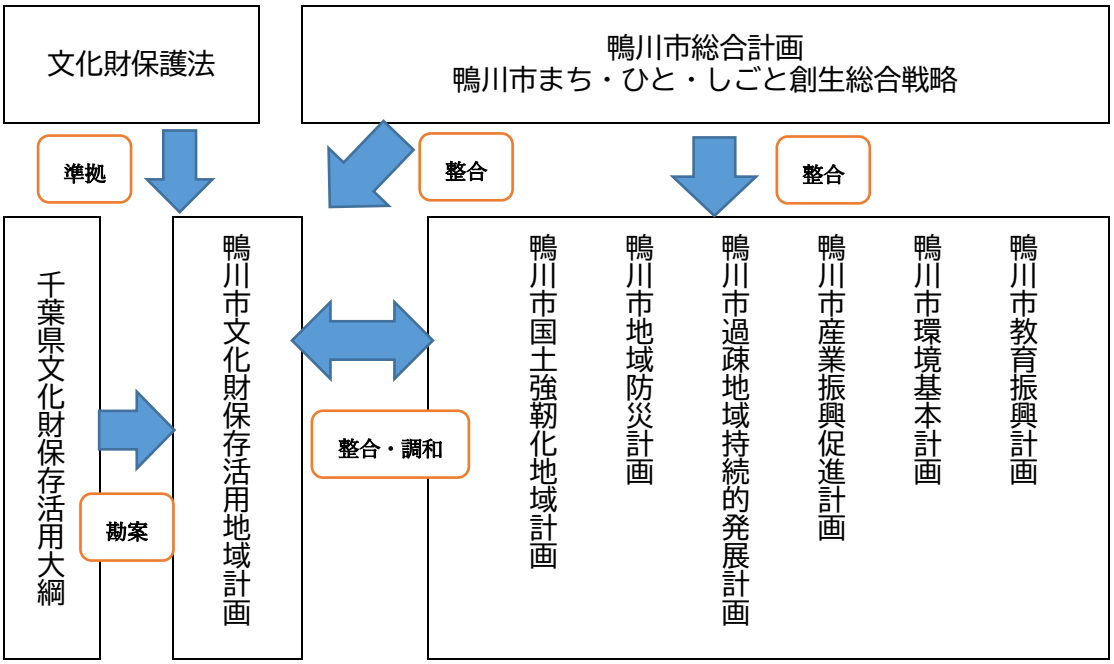
４　計画の位置付け

本計画は、文化財保護法（以下「法」という。）第 183 条の３の規定に基づき、「市町村の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画」として作成するものです。

本計画は、市が取り組む具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的なマスタープラン及びアクションプランです。

また、千葉県文化財保存活用大綱を勘案し、本市の上位計画である第３次鴨川市基本構想や鴨川市第５次５か年計画、鴨川市教育振興計画（第４期）との整合を図ることとします。

さらに、本計画に関連する個別計画として、鴨川市国土強靭化地域計画、鴨川市地域防災計画、鴨川市過疎地域持続的発展計画、鴨川市産業振興促進計画、鴨川市環境基本計画などがあり、これらの各種計画と整合性を保ち、連携・調整を図ります。



上位計画と地域計画との関係

（１）鴨川市総合計画（鴨川市基本構想・基本計画）

第２次鴨川市基本構想「将来都市像」

活力あふれる健やか交流のまち鴨川
～みんなが集い　守り育む　安らぎのふるさと～

平成 28 年度から 10 年間を期間とする第２次鴨川市基本構想では、将来都市像を「活力あふれる健やか交流のまち鴨川　～みんなが集い　守り育む　安らぎのふるさと～」と定めています。

また、第２次鴨川市基本構想の後半５年間に当たる鴨川市第４次５か年計画では、文化財に関する基本方針として、貴重な文化財の保護・保全に取り組むとともに、潜在的な文化資源の掘り起こしと、これら資源の有効活用を図ることで、地域活性化に向けた取組を推進するとしています。

（２）鴨川市教育振興計画（第３期　令和３年度～令和７年度）

教育振興の基本方針

ともに学び未来を育む教育文化のまち
～一人ひとり、みんなが輝く鴨川教育～

令和３年度から５年間を計画期間とする鴨川市教育振興計画（第３期）では、教育振興の基本方針に「ともに学び未来を育む教育文化のまち　～一人ひとり、みんなが輝く鴨川教育～」を掲げています。

（３）その他の個別計画

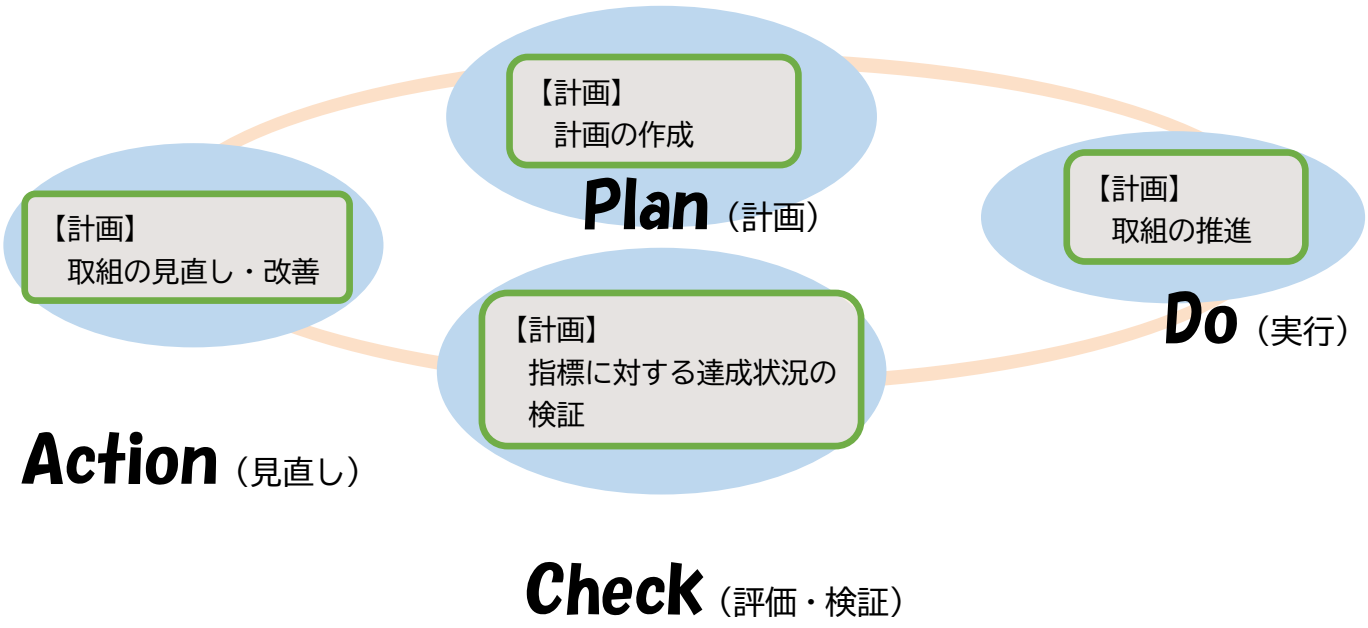
計画の名称	概要
鴨川市国土強靭化地域計画	強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法に基づき、事前防災・減災と迅速な復旧復興に係る施策を総合的かつ計画的に実するために定めたものです。 計画では、災害時においても市内に所在する文化財の適正な保護を図る観点から、所有者・管理者に対する活動支援や助成等に努めます。
鴨川市地域防災計画	災害対策基本法に基づき、本市で発生する災害に関し、予防、応急・復旧対策を実施するに当たり、市民の生命、身体及び財産を守るため、実施すべき事務を定めています。
鴨川市過疎地域持続的発展計画	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、過疎地域の持続的発展に向けた取組を定めたものです。対象区域は、平成 17 年２月 11 日に合併した新鴨川市のうち、旧天津小湊町の区域です。 計画では、文化財保護事業として、清澄の大スギの保存整備に対する支援事業を位置付けています。
鴨川市産業振興促進計画	半島振興法に基づき、本市の産業振興に関する基本方針に則り、自立的発展の促進、地域経済の好循環を図るため策定したものです。
鴨川市環境基本計画	鴨川市環境条例の規定により、市域の環境課題や地球環境の課題に対処するとともに、地域環境の保全と活用を通じてまちづくりに寄与し、良好な環境を将来世代に引き継ぐことを目的とします。

５　計画の評価と進行管理

本計画に位置付けた取組については、行政事業レビューの仕組み等を活用し、ＰＤＣＡサイクルを循環させ、進行管理を行います。

計画に位置付け実施する取組に対して、計画期間の最終年度における評価指標を検証し、次期計画を作成する際に取組の見直し、改善を図ります。

■計画の評価と進行管理のイメージ



６　計画の対象

（１）文化財の保護制度

昭和 25 年に制定された文化財保護法（以下「法」という。）は、その目的を「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」と定めています。（法第１条）

また、政府及び地方公共団体の役割として、「文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもってこの法律の趣旨の徹底に努めなければならない」としています。（法第３条）

このため、国民や文化財所有者の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの法律の目的を達成するために行う措置に誠実に協力すること」、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、できるだけこれを公開する等その文化的活用に努めなければならない」としています。（法第４条）

法では、文化財を有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観及び伝統的建造物群の６類型に定義し、指定、選定、登録及び選択の制度を設けて保護を図っています。これらの指定等の措置が図られている文化財を「指定等文化財」と呼びます。

これらの文化財のうち、重要なものを重要文化財や史跡、名勝、天然記念物などに国が指定します。また、重要文化財のうち特に価値の高いものを国宝に、史跡、名勝、天然記念物のうち特に重要なものを特別史跡、特別名勝、特別天然記念物に指定しています。

そのほかに、埋蔵文化財及び文化財の保存技術についても文化財保護の体系に組み入れています。

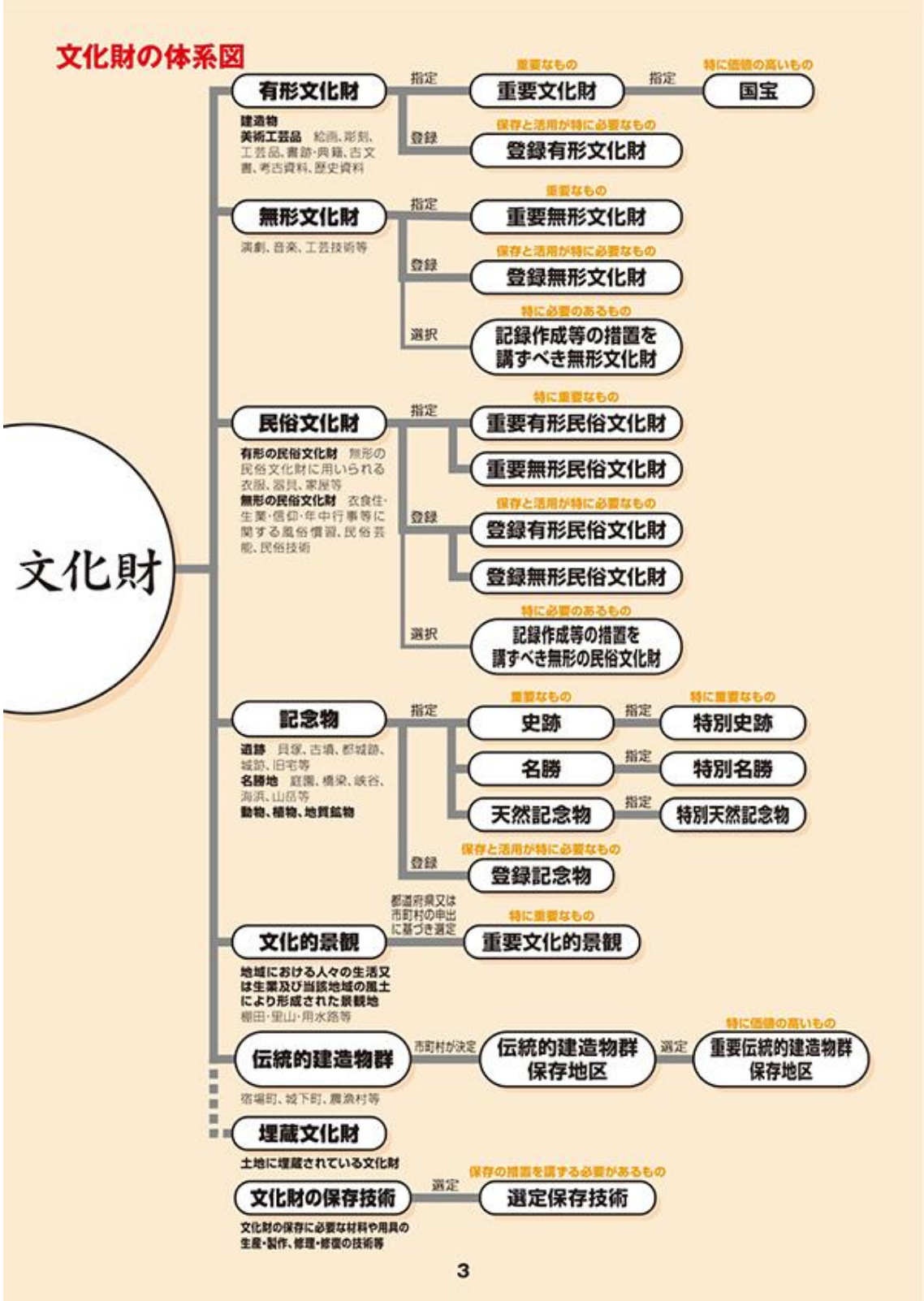


図１　文化財保護制度の体系図（文化庁パンフレットから）

（２）千葉県及び鴨川市の文化財の保護制度

本市における文化財は、法、千葉県文化財保護条例及び鴨川市文化財の保護に関する条例に基づき保護が図られ、県にとって重要なものを県指定文化財に、市にとって重要なものを市指定文化財に指定し、必要な措置を講じています。

埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を行う場合、工事主体者は法に基づき千葉県教育委員会に届出又は通知の義務があります。それに対し、千葉県教育委員会は埋蔵文化財の記録の作成のための発掘調査の実施やその他必要な事項を指示できると定められています。市教育委員会は、埋蔵文化財包蔵地の位置や範囲について周知に努めています。

（３）計画の対象（鴨川市民遺産の定義）

本計画において対象とする文化財は、文化財保護法に定義される有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の６つの類型と、埋蔵文化財、文化財の保存技術とします。また、法、千葉県文化財保護条例及び鴨川市文化財の保護に関する条例の規定によって指定されていない、未指定文化財も数多く存在します。

さらには、地名や民話、方言などは、地域の暮らしと密接な関わりを持ち、その生活の一端を現代に伝えるものです。これらは、本市の歴史文化を理解するうえで欠かすことのできない遺産とし、文化財保護法に定義される文化財と併せ、「鴨川市民遺産」と位置づけます。

鴨川市民遺産

鴨川市の歴史文化を理解するうえで欠かすことのできない遺産

文化財保護法に定義される文化財

・有形文化財　・無形文化財
・民俗文化財　・記念物
・文化的景観　・伝統的建造物群
・埋蔵文化財
・文化財の保存技術

＋

類型に当てはまらない遺産

・地名
・民話
・事績・逸話
・方言　など

第２章　鴨川市の概要

１　自然的・地理的環境

本市は、房総半島の南東部、太平洋側に位置し、東から勝浦市、大多喜町、君津市、富津市、鋸南町、南房総市に接しています。また、南は太平洋に面する全長約 24 ㎞の海岸線を有し、面積は 191.14 ㎢、千葉県全体（5,157.60 ㎢）の 3.7%を占めます。黒潮の影響を受けて気候は温暖で、海岸に面する地区は冬でも降雪・降霜がほとんどありません。

図２　位置図

（１）地形と地質

本市の地形は、清澄・嶺岡の二つの山系と、両山系に挟まれた長狭平野、曽呂・江見丘陵と海岸段丘、太平洋に面した江見から太海・鴨川・天津・小湊に至るまでの長い海岸線で構成されます。主要河川である加茂川は、東流して太平洋に注ぎますが、流域は狭く、市域には規模の小さい河川が蛇行し、勾配も比較的急峻になります。太海、天津、小湊地区では、山々が海岸線まで迫っています。嶺岡山系は標高 100～400mほどの山地で、南房総市域にある愛宕山山頂（標高 408m）は千葉県最高峰です。

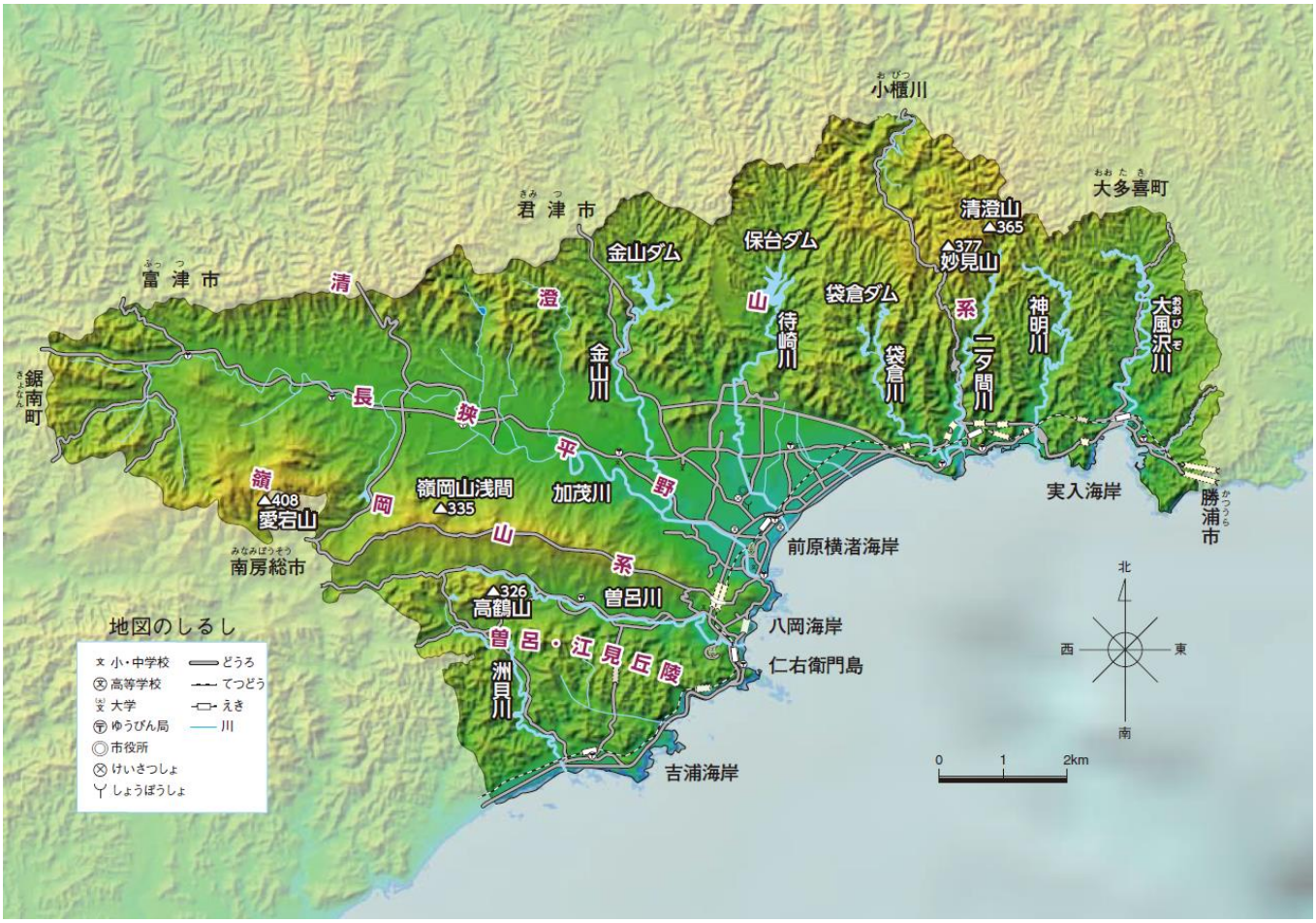


図３　地形図（国土地理院から作成）

地質は、第三紀、第四紀の堆積岩や変成岩が分布します。南部の山地は、嶺岡層群、保田層群、安房層群からなり、嶺岡山系を中心に玄武岩や蛇紋岩が、また、海岸部では変成岩も見られます。北部の山地は、三浦層群と上総層群からなります。

山系は嶺岡層群の新生代古第三紀（6,500 万年前～3,540 万年前）の泥質頁岩、砂岩及び凝灰岩などの互層から構成されています。また、蛇紋岩や玄武岩、閃緑岩などといった火成

岩が嶺岡層群に貫入しており、複雑な地層となっています。この嶺岡山系の蛇紋岩は、加工しやすい性質から、古くは縄文時代の装飾品に使われ、中世には石造物の石材として利用されてきました。

八岡海岸付近では、枕状溶岩や蛇紋岩、変成岩などの火成岩が、二タ間川の上流にある東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林では逆断層などが比較的容易に確認できることから、地質調査のフィールドとして利用されています。

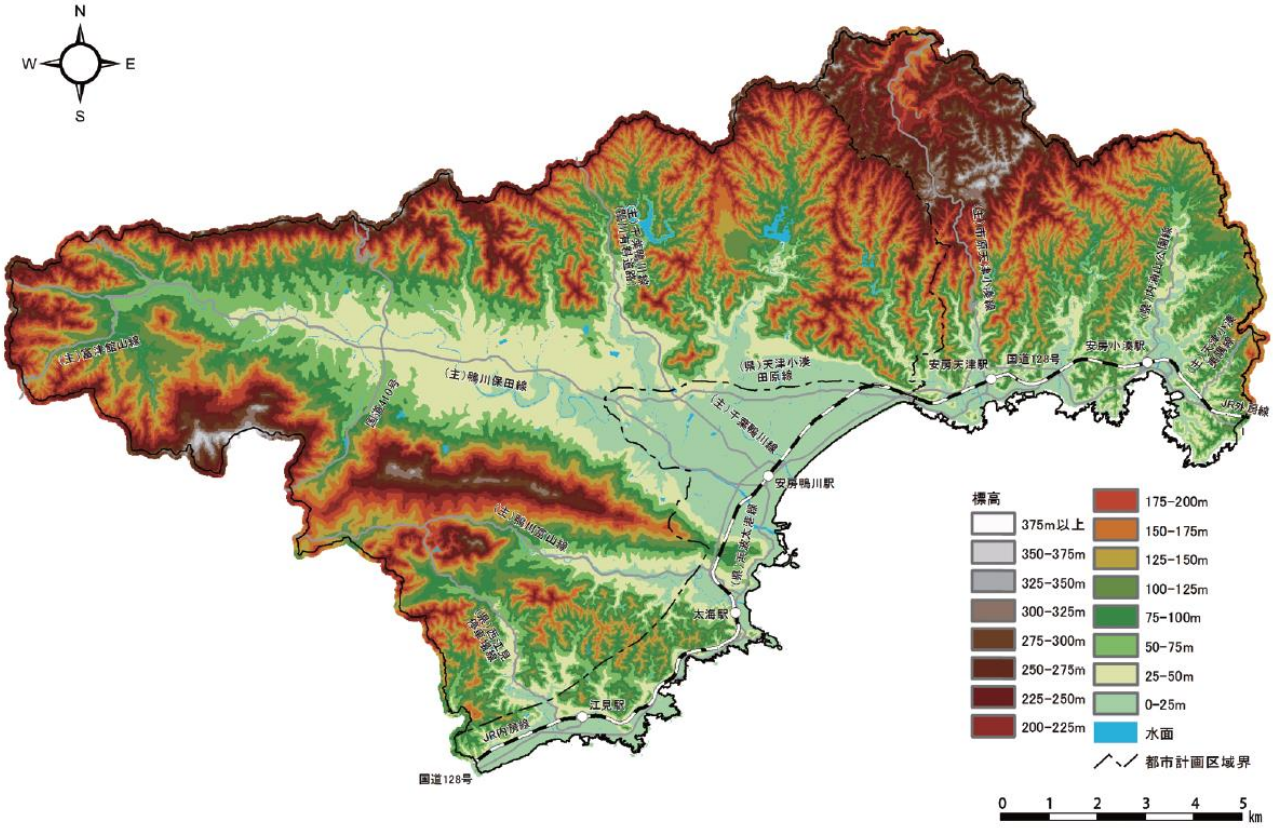


図４　標高図（国土数値情報から作成）

（２）地域の名称

①長狭地域

現在の鴨川市は、古代の長狭郡のすべてが含まれ、江見地区と太海地区江見吉浦・江見太夫崎が朝夷郡に、天津地区四方木は上総国望陀郡に属していました。歴史的には当地を長狭地域と表現してきたことから、本書では現在の鴨川市の範囲を長狭地域と呼称することとします。

②旧 12 町村

明治 22 年の町村制の施行後、町村の合併がすすめられ、江見村（昭和３年町制施行）、太海村、曽呂村、鴨川町、東条村、西条村、田原村、大山村、吉尾村、主基村、天津町、湊村（昭和３年小湊町）の２町 10 村となりました。この 12 地区は地域の名称として現在まで

引き継がれており、地域を表す呼称として広く使用されていることから、本書では江見地区や鴨川地区のように使用することとします。

また場所を示す際は、江見地区東江見や鴨川地区横渚のように、地域の名称と大字を組み合わせて使用することとします。

図５　地域の名称

（３）気候

本市の気候は、東南部が太平洋に面しているため黒潮の影響を強く受けており温暖です。年間を通じて気温差は小さく、真冬でも菜の花が咲く気候特性を有しています。

年度	気温（℃）							降水量（mm）		
	平均	日最高平均	日最低平均	最高	起日	最低	起日	合計	日最大	起日
令和元年	16.6	20.9	12.9	35.5	9/10	-1.7	1/28	2,255.0	246.5	10/25
令和２年	16.9	21.3	13.1	36.9	8/12	-1.7	12/18	1,768.5	112.0	7/18
令和３年	16.8	22.1	12.8	33.4	7/10	-3.5	12/27	2,291.0	148.5	8/8
令和４年	16.5	21.2	12.5	36.3	7/31	-3.7	2/6	1,725.0	76.5	5/13
令和５年	17.6	22.3	13.5	37.0	8/4	-3.8	1/26	1,697.5	352.5	9/8

表１　年度別の気象状況　（銚子地方気象台）

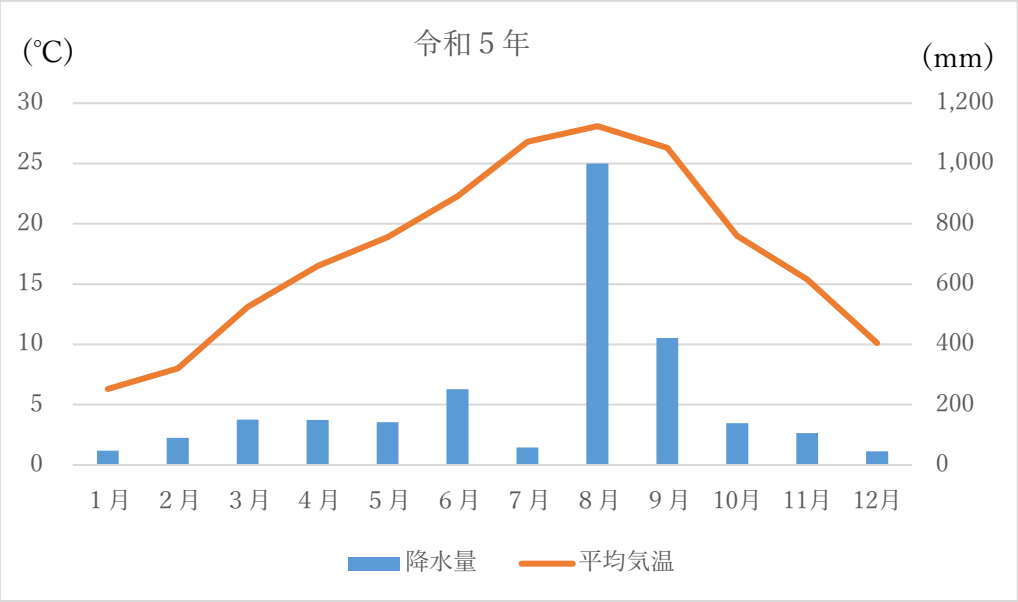


表２　月別平均気温及び総降水量（令和５年）（銚子地方気象台）

（４）動物

市内で見かける動物は、野鳥、海岸や陸の動物に分けられます。野鳥の生息環境として、加茂川などの岸辺は絶好な餌場であり、季節ごとに様々な野鳥の姿を見ることができます。さらに詳細を記すとスズメ、ツバメ、ヒヨドリなど市街地の鳥、トビ、メジロ、ムクドリなどの平地の鳥、カモメ、ユリカモメ、アマツバメなどの海岸の鳥、カケス、オオルリ、フクロウ、カイツブリなどの山林・水辺の鳥がいます。

海中や、海岸や水辺にはイソギンチャク、ヒライソガニ、ウミガメ、ムラサキウニ、ナマコ、クモヒトデ、ウナギなどが見られます。陸ではトカゲやヘビ、ヤモリなどの爬虫類、イモリやカエルなどの両生類、ネズミやイタチ、ウサギ、シカなどの哺乳類、魚類、昆虫類が生息しています。

特定外来生物に指定されているアカゲザル、キョンやアライグマ、農業被害から有害鳥獣とされるニホンジカ、ニホンザル、イノシシなどが生息数を増やしています。

（５）植物

黒潮の影響から、山間部を除き真冬でも降霜・降雪がほとんどなく、年間を通じて温度差は少ない温暖な気候から、九州・四国、伊豆半島や紀伊半島南部などに共通する暖地の植物が多くみられ、房総半島南部を分布の北限とする植物が数多く生育しています。カギカズラ、バクチノキ、ホルトノキ、サカキカズラ、ヤマモモなどが見られます。一方で、分布の南限とするヒメコマツ、クロモジ、フサザクラ、イヌシダも確認され、豊かで多様性に富みます。

自然植生は、スダジイやタブノキを主体とした暖温帯常緑広葉樹林です。人工林としてスギ、ヒノキが植林され、薪炭材として利用するためマテバシイが沿岸部にみられます。

海岸線には、海岸性の植物群落がみられ、砂丘植物のオニシバ、ハマボウフウ、ハマヒルガオがあります。

藻植物は、ヒジキ、ワカメ、カジメ、ホンダワラ、ハバノリ（カヤモノリ）があります。

海岸性の植物群落

近年は帰化植物の侵入が急激に進み、空き地や道端の植物に大きな変化がみられるようになりました。帰化植物の種類は 100 種を超えており、セイタカアワダチソウ、ハルジオン、セイヨウタンポポがその代表例です。

清澄山系の一角を占める東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林は、明治 27 年(1894)に創設された国内最初の大学演習林で、針葉樹天然林、広葉樹天然林、人工林からなる約 2,200ha の山林です。創設以来、120 年以上にわたり教育・研究のフィールドとして、大学機関による管理・運営が行われ、1,000 種以上の自生植物種（木本類・草本類）が生育しており、県内屈指の豊かな森林環境を維持しています。また、研究者が多数来訪し、採集と研究の結果、新しい植物の名前が付けられ、命名発表された植物があります。

希少な植物

・天津のまるばちしゃの木（県指定天然記念物）国内自生地の北限

・鴨川のバクチノキ群生地（県指定天然記念物）国内群生地の北限

・クマノギクの群生地　太平洋沿岸の群生地の北限

・キンギンナスビ　国内自生地の北限

・希少種　アサダ、イチイガシ、モコック、オオウラジロノキ、バリバリノキ、シナノキ、ヤマナラシ、フジキ

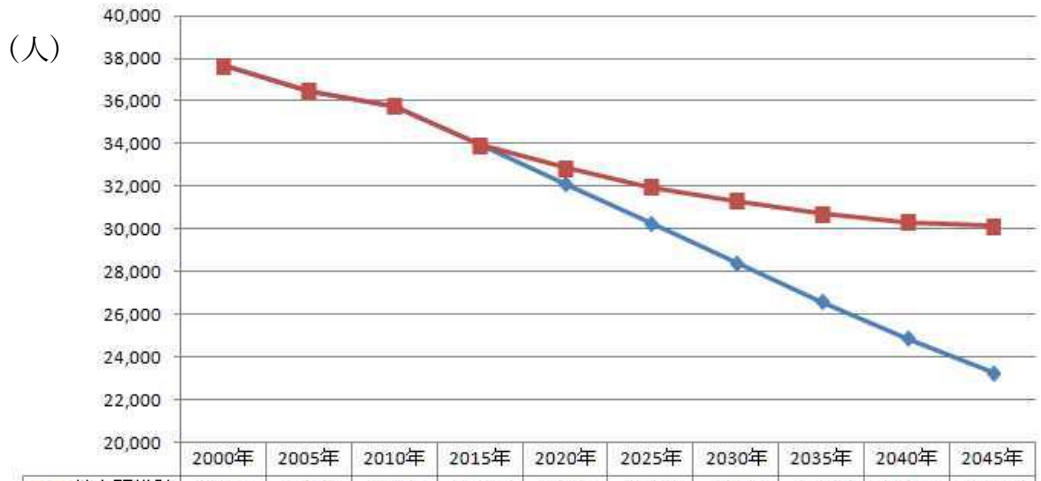
２　社会的環境

（１）人口推移

本市の人口は、令和７年（2025）８月現在の常住人口が〇〇,〇〇〇人です。令和２年の国勢調査では 32,116 人でした。人口は昭和 25 年の 48,571 人をピークに一貫して減少しており、急速に進む人口減少と少子高齢化の影響により地域コミュニティの担い手が不足するなど、自治体の運営が困難になることが想定されています。

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、令和 27 年（2045）には約 23,000 人に減少すると見込まれています。

本市の人口ビジョン（令和３年３月改訂）では、総合戦略の推進に伴う施策誘導として、移住・定住などの促進と合計特殊出生率の上昇に取り組むことで、令和 27（2045）年の将来人口 30,000 人の維持を展望します。



	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
社人研推計	37,653	36,475	35,766	33,932	32,126	30,270	28,431	26,618	24,886	23,257
施策誘導計	37,653	36,475	35,763	33,932	32,852	31,968	31,336	30,745	30,332	30,170

表３　鴨川市人口ビジョン（令和３年３月改訂）

（２）交通機関

本市の主要な幹線道路は、海岸線に沿って国道 128 号が東西に横断し、市西部を国道 410 号が南北に縦断します。また、本市と周辺市町を結ぶ幹線道路として、主要地方道が千葉鴨川線など６路線、一般県道４路線が整備されています。

鉄道は、JR 外房線と JR 内房線が海岸線に沿って国道 128 号とほぼ並行して運行され、５つの鉄道駅を有します。

路線バスは、市内の移動手段として市内線と長狭線が運行されるほか、東京都及び千葉市方面へのアクセス手段として高速バスが運行されています。また、周辺市町との地域間移動を担う交通機関として、安房鴨川駅を起点に木更津市、君津市、館山市、南房総市、

富津市及び鋸南町に接続しています。　また、市内の移動を担う路線バスを補完するコミュニティバスの運行や乗合タクシー（チョイソコかもがわ）が本格運行を行っています。

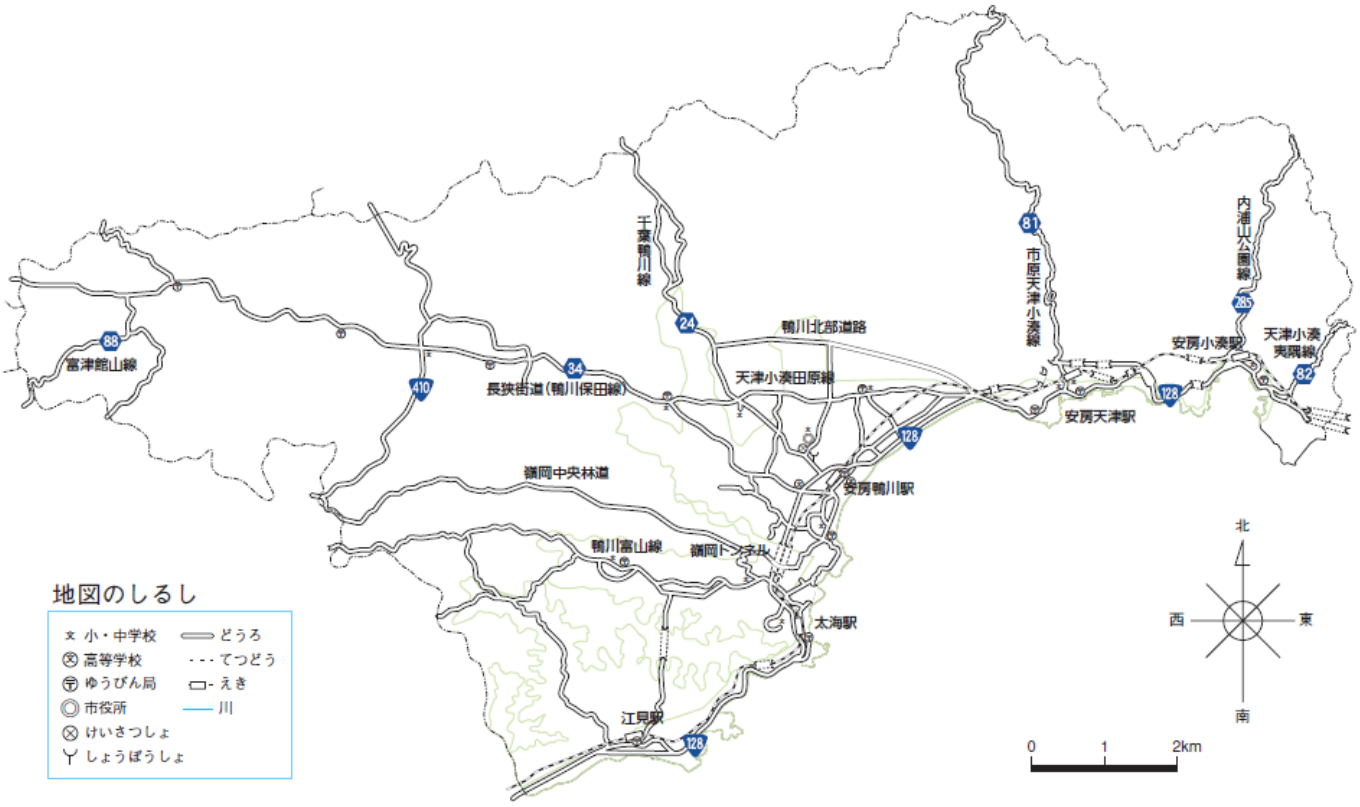


図６　交通図

（３）文化財関連施設

鴨川地区に、鴨川市郷土資料館と鴨川市文化財センターがあります。郷土資料館は昭和57年に、文化財センターは平成13年に開館しました。両施設は、隣接し連絡通路で結ばれ一体的に管理・運用しています。両施設は、いずれも鉄筋コンクリート造２階建て、郷土資料館の延床面積は671.4㎡、うち展示室が409.2㎡、文化財センターの延床面積は872.1㎡、うち展示室が156㎡、収蔵庫が327.5㎡、学習室が121.5㎡です。

郷土資料館は民俗資料、歴史資料や彫刻などを展示し、文化財センターでは埋蔵文化財や指定文化財などを展示しています。そのほか、教育普及事業として、歴史講座の開催や資料館の職員が公民館・学校などへ出向く出前講座を行い、本市の歴史・自然・文化を紹介することで地域資源の持つ魅力の周知や活用に努めています。

鴨川市郷土資料館・鴨川市文化財センター

（４）産業

本市の基幹産業である観光業では、少子高齢化や人口減少に伴い減少している国内旅行への対応、アフターコロナに向けたインバウンドの誘致拡大、新たな観光づくりなど、多様化する課題に的確に対応するとともに、ICT の進化に応じた情報発信を行っています。

また、魅力的な観光地として、観光客が求める歴史文化に関連する情報を発信したり、寺社、天然記念物、名勝などをめぐる地図を作成したりするなど、観光誘客に努めています。

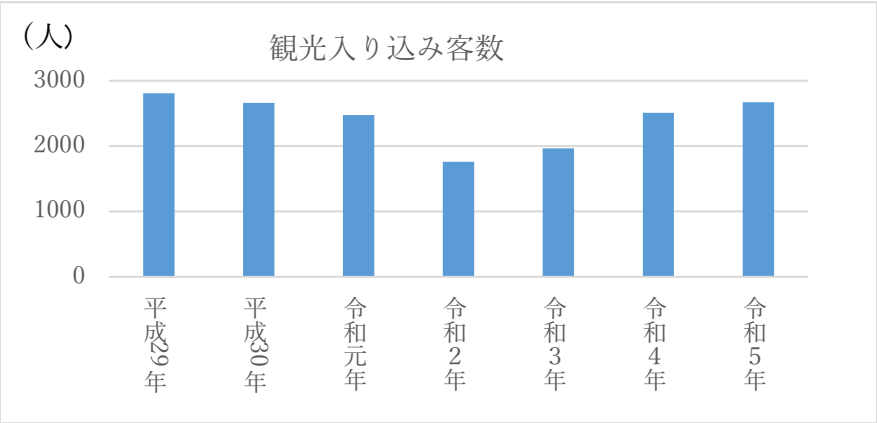


表４　鴨川市観光入り込み客数（平成 29 年～令和４年）

３　鴨川市の歴史の概要

（１）旧石器時代

旧石器時代の人々は、移動を伴う狩猟、採集によって生活を維持していました。本市の周辺地域でも食料となるオオツノジカやナウマンゾウなどの大型獣を追って移動生活を送っていたと考えられますが、現在のところその痕跡は見つかっていません。

安房地域における旧石器時代の遺跡は、南房総市の大房岬（たいぶさみさき）遺跡が知られており、ローム層中から黒曜石や嶺岡産の珪質頁岩（けいしつけつがん）などの剥片（はくへん）石器が出土しています。同遺跡が安房地域における旧石器時代唯一の遺跡です。

（２）縄文時代

縄文人は、日当たりのよい丘陵などに住居を設け、狩猟、採集、漁労といった自然の恵みに頼った生活をしていました。また、土器を使って煮炊きをするようになり、豊富な食料を手に入れられるようになったことで、移動の多い生活から集落をつくって定住するようになります。

本市の縄文時代の遺跡は、海抜 20～30mの丘陵裾部に多く位置しています。地形や貝塚などの遺跡から当時の海岸線を推測すると、縄文時代は現在より海水面が高かったことが分かります。太海地区の香指（かざし）神社遺跡は、段丘上に所在する海蝕洞穴遺跡で、洞穴を住居として用いていました。

遺跡からは黒曜石のやじりが見つかりました。市域を含め房総半島から黒曜石は産出しません。当地の縄文人は、箱根や神津島、信州との交易により黒曜石を手に入れ利用していました。

黒曜石のやじり（石鏃・根方上ノ芝条里跡）

（３）弥生時代

稲作文化の到来とともに弥生時代の幕が開けました。人々は水田を耕作して稲を育て、効率的に食料である米を手に入れられるようになりました。弥生時代には、水田風景が広がっていました。

東条地区の遺跡で、中期から後期の規模の大きい集落跡が確認されました。この集落は、

待崎川の河岸段丘上に所在し、竪穴住居跡のほか水田の跡が確認されました。遺物は土器のほかに稲作関連の道具である稲の穂を摘む穂摘具や石斧が出土しています。

市域は東京湾沿岸の文化圏に属しており、東海地方や三浦半島との交流により新たな文化がもたらされました。また、稲作文化の伝播により生活が安定し、本市においても集落の大型化が進みました。

弥生時代の集落跡（東条地区和泉）

穂摘具（中原条里跡）

（４）古墳時代

上総や下総は古墳の多い地域といえますが、安房は古墳の数は少ない地域です。その代わりとして当地域には横穴が数多く見られます。しかし、本市には古墳や横穴も数えるほどしかありません。このことから、巨大古墳や群集墳を形成するほどの有力な豪族が存在していなかったことが理由と考えられ、地理的・地形的環境から弥生時代とは異なり独自の文化圏を形成していました。

東条地区には、太平洋からの風で海砂が堆積した砂丘がみられ、その砂丘上に、５基の円墳からなる広場古墳群があります。後広場（うしろひろば）１号墳は直径 21m、高さが 2.7mで、千葉県では唯一の刳抜式舟形（くりぬきしきふながた）石棺が出土しました。発掘調査によるものではなく、近代の土砂採りの際に石棺が見つかったものです。石棺内には人骨１体と金銅装大刀、直刀、鹿角装刀子（ろっかくそうとうす）、鉄鏃（てつぞく）が副葬されていました。

後広場１号墳から西に約 300mの砂丘上には後広場２号墳があり、広場古墳群で墳丘の残る唯一の古墳です。直径 37m、高さ３mの円墳です。

待崎川の河岸段丘上の弥生時代から奈良・平安時代まで続く集落で古墳の周溝が見つかっており、周溝から見つかった古墳時代初頭の土器や弥生時代後期の竪穴住居跡との関係から古墳時代初頭の古墳であり、周溝から見つかった土器には、東海系の白い土器を赤く採色したパレス壺や同様に白い土器の台付甕などの搬入品が見られ、弥生時代に引き続き、尾張・東海地方と交流があったことが分かります。

後広場１号墳出土の刳抜式舟形石棺

（５）古代

私たちの住む安房は、続日本紀に「元正天皇養老２年（718）５月上総国を割きて安房国を置く」と記されたのが最も古い記録です。

安房国には平群（へぐり）、安房、朝夷（あさい）、長狭の４つの郡が置かれ、現在の鴨川市の範囲は長狭郡の全域と朝夷郡の一部、上総国望陀（もうだ）郡の一部に相当します。長狭という地名は、奈良時代の歴史書「古事記」の神武天皇の条に「神八井耳命（かんやいみみのみこと）は長狭国造（ながさのくにのみやつこ）の祖」、奈良時代の歌集「万葉集」に「長狭郡上丁丈部（かみつよぼろはせつかべ）」とあり、平安時代の歴史書「古語拾遺（こごしゅうい）」に「その麻によろしき所、これを長麻（ながあさ）と云う」と記されています。

市域は、神八井耳命などの地方豪族が統治しました。また、嶺岡山系からは、全国的に出土例が少なく珍しい銅鏡である七鈴獣形文鏡が出土し、奈良時代まで古墳時代の銅鏡を使用する祭りが受け継がれました。

大化年間（645～650）以降は、中央から派遣される国司が支配しました。東条地区からは、弥生時代や古墳・奈良時代の遺跡が数多く発見され、「東条」、「西条」の地名は条里の地割を想像させますが、明確な条里跡は確認できません。

平安時代中期の辞書の和名類聚抄（わみょうるいじゅしょう）に長狭郡の郷として、壬生（にぶ）・日置（ひおき）・田原（たはら）・酒井・伴部（ともべ）・加茂・丈部・置津の八郷が記されていますが、現在のどの地域にあたるのかは不明です。「万葉集」には、長狭郡から北九州に出征した「与呂麿（よろまろ）」の歌が掲載され、この丈部は吉尾地区大幡と大山地区と考えられます。

（６）中世

治承４年（1180）８月、石橋山の合戦で敗退した源頼朝は安房に逃れたのち、安房の武士団を集めて再起しました。当地域の代表的な在地領主に長狭氏がいました。頼朝は、上総介（かずさのすけ）平広常のもとへ向かう途中、長狭六郎常伴に襲撃され、三浦義澄の機転と奮闘により長狭六郎常伴を討ち取り、頼朝は危機を脱しました。長狭氏滅亡後は、三浦氏が支配しました。長

狭郡の東部の東条御厨と呼ばれる荘園は、源頼朝が伊勢神宮に寄進しました。その後、三浦氏の勢力が衰えた鎌倉中期から東条氏が勢力を伸ばしました。

市域には「一戦場」という地名があり、三浦義澄と長狭六郎常伴の戦いの場所であるとする伝承があります。そのほか、仁右衛門島や旗掛松、白幡神社、名馬太夫黒など、頼朝に関連する伝説が数多く残されます。

旗掛松（東条地区広場）

承久４年（1222）、日蓮が小湊に誕生し、清澄寺で学ぶとともに、新しい教えとして法華経を説きました。市内には、誕生寺を始めとして、日蓮に関する伝説や縁の場所が数多くあります。日蓮が小松原で東条景信に襲われた際に、弟子の鏡忍坊と駆け付けた天津の在地領主である工藤吉隆が討ち取られました。吉隆の亡骸は没した場所に埋葬され上人塚と呼ばれ、鏡忍坊を葬り菩提を弔った場所には後に鏡忍寺が建立されました。日蓮の弟子として、六老僧の一人に数えられた日向は、東条地区の出身といわれます。

上人塚（東条地区西町）

太海地区江見吉浦には市指定文化財の板碑があり、鎌倉幕府が滅びた際に先祖が担いで逃げてきたという伝承があります。

室町時代に、大山寺と安国寺などで、鎌倉府（鎌倉公方）の役人が寺の別当職の認可に関わるなど、大山地区を中心とした柴原子郷が、関東足利氏の掌握下にありました。大山寺は武家の信仰が篤く、武運長久を願い、源頼朝や足利氏、里見氏、正木氏などが武具を寄進したと伝えます。

室町時代後期に、長狭郡にも戦国乱世の波が訪れ、里見氏が関東公方足利氏の権威を後ろ盾に在地武士を服属させて安房を統一し、旧勢力に代わって支配しました。長狭庄代官として、正木大膳大夫平通綱の名前が記された池田村新蔵寺の享禄３年（1530）の棟札が残ります。山の城や郡屋敷を拠点に、里見氏の重臣とも同盟者ともいわれる正木氏の勢力下にありました。各地に多くの山城（山の城、金山城、葛ヶ崎城、江見根古屋城など）が構えられました。その後、家督・権力争いから里見氏と正木氏が争い、天正８年(1580)、正木氏の支城だった市内太田学の金山城などを里見氏が落城し、里見氏が統一しました。

里見氏は、15 世紀中ごろに軍馬育成を目的として嶺岡山系の山地を利用した嶺岡牧を起こしました。その後、江戸時代初期には活用されなくなり、衰退しました。

市域の村々の形ができあがったのは、戦国時代の終わりごろでした。現在の小字ほどの規模の村へ統合されていく例として、慶長２年（1597）の太閤検地の際に、主基地区の小町村や小原村の境を取り決めた絵図があります。里見氏が作成した分限帳には、磯村の町割り地は金子で税金が払われていると記載されており、繁栄していた様子が伺えます。

（７）近世

元和年間（1615～1624）の総検地により、市域の村は大名領、旗本知行所、御料（代官支配の幕府直轄地）に分けられました。大名領は元和６年(1620)に西郷正員が、下総国生実（現千葉市）から安房の朝夷・長狭の２郡内に領地を移され、東条東村宝性寺に陣屋を構え、東条藩と称しました。西郷氏は、元禄５年(1692)に下野国(栃木県)上田に転封となったため東

条藩は廃藩となり、以後、東条の地に藩が置かれることはありませんでした。その後、前橋藩、岩槻藩、北条（鶴牧）藩、会津藩、館山藩などの領地もありましたが、旗本知行所が多くを占めました。旗本知行所には、一つの村を複数の支配者が治める相給も多くありました。19 世紀には幕府の房総沿岸警備のため領主の変遷もあり、村人はその対応に苦慮しました。市域を知行所とした旗本の中には、忠臣蔵（浅野家）、シーボルト事件（本多家）、遣米使節（村垣家）など歴史上の事件に関わった者もいました。

交通事情を見ると、陸路は安房国と江戸を結ぶ街道が中心となりました。嶺岡牧から江戸に向かう道は、関口、久留里口、小多喜（大多喜）口、勝山口の４つの街道がありましたが、最も利用されたのは金束（こづか）村から木之根峠（きのねとうげ）を越えて関村へ向かう関口でした。幕府の御用で通行があると近隣の村々に人足や馬が助郷として割り当てられ、時には大きな負担となるので不満を持った村々が拒否して裁判沙汰になることもありました。

海路は、寛文 11 年（1671）東北方面から江戸へ回漕する東廻り海運が実現し、安房小湊が避難港としての役割を果たしました。そのため、小湊には東北諸藩の船宿が設けられました。磯村や前原、貝渚余瀬町（よせちょう）は、商家や網元、五十集屋（いさばや）（魚商人）など町場が形成されて活況をなし、近隣の年貢米を江戸へ回漕する港としても賑わいました。沿岸地域の村々は漁獲物や水産加工品を「押送船（おしおくりふね）」と呼ばれる小型船で、短時間で江戸や浦賀港に運び、商品流通に少なからぬ役割を果たしました。

長狭郡の村々は、農業を営む百姓が大部分を占めましたが、海岸の村では漁業や商業に携わる人も少なくありませんでした。山林を活用する林業や製炭業、酒や醤油の醸造業、商人宿や物品の小売業、漁業に従事する漁民など様々な職業が見られるようになりました。更に、歌川広重が小湊地区の作品を残すなど、誕生寺や清澄寺、大山寺は他国からの参詣人が多く、門前町が形成されて賑わいました。

寛永～承応年間(1624～1654)には、関西漁民が出漁し始めたといわれ、鰯揚操網漁や八手網などさまざまな漁法が導入され、多数の紀州漁民が逗留し定住するようになりました。干鰯や干鮑の生産が行われ、押送船で江戸まで生魚が搬送されました。前原など沿岸の村々は繁栄し、特に天津地区は「天津千軒」とうたわれました。しかし、これら沿岸部は元禄 16 年（1703）の大地震による津波で大きな被害を受けました。

享保７年(1722)に、里見氏以来の馬の牧場である嶺岡牧が再興され、幕府の直轄地として経営されました。野馬土手の修復など牧の維持管理に、周辺地域の村人が動員され、多くの負担がありました。嶺岡牧にはインドから輸入した白牛も放牧され、酪（らく）（乳製品）の製造も行われました。我が国の近代酪農発祥の地と呼ばれる由縁です。

嶺岡東牧馬捕場跡の野馬土手

近世の村入用帳には、当時の村人の農業生産と民間信仰との関わりが見られます。多くの村では虫供養が行われ、旧暦の７月には大山寺、清澄寺の風流（雨乞祭礼）に長狭郡の村々が組合を作って参詣登山をしました。これは一郡一同の祭礼と意識されており、近世以前からの伝統です。また、曽呂・太海地区の村は江見皇大神社の祭礼に参加していました。

大きな河川が少ない地域では水の確保は大きな課題で、溜池や堰を作り、旱魃の時には近隣の村々で組合を作って様々な方法で雨乞いを行いました。飯塚伊右エ門は大規模な用水工事を成し遂げ、水不足の解消に尽力しました。

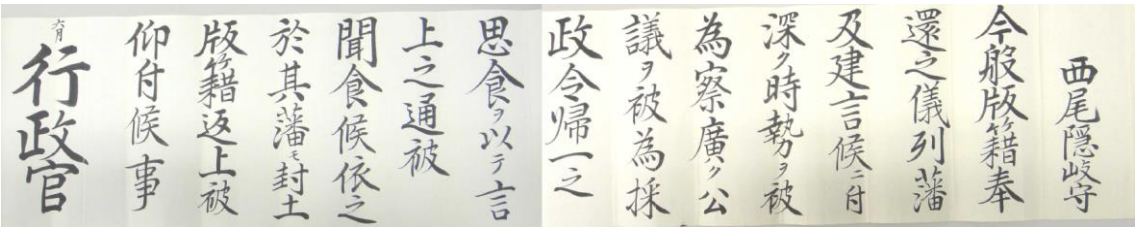
18 世紀に人々の生活が安定してくると、その活力に支えられ、江戸を中心に文化や教育が広まりました。これらは地方へと波及し、長狭郡でも、武志伊八郎信由（彫物大工）や山口志道（国学者）、堀江顕斎（数学者）などの文化面で後世に名を遺す人材が生まれました。

幕末には、江戸から房州の知行地に避難してきた旗本が多くいたようで、長狭郡でも江戸を脱出し、木之根峠を越え、あるいは海路を逃げてきた旗本や当地で亡くなる旗本もいました。江戸幕府が滅びると多くの旗本知行所は知県事支配となりました。

（８）近代

明治維新で、徳川宗家が駿遠（すんえん）に領地を与えられると、房総半島に大名が移ってきました。明治元年(1868)９月に西尾忠篤（ただあつ）が、遠江横須賀から３万 5,000 石で当地に入封し、花房藩と公称しました。仮藩庁は横渚村に設けられ、藩主の宿所は東条地区広場の鏡忍寺に置かれました。同時期に駿河田中藩が南房総市白浜に移封され、長尾藩と称しました。市内の村の大部分は花房藩領でしたが、大山地区などの村は長尾藩領となりました。

版籍奉還・廃藩置県を経て、明治４年(1871)11 月の県の統廃合によって木更津県に組み


西尾隠岐守
今般版籍奉
還之儀列藩
及建言候ニ付
深ク時勢ヲ被
為察廣ク公
議ヲ被為採
政令帰一之
思食ヲ以テ言
上之通被
聞食候依之
於其藩ヘ封土
版籍返上被
仰付候事
行政官

西尾隠岐守忠篤　版籍返上被仰付候事　明治２年（1869）６月

入れられ、明治６年(1873)千葉県の成立によって、その管轄下に置かれました。

この間、明治４年の明治天皇の大嘗祭(だいじょうさい)では、主基地区北小町の田が主基斎田(すきさいでん)に選ばれ、９月に勅使を迎えて抜穂式を行いました。

明治政府の改革は政治、経済、教育、宗教など国民生活の様々な分野に及びました。価値観の転換を迫られた人々が動揺する中で、コレラの防疫にあたっていた医師の沼野玄昌(ぬまのげんしょう)が流言飛語により襲撃され亡くなるという事件が起きています。宗教では神仏分離令により廃仏毀釈(きしゃく)の動きが当地でも見られ、特に修験の寺院は大きな打撃をうけました。

教育は、明治７年(1874)ごろから学校教育が始まり、初めは、村内の寺院などを学校とする村がほとんどでした。自由民権家の佐久間吉太郎や歌人の古泉千樫はこうした学校で教師を勤めました。

幕府直轄地だった嶺岡牧は、民間の牧場として経営が続けられましたが、経営難から大部分の土地を売却して解散し、千葉県による牛の種畜場として現在は残っています。また、明治 18 年（1885）大山村出身の竹沢弥太郎の尽力により、安房国牛馬共進会が大幡村で開催されました。こうした経緯から、当地周辺では酪農業が盛んで、多くの練乳製造業が設立されました。この中から、明治乳業株式会社や森永乳業株式会社の元となる会社が生まれました。

明治 24 年（1891）ロシア皇太子暗殺未遂の大津事件の際、京都府庁前で遺書を残し自殺した畠山勇子は、烈女として当時の新聞に掲載され、小泉八雲(ラフカディオ＝ハーン)が紹介して外国人にも影響を与え、全国にその名を広めました。

明治 22 年(1889)の町村制の施行にともない、長狭郡 62 町村の合併がすすめられ、新たに太海村・曽呂村・大山村・吉尾村・由基村（大正４年 10 月主基村と改称）・田原村・鴨川町・西条村・東条村・天津町・湊村（昭和３年 11　月町制施行、小湊町と改称）の 11 町村となり、朝夷郡内の６村が合併して江見村（昭和３年 11 月町制施行）が成立しました。

昭和４年（1929）には房総線が全線開通して交通の便がよくなり、続いて、鴨川漁港・天津漁港の修築が開始され、社会インフラの整備による近代化が進みました。当地域は農業・水産業の盛んなところとしてにぎわい、観光面でも大いに発展しました。

昭和４年（1929）房総線全通祝賀式の安房鴨川駅

大正から昭和にかけて、各町村で様々な事業や活動、整備が実施されました。川名傳が村長を務める主基村は、昭和３年（1928）、昭和６年（1931）と続けて県から模範村として表彰され、昭和 10 年（1935）には、日本有数の優良村として内務大臣から表彰を受けました。

昭和 16 年（1941）の太平洋戦争開戦以降、市内からの出征者が増え、多くの人が戦病死し、低下した農村労働力を婦人や子どもが補うようになります。また、鉱物資源不足のため、嶺岡山系の鉱山からニッケルが採掘され、近隣の学生が動員されました。市域に大規模な空襲はありませんでしたが、江見地区で昭和 20 年（1945）７月の空襲で３人の死者、終戦直前の８月 13 日は農作業中の母子２人が犠牲になりました。また、東京からの疎開の場となり、疎開者の中には富安風生のように疎開後も何度も鴨川を訪れ、当地の文化振興に貢献した俳人もいました。

戦争も末期になると、小型機による空襲が増加し、住民の被害者や兵士の戦死者も増えました。ラバウル小唄などの作曲家で知られる、鴨川地区貝渚生まれの島口駒夫も召集され、硫黄島で玉砕しています。本土決戦のため、住民が陣地の構築にかりだされ、軍の兵士が各所に駐留するようになります。小湊には、特攻兵器の震洋（しんよう）の基地が置かれました。

（９）現代

終戦後、昭和 28 年（1953）９月１日に施行された町村合併促進法によって、昭和 29 年（1954）７月１日に鴨川・東条・西条・田原が合併して鴨川町を、昭和 30 年（1955）２月 11 日には天津・小湊が合併して天津小湊町を、また同年３月 31 日には大山・吉尾・主基が合併して長狭町を、太海・曽呂・江見が合併して江見町をそれぞれ設置しました。

鴨川町は農業と漁師町としてにぎわう一方、長狭地域の経済の中心地として、物資の集散地・消費地として商業活動が活発化し、また自然美に富んだ房総の観光拠点基地として発展しました。長狭町は嶺岡・清澄両山系の間に開けた細長い町で古くから酪農・果樹園芸・米作と農業中心に栄え、江見町は太平洋岸に面した温暖な気候に恵まれた町で花き栽培が盛んであり、花の江見として名高いところとなりました。

この鴨川町・長狭町・江見町の３町は、昭和 45 年（1970）３月 12 日施行の合併特例法（三万市制特例）に基づき合併市制を施行し、昭和 46 年（1971）３月 31 日に鴨川市として発足しました。そして３次の基本構想並びに７次にわたる総合計画のもと、各種産業間の連携を図りながらハード及びソフトの整備が進められました。

天津小湊町は、豊富な水産資源や釣り漁業を中心とした漁業地として、また、清澄寺・誕生寺や鯛の浦などの日蓮聖人生誕の霊地や門前町としての特性を有し、観光地として広く知られています。

21 世紀に入り、地方分権時代の到来を迎え、様々な課題に対応し、魅力的な地域づくりを進め、南房総の拠点都市としてより発展するため、鴨川市と天津小湊町が合併し、平成 17 年（2005）２月 11 日に新鴨川市が誕生、令和７年（2025）に市制施行 20 周年を迎えました。

2005-2025

20th

鴨川市市制施行20周年

今、羽ばたく 次の20年へ

第３章　鴨川市の文化財の概要

１　文化財の指定等の状況

鴨川市内の指定文化財及び登録文化財は、令和６年８月 31 日現在、国指定文化財２件、県指定文化財 26 件、市指定文化財 50 件、国登録文化財８件、県登録文化財５件の 91 件です。

国指定は、特別天然記念物１件、天然記念物１件の計２件です。

県指定は、有形文化財 16 件（建造物６件、彫刻５件、工芸品１件、書跡３件、考古資料１件）、無形の民俗文化財２件、史跡１件、名勝２件、天然記念物５件の計 26 件です。

市指定は、有形文化財 34 件（建造物９件、絵画１件、彫刻 18 件、書跡２件、古文書１件、考古資料３件）、民俗文化財６件（有形の民俗文化財３件、無形の民俗文化財３件）、史跡２件、天然記念物８件の計 50 件です。

国登録は、有形文化財（建造物）８件です。

県登録は、有形文化財（彫刻）５件です。

国指定文化財は、法の規定により文部科学大臣が指定します。県指定文化財は、千葉県文化財保護条例の規定に基づき、千葉県教育委員会が指定します。市指定文化財は、鴨川市文化財の保護に関する条例の規定に基づき、鴨川市教育委員会が指定します。

国登録文化財は、法の規定により、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録します。県登録文化財は、千葉県文化財保護条例の規定に基づき、千葉県教育委員会が登録します。

本市では、登録文化財の制度は設けていないため、制度設計の検討を進めます。

鴨川市の指定文化財等の状況（令和６年３月 14 日現在）

類型			国指定等	県指定等	市指定	国登録	県登録	合計
有形文化財	建造物		0	6	9	8	0	２３
	美術工芸品	絵画	0	0	1	0	0	1
		彫刻	0	5	１８	0	5	２８
		工芸品	0	1	0	0	0	1
		書跡・典籍	0	3	2	0	0	5
		古文書	0	0	1	0	0	1
		考古資料	0	1	3	0	0	4
		歴史資料	0	0	0	0	0	0
無形文化財			0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財		0	0	3	0	0	3
	無形の民俗文化財		0	2	3	0	0	5
記念物	遺跡		0	1	2	0	0	3
	名勝地		0	2	0	0	0	2
	動物・植物・地質鉱物		2	5	8	0	0	１５

文化的景観	0	－	－	－	－	0
伝統的建造物群	0	－	－	－	－	0
合計	2	26	50	8	5	91

（１）有形文化財

①建造物

建造物は、県指定６件、市指定９件、国登録の８件の計 23 件です。

門は、正保４年（1647）建立の「清澄寺中門」など県指定２件、市指定２件、堂は、長狭平野の最奥の霊山に鎮座する享和２年（1802）建立の「大山寺不動堂」など県指定２件、市指定１件、鐘楼は「大山寺鐘楼」の市指定１件、石造物は「清澄寺石造宝篋印塔(応永 14 年銘)」など県指定２件、「誕生寺石造三層塔」など市指定５件です。

国登録は、江戸時代後期建築の「旧水田家住宅 主屋」や大正 10 年（1921）建築の「和泉公会堂」など江戸時代後期以降の建築物８件です。

清澄寺中門（県指定）

大山寺不動堂（県指定）

誕生寺石造三層塔（市指定）

旧水田家住宅 主屋（国登録）

②美術工芸品

美術工芸品は、県指定 10 件、市指定 25 件、県登録５件の計 40 件です。

絵画は、心巖寺の「浄土三曼荼羅」の市指定１件です。当麻（たいま）、晴海（せいかい）、智光（ちこう）曼荼羅から成り、享保５年（1720）の仏図です。

浄土三曼荼羅（当麻曼荼羅（市指定））

彫刻は、鎌倉時代中期の作である大山寺の「木造不動明王坐像及び両脇侍立像」など県指定５件、市指定 18 件、県登録の５件の計 28 件です。

うち仏像は「木造薬師如来坐像」など県指定４件、市指定 13 件、欄間彫刻は「西福寺本堂の彫刻」など市指定５件、県登録５件、面は「木造行道面　菩薩面　比丘面」の県指定１件です。

欄間彫刻は、房総を代表し、鴨川生まれである江戸時代の名工・武志伊八郎信由（通称波の伊八）の作品が指定文化財となっています。

工芸品は、「梵鐘（明徳３年在銘）」の県指定１件です。

書跡は、「安田文書」など県指定３件、市指定２件の計５件です。

古文書は、享保 10 年（1725）の嶺岡牧を記録した「房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図（石井孫左衛門控）」の市指定１件です。

房州峯岡山野絵図（市指定）

考古資料は、「旭森経塚遺物」など県指定１件、市指定３件の計４件です。

（２）無形文化財

本市に無形文化財の指定、記録作成等の措置を講ずべき無形文化財の選択を受けている事例はありません。

（３）民俗文化財

民俗文化財は、県指定２件、市指定６件の計８件です。

有形の民俗文化財は、「善覚寺の近世文書」など市指定３件です。

無形の民俗文化財は、「吉保八幡のやぶさめ」など県指定２件、棒術、羯鼓舞、神楽獅子舞で構成する「和泉の三役」など市指定３件の計５件です。

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択を受けている事例はありません。

吉保八幡のやぶさめ（県指定）

和泉の三役（羯鼓舞）（市指定）

（４）記念物

①遺跡

遺跡は、郷土出身のアララギ派の歌人「古泉千樫誕生地」の県指定史跡１件、元文４年（1739）にロシアの船団の乗組員が食料を求めて上陸した「ロシア人来航の地」など市指定史跡２件の計３件です。

古泉千樫誕生地（県指定）

②名勝地

名勝地は、375 枚の棚田が連なる「鴨川大山千枚田」と頼朝伝説の残る「仁右衛門島」の県指定名勝２件です。

鴨川大山千枚田（県指定）

③動物・植物・地質鉱物

動物・植物・地質鉱物は、浅瀬に生息するマダイの生態が極めて珍しいことから国指定特

別天然記念物に指定されている「鯛の浦タイ生息地」、国指定天然記念物「清澄の大スギ」があります。清澄の大スギは樹高 44m、幹回り 14.2m、東西の枝張り 20mを誇ります。そのほか、海底火山から噴出した溶岩がプレートに乗って移動してきた「鴨川の枕状溶岩」など県指定天然記念物５件、鏡忍寺の「降神の槙」など市指定天然記念物８件の計 15 件です。

鯛の浦タイ生息地（国指定）

鴨川の枕状溶岩（県指定）

（５）文化的景観

文化的景観の選定を受けているものはありません。

（６）伝統的建造物群

伝統的建造物群保存地区の選定を受けているものはありません。

２　未指定文化財の概要

本市には、指定等文化財のほかにも、多くの未指定文化財があります。現段階で把握している未指定文化財は 68,381 件です。未指定文化財は、社寺の建造物、市が管理する古文書や周知の埋蔵文化財包蔵地、伝統工芸品の製作技術など、地域の人々の生活と一体であり、本市の歴史文化を構成する重要な役割を担っています。

未指定文化財把握件数

類型			件数
有形文化財	建造物		43
	美術工芸品	絵画	660
		彫刻	648
		工芸品	113
		書跡・典籍	88
		古文書	89
		考古資料	2,752
		歴史資料	49,324

無形文化財		0
民俗文化財	有形の民俗文化財	6,607
	無形の民俗文化財	123
記念物	遺跡	221
	名勝地	17
	動物・植物・地質鉱物	19
文化的景観		57
伝統的建造物群		0
石造物		4,260
その他	地名	2,879
	民話	96
	事績・逸話	27
	方言	358
合計		68,381

（１）有形文化財

①建造物

・建物

市内には、多くの社寺があり、祠やお堂となるとさらに増加します。そのうち、建築年代は特定できないものの、近世と推定される建物が現存しています。昭和 52 年（1977）に行われた調査により、享保 16 年(1731)建築と推定される「清澄寺摩尼殿(大堂)」、建築年代は不明ですが「神蔵寺本堂」、「男金(おがな)神社本殿」、「太尾滝口神社本殿」、「熊野神社本殿」、「龍江寺地蔵堂」、「西蓮寺薬師堂」は、江戸時代に建築され、維持保存されてきた建造物です。

近現代の建造物は調査が進んでいませんが、明らかになっている建造物に、「山生橋梁」があります。大正 13 年（1924 年）に竣工し、鉄道橋では日本初の鉄筋コンクリートＴ型梁形式の橋梁で、形式がアーチから桁・梁構造へと進化する記念碑的な意義を持つ構造物です。

交通路では、天津と内浦との間の山中に、橋の基礎や隧道跡など明治初期の道路の痕跡が良好に残されています。

昭和 10 年（1935）完成の「誕生寺客殿」や、建築年代は不明ですが「江澤館」（太海)は近代和風建築として認識されています。「清澄寺祖師堂」は、昭和 48 年(1973)の建築で、第２次世界大戦後の日本建築史を代表する建築家の内井昭蔵の設計です。その他、明治初期の学校として「曽呂小学校西分教場」があります。

建設中の山生橋梁（大正 11 年ごろ）

②美術工芸品

・絵画

横山大観「霊峰」をはじめとして、窪春満・葛飾北斎などの江戸時代の狂歌摺物群の藤澤衛彦（もりひこ）コレクションや、長谷川昂（こう）、渡辺晋など市ゆかりの美術作家の作品など、660 点の美術品を郷土資料館で所蔵しています。

横山大観「霊峰」昭和 18 年（1943）

・彫刻

彫刻は、648 点を確認しました。天津小湊地区は神仏像調査が終了し、285 点の仏像を確認しました。重要作例として、指定文化財を含む 23 点を神仏像調査報告書で紹介しています。

・工芸品

工芸品は 113 点です。

清澄地区で江戸時代に生産が盛んであった欄間や建具の組子細工である「清澄細工」があります。

また、元大蔵大臣の水田三喜男が収集したコレクションの一部として、染付皿や壺、中華人民共和国から贈られた翡翠製の工芸品などを郷土資料館で収蔵しています。

・書跡・典籍

水田三喜男コレクションとして、吉田松陰や頼山陽、勝海舟、大久保利通、西郷隆盛など江戸末期から明治の政治家の書を郷土資料館で保管しています。また、本市出身の書家である岩波白鵬の作品も所蔵しています。

・古文書

市内には、寺院を中心に、室町から安土桃山時代の古文書 40 点が伝承されています。主な史料は、鎌倉府との密接な関係を示す、室町時代前期の「佐野寺別当職補任状」や、「里見義頼朱印状」、「里見義康黒印状」など室町後期に活躍した戦国大名である里見氏の発給文書も確認されています。

・考古資料

平成４年(1992)から平成９年（1997）に実施した東条地区遺跡群の発掘調査によって発見された資料を中心に、縄文時代から近世までの石器や土器など 2,752 点が郷土資料館と隣接する文化財センターで保管されています。

この文化財センターに常設展示している後広場１号墳から出土した「刳抜式舟形石棺」と直刀などは、古墳時代後期（６世紀後半）の資料で、この形式の石棺は千葉県唯一の出土例となります。嶺岡東上牧の奈良時代の墳墓から見つかった「七鈴獣形文鏡」は、古墳時代の資料が奈良時代に伝世したもので、祭祀に使われたと推測されます。直径 12.1㎝、厚さ 0.3㎝で７つの鈴のうち４つの鈴に小玉石を残します。全国的にみても非常に数の少ないもので、昭和 45 年の発見当時で８例目でした。現在は、国立歴史民俗博物館に保管されています。

・歴史資料

市史編さん委員会や郷土資料館の調査によって確認された文書類は、寄贈・寄託されたものを含めて 49,324 点で、市民皆さんの協力によって発見が続き、近世・近現代の本市の様子や風俗風習などを知るうえで貴重な資料です。

建物の建築・修理の記録として建物内部の高所に取り付けた札である棟札のうち、16 世紀のものが３点確認されています。特に、「新蔵寺旧蔵棟札」は、前期里見氏の重臣であった正木通綱の立場を示す貴重な史料です。

通貨や紙幣を主として、軍服や背嚢、勲章などの戦争関係資料を加え、歴史資料 1,000 点を郷土資料館で保管しています。

写真は、今はない情景として風土研究や歴史研究、また民俗研究の資料としての価値が高く、天津小湊町史編さんによる写真集発行や資料館の企画展、郷土史研究会などによる調査により、大正から昭和時代を中心に、写真資料が収集されています。令和７年４月現在 6,919 点を確認しており、８割をデジタル化しています。

（２）無形文化財

本市は、該当するものはありません。

（３）民俗文化財

①有形の民俗文化財

郷土資料館で保管している民俗資料は、6,330 点に及び、漁労用具、商業用具、諸職用具、農業用具、林業用具、養蚕・製糸・機織用具、生活用具、祭礼・行事用具など、鴨川市域の生活の推移を理解する上で欠くことのできないものです。

絵馬・奉納額は、千葉県の調査により、江戸・明治時代を中心に、163 点を確認しました。

また、市域では古くから様々な祭礼行事が行われてきたことから、神輿や山車・屋台など関係する有形の民俗文化財も多様なものが残されています。

その多くは無形の民俗文化財としても継承されていますが、今は休止していても道具類が大切に保存されている地域もあります。主なものとしては、富士講関連資料(山包講、山水講)、「畠山勇子の雛人形」、「前原下本町の獅子頭」、やぶさめ道具(坂東、東町)、羯鼓舞の獅子頭と道具(太海、東、南小町、太尾)などがあります。

市内の社寺、山車・屋台には、市内生まれの彫物大工・武志伊八郎（初代から５代まで）の他、千倉出身で、こちらも房総を代表する宮彫師・後藤義光、義信などの後藤一門の彫刻作品が取り付けられています。

②無形の民俗文化財

本市では、神社の祭礼や地区ごとの合同祭、寺院の行事などが数多く行われています。山に関すること、海に関すること、生活に関することなど、習俗・行事の種類は様々です。特徴があるものとして、富士講(川代、天面)、「鳥居木曳祭」、「弁天様御開帳と舟渡」、「牛洗い行事」、綱吊り・門札、「太海の越年(おとし)」、「呵萬数珠(かあまんずず)」、「賽(さい)の河原」、「鯛供養(鯛の葬式)」、獅子神楽(大山、吉尾、川代、花房)、「貝渚白幡講の獅子」、「浜荻の獅子巡遊神事」などが挙げられます。

民謡は、「ヤンザ節」や「鴨川木遣り節」など、調査時の音源が千葉県立博物館のデジタルミュージアムで公開されているとともに、「大山音頭」、「天津小唄」などが地域で継承されています。

また、海、山、水田など豊かな自然環境に育まれ、その幸と伝統行事が結びついた食文化が残されています。主なものとしては、「なめろう」、「さんが焼き」に代表される漁師料理に加え、地産地消の食品でもある「ひじき」、「はばのり」、「キンメダイ」、「イセエビ」、明治天皇大嘗祭の斎田に選定され、江戸時代から良質な米として知られた「長狭米」や「太巻き寿司」、珍しいところでは、酪農に起因する「チッコカタメターノ(乳っこの固まり)」があります。

千葉県伝統的工芸品となっている「鴨川萬祝染(まいわいぞめ)」、「萬祝半天」と「房州船鋸」があります。「清澄細工」は、継承者がいません。伊勢海老を使った江戸伝統工芸「飾り伊勢海老」の技術が全国で唯一継承されています。

太海の越年（おとし）

清澄細工（明かり障子）

（４）記念物

①遺跡

未指定の遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地として、古墳や塚、城館跡など 139 件が確認されています。一覧は表５のとおりです。種別としては、16 種類あるうち、包蔵地が 56 か所と最も多く、次いで城館跡 20 か所、塚 17 か所、牧跡 16 か所となっています。時代別には、近世が 50 か所と最も多く、次いで中世 49 か所、平安時代 45 か所の順で多く、弥生時代が６か所と最も少なくなっています。「根方上ノ芝条里跡」や「中原条里跡」「嶺岡旧キャンプ場遺跡」などのように、複数の時代にまたがる遺跡が 61 か所と全体の半数近くを占めており、本市の埋蔵文化財の特徴です。

そのほか、社寺の境内や学校の跡、旧宅、由緒のある地域、碑のある土地なども未指定の遺跡です。

表５　周知の埋蔵文化財包蔵地　種別か所数

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
城館跡	20	窯跡	2	条里跡	2	牧跡	16
横穴	4	古墳	7	集落跡	3	墳墓跡	1
包蔵地	56	寺院跡	2	陣屋跡	3	やぐら	5
塚	17	生産地	3	貝塚	4	洞穴	1

※複数の種別にまたがる包蔵地があるため重複あり

表６　周知の埋蔵文化財包蔵地　時代別か所数

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
縄文	25	弥生	6	古墳	22	奈良	27
平安	45	中世	49	近世	50	近代	2

※複数の時代にまたがる包蔵地があるため重複あり

主な遺跡として、条里跡の「根方上ノ芝条里跡」、「中原条里跡」は、広範囲に渡る遺跡で、複数の時代に渡り、多数の遺構や土器が出土しています。東条地区遺跡群の発掘調査では、条里は確認できませんでした。数多くある城館跡のうち「山之城跡」、「金山城跡」、「江見根古屋城跡」、「葛ヶ崎城跡」の各城跡は遺構が比較的良好に残されており、中世遺構と近世大名屋敷が重複した「西郷氏館跡」は発掘調査が行われ、磁器などの出土品、井戸や堀の跡が発見されました。近世の牧場跡が良好に残る「嶺岡牧の野馬土手群」は平成 22 年（2010）から平成 24 年（2012）にかけて嶺岡牧の基礎調査を行い、総延長 27ｋｍにわたる野馬土手を確認しました。

埋蔵文化財包蔵地に指定されていませんが、戦争遺跡や災害関連遺跡があります。戦争遺跡は、小湊地区の「特攻兵器震洋基地跡」や鴨川地区の「ニッケル鉱山・工場跡」があり、災害関連遺跡は、人工的に造り上げた「日枝神社津波避難丘（ひなんきゅう）」があります。その他、近年文献史料によって発見された「郡屋敷(郡山城)」や「伊八の屋敷跡」、近代酪農の遺跡である「房総煉乳主基工場跡」「真田煉乳牛酪製造所跡」「磯貝安房煉乳所跡」があります。

本市は、急峻な地形で小河川が多いことから、干ばつや渇水は人々の生活・文化に大きく影響しました。雨乞い神事が各地に伝承されるとともに、江戸時代から数多くの溜池や堰、用水が作られました。中でも「滝根入（たきねいり）用水」、「金山疏水」、「袋倉用水」は鴨川三大用水として現在も維持し使用されている、歴史ある用水です。

日蓮の「傷洗いの井戸」（３か所)、「明星の井戸」は保存されています。

②名勝地

多島海の「鴨川松島」や、日本の渚百選に選出された「前原横渚海岸」があります。

また、季節限定ですが魚見塚一戦場公園の桜並木や東条の桜並木、四方木白岩橋、内浦山県民の森の紅葉など季節を彩ります。

鴨川松島

前原横渚海岸

③動物・植物・地質鉱物

・動物

動物は、天津地区実入(みいり)海岸にクサフグの産卵地があります。

・植物

源頼朝の伝説に関連する植物として「逆さ梅」が、日蓮に関連する植物として「袈裟掛け松」があります。また、主基地区の古代ハスを鑑賞できる「古代大賀ハスの里」が整備されています。

大山地区の高蔵神社周辺がスダジイの自然林として貴重です。また、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林にある「浅間山」は、大学演習林発祥の地として林業遺産に認定され、房総半島南部に固有の林相を維持している天然林です。

・地質鉱物

千葉県が選定する魅力的な地層である地層十選に、「鴨川松島」と「保田層群のカオス層」(吉浦海岸)があります。「鴨川松島」は様々な地層や岩石が断片化し、島によって構成する岩石が異なるのが特徴です。「保田層群のカオス層」は、プレートの沈み込みによってつくられた、新世代第三紀の地層で、断層によって縦横に激しく分断されて分布します。

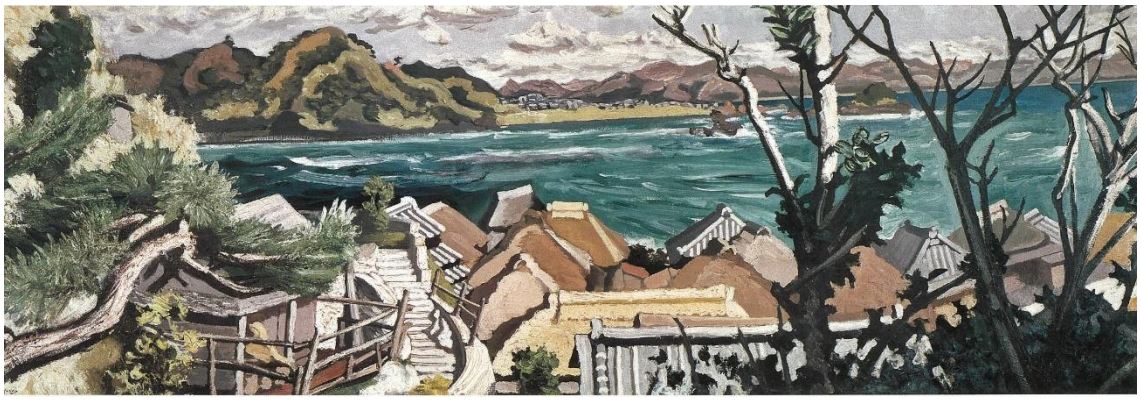
また、「馬蹄石」や「へそ石」と呼ばれる団塊（ノジュール）は、嶺岡山系を構成する房総半島南部で最古の嶺岡層群珪質頁岩の層で二次的にできたもので、市内各地で見ることができます。

（５）文化的景観

日々の生活に根ざした身近な景観であり、平成 18 年（2006）に文化的景観保存活用計画が策定されている「大山千枚田」が挙げられます。同じ棚田では川代(かわしろ)、二子(ふたこ)、山入(やまいり)の三地区があり、その他にも、「誕生寺の線香と磯風」としてかおり風景百選に認定され、門前町と漁村の形が混在した誕生寺周辺、多くの画家が愛した波太(なぶと)（太海）地区の漁村風景があります。波太が描かれた作品には、安井曾太郎の「外房風景」、藤田嗣治の「夏の漁村 房州太海」

などがあります。

　また、勝浦市のおせんころがしに連なる小湊地区の海岸線まで丘陵が迫っている急峻な地形や、海岸線の起伏に富んだ小島、岩礁により、その眺望は絶景として知られます。「清澄寺旭が森」からの初日の出、富士山の望める場所として「二つ山」（平塚）や「天富神社境内地展望台」（関東の富士見百景）、大山寺境内から望む長狭平野の風景、灯篭流しを行う内浦湾の風景があります。



安井曾太郎「外房風景」昭和６年（1931）　大原美術館蔵

灯篭流し（小湊地区）

（６）石造物

　旧鴨川市、天津小湊町それぞれが実施した石造物調査の結果から 4,000 点を超える石造

物を確認しています。その分類として、五輪塔や宝篋印塔などの石塔、地蔵や観音、庚申塔などの石仏、そのほか道標や板碑、手水石などがあります。

（７）その他

①地名

旧 12 町村ごとに大字と小字を整理しました。

②民話

民話は、特定の内容を不特定の人々によって語り伝えられてきたもので、「長狭地方の民話と伝説」郷土資料館（平成６年（1994））、「鴨川のむかし話」市立図書館（平成 22 年（2010））に 96 点収録されています。

③事績・逸話

郷土の偉人の事績や逸話が 27 点残されています。

④方言

「鴨川風土記１」市立図書館（昭和 55 年（1980））、「鴨川風土記２」市立図書館（平成４年（1992））に収録されている方言は 358 点です。

第４章　鴨川市の歴史文化の特性

１　歴史文化とは

本市の歴史文化は、清澄・嶺岡山系と両山系に挟まれた長狭平野と、太平洋に面した江見から太海、鴨川、天津、小湊までの長い海岸線といった自然環境に育まれました。人々は気候風土に順応した生活を送ることで、この地域特有の歴史文化を形成し、代々守り受け継いできました。文字通り「長く狭い」平野を中心に暮らす人々は、大地と黒潮の恵みを享受し、これらの歴史文化を築き上げてきました。そして、この歴史文化は鴨川市民遺産として現代に伝えられ、今を生きる私たちに心の潤いを与えてくれます。

分類	江見	鴨川	長狭	天津小湊	複数の地区に関連するもの又は地区を限定しないもの
天然記念物・文化的景観	・曽呂温泉 ・吉浦海岸（保田層群のカオス層） ・鹿嶋滝、太海不動滝、金杖滝	・前原横渚海岸 ・東条海岸 ・鴨川松島 ・魚見塚 ・泉川滝	・大賀ハス ・鴨川大山千枚田 ・白絹滝	・鯛の浦タイ生息地 ・清澄の大スギ ・清澄で発見された植物 ・四方木不動滝	・嶺岡層群 ・枕状溶岩 ・地すべり地形 ・漁村集落と景観
信仰	・九頭竜様 ・塩屋子安観音堂 ・波切不動 ・賽の河原 ・天面善光寺	・厳島神社御開帳 ・大浦の担ぎ屋台巡行 ・鴨川合同祭 ・和泉の三役	・大山寺 ・吉保八幡のやぶさめ	・天津神明神社 ・日蓮宗 ・式年鳥居木曳 ・波切不動	・富士講
～古代	・香指神社遺跡	・後広場古墳群 ・条里跡	・嶺岡七鈴鏡遺跡	・天津御厨	・長狭国造
中世 ～近世	・牛洗いの行事 ・根古屋城跡 ・慈眼法師入定窟 ・織田長裕墓	・小松原の法難・上人塚などの霊跡 ・東条氏館跡と東条藩 ・武志伊八郎信由の屋敷と工房跡 ・元禄地震津波避難丘 ・余瀬町の海運 ・万祝い	・長狭米 ・木造不動明王坐像（大山寺） ・山の城城跡	・誕生寺・清澄寺などの日蓮由緒寺院と門前町	・嶺岡牧、野馬土手、馬捕場跡 ・牧士 ・武志伊八郎信由の彫刻 ・仁右衛門島、一戦場などの頼朝伝説
近代 ～現代	・綿糸のエビ網漁 ・山生橋梁 ・房州船鋸	・花房藩 ・和泉公会堂	・歌人の古泉千樫 ・主基斎田	・東京大学千葉演習林 ・特攻兵器震洋基地跡	・房州ひじき ・さんが焼き ・なめろう ・雑煮のハバノリ ・釣りキンメ ・チッコカタメターノ ・近代酪農発祥の地 ・横山大観「霊峰」

地区ごとの鴨川市民遺産

２　鴨川市の歴史文化の５つの特性

本市の歴史文化は、次の５つの特性をみることができます。

（１）清澄・嶺岡山系と長狭平野がもたらす自然と文化

主な鴨川市民遺産

・鴨川大山千枚田　・主基斎田　・後広場古墳群　・地すべり地形
・曽呂温泉　・清澄の大スギ　・嶺岡層群　・枕状溶岩　・滝

本市の歴史文化は、清澄・嶺岡山系と両山系に挟まれた長狭平野、太平洋に面した長い海岸線という自然環境により育まれてきました。豊かな自然環境は、時には災害や飢きんを起こすなどの大きな影響を与える一方、人々は大地や海をうまく利用して、生活を営んできました。

嶺岡山地は新生代古第三紀以降の噴出・堆積物で形成され、凝灰岩やチャート、珪質頁岩など深海に由来する堆積物のほか、玄武岩や蛇紋岩などの火成岩が見られます。代表河川は、加茂川、待崎川、洲貝川、曽呂川、二タ間川、神明川、大風沢（おおびそ）川で、低地では河川により造成された河岸段丘や、縄文海進とそれに続く縄文海退などにより海岸段丘が分布します。

人々は、これらの自然や地形を利用し、本市固有の歴史文化を築きました。

主基斎田址公園

（２）中世の痕跡が随所に

主な鴨川市民遺産

・誕生寺、清澄寺など日蓮由緒寺院と門前町　・小松原の法難や上人塚などの霊跡
・仁右衛門島、一戦場などの頼朝伝説　・木造不動明王坐像（大山寺）　・正木氏と山城

安房の地で再起を図る源頼朝にまつわる伝説と、庶民を救うため修行を続けた日蓮の故郷での苦難、戦国大名の里見氏を支えた正木氏の支配など、中世の痕跡が市内の随所に残されます。

12 世紀後半、源頼朝は石橋山の戦いに敗れ安房に上陸しました。当地域を支配していた長狭氏は、平家方との姻戚関係により源氏とは一線を画しました。源頼朝が長狭氏を討つと、安房を足掛かりに上総国を経由し鎌倉へ向かいました。鎌倉幕府の歴史書「吾妻鏡」や伝承を集めた江戸時代の書物「佐殿草創記」などには「仁右衛門島」、「名馬太夫黒」、「旗掛松」など頼朝と当地域にまつわる伝説が残されています。

小湊地区の片海で生まれた日蓮は、比叡山延暦寺で修行した後、清澄山で法華経の教えを説きました。迫害を受けながら教えを広めた足跡を随所で見ることができます。

戦国時代、正木氏は、16 世紀の安房を支配した里見氏を支え、長狭の地を根拠地として上総国へ進出していきました。市内に正木氏に関する山城や社寺が多く残されています。正木氏の支配は未解明の部分が多く、今後の調査研究が必要です。

中世の源頼朝と日蓮に関する足跡は、困難を乗り越え未来を切り拓いた二人の姿を偲ばせます。

清澄寺とツツジ

（３）刻まれる近世の記憶

主な鴨川市民遺産
・嶺岡牧、野馬土手、馬捕場跡　・牧士　・牛洗いの行事
・江戸時代の彫工たちの活躍

江戸幕府直轄牧の嶺岡牧が再興され、軍馬の育成と輸入牛による酪農が行われるようになりました。また、５代続く彫物大工の波の伊八が人々の願いを込めて社寺の装飾彫刻を制作しました。

嶺岡牧の起こりは、平安時代の「鈴師馬牧」とされ、江戸時代に幕府直轄牧となってからは、牧を管理した牧士と周辺の野付村、野続村の農民が土手の修復などの作業に従事し維持されました。牧では、最盛期に 700 頭の馬が育成され、優秀な馬は江戸へ、駄馬は地域住民に払下げられました。また、インド産といわれる乳牛を輸入して酪農が始まり、近代酪農発祥の地となっています。「野馬土手」、「馬捕場」などの遺構は、多くが良好な状態で残ります。

初代波の伊八（武志伊八郎信由）の仕事の範囲は広く、安房国内はもちろん、上総国、相模国、江戸で寺社の建物を飾る彫刻を残しています。竜や獅子、雲や波などの題材は施主の意向に沿って決められましたが、伊八はそれらを立体感とともに躍動感にあふれた表現で彫り上げました。多くの作品は、時代を超えて人々を魅了しています。

金乗院大日堂の伊八の彫刻「酒仙の図」

（４）長狭地域の信仰と伝統

主な鴨川市民遺産

・大浦の担ぎ屋台巡行　・吉保八幡のやぶさめ　・和泉の三役
・式年鳥居木曳　・九頭竜様　・富士講　・賽の河原

稲作や漁業など自然の恵みに頼る生活を送る傍ら、人々は五穀豊穣や無病息災、大漁祈願を願い、祈りを捧げました。これらの信仰の心によって、祭りや行事が今に伝えられ、堂や社が維持されています。

大浦の担ぎ屋台は、まき網船を模したもので、大漁祈願と無病息災、家族の安寧を祭りに託しました。吉保八幡のやぶさめは、120mの馬場に早稲、中稲、晩稲の３つの的を設け、翌年の米の豊凶を占います。賽の河原は、旅立った子どもの成仏を願う場所です。

信仰は、人々が安寧に過ごすための行事や場所であり、日々の生活と結びついています。

大浦の担ぎ屋台巡行

（５）黒潮の恵みがもたらす食文化と風習

主な鴨川市民遺産
・鯛の浦タイ生息地　・万祝い　・チッコカタメターノ
・さんが焼　・なめろう　・長狭米　・房州ひじき

太平洋に面する本市は、黒潮の大きな影響を受けています。その黒潮の流れに乗り相模国や伊豆諸島から動植物や食文化が当地に運ばれてきました。

そして当地に暮らす人々は、温暖な気候と豊かな自然環境の中で生活を営み、本市の文化を生み育ててきました。黒潮によってもたらされた外来文化との融合により、独自の文化を形成するようになります。

さんが焼きとなめろうは、魚の身をたたき、生姜や大葉と混ぜた船上で食べる漁師料理です。長狭米は、嶺岡山系の蛇紋岩から染み出したミネラルを豊富に含んだ土壌で育った米のことで、食味が良いと評判です。

小湊地区では、古くからタイを獲ることを禁じられ、食べてはいけないとされてきました。タイは日蓮の化身として神聖な魚とされ、現代でも保護の対象とされています。

これらの食文化は、現代にも脈々と受け継がれ、後世に引き継がれていきます。

第５章　鴨川市の文化財調査

１　既存調査の状況

本市においてこれまで実施した文化財調査の状況は次のとおりです。

【鴨川市の調査】

市教育委員会が行った調査は、当時の鴨川町立図書館が、昭和 39 年(1964)から行った古文書調査が最初で、読書会の会報である「鴨川」の第３号に、田原村・東条村・広場村・主基村の古文書を収録しました。調査は市民の協力を経て遺跡や伝承など幅広く行われ、その結果は、投稿形式で、昭和 55 年(1980)の「鴨川風土記」創刊号、平成４年(1992)の「鴨川風土記」第２号として編冊し、現在では貴重な記録です。また、史料目録として「鴨川風土記」創刊号と同時に、「竹沢家史料目録」を刊行しました。

昭和 57 年(1982)に郷土資料館が開館し、展示や調査を実施するとともに、市内における様々な分野の情報収集を開始しました。ただし、体系的な所在調査ではなく、展覧会などのテーマに沿った研究、又は市民からの情報による調査に留まります。

現在は図書館が実施していた調査を受け継ぎ、市史編さん委員会の事業とともに、郷土資料館を拠点施設として調査、情報収集及び研究活動を続けています。

【市史編さん委員会】

市史編さん事業に伴う歴史文化や文化財、社寺等に関する情報や資料の収集は、旧鴨川市と天津小湊町がそれぞれ実施し、その成果を刊行物として発刊し、広く市民に周知を図りました。

旧鴨川市は、市制施行 20 周年の事業の一環として昭和 61 年(1986)に市史編さん計画を企画しました。翌年、市史編さん委員会を設置し、平成３年(1991)の「鴨川市史 史料編(一)」を皮切りに、以降、平成 16 年(2004)の「曽呂のあゆみ」まで計 15 冊を刊行しました。

天津小湊町では、昭和 60 年(1985)に町史編さん委員会を設置し、町史編さんを開始しました。昭和 61 年(1986)の「ロシア人来航の記録」の発刊を初めとして、平成 16 年(2004)の「天津小湊の神仏調査報告書」まで、史料編や通史編など計 11 冊を刊行しました。

平成 17 年(2005)の両市町合併後も、旧町村ごとの歴史をまとめた、通称「あゆみシリーズ」の編さんと発刊を続け、令和３年度にシリーズの最終編となる「増訂主基のあゆみ」を発刊しました。

次期の市史編さん事業について、早期に基本方針を決定し、史料調査と発刊を継続する予定です。

また、市史編さん事業で収集した関係資料は、原本・複写物含め 37,906 点を数え、そのすべてを市郷土資料館に保管しています。

【千葉県の調査】

県教育委員会は、これまで文化財の類型ごとに県内の実態調査を実施し、報告書を刊行し

ました。また、本市をフィールドとした調査研究は、千葉県史料研究財団が県史編纂事業の一環として古文書調査を、千葉県自然保護課や千葉県立中央博物館が地質、地形や民俗などの調査を行いました。

【研究機関等の調査】

市内には、亀田医療大学のキャンパスをはじめ、東京大学大学院農学生命科学科附属演習林千葉演習林、千葉大学海洋バイオシステム研究センター、早稲田大学・東洋大学のセミナーハウスが設置されており、調査研究を続けています。

また、博物館指定施設の鴨川シーワールドは、海棲哺乳類・海水魚・淡水魚・節足動物の展示・研究活動を行っています。

その他、鴨川市郷土史研究会や一般社団法人波の伊八鴨川まちづくり塾など、市民による調査研究団体も活動しています。

これらの機関や団体への調査協力や調査成果の共有を図り、情報の収集、内容の把握に努めています。

２　分野別調査の内容

（１）有形文化財

①建造物

・社寺

社寺建築については、昭和 52 年度（1977）に国が主導し、市町村の協力を得て、県教育委員会が「近世社寺建築調査」を実施しました。市町村の協力により、まず建物の所在と特徴を把握する調査を行いました。旧鴨川市内は 51 社寺の調査票を保管していますが、未調査の社寺もあります。調査結果として、天津小湊町分を含め、鴨川市内は 31 社寺 46 棟の報告があります。

この結果を受け、実測、構造形式や装飾の調査、沿革資料の確認等の詳細な調査を行う必要がある社寺が選定されて第二次調査が実施され、鴨川市内では、指定文化財２件を含む計３件が対象となりました。

その後も、市教育委員会により文化財指定や企画展に伴う調査などを実施しましたが、把握調査や詳細調査は未実施です。

・古民家、産業関連施設等

近代建造物の調査は、県教育委員会が平成３年度（1991）から平成４年度（1992）までの２年で明治期以降に建設された公共建造物や商工業施設等の近代建造物の基礎資料を得るために「千葉県近代建造物実態調査」を、平成７年度（1995）から平成 10 年度（1998）までの４年で幕末から昭和 20 年までの建造物を対象に「千葉県産業・交通遺跡実態調査」を行いました。

平成 14 年度（2002）から平成 15 年度（2003）までの２年で「千葉県近代和風建築総合調査」が行われ、明治時代～昭和 20 年までに建設された伝統的様式や技法で建てられた木造物（一部洋風の様式や技法が用いられているものを含む）が対象です。

②絵画

市が所蔵するもの、文化財などの指定がされているもの、資料館が聞き取ったもの以外は、市内の情報を把握できていません。

③彫刻

・神仏像

天津小湊町は、平成９年（1997）から平成 14 年（2002）までの６年にわたり所在調査を実施しました。それに先立ち、誕生寺においては独自の調査が行われました。旧鴨川市では、市史編さん事業の一環として寺院の本尊を確認しましたが、そのほかの神仏像は、文化財に指定されたものを除き、未調査です。

・社寺、山車・屋台彫刻

神社寺院の彫刻は、武志伊八郎信由、後藤義光といった房総を代表する彫工の作品の研究が進んでいますが、すべての彫刻の所在調査は未実施です。

山車屋台彫刻については、市内外の研究者及び郷土資料館の展覧会開催に伴う調査研究が長年にわたり行われ、情報共有と同時に調査結果をまとめた出版物を出版しました。

④工芸品

市が所蔵するもの、文化財などの指定がされているもの、資料館が聞き取ったもの以外は、市内の情報を把握できていません。

⑤書跡・典籍

市が所蔵するもの、文化財などの指定がされているもの、資料館が聞き取ったもの以外は、市内の情報を把握できていません。

⑥古文書

文書は現在も引き続き調査を行っています。個人が所有している史料を含め全域的な把握を目指していますが、近年新たな文書の発見が続いており、継続した調査が必要です。

⑦考古資料

東条地区遺跡群などの発掘調査を行い、調査報告書を発行しました。

⑧歴史資料

郷土資料館や市史編さん委員会を中心に、長年にわたり調査・研究を続けた結果、多くの資料と情報を収蔵し、活用しています。ただし、全域調査を行ったことはなく、個別の調査の積み重ねのため、すべてを把握していません。

（２）無形文化財

把握している無形文化財はありません。

（３）民俗文化財

①有形の民俗文化財

民俗資料は、郷土資料館に、漁労用具、商業用具、諸職用具、農業用具、林業、養蚕・製糸・機織用具など 6,330 点を収蔵します。

絵馬・奉納額は、平成５年（1993）から平成７年（1995）までの３年で、社寺の絵馬等の調査を千葉県教育委員会が行いました。平成４年（1992）に市町村が担当して予備調査を行い、昭和 10 年代以前（戦前）の絵馬、奉納額、建築彫刻を調査対象とし、予備調査に基づく所在調査と絵馬等が奉納される社寺や地域の特色を有する事例の詳細調査を行いました。

市域に存在する山車・屋台・神輿は、市内外の研究者によって調査研究が進められ、旧鴨川市の山車・屋台は鴨川市郷土史研究会が実施しました。

②無形の民俗文化財

・風習

平成６年（1994）に千葉県の県史編纂事業の一環で「千葉県地域民俗調査」を実施しました。

・祭り及び行事

平成 11 年（1999）から平成 13 年（2001）にかけて千葉県教育委員会が「千葉県祭り・行事調査」を実施しました。郷土資料館では、市内の特徴ある祭り・行事をリストアップし、記録調査を行いました。

・民謡

昭和 54 年(1979)から昭和 55 年（1980）にかけて千葉県教育委員会が労作歌や祭り歌など伝承されている民謡について全県的な調査を行いました。

（４）記念物

・遺跡

千葉県教育委員会が埋蔵文化財の分布調査を行いました。旧鴨川市は昭和 62 年(1987)に、天津小湊町は平成 11 年(1999)に調査を行い、周知の埋蔵文化財包蔵地の地図を作成しました。

・動物・植物・地質鉱物

市史編さん事業の過程で調査が行われ、旧鴨川市は「鴨川市史 通史編」（平成８年（1996））に、天津小湊町は「天津小湊の海浜生物」（平成６年（1994））、「天津小湊の植物」（平成７年（1995））、「天津小湊の地形と地質」（平成 11 年（1999））があります。

平成７年（1995）に千葉県教育委員会が「千葉県地質鉱物基礎調査」を実施しました。

（５）文化的景観

現在選定されている文化財はありませんが、市内を対象とした調査は未実施です。大山地区の大山の千枚田文化的景観保存活用実行委員会が『大山の千枚田文化的景観保存活用計画』（平成 18 年（2006））を策定しました。

（６）伝統的建造物群

現在選定されている文化財はありません。

（７）石造物

天津小湊町は、平成８年(1996)から４年にわたり、石造物の所在調査を行い、703 件を確認しました。旧鴨川市は、平成 15 年(2003)から６年にわたり、鴨川市郷土史研究会が調査を行い、3,557 件を確認しました。

鴨川市文化財の分類ごとの把握調査

分類			江見	鴨川	長狭	天津小湊
有形文化財	建造物	社寺建築	△	△	△	△
		民家店舗等	×	×	×	×
		近代化遺産	△	×	×	×
	美術工芸品	絵画	×	△	△	×
		彫刻	△	△	△	○
		工芸品	×	△	×	×
		書跡・典籍	×	△	×	×
		古文書	○	○	○	◎
		考古資料	◎	◎	◎	◎
		歴史資料	△	△	△	△
無形文化財			△	△	△	△
民俗文化財	有形の民俗文化財		◎	◎	○	◎
	無形の民俗文化財		△	△	△	◎
記念物	遺跡		◎	◎	◎	◎

	名勝地	◎	◎	◎	◎
	動物・植物・地質鉱物	◎	◎	◎	◎
文化的景観		×	×	×	×
伝統的建造物群		×	×	×	×
石造物		◎	◎	◎	◎
その他	地名	◎	◎	◎	◎
	民話	◎	◎	◎	◎
	事績・逸話	◎	◎	◎	◎
	方言	◎	◎	◎	◎

◎　把握調査完了
○　把握調査の一部未完了若しくは実施中
△　把握調査は未実施だが、個別で調査がされ資料がある地区
×　把握調査は未実施

３　今後の調査方針

（１）分類別の文化財調査

有形文化財の建造物のうち、社寺建築は、江見、鴨川、長狭、天津小湊の４地区すべて把握調査は未実施です。民家店舗等及び近代化遺産は４地区で未実施です。石造物（石塔）は調査が完了しました。

美術工芸品は、絵画、工芸品、書跡・典籍、歴史資料は４地区で未実施です。彫刻は、天津小湊地区で一部完了、古文書は天津小湊地区が完了、江見地区、鴨川地区、長狭地区は一部未完了、考古資料は４地区すべて完了しました。

無形文化財は、４地区すべて未実施です。

民俗文化財のうち、有形の民俗文化財は、江見地区、鴨川地区、天津小湊地区は完了です。長狭地区は神輿屋台の調査が一部未完了です。無形の民俗文化財は、江見地区、鴨川地区、長狭地区が未実施です。

記念物は、遺跡、名勝地、動物・植物・地質鉱物の把握調査が完了しました。

文化的景観及び伝統的建造物群は、４地区すべて未実施です。

その他の地名、民話、方言は調査が完了しました。

（２）調査の方向性

文化財の分類ごとの把握調査は、基礎的な情報収集として重要であり、引き続き実施する必要があります。そのためには専門知識を有する人材の育成や高等教育機関、専門機関などとの連携体制の整備、調査体制の充実を図ることが重要です。

また、市民皆さんが大切にしているものを未来へ引き継ぐため、文化財を市民目線で捉える市民参加型の体制整備を図ることも必要です。これにより、文化財を多角的な視点から俯瞰し、既存の分類や調査対象に関わらず、幅広く把握していくことができます。

第６章　文化財の保存・活用に関する基本方針及び取組

１　将来像及び基本方針

（１）将来像

鴨川市が目指す文化財の「将来像」

心豊かな未来を紡ぐ 鴨川の文化財

本市の歴史文化は、かつて当地に居住していた人々の活動の成果であり、営まれてきた生活そのものです。つまり、暮らしや経験から得られた知識や知恵の蓄積により、この地域に固有の歴史文化が生み出されてきたものといえます。

この先人の築いた歴史文化が、文化財であり、郷土であり、未来です。

国民共有の財産である文化財は、今を生きる我々だけのものではなく、次世代に受け継いでいくことが必要であり、我々に課せられた使命でもあります。この使命を達成するため、市民、地域、行政がともに手を取り、文化財を守り、未来へ受け継ぐことが地域の発展と豊かな市民の心が育まれる力になるものと考えます。本市の将来像の達成を目指し、それぞれの立場での取組を推進します。

大弁天・小弁天（小湊）

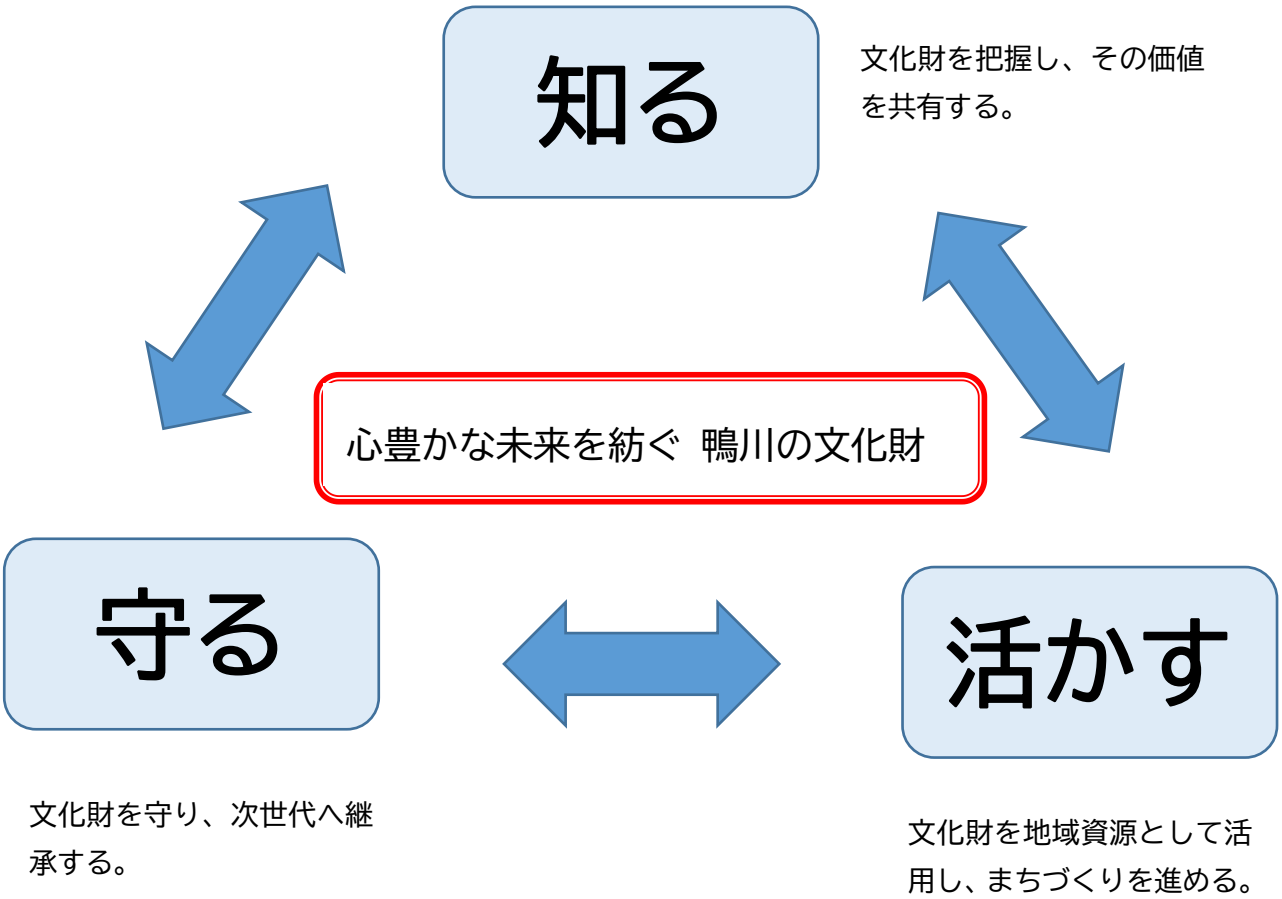
（２）基本方針

上記の将来像を達成するため、次の３つの基本方針と視点に基づき、文化財の保存・活用を推進します。

基本方針１「知る」　　視点：把握　共有　関心・学習

基本方針２「守る」　　視点：保存・継承　防災・防犯　地域

基本方針３「活かす」　視点：活用　ブランド化　体制



２　文化財の保存・活用に関する課題

（１）課題の確認

本市のこれまでの文化財行政の取組からは、文化財所有者への支援など不十分な点や文化財保存・活用の体制整備などの問題点が確認できます。

また、市民アンケートの意見から、文化財の現状の改善や広報などの発信力不足について指摘があります。これらを文化財の課題と捉え、３つの基本方針と視点ごとに次のように課題を整理します。

基本方針	1 知る 文化財を把握し、その価値を共有する	視点	(1)把握	課題	・地域で守り伝えられてきた文化財の把握調査が不十分です。 ・調査成果の管理が不十分です。
			(2)共有		・調査・研究が不十分です。 ・情報発信が不足しています。 ・デジタル化の推進が必要です。
			(3)関心・学習		・地域を学ぶ機会が不足しています。
	2 守る 文化財を守り、次世代へ継承する		(4)保存・継承		・文化財所有者や保存団体への支援が不十分です。 ・実効性のある管理計画への見直しが必要です。 ・文化財の価値を周知する取組が不十分です。 ・文化財所有者や管理者との連携が不十分です。 ・埋蔵文化財包蔵地の周知が不十分です。
			(5)防災・防犯		・文化財を災害から守るための備えが不十分です。
			(6)地域		・文化財所有者や関係団体との連携が不十分です。
	3 活かす 文化財を地域資源として活用し、まちづくりを進める		(7)活用		・観光に活用されていません。 ・文化財の活用分野が限られています。 ・文化財所有者や保存団体への支援が不十分です。
			(８)ブランド化		・文化財のブランド化の取組が不足しています。
			(9)体制		・文化財保存・活用の体制整備が必要です。

（２）課題の整理

【 １ 知る 】

・地域で守り伝えられてきた文化財の情報を確認する作業を引き続き行う必要があります。所在や分布を確認する把握調査、把握した文化財が今どうなっているかを確認する現状調査、文化財の価値づけのための詳細調査、記録作成を目的とする記録調査などを行い、文化財情報の充実が求められています。

・市民皆さんの文化財への関心を高めるため、SNS を活用した情報発信や文化財情報のデジタル化などの環境整備が必要です。

・文化財の正しい知識を得るための機会が不足しています。郷土資料館や図書館、公民館の更なる活用が必要です。

地域を学ぶ歴史講座

【 ２ 守る 】

・文化財の保存・活用の担い手が減少することで、維持することや後世に引き継いでいくことが困難な状況になりつつあります。また、高額の修理費や維持費を必要とすることから、指定文化財となっている建造物を解体したいと相談があるなど、文化財を取り巻く状況は厳しくなっているといわざるを得ません。これらの問題は、一朝一夕に解決することはできませんが、行政、所有者、関係団体が共に手を携えて考えることで、課題解決に向けた取組を進めていく必要があります。

・近年、多発する自然災害や盗難被害に対応するため、被災状況を想定した備えを準備する必要があります。あらかじめ被災時の行動を準備することで、文化財を守る可能性が格段に高まります。

・近隣市町との広域連携や文化財を支えるボランティアの育成など、地域全体で文化財の保存・活用に取り組む必要があります。

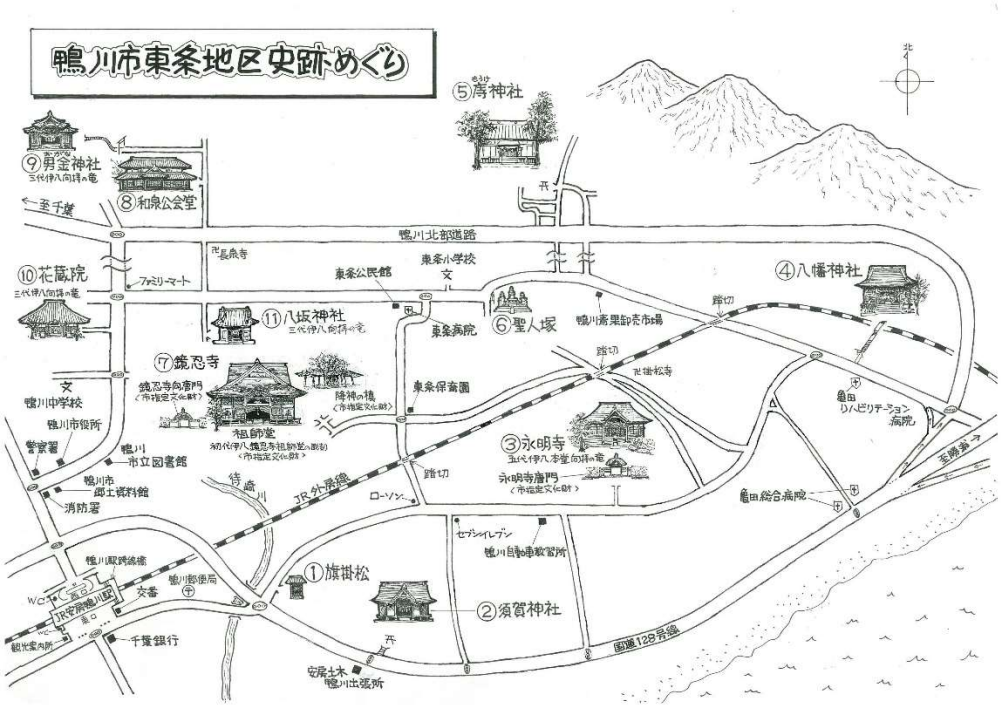
ボランティアによる史跡整備

【 3 活かす 】

・文化財の魅力を活かすためには、健康や観光などの分野を問わず有効に活用することが求められています。文化財を歩いて巡ることで健康維持に繋げたり、新たな観光周遊ルートを構築したりする取組が必要です。

・ブランド化や商品化などの文化財を活用する取組が不足しています。

・文化財を活かすには、継続性が大切です。これらの取組を続けていくには、行政をはじめとして、所有者や関係団体などの体制を整備する必要があります。



史跡めぐりマップ（東条地区）

３　文化財の保存・活用に関する方針と取組

本市の将来像を達成するため、前掲の３つの基本方針と９の視点、18 の課題から方針を設定し、次の取組を実施します。

取組期間は、令和８年度から令和 17 年度までの 10 年間で、取組時期を前期、中期、後期に区切っています。

取組は、財源として市費、県費、国費（文化財補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金等）、その他民間資金等を活用しながら進めます。民間資金は、民間団体の助成金の情報収集を行ったり、企業版ふるさと納税、ガバメントクラウドファンディング、クラウドファンディングなどの財源確保に努めます。

〇凡例

（１）取組主体

市・・・・・鴨川市
所有者・・・所有者、管理者、保存団体
地域住民・・市民、企業、観光客
専門機関・・大学、高等学校、研究機関
関連団体・・市民団体、ボランティア団体、近隣市町

（２）所管課

〇・・・生涯学習課
図・・・生涯学習課図書館
総・・・企画総務部総務課
危・・・企画総務部危機管理課
健・・・市民福祉部健康推進課
観・・・建設経済部商工観光課

（３）取組時期

令和８年（2026） ～令和 10 年（2028）	令和 11 年（2029） ～令和 14 年（2032）	令和 15 年（2033） ～令和 17 年（2035）
前　期	中　期	後　期

検討段階　　実施段階

【基本方針１　知る　】

（１）把握に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
地域で守り伝えられてきた文化財の把握調査が不十分です。	市域の文化財を把握するための調査	1-1	文化財把握調査の実施 未指定文化財について、類型・地区別に把握調査を行います。	○			○				
		1-2	市史の記録調査 区有文書や個人所有の古文書など郷土の歴史史料を調査し、目録の作成などの整理作業を行います。	○	○						
	郷土の歴史を調査・研究する団体の活動支援	1-3	調査・研究活動の支援 郷土史研究会など文化財に関心の高い団体の調査活動を支援します。	○				○			
調査成果の管理が不十分です。	調査データの管理の推進	1-4	調査データの管理 文化財調査により得られた情報を適切に管理します。	○							
	市史の編さん、調査・研究成果の公表	1-5	鴨川市史の刊行 郷土の歴史文化の調査・研究成果を市史として編さん・刊行します。	○							

（２）共有に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
調査・研究が不十分です。	大学等の専門機関と連携した調査・研究	1-6	大学等の専門機関との連携による調査・研究 大学、専門機関及び関連団体等と連携を図り、相互に調査協力や情報提供を行い、その成果を共有します。	○			○	○			
情報発信が不足しています。	情報発信の強化	1-7	情報発信事業 広報誌やホームページ、SNS を活用し、市内外への情報発信に努めます。	○ 総	○						
		1-8	市民遺産案内板の設置及び更新 市民遺産の解説板や案内板の設置、老朽化の進む既存看板の更	○							

			新を行います。								
デジタル化の推進が必要です。	デジタルミュージアム構想の推進	1-9	デジタルミュージアム構想 郷土資料館のホームページにデジタルミュージアムを構築します。	○							
	文化財のデジタル化の推進	1-10	デジタルデータの作成 収蔵資料や文化財情報をデータベース化し、デジタル化を推進します。	○	○						

（３）関心・学習に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
地域を学ぶ機会が不足しています。	郷土資料館の機能を活用し、学ぶ機会を提供	1-11	郷土資料館の運営と機能強化 郷土資料館の運営や機能強化を図り、郷土の歴史文化を学ぶ機会を提供します。	○							
		1-12	企画展等の開催 文化財調査や研究の成果を郷土資料館企画展で発表し、来館者や市民に還元します。	○		○					
		1-13	生涯学習活動の推進 文化財や郷土の歴史などを学ぶ講座を実施します。また、公民館教室の実施を支援します。	○		○					
		1-14	学校教育連携事業 小中学生を対象に出前授業を行います。	○		○					
		1-15	アート拠点施設としての利用促進 郷土資料館をアート拠点施設として機能強化を図り、美術的価値の高い資料の展示により、芸術文化と文化財の相乗効果を見込みます。	○							
	地域の歴史資料の収集・公開	1-16	郷土の図書収集・公開事業 市立図書館に郷土資料室を設置し、関連図書を収集・公開します。	○ 図							
	郷土の食文化を学ぶ機会の提供	1-17	食文化を学習する機会の提供 郷土料理レシピの共有や調理方法を学ぶ機会を提供します。	○ 健				○			

【基本方針２　守る　】

（１）保存・継承に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
文化財所有者や保存団体への支援が不十分です。	文化財の担い手育成	2-1	後継者の育成 文化財所有者や保存団体と連携し、文化財の保存に関する担い手の育成を促進します。	○	○						
	文化財所有者との連絡体制の確立	2-2	文化財所有者との情報共有 日ごろから文化財に関する情報を共有し、緊急時の対応に不足がないようにします。	○	○						
	文化財の修理計画などの支援	2-3	指定文化財の現況調査 指定文化財の経年劣化などを確認し、修理計画の立案などを支援します。	○	○						
		2-4	指定文化財の修理工事に対する支援 指定文化財の保存・活用を図るため、修理計画に基づく工事に対し、適切に支援します。	○	○						
		2-5	大山寺保存修理支援事業 大山寺修理計画に基づく工事に対し、適切に支援します。	○	○						
		2-6	無形民俗文化財保存事業 県・市指定無形民俗文化財の保存と活用を図るため、文化財保存団体の活動を支援します。	○	○						
		2-7	清澄の大スギ保存整備事業 国指定天然記念物「清澄の大スギ」の保存整備を図るため、スギカミキリによる食害の防除事業等に対し支援します。	○	○		○				
実効性のある管理計画への見直しが必要です。	市が管理者となっている文化財の適切な管理	2-8	鯛の浦タイ生息地管理事業 国指定特別天然記念物「鯛の浦タイ生息地」について、管理計画に基づく適切な管理を行います。また、保存活用計画への移行を進めます。	○	○			○			
文化財の価値を周知する取組が不十分です。	文化財指定の推進	2-9	文化財の指定 本市の文化財のうち特に重要と認めるものを、新たに鴨川市指定文化財に指定します。	○	○		○				

		2-10	文化財指定に向けた調査 専門家の協力を得ながら、文化財の価値づけのための詳細調査を行います。								
	文化財登録制度の創設	2-11	文化財登録制度の創設 本市の文化財登録制度について、開始時期を検討します。	○			○				
文化財所有者や管理者との連携が不十分です。	文化財所有者との連携	2-12	文化財所有者との連絡体制の構築 指定文化財の所有者・管理者と定期的に連絡を取り、資料の所在を確認するとともに、住所変更届など漏れがないようにします。	○	○						
埋蔵文化財包蔵地の周知が不十分です。	埋蔵文化財包蔵地の周知啓発	2-13	埋蔵文化財の保護の推進 土木工事等により周知の埋蔵文化財包蔵地が破壊されないよう、開発事業者に周知を図ります。	○		○					

（２）防災・防犯に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
文化財を災害から守るための備えが不十分です。	文化財所有者の防災･防犯意識の向上	2-14	防災・防犯に関する意識向上 文化財所有者等に対し、文化財の防災・防犯に関する情報を毎年定期的に周知し、注意喚起していきます。また、講習会の開催について検討します。	○ 危	○						
		2-15	文化財等の防災・防犯対策の検討と実施 市が管理する文化財等の被災状況を想定した防災・防犯対策を検討し、定期的に見直します。	○	○						
	防災訓練の実施	2-16	防災訓練の実施及び支援 郷土資料館における防災訓練の実施や文化財所有者が文化財防火デーに実施する防災訓練を支援します。	○	○						
	災害時を見据えた文化財の適正管	2-17	台風や豪雨などによる防災のための定期的な文化財の見回り 近年、台風や豪雨、強風による建	○	○						

	理		物、樹木への被害が増加していることから、倒木や枝落ちなどの危険がないか定期的な文化財の見回りを実施します。								
	災害時の応急･復旧体制の整備	2-18	応急・復旧体制の整備 災害時における応急体制や復旧体制を整備し、所有者や管理者に周知します。	○	○						
		2-19	郷土資料館資料救済活動 災害時に被災した資料を千葉県博物館協会加盟館が相互に救済します。	○			○				
		2-20	民間資料救済支援活動 民間所有資料について、災害時にスムーズな救済活動が受けられるよう連携体制を確保します。	○	○		○				

（３）地域に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
文化財所有者や関係団体との連携が不十分です。	近隣市町と連携と保存活用の推進	2-21	嶺岡牧跡の保存・活用連携事業 嶺岡牧跡が所在する南房総市との更なる連携を図るとともに、嶺岡牧の保存活用に取り組みます。	○	○	○		○			
	文化財の保存管理の支援	2-22	文化財の保存管理の支援 文化財の景観保全のため、所有者や地域住民が行う除草や剪定などの管理活動を支援します。	○	○	○		○			
		2-23	ボランティアの育成 文化財調査や文化財の管理を行うボランティアを育成します。	○	○	○					
	郷土の歴史を生かした活動の支援	2-24	文化活動支援事業 郷土の歴史文化を活かした活動を行う団体を支援します。 調査研究活動の成果を発表する場を提供します。	○				○			

【基本方針３　活かす　】

（１）活用に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
観光に活用されていません。	文化財の観光資源としての有効活用	3-1	歴史文化周遊ルート構築事業 商工団体や観光団体と連携し、歴史文化を巡る新たな周遊ルートを構築します。	○ 観	○	○		○			
		3-2	鴨川市民遺産の活用 鴨川市民遺産を活かした取組を進め、歴史と文化の香るまちづくりを推進します。	○	○	○					
		3-3	歴史文化体験プログラム 自然遺産や里山の生物を現地で学習する体験プログラムを提供します。	○		○		○			
		3-4	歴史文化の香りを活かしたまちづくりの推進 天然記念物や名勝地など鴨川市民遺産を生かしたウォーキングイベントなどを開催します。	○		○		○			
文化財の活用分野が限られています。	文化財の活用	3-5	健康を維持するための取組 鴨川市民遺産を巡るポイントを設け、健康維持の取組を支援します。	○ 健	○			○			
文化財所有者や保存団体への支援が不十分です。	文化財所有者の活用支援	3-6	文化財公開事業 指定文化財の公開を促進します。	○	○						

（２）ブランド化に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
文化財のブランド化の取組が不足しています	文化財のブランド化の推進	3-7	鴨川市民遺産のブランド化 鴨川市民遺産のブラッシュアップを図り、ブランド化を推進します。	○				○			

す。		3-8	鴨川市民遺産の商品化 鯛せんべいや長狭米を使用した菓子など、鴨川市民遺産を活用した商品化を推進します。	○				○			

（３）体制に関する取組

課題	方針	事業		取組主体					取組時期		
		No.	事業の名称と概要	市	所有者	地域住民	専門機関	関連団体	前期	中期	後期
文化財保存・活用の体制整備が必要です。	文化財保存・活用の人員・体制	3-9	文化財担当部署の体制整備 文化財に関する事務を担当する生涯学習課文化振興係の体制強化を図ります（専門職の増員やや適正配置、技術の継承）。	○							
	庁内の体制整備	3-10	庁内推進体制の充実 まちづくり、観光、産業、地域振興及び文化財担当が連携し、文化財の保存・活用に関する全庁的な推進体制を構築します。	○							
	文化財の財政支援の強化	3-11	財源確保の仕組みづくり 文化財の保存に要する財源を確保するため、文化庁資金調達ハンドブックなどからの情報収集に努め、関係団体に周知を図ります。	○	○						

第７章　文化財の防災及び防犯

１　近年の被災状況

近年、地震や台風、集中豪雨などによる自然災害が頻発し、本市もたびたび自然災害による指定等文化財の被害を経験しました。最近では、令和元年(2019)秋の台風第 15 号、熱帯低気圧(台風第 20 号)で、登録文化財４件、市指定文化財のうち、建造物１件、天然記念物４件の他、社寺など多くの歴史的建造物で、屋根茅や瓦の破損、枝折れなどの被害が発生しました。

自然災害以外では、火災による建造物や美術工芸品などの被害も懸念されます。近年では例がありませんが、平成元年(1989)には来秀地区の滝山寺本堂の火災で、市指定文化財の絵馬２点が焼失し、指定解除となりました。

全国的に大きく報道された、建物に液体がかけられる、銅板が盗まれるなどの人為的な被害については、本市では確認されていません。

このような自然災害や火災、あるいは故意の毀損、盗難などから守るための措置や、合わせて被災した際の速やかな修理・復旧への対応が求められています。

２　防災及び防犯に関する考え

文化庁では、毎年１月の文化財防火運動(文化財防火デー)の展開などを通じて、国宝・重要文化財の防火などの対策を実施してきていますが、沖縄の首里城跡やフランスのノートルダム大聖堂の火災を受けて、全国的な点検を行い、「国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン」、「国宝・重要文化財(美術工芸品)を補完する博物館等の防火対策ガイドライン」に反映させ、令和元年(2019)、改めて「世界遺産・国宝等における防火対策５か年計画」を策定しました。

千葉県においては、令和２年（2020）策定の「千葉県文化財保存活用大綱」で防犯・防災及び災害発生時の対応として、方針や具体的な取組を示しています。

本市では、令和３年（2021）２月策定の「鴨川市国土強靭化地域計画」で、「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ)」として「貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化財の衰退・損失」を挙げ、文化財の防災・減災に関する活動の支援や促進など基本的な方針を示しています。

これら国、県、市それぞれの考え方を念頭に、文化財等の防災・防犯に関する方針を定めていきます。防災及び防犯の考え方は、災害発生を見据えた予防、発災時の対応、復旧段階に分けられます。ただし、文化財の種類、置かれた環境、台風や地震といった自然災害、火災、盗難といった要因などにより具体的な対策、対応は異なってきます。日常の共通する対策、対応を踏まえ、個々に検討する必要があります。

３　防災及び防犯に関する方針と取組

指定等文化財を守り、未来へ受け継ぐため、耐震工事などの対策事業（ハード）や、避難

訓練や防災意識向上のための講習会などソフト面での防犯・防災事業（ソフト）の実施が必要です。

（１）公助、共助、自助

防災・防犯対策を推進するうえでは、行政による公助、地域住民による共助、所有者による自助が必要であり、それぞれの視点から取組を進めます。

（２）体制づくり

防災・防犯は、日常管理が重要であり、その意識を高め、体制づくりに努めるとともに、防犯・防災設備の充実と定期点検や修理など必要な対策を講じます。

（３）災害発生の備え

災害発生時には、所有者、関係者や担当職員の安全を最優先としつつ、被害情報の収集から応急措置、復旧への対応など、文化財の保全に努めます。

また、防災、防犯や災害時の被害確認方法、緊急の保護措置や事後の対応手順などについて、事案発生に備え総括的に検討します。

千葉県博物館協会では、災害時の被災資料を加盟館が相互に救済する体制を整備しており、定期的に訓練を実施しています。民間が所有する資料は、通常時の情報共有に努め、災害時のスムーズな救済活動が受けられるよう、連携体制を確保します。さらには、資料救済の知識を深めるための講座を開催します。

令和元年９月房総半島台風による被害　（大山寺鐘楼（市指定文化財））

令和元年９月房総半島台風による被害　（杉庵山口志道誕生地（市指定史跡））

第８章　推進体制

１　鴨川市の文化財保存活用推進体制

本市の文化財に関する事務は、教育委員会生涯学習課が所掌します。生涯学習課は、文化庁及び千葉県教育委員会文化財課などの関係行政機関の指導、助言を得ながら、庁内関係部局及び関係機関と連携し事務を執行します。

令和７年４月１日現在の文化財担当部局の体制は次のとおりです。

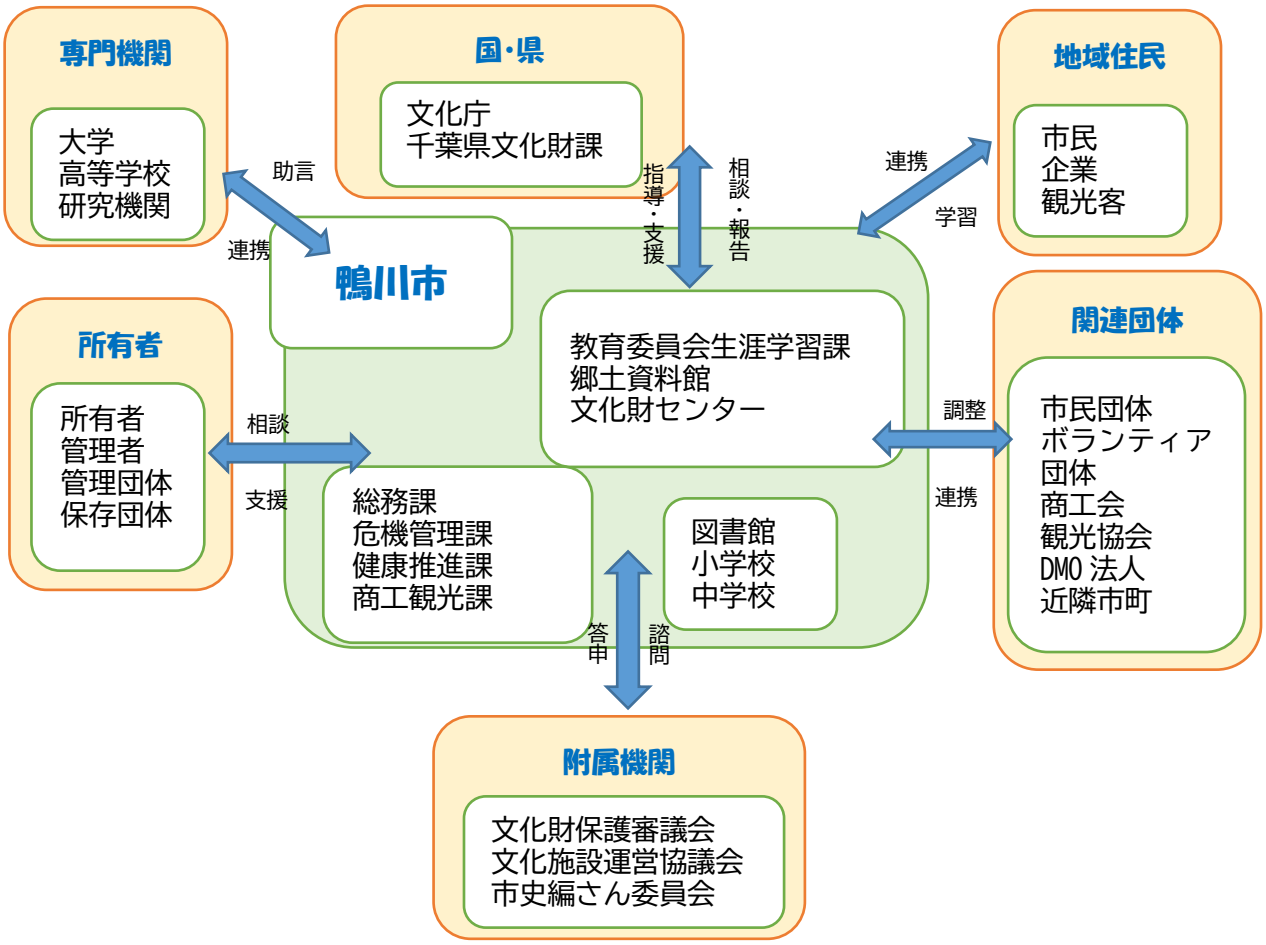
部局名	主な事務	職員配置
教育委員会生涯学習課 文化振興係	芸術及び文化の振興に関すること 文化財の指定及び保護に関すること 埋蔵文化財に関すること 市史の編さんに関すること　など	正職員２人 会計年度任用職員３人
（教育機関）	主な事務	職員配置
鴨川市郷土資料館	資料の収集、保存、展示及び活用に関すること 資料に関する講演会、講習会、研究会、その他学習活動の開催に関すること　など	（文化振興係兼務）
鴨川市文化財センター	文化財及び資料の収集、保存、展示及び活用に関すること 文化財に関する講演会、講習会、研究会、その他学習活動の開催に関すること　など	（文化振興係兼務）
鴨川市民ギャラリー	文化活動のための施設の提供に関すること 美術作品の展示、発表及び研修会の開催に関すること　など	（文化振興係兼務）
（附属機関）	主な事務	委員
鴨川市文化財保護審議会	文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を行うこと	７人以内
鴨川市文化施設運営協議会	文化施設の管理運営並びに文化施設における事業の実施及び奨励に関することその他文化施設の振興に関する調査審議を行うこと	７人以内
鴨川市史編さん委員会	歴史の研究又は市史の編さんに必要な歴史的文献及び遺物の収集、保存及び調査研究に関すること 市史の編さん及び刊行に関すること その他市史編さんに関する必要な助言及び基本的事項に関すること	５人以内

庁内関係部局

部局名
教育委員会生涯学習課図書館 企画総務部総務課 企画総務部危機管理課 市民福祉部健康推進課 建設経済部商工観光課

所有者などの関係者及び団体

所有者	備考
所有者 管理者 管理団体 保存団体	
地域住民	**備考**
市民 企業 観光客	自治会、隣組
専門機関	**備考**
大学 高等学校 研究機関	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林 千葉大学海洋バイオシステム研究センター 千葉県立長狭高等学校 学校法人令徳学園鴨川令徳高等学校 千葉県博物館協会 鴨川シーワールド
関連団体	**備考**
市民団体 ボランティア団体 商工会 観光協会 DMO 法人 近隣市町	鴨川市郷土史研究会 一般社団法人波の伊八鴨川まちづくり塾 鴨川市商工会 一般社団法人鴨川市観光協会 鴨川観光プラットフォーム株式会社 南房総市



２　体制整備の課題及び方針

（１）職員の配置

文化財行政に関する事務は、学芸員などの資格を持つ専門職の職員が事務執行することが望ましいといえます。文化財に関連する事務として、文化財指定物件の調査や埋蔵文化財の保護に係る手続、郷土資料館の企画運営や市史編さんに関する史料整理・保存などがあります。これらの事務は、専門知識に基づく調査研究などの経験の積み重ねにより技術が培われるもので、その技術の継承には相応の期間を要します。

平成 25 年（2013）時点で、文化財及び文化事業全般を担当する文化振興係の正職員５人の配置に対し、令和７年（2025）時点の同様の事務分掌に対し、正職員２人の配置です。職員の配置は、年齢構成や資格の有無、過去の勤務経験などを考慮し、事務量と専門性に基づく適正配置が必要です。

また、専門職の採用や適正配置、育成を図るとともに、関連部局との連携、文化財保護審議会や市史編さん委員会からの助言指導により、文化財の継続的な保存・活用体制を整備します。

（２）関係団体との協力体制

文化財所有者の後継者不足、維持管理にかかる負担などに対応するため、行政と所有者の情報共有を図り、緊密な連携を確保し適切な支援を行います。

市内に研究機関やセミナーハウスを持つ東京大学、千葉大学、早稲田大学、東洋大学や連携協力に関する包括協定を結ぶ立正大学などとの共同調査や共同研究を実施し、文化財所有者へのサポートに活かします。

郷土史研究会などの民間団体の活動を支援し、鴨川文化遺産の保存・活用の推進体制の充実を図ります。

資料編目次

１　地域計画の作成体制と経過 74
２　文化財リスト 78
（１）指定文化財等一覧 78
①国指定文化財 78
②県指定文化財 78
③市指定文化財 79
④国登録文化財 80
⑤県登録文化財 81
（２）未指定文化財等一覧 82
①有形文化財 82
②有形の民俗文化財 84
③無形の民俗文化財 84
④記念物 90
⑤文化的景観 104
⑥【石造物】 106
⑦その他の分類 111
・地名（小字） 111
・民話 179
・事績と逸話 182
・方言 186
３　報告書・出版物リスト 195
（１）鴨川市文化財の把握調査及び報告書 195
（２）鴨川市の出版物 197
４　鴨川市文化財に関する市民アンケート 200

１　地域計画の作成体制と経過

【鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会】

氏名	役職等	備考
佐藤　恵重	鴨川市文化財保護審議会委員 鴨川市史編さん主任委員	学識経験者
吉田　明子	鴨川市社会教育委員	副会長 学識経験者
庄司　政夫	和泉の三役保存会会長 和泉区長	会長 文化財保存団体
石田　三示	鴨川市社会教育委員 NPO 法人大山千枚田保存会理事長	文化財保存団体
千野　祐輔	心巖寺住職	文化財所有者
杉山　智光	誕生寺財務部長	文化財所有者 ～令和６年３月 31 日
荻野　泰継	誕生寺執事長	文化財所有者 令和６年４月１日～
原田　洋美	元鴨川ガイド協会	ボランティア団体
久保寺　辰彦	鴨川市郷土史研究会会長	ボランティア団体
山口　直矢	鴨川市商工会事務局長	商工関係団体
刈込　信道	一般社団法人鴨川市観光協会副会長	観光関係団体
稲村　弥	千葉県教育庁教育振興部文化財課長	千葉県 ～令和６年３月 31 日
四柳　隆	千葉県教育庁教育振興部文化財課長	千葉県 令和６年４月１日 ～令和７年３月 31 日
大内　千年	千葉県教育庁教育振興部文化財課長	千葉県 令和７年４月１日～

大久保　孝雄	企画総務部長	鴨川市 ～令和６年３月 31 日
野村　敏弘	企画総務部長	鴨川市 令和６年４月１日～
鈴木　克己	市民福祉部長	鴨川市
野村　敏弘	建設経済部長	鴨川市 ～令和６年３月 31 日
角田　敬夫	建設経済部長	鴨川市 令和６年４月１日 ～令和７年３月 31 日
川崎　正博	建設経済部長	鴨川市 令和７年４月１日～
山口　昌宏	教育委員会教育次長	鴨川市

任期：令和５年７月 19 日から鴨川市文化財保存活用地域計画認定の日まで

【鴨川市文化財保護審議会】

氏　名	分　野	備　　考
渡邉　宏	有形文化財（建築）	副会長
松原　智美	有形文化財	
佐藤　恵重	有形文化財	
小谷　善親	有形文化財	会長
富樫　辰也	記念物（海洋）	
鎌田　直人	記念物（植物）	

任期：令和５年４月１日～令和７年３月３１日

氏　名	分　野	備　　考
松原　智美	有形文化財	
富樫　辰也	記念物（海洋）	
鎌田　直人	記念物（植物）	
岡田　晃司	有形文化財	
石川　丈夫	有形文化財	
久保寺　辰彦	有形文化財	
森谷　義眞	有形文化財	

任期：令和７年４月１日～令和９年３月３１日

地域計画作成の経過

開催日	会議名	概要
令和５年 ７月７日（金）	鴨川市文化財保護審議会第１回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画の策定について（諮問）
７月 19 日（水）	鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会第１回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会の運営方法について ・鴨川市文化財保存活用地域計画の策定について ・市民アンケートについて
10 月 17 日（火）	鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会第２回会議	・市民アンケートについて ・鴨川市文化財保存活用地域計画について
令和６年 ３月 14 日（木）	鴨川市文化財保護審議会第２回会議	
３月 18 日（月）	鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会第３回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画について

10月18日（金）	鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会第４回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画について
令和７年 ３月24日（月）	鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会第５回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画について
８月	鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会第６回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画について
８月	鴨川市文化財保護審議会第３回会議	・鴨川市文化財保存活用地域計画について

２　文化財リスト

（１）指定文化財等一覧

①国指定文化財

区分	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
特別天然記念物	鯛の浦タイ生息地	小湊	鴨川市	大 11.3.8
				昭 42.12.27 特別に昇格
天然記念物	清澄の大スギ	清澄	清澄寺	大 13.12.9

②県指定文化財

区分	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財（建造物）	清澄寺中門	清澄	清澄寺	昭 39.4.28
	薬王院薬師堂　附棟札２枚	粟斗	薬王院	平 6.2.22
	誕生寺仁王門	小湊	誕生寺	平 9.3.21
	大山寺不動堂　附棟札１枚	平塚	高倉神社別当寺大山寺	平 7.3.14
	清澄寺石造宝篋印塔（応永 14 年在銘）	清澄	清澄寺	昭 40.4.27
	清澄寺石幢（応永 31 年在銘）	清澄	清澄寺	昭 40.4.27
有形文化財（工芸品）	梵鐘（明徳 3 年在銘）	清澄	清澄寺	昭 39.4.28
有形文化財（彫刻）	銅造阿弥陀如来立像及び両脇侍立像	天面	西徳寺	昭 35.6.3
	木造不動明王坐像及び両脇侍立像	平塚	高倉神社別当寺大山寺	昭 45.1.30
	木造地蔵菩薩坐像	大幡	龍江寺	昭 45.1.30
	木造行道面	貝渚	心巌寺	平 7.3.14
	木造薬師如来坐像	内浦	西蓮寺	昭 48.3.28（市指定）
				平 21.3.17（県指定）
有形文化財（考古資料）	旭森経塚遺物	清澄	清澄寺	昭 39.4.28
有形文化財（古文書）	安田文書	細野	個人	昭 45.1.30
	富木殿御書	広場	鏡忍寺	昭 50.12.12
	富城殿女房尼御前御書	小湊	誕生寺	昭 57.4.6
無形民俗文化財	北風原の羯鼓舞	北風原	北風原羯鼓舞保存会	昭 29.3.31
無形民俗文化財	吉保八幡のやぶさめ	仲	長狭やぶさめ保存会	昭 40.4.17
史跡	古泉千樫誕生地	細野	個人	昭 44.1.30
名勝	仁右衛門島	太海浜	個人	昭 10.3.26

	鴨川大山千枚田	釜沼	千枚田保存会	平 14.3.29
天然記念物	明神の鯛	城戸地先海上	鴨川市	昭 10.3.26
	天津のまるばちしゃの木	天津	神明神社	昭 10.11.12
	清澄のモリアオガエル	清澄	清澄寺	昭 40.4.27
	鴨川のバクチノキ群生地	古畑	悉地院他	昭 50.12.12
	鴨川の枕状溶岩	太海	千葉県	平 5.2.26

③市指定文化財

区分	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財（建造物）	大山寺鐘楼	平塚	高倉神社別当寺大山寺	昭 50.5.28
	鏡忍寺向唐門	広場	鏡忍寺	昭 53.7.24
	永明寺向唐門	西町	永明寺	昭 53.7.24
	来秀五輪塔群	来秀	個人	昭 50.5.28
	清澄寺石造宝篋印塔（応永 12 年在銘）	清澄	清澄寺	平 14.3.25
	清澄寺石造宝篋印塔	清澄	清澄寺	平 14.3.25
	大山寺石造宝篋印塔	平塚	高倉神社別当寺大山寺	平 16.6.2
	誕生寺祖師堂　附指図・棟札・奉納額	小湊	誕生寺	平 29.11.18
有形文化財（彫刻）	木造薬師如来立像	太尾	滝山寺	昭 51.10.19
	木造釈迦如来立像	太尾	滝山寺	昭 51.10.19
	木造如来坐像	広場	鏡忍寺	昭 53.4.25 令 5.9.5 名称変更
	木造日蓮聖人坐像（祖師堂安置）	小湊	誕生寺	平 15.12.22
	木造日蓮聖人坐像（本堂安置）	小湊	誕生寺	平 15.12.22
	木造阿弥陀如来坐像	内浦	西蓮寺	平 15.12.22
	木造大日如来坐像（大日堂安置）	内浦	西蓮寺	平 15.12.22
	木造日蓮聖人坐像	内浦	高生寺	平 15.12.22
	銅造千手観音立像	天津	海福寺	平 15.12.22
有形文化財（彫刻）	木造薬師如来坐像	清澄	清澄寺	平 15.12.22
	木造如来立像	清澄	清澄寺	平 15.12.22
	銅造観音菩薩立像	清澄	清澄寺	平 15.12.22
	西福寺本堂の彫刻	竹平	西福寺	昭 52.5.27
	金乗院大日堂の彫刻	打墨	金乗院	昭 52.5.27
	薬王院本堂の彫刻	粟斗	薬王院	昭 52.5.27
	鏡忍寺祖師堂の彫刻	広場	鏡忍寺	昭 52.5.27

	吉保八幡神社本殿向拝の彫刻	仲	吉保八幡神社	昭 52.5.27
有形文化財（考古資料）	毘沙門天板碑	清澄	清澄寺	平 14.3.25
	六地蔵板碑	清澄	延寿堂	平 14.3.25
有形文化財（彫刻）	石造五大明王	天津	自性院	平 14.3.25
有形文化財（考古資料）	江見吉浦の武蔵板碑	江見吉浦	鴨川市	平 16.12.24
有形文化財（建造物）	誕生寺石造三層塔	小湊	誕生寺	平 21.3.31
有形文化財（絵画）	浄土三曼陀羅	貝渚	心巌寺	昭 51.1.27
有形文化財（書跡）	大山寺棟札	平塚	高倉神社別当寺大山寺	昭 50.5.28
	滝山寺棟札	太尾	滝山寺	昭 51.10.19
有形文化財（古文書）	房州峯岡山野絵図・房州朝夷郡柱木野絵図（石井孫左衛門控）	坂東	個人	令 2.1.9
有形民俗文化財	善覚寺の近世文書	天津	善覚寺	昭 48.3.28
	山王講の山車と人形（恵比寿）附高蘭入れ木箱	前原	日枝神社及び山王講	平 23.5.26
	諏訪講の山車と人形（神功皇后・源頼義）	横渚	諏訪神社及び諏訪講	平 23.5.26
無形民俗文化財	大浦の担ぎ屋台巡行	貝渚	大浦水交団	平 4.9.8
	和泉の三役	和泉	和泉の三役保存会	平 12.2.21
	小湊の歌題目	小湊	小湊歌題目保存会	平 14.12.25
史跡	杉庵山口志道誕生地	寺門	個人	平 4.9.8
	ロシア人来航の地	布入地先海岸	安房土木事務所鴨川出張所	平 14.12.25
天然記念物	神明神社の林	天津	神明神社	昭 48.3.28
	奈良林の大ヒイラギ	奈良林	個人	昭 51.4.28
	長福院のイヌマキ	北小町	長福院	昭 51.4.28
	熊野神社のナギ	畑	熊野神社	昭 51.4.28
	西神社の大スギ	西	西神社	昭 51.4.28
	降神の槙	広場	鏡忍寺	昭 51.4.28
	白滝山の姉妹イチョウ	上小原	白滝山不動教会	昭 51.10.19
	清澄の大クス	清澄	清澄寺	平 14.12.25

④国登録文化財

区分	名称	所在地	所有者（管理者）	登録年月日
有形文化財	和泉公会堂	和泉	和泉区	平 11.8.23
	旧水田家住宅主屋	西	城西大学	平 14.2.14

（建造物）	旧水田家住宅長屋門	西	城西大学	平 14.2.14
	鈴木家住宅主屋	西町	個人	平 14.2.14
	鈴木家住宅離れ	西町	個人	平 14.2.14
	鈴木家住宅石蔵	西町	個人	平 14.2.14
	鈴木家住宅火入れ蔵	西町	個人	平 14.2.14
	鈴木家住宅穀蔵	西町	個人	平 14.2.14

⑤県登録文化財

区分	名称	所在地	所有者(管理者)	登録年月日
有形文化財 （彫刻）	鏡忍寺　蟇股 （武志伊八郎信由関連作品）	広場	鏡忍寺	令 6.2.7
	鏡忍寺　力士像 （武志伊八郎信由関連作品）	広場	鏡忍寺	令 6.2.7
	心巌寺　欄間「竜」 （武志伊八郎信由関連作品）	貝渚	心巌寺	令 6.2.7
	心巌寺　木鼻「象」 （武志伊八郎信由関連作品）	貝渚	心巌寺	令 6.2.7
	大山寺　倶利伽羅竜 （武志伊八郎信由関連作品）	平塚	高倉神社別当寺大山寺	令 6.2.7

（２）未指定文化財等一覧

①有形文化財

・建造物

【近世以前の建築物】

	社寺及び建物名	地域	年代
1	白幡神社本殿	貝渚	安永 9 年(1780)
2	男金神社本殿	和泉	享保 2 年(1717)
3	男金神社幣殿	和泉	文久 2 年(1862)
4	男金神社拝殿	和泉	文久 2 年(1862)
5	滝口神社本殿	太尾	寛政４年(1792)改築
6	熊野神社本殿	粟斗	元禄 14 年(1701)
7	熊野神社拝殿	粟斗	弘化 2 年(1845)
8	神蔵寺本堂	横渚	文政年間　19 世紀
9	阿弥陀寺弥陀堂	佐野	寛文年間　17 世紀
10	鏡忍寺仏殿	広場	天保 6 年(1835)
11	龍江寺地蔵堂	大幡	元禄 12 年(1699)
12	誕生寺誕生堂	小湊	文化 13 年(1816)
13	清澄寺摩尼殿	清澄	享保 16 年(1731)
14	西連寺大日堂	内浦	正徳年間　18 世紀
15	西連寺薬師堂	内浦	元禄 16 年(1703)

【近代建造物】

	社寺及び建物名	地域	年代	備考
1	山生橋梁	天面	大正 13 年(1924)	千葉県の産業・交通遺跡
2	名馬橋	江見太夫崎	昭和 5 年(1930)	千葉県の産業・交通遺跡
3	誕生寺客殿	小湊	昭和 10 年(1935)	千葉県の近代和風建築
4	江澤館	太海		千葉県の近代和風建築
5	羽原歯科医院	貝渚		千葉県の近代和風建築
6	尾高薬局	前原		千葉県の近代和風建築
7	桝屋呉服店	貝渚		
8	鶴乃屋旅館	貝渚		
9	旧野村歯科医院	前原		
10	ギャラリー紫と緑	天津		旧薬局
11	鈴木医院診療所	金束		
12	曽呂西分教場	西	明治 42 年(1909)推定	
13	清澄寺祖師堂	清澄	昭和 48 年(1973)	内井昭蔵の設計

・美術工芸品

【神仏像】　『天津小湊の神仏像調査報告書』重要作例

No.	名称	所在	時代	備考
1	木造釈迦如来坐像	薬師堂	近世	
2	木造薬師如来坐像	薬師堂	室町後期～桃山初期	
3	木造薬師如来坐像	清澄寺	桃山期	
4	木造虚空蔵菩薩立像	清澄寺	平安後期か	
5	木造虚空蔵菩薩立像	清澄寺	南北朝～室町期か	
6	銅造歓喜天立像	清澄寺	室町時代	
8	木造弘法大師坐像	清澄寺	近世初期	
9	木造僧形坐像	清澄寺	室町後期	
10	木造僧形坐像	清澄寺		
11	木造如来立像	二夕間堂	14 世紀頃か	
12	木造地蔵菩薩立像	海福寺	桃山～江戸初期か	
13	木造大日如来坐像	西蓮寺		
14	木造聖観音菩薩坐像	西蓮寺	室町時代後期	
15	木造釈迦如来立像	誕生寺	南北朝～室町初期	
16	木造日蓮聖人坐像	誕生寺	慶安５年(1652)	

【中世以前の古文書】

	名称	所有	年代
1	山名智兼等連署佐野寺別当職補任状	鴨川市	永徳３年(1383)
2	鎌倉府執事奉書	鴨川市	明徳４年(1393)
3	武田豊信制札写	清澄寺	弘治３年(1557)
4	正木憲時寄進状	清澄寺	天正２年(1574)
5	里見義頼朱印状	清澄寺	天正８年(1580)
6	里見義頼朱印状	鏡忍寺	天正８年(1580)
7	里見義頼朱印状	鴨川市 （寄託）	年未詳 天正９年（1581）以降
8	里見義頼判物	個人	天正９年(1581)
9	里見義康朱印状写	長安寺	天正 17 年(1589)
10	増田長盛知行方目録	個人	天正 18 年(1590)
11	高野山西門院勢雅書状写	鏡忍寺	文禄５年(1596)
12	里見義康書状写	鏡忍寺	文禄５年(1596)
13	里見義康黒印状	鴨川市	慶長２年(1597)

14	小町村并小原村境裁決状写	南小町区	慶長２年(1597)

②有形の民俗文化財

	名称
1	富士講関連資料(山包講)
2	富士講関連資料(山水講)
3	畠山勇子の雛人形
4	獅子神楽の頭(金山)
5	前原下本町の獅子頭
6	祇園講の獅子頭
7	吉保八幡のやぶさめ旧道具
8	やぶさめ衣装(坂東)
9	やぶさめ衣装(東町)
10	羯鼓舞の獅子頭と道具(太海)
11	羯鼓舞の獅子頭と道具(東)
12	羯鼓舞の獅子頭と道具(南小町)

③無形の民俗文化財

・祭礼、伝統行事

	名称	開催日	所在地	社寺等	概要
1	富士講	１月１日 8 月 1 日	東牧場	浅間神社	嶺岡山系にある「川代浅間」と言われる石宮の神前でお祭りを行っている。その他、毎月 13 日のあたり日にもお祭りを行うことがある。御掛軸をかかげ、冨士講の祝詞、拝みの文句を唱える。
2	阿萬数珠（カアマンズズ）	1 月 7 日	広場	須賀神社 八坂神社	数珠を持ち、各家々を回る。邪悪を祓い、健康を祈るもの。もともとは、期間内に百万回、念仏を唱えることで願いを叶えようとするもの。数珠でつながることにより複数人で同時に行ってもいいとされ、１０人が１０万回で１００万回と解釈されている。
3	磯村厳島神社例祭	1 月 15 日	磯村	厳島神社	神事のみ
4	八岡甲子大黒天御開帳	1 月 15 日	貝渚		長狭郡の人々が大黒天に参拝できるようにと、南房総市の真野大黒天の分身といわれる甲子大黒天を、明治後期にこの地に安置。 現在は、地区の有志で管理・保存しており、毎年１月１５日は御開帳され、霊験あらたかな大黒天の姿を拝観することができる。

5	春祈祷	１月16日 又は近い日曜日	花房		地区の青年等が区の境界と各戸を魔除け、除災のため神楽をあげて区内を巡る。各戸で神楽を演じた後、麻でその家を祓う。正月飾りを集めて神社で焚上げ、汁粉をつくり子供たちにふるまう。
6	綱吊り	1月	横渚、江見西真門他		部落の入口や大切な所など2～3か所に縄が張られ、悪霊などが入ってこないようにする。縄には、わらじ、ひいらぎ、とおがらし、たわしが吊られる。
7	鯛供養弁天祭	1月18日	小湊	妙蓮寺 鯛の浦	僧侶や地域住民など約30人が、聖人縁起のマダイを供養し、1年の航海安全、大漁、地域の発展を願う。
8	白幡神社湯立神事	1月19日	貝渚	白幡神社	湯立は煮えたぎらせた斎湯を清められた笹で参列者に振りかけ、旧年中の災厄を祓い清める神事
9	波切不動初不動大祭	1月28日	天津	自性院	四国にある八八か所の弘法大師修行霊場の砂を白布に包み、願い事を唱えな１がら砂を踏みながら歩くと、四国８８か所霊場を巡礼したのと同じ利益（仏の恵）を得ることができるとするもの。
10	清澄寺節分会	2月3日	清澄	清澄寺	『鬼は外』は言わず『福は内』だけ言いながら豆をまくのが特徴
11	誕生寺節分会	2月3日	内浦	誕生寺	祖師堂にて節分会（節分追儺会）が行われ、厳かな雰囲気であるため、静かにお経を聞くことができ、また鬼子母神が祀られているので、掛け声が「福は内」のみであることも特徴
12	大山不動尊節分会	2月3日	平塚	大山不動尊	県指定有形文化財「木造不動明王像」が開帳され一般公開される。
13	長安寺節分会	2月3日	宮山	長安寺	
14	太海の越年（おとし）	2月3日	太海	太海海岸	太海・太海浜地域で6地区にわかれ、青竹やカヤで組んだ“やぐら”に火をつけて、無病息災や家内安全、豊作・大漁などを祈願する。100年以上前から続く伝統行事。
15	誕生寺　宗祖御誕生会	2月16日	内浦	誕生寺	当日は御神輿に宗祖のご幼像を遷座してお練り行列を行い町をあげて祝う。
16	男金神社春祈祷祭	2月22日	和泉	男金神社	
17	多聞寺毘沙門天大祭	2月23日	浜荻	多聞寺	多聞寺の寺名の由来である日蓮聖人を多聞寺にお連れしたという伝承の残る、「日蓮聖人お出迎え毘沙門天」の日頃の感謝と、心願成就をお祈りする
18	大山不動尊筒粥神事	2月28日	平塚	大山不動尊	大きな鉄釜で玄米粥を炊く際、釜のなかに竹筒を入れてそこに入った米粒の数で、農作物の作柄を占う。
19	西大黒尊天祭	3月6日	西	蓮花院	
20	曽呂地区畑の祭	3月6日	畑		

21	なぎなみ祭	4月8日に近い土曜日	天津	神明神社	天津神明宮の東側に聳える「なぎなみ山」の頂に祭られている諾冉神社の、年に一度の山開きの祭。大漁満足・産業振興のほか、縁結びに強いご利益があるといわれ、当日登拝すると名物の一口赤飯をいただける。
22	鏡忍寺　開山式	4月11日	広場	鏡忍寺	「春の御会式」とも呼ばれる神事。華やかな稚児行列が行われ、着飾った児童が住職や僧侶、壇信徒に伴われ、「南無妙法蓮華経」と題目を唱えながら境内の上人塚から地区内を練り歩く。祖師堂にて天童音楽大法要が執り行われる。
23	横渚諏訪神社春市	4月13・14日	横渚	諏訪神社	
24	清澄天富神社例祭	4月22日	清澄	天富神社	式典のみ
25	清澄寺立教開宗会	4月27・28日	清澄	清澄寺	
26	吉保八幡神社春季例祭	4月第4日曜日	仲	吉保八幡神社	神楽獅子舞が奉納。
27	柴燈護摩供法要火渡り祭	5月第3日曜日	平塚	大山不動尊	山野で集めた柴で護摩壇を組み、燃え上がった護摩壇のあとを、山伏姿の修験者や一般の参拝者などが裸足で歩くことで、無病息災・家内安全等の祈願を行う。県指定登録文化財の「倶利伽羅竜」が開帳される。
28	磯村厳島神社弁財天巳年本開帳 亥年中開帳	5月　30年に一度	磯村	厳島神社	鴨川漁港の突端、弁天島にある厳島神社は、漁業・航海・財宝の神様として、大漁万作・海上安全・開運繁栄を願い、人々から崇敬されてきた。その弁財天の御尊像を特別に拝観できるのが「御開帳」。30年ごとに行われる。漁港から弁天島まで、大漁旗で飾られた漁船が「船橋」を作る。八雲神社をはじめ近隣の御輿や屋台も参加し、市指定無形民俗文化財の担ぎ屋台も出祭。
29	曽呂・代の牛洗い行事	6月第1日曜日	代	八雲神社	陶製の白牛の体を川で清めることによって、牛の無病息災と五穀豊穣を祈る。
30	茅の輪くぐり（夏越の大祓）	6月30日	天津・浜荻	貴船神社 神明神社	今年前半に身についた罪やけがれをはらい清め、残り半年の無病息災を祈る。
31	天津浅間神社祭礼	7月第1土曜日	天津	浅間神社	神社のある浅間山の山開き。小型の屋台・万灯の引き廻しがある。
32	広場須賀神社祭礼	7月第1日曜日	広場	須賀神社	屋台１台。神輿は担がないが、飾り付けられ社殿にある。
33	大川面八雲神社例祭	旧6月15日	大川面	八雲神社	社殿の祭典後、神輿が渡御される。部落の入口に着くと神輿を御仮屋に納め宮司が大麻により四方を祓い、その後地区から饗応をうける。これを四部落ごとに行う。
34	小湊地区合同祭礼	7月海の日の連休	小湊地区		
35	太海・太海浜地区合同祭礼	7月第4土・日曜日	太海地区	香指神社	神輿１基・屋台１台が出祭。

36	清澄妙見宮祭礼	7 月 21・22 日	清澄	清澄寺	清澄で最も高いところにあり、海上から漁船が帰港する際の目印になることから、漁師の信仰が篤い。
37	北風原の猖鼓舞　春日神社	7 月第 4 日曜日	北風原	春日神社	春日神社に天文年間から伝わる羯鼓舞は雨乞いの神事で、雄獅子、雌獅子、中獅子の３匹の獅子が、腹につけた太鼓（羯鼓）を雷鳴のように轟かせながら、稲作に必要な天水を確保することを祈念して舞を奉納する。現在、休止中。
38	天津須賀神社祭礼	7 月最終金土日曜日	天津	須賀神社	神輿１基と万灯５台が出祭。８町内が４群にわかれ渡御を行う。古くから暴れ神輿として有名で、終わらせたい役員と終わらせたくない担ぎ手のせめぎあいが見所。
39	浜荻貴船神社祭礼	8 月第 1 土曜日	浜荻	貴船神社	神輿１基と万灯２台が出祭。猿田彦、獅子巡遊を含む宮出行列と、篝火を焚いた御社入れが見所。
40	降雨祭（雨乞祭り）	8 月 7 日（例祭日）	平塚	高蔵神社	大正初期までは旧長狭郡の村落が幟を立て宮立、神輿を先頭に参拝した。当日は、雨乞の獅子舞が旧大山村の六区により奉納され、不動尊まで神輿が長い階段を駆け上げられていく
41	大山地区高蔵神社例祭・大山地区夜祭	8 月 7 日に近い土曜日	平塚	高蔵神社	降雨祭と合わせて行われる。夜は大山公民館に屋台が集合する。
42	茅の輪くぐり（夏越の大祓）	8 月 8 日	天津	須賀神社	今年前半に身についた罪やけがれをはらい清め、残り半年の無病息災を祈る。
43	真門塩屋観音四満六千日	8 月 9 日	江見西真門	真門塩屋観音	
44	誕生寺流灯会	8 月 10 日	内浦	誕生寺	元禄の大津波の犠牲者の慰霊を起源とし、戦後、太平洋戦争における戦没者の慰霊もかねて、灯篭流しを実施。先祖供養、水難死、事故死者等、有縁無縁の諸霊の追善供養として行われている。
45	式年鳥居木曳祭	8 月 20 年に 1 度	天津	神明神社	20 年に 1 度行われている鳥居の建て替え神事。「房州伊勢の宮」と仰がれる天津神明宮に伝わる、伊勢神宮の式年遷宮に倣った神事。関連神事は１年間かけて行われるが、鳥居木曳神事では御神木が 8 月下旬 3 日間かけて天津市中を奉曳され、例祭前日の 10 月 15 日に新しく建立された鳥居の通初式が行われる。次回は令和 17 年。
46	清澄虚空蔵菩薩大祭	9 月 13 日	清澄	清澄寺	
47	大浦の担ぎ屋台巡行	9 月第 2 土・日曜日	貝渚	八雲神社	天保 4 年（1833）漁業守神の厳島神社祭礼の折、始められたと言われる。大漁祈願、無病息災を祈願して、海と船に見立てて担がれている。
48	鴨川地区合同祭	9 月第 2 土・日曜日	鴨川地区	八雲神社計７社	合同祭。市指定無形民俗文化財の大浦の担ぎ屋台をはじめ、市指定有形民俗文化財の山王講・諏訪講の山車などが市外地を賑やかに練り歩く。
49	田原地区祭礼	9 月最終土曜日	田原地区		現在、川代のみ巡行

50	吉保八幡のやぶさめ	9 月最終日曜日	仲	吉保八幡神社	射手である禰宜は７日間の精進潔斎を行う。馬上から的に向けて矢を放つ。3 つの的は早稲・なかて・晩稲を意味し、3 回合計 9 的を射る。どの的に当たったかで翌年の米の豊凶を占う。
51	吉保八幡神社例祭（吉尾地区祭礼）	9 月最終日曜日	仲	吉保八幡神社	仲、宮山、大川面の屋台と５基の宮舘がやぶさめに合わせ吉保八幡神社に集合する。
52	波切不動火渡祭	9 月 28 日	天津	自性院	不動明王が背負う火焔であらゆる災難を焼き払う儀式。
53	花房地区祭礼	10 月第１土曜日	花房地区	滝口神社	神輿１基・山車１基。境川の石を拾い神輿に奉納する習俗が行われている。
54	打墨地区祭礼	10 月第１日曜日	打墨地区	打墨神社	神輿１基・山車１基。
55	四方木熊野神社例祭	10 月 8 日	四方木	熊野神社	
56	東条地区祭礼	10 月第 2 日曜日	東条地区	八坂神社、庤神社、八幡神社、男金神社	神輿２基・屋台４基が出祭。夜、東条小学校へ集合する。
57	和泉の三役	10 月第 2 日曜日	和泉	男金神社	五穀豊穣と無病息災を祈念して「棒術」「羯鼓舞」「神楽獅子舞」が神社境内と公会堂前でそれぞれ奉納される。
58	曽呂地区祭礼	10 月第 2 日曜日	曽呂地区		
59	江見地区祭礼	10 月第 2 日曜日	江見地区		１基の神輿と６台の屋台が出祭。各屋台で様々な踊りを披露する「踊りマチ」。
60	主基地区祭礼	10 月第 2 日曜日	主基地区		
61	天津神明神社例祭	10 月 16 日	天津	神明神社	午前は古式に則った神事が行われ、午後は笹万燈がお囃子を演奏しながら町内を巡行する。
62	清澄寺御会式	9 月 28 日	清澄	清澄寺	
63	日澄寺御会式	11 月 10 日	天津	日澄寺	
64	誕生寺御会式	11 月 12 日	内浦	誕生寺	古来より「御会式」当日に「七つ児詣り」が行われている。
65	多聞寺御会式	11 月 14 日	浜荻	多聞寺	
66	鏡忍寺御会式	12 月 11 日	広場	鏡忍寺	上人塚から境内までの道のりを、女児の行列が進む行事で、女児はそれぞれに経文を唱える。また、境内に着くと本堂内で儀式が催され、最も年長である女児が祭文を読み上げる。この女児たちを「稚児」と呼び、経験すると体が丈夫に育つことができるとされている。
67	清澄寺水行式	12 月 31 日	清澄	清澄寺	年が明ける前、冷たい聖水を体にかけ、体を清めるとともに来年度の安泰祈願をする

・工芸品

名称	詳細
鴨川萬祝染	萬祝は、もともと豊漁に際して船主が褒賞として漁師に贈る晴れ着であり、豊漁祈願などの際に帯を締めずに着物の上から羽織るもので、縁起のいい図柄が極彩色で染め抜かれている。市内１軒。
萬祝半天	萬祝半天は、1923 年の頃まで主に外房地域で盛んに作られてきたが、現在では染屋も数えるほどとなっている。柄は「三番叟」「恵比寿大黒」等約 30 種類ほどあり、全て手指し加工で、最後に顔や手足を筆入れして仕上げる。市内１軒。
房州船鋸	千葉県指定伝統的工芸品。船鋸は、堅い木材を使用する和船を製造する際に用いた鋸で、切れ味と耐久性が求められたため、数十工程を経て製作される。現在は、その製造技術を活かし、剪定用鋸をはじめ、生け花や工芸向きなどの用途に応じて製作されている。市内１軒。
飾り伊勢海老	飾り伊勢エビは元々東京下町で 100 年以上にわたり受け継がれてきた伝統工芸品。現在は陶器やプラスチック製のエビが主流となっているが、江戸時代から続く技法を継承し、本物を使って作成するのは全国唯一といわれている。市内１軒。

・食文化

	名称	詳細
1	なめろう	漁師が獲れたての鮮魚を不安定な船上で調理するために考えられた郷土料理。波の荒い船上で、醤油ではこぼれてしまうため味噌を使った。アジなど様々な魚で作る。それぞれの家の味があり、作り方・味の付け方も千差万別。
2	さんが焼き	なめろうを焼いた郷土料理。あわびやとこぶしの貝を皿にすることがある。それぞれの家の味がある。
3	ひじき	天津や小湊地区は品質が高いことで知られる。生原藻から直ぐに煮熟、乾燥を行う独特の加工法を受け継いでいる。油揚げ・大豆・ニンジンなどを加えて煮物として食されている。毎年３月の大潮にかけて収穫される。元禄 14 年（1701）の古文書に小湊の「海鹿」（ひじき）が記載され、その歴史は古い。「房州ひじき」として千葉ブランド水産物にもなっている。
4	ハバノリ	ハバノリは厳冬の時期に岩場に張り付き成長する海藻。「一年、ハバをきかす」と言われ、雑煮やみそ汁など正月用品として人気がある縁起物。板ノリのように水洗いをして板状にして天日で干す。資源保護のため 12 月と 1 月にそれぞれ 1 日だけ収穫が解禁される。歴史は古く、元禄 14 年（1701）の時点で、小湊誕生寺に「幅海苔」として上納されている。
5	キンメダイ	神事や祝い事の際には欠かせない食べ物。煮付けが最も多いが、刺身、焼き魚、握り、干物など様々な食べ方がある。11 月から６月までの約半年間が漁期。「外房つりきんめ鯛」として千葉ブランド水産物にもなっている。
6	伊勢エビ	神事や祝い事など行事食となっている食べ物。刺身、踊り焼き、お頭の味噌汁。カレーなど様々な食べ方がある。刺網という漁法で、海底を移動するエビを絡めて漁獲する。太海浜地区では、昔ながらの綿糸の網を使ったエビ網漁が続けられている。漁解禁となる夕方、一斉に舟が出港する光景は、夏の風物詩。

7	長狭米	長狭平野で収穫されるお米の総称。ミネラル分をたっぷり含んだ土壌は、江戸時代からおいしいお米の産地として知られ、江戸前のお寿司に人気があったといわれる。明治４年に行われた明治天皇即位の大嘗祭では、献上される米を作る斎田に選ばれた。平成３年には「日本の米づくり百選」にも選定された。
8	太巻き寿司	農家など一般家庭に伝えられてきた寿司で、祭りの際の行事食として広く継承されている。厚焼き卵で巻く形は明治時代以降といわれている。派生した料理として、様々な絵柄が巻かれた「太巻き祭り寿司」（房総巻き、房総太巻き寿司）がある。
9	チッコカタメターノ （乳っこ固めたの）	嶺岡山一帯は、幕府直轄牧である嶺岡牧があり、八代将軍・吉宗の時には白牛の飼育と乳製品などの製造をした事で日本酪農発祥の地として知られ、酪農が盛んだったという歴史を持つ。出荷が禁止されている初乳を利用した料理として酪農家の間で作られた。

④記念物

・遺跡　【周知の埋蔵文化財包蔵地】

	遺跡名	所在	種別	時代（時期）等
1	金束城跡	金束	城館跡	中世
2	大山横穴群	古畑	横穴	古墳，奈良・平安
3	大山遺跡	平塚	包蔵地	中近世
4	大山経塚	平塚	塚	中近世
5	中山塚	奈良林	塚	中近世
6	丑前台遺跡	大幡	包蔵地	奈良・平安
7	仲屋敷遺跡	寺門	包蔵地	縄文
8	的場塚群第１号塚	横尾	塚	中近世
9	的場塚群第２号塚	横尾	塚	中近世
10	的場塚群第３号塚	横尾	塚	中近世
11	峰崎遺跡	大川面	包蔵地	縄文
12	宮山山王塚	宮山	塚	中近世
13	山王遺跡	成川	包蔵地	縄文
14	環斉屋敷跡	成川	城館跡	中世
15	御原城跡	上小原	城館跡	中世
16	芋塚遺跡	代	包蔵地	古墳，奈良・平安
17	川代山王塚	代	塚	中近世
18	金山城跡	打墨	城館跡	中世
19	太田学窯跡	太田学	窯跡	中近世
20	金山塚	太田学	塚	中近世

21	金塚古墳	京田	古墳	古墳
22	津辺遺跡	打墨	包蔵地	縄文(後・晩), 古墳(後)
23	中の台遺跡	板東	包蔵地	奈良・平安
24	蓮華寺廃寺跡	花房	寺院跡	近世
25	長畑遺跡	花房	包蔵地	奈良・平安
26	大日堂塚	花房	塚	中近世
27	室戸城跡	和泉	城館跡	中世
28	鶴見城跡	和泉	城館跡	中世
29	男金金尿山遺跡	和泉	生産地	近世
30	根方上ノ芝条里跡	和泉	条里跡，集落跡，古墳	縄文（早・前・中），弥生（中・後），古墳（前・中・後），奈良・平安
31	中原条里跡	東町	条里跡，集落跡	弥生、古墳、奈良・平安、中世、近世
32	東条御厨跡	西町	包蔵地	平安
33	東条氏館跡	西町	城館跡	中世
34	東条陣屋跡	東町	陣屋跡，集落跡	奈良・平安，中世，近世
35	後広場遺跡	広場	包蔵地	古墳
36	後広場１号古墳	広場	古墳	古墳（後）
37	後広場２号古墳	広場	古墳	古墳（後）
38	広場塚古墳	広場	古墳，塚	古墳（後），近世
39	栗木遺跡	横渚	包蔵地	古墳，奈良・平安
40	花房藩庁跡	横渚	城館跡	近世
41	石塚遺跡	貝渚	包蔵地	奈良・平安
42	前荒谷貝塚	貝渚	貝塚	縄文（中）
43	前荒谷遺跡	貝渚	包蔵地	縄文（中）
44	嶺岡東牧馬捕場跡	主基西	牧跡	近世
45	西平陣屋跡（八丁陣屋跡）	西	牧跡	近世
46	千人塚（かんかん塚）	主基西	塚	中近世
47	嶺岡旧キャンプ場遺跡	主基西	包蔵地	縄文，弥生，古墳，奈良・平安
48	山の城城跡	主基西	城館跡	中世
49	藤四郎台館跡	主基西	城館跡	中世
50	小西窯跡	西	窯跡	中近世
51	嶺岡東下牧遺跡	主基西	包蔵地・墳墓跡	古墳，奈良・平安
52	毛無古墳	主基西	古墳	古墳

53	高畑遺跡	仲町	包蔵地	縄文
54	奈良遺跡	宮	包蔵地	縄文
55	富士山遺跡	岡波太	包蔵地	奈良・平安
56	北ケ谷遺跡	岡波太	包蔵地	弥生
57	峰遺跡	岡波太	包蔵地	縄文（中）
58	岡波太横穴群	岡波太	横穴	古墳，奈良・平安
59	西風早横穴	波太	横穴	古墳，奈良・平安
60	トゲ遺跡	天面	包蔵地	奈良・平安
61	吉原遺跡	天面	包蔵地	奈良・平安
62	太夫崎遺跡	江見太夫崎	包蔵地	奈良・平安
63	蛇山遺跡	東江見	包蔵地	奈良・平安
64	九頭竜様やぐら群	東江見	やぐら	中世
65	根小屋砦跡	西江見	城館跡	中世
66	北畑遺跡	東江見	包蔵地	古墳，奈良・平安
67	馬込遺跡	江見内遠野	包蔵地	弥生（後）
68	竹の谷遺跡	西江見	包蔵地	縄文
69	野田遺跡	江見東真門	包蔵地	奈良・平安
70	外堀遺跡	江見外堀	包蔵地	奈良・平安
71	市井原遺跡	畑	包蔵地	縄文
72	慈眼法師入定窟	岡波太	洞穴	近世
73	主基斎田跡	北小町	生産地	近代
74	対面塚	成川	塚	中近世
75	天塚	北小町	塚	中近世
76	湯貫田遺跡	下小原	包蔵地	奈良・平安，中世
77	花輪遺跡	下小原	包蔵地	中世
78	上城遺跡	古畑	城館跡	中世
79	西ノ城遺跡	仲	城館跡	中世
80	貢城遺跡	太尾	城館跡	中世
81	小笠原氏陣屋跡	大里	陣屋跡	近世
82	中台峰城跡	西町	城館跡	中世
83	古川遺跡	四方	包蔵地	平安，近世
84	四方木庚申塚	四方木	塚	中近世
85	四方木遺跡	四方木	包蔵地	平安，近世
86	天富山やぐら群	清澄	やぐら	中近世

87	南観音沢やぐら群	清澄	やぐら	中近世
88	独鋸山やぐら群	清澄	やぐら	中近世
89	旭森経塚	清澄	塚	中世
90	新田遺跡	内浦	包蔵地	平安，近世
91	奥谷浄水場脇遺跡	内浦	包蔵地	平安
92	切通南沢	清澄	塚	近代
93	要害城跡	天津	城館跡	中世
94	四軒台遺跡	天津	包蔵地	縄文，平安
95	大風沢金吹台遺跡	内浦	生産跡	平安
96	土岐遺跡	内浦	包蔵地	縄文，平安
97	滑川遺跡	内浦	包蔵地	平安
98	小湊谷遺跡	小湊	包蔵地	縄文（中）
99	西連寺裏横穴・やぐら	小湊	横穴，やぐら	古墳，中近世
100	正木憲時陣屋跡	小湊	陣屋跡	中世
101	西連寺前遺跡	小湊	包蔵地	平安
102	大久保遺跡	内浦	包蔵地	縄文，平安
103	西山際遺跡	浜荻	包蔵地	平安
104	下姿遺跡	浜荻	包蔵地	平安
105	川島遺跡	浜荻	包蔵地	縄文，平安
106	葛ケ崎城跡	天津	城館跡	中世
107	栗坪遺跡	天津	包蔵地	縄文（後），古墳（前），奈良・平安
108	石上遺跡	天津	包蔵地	奈良・平安
109	天津城跡	天津	城館跡	中世
110	天津谷遺跡	天津	包蔵地	平安
111	砂田遺跡	天津	貝塚	縄文（前・中・後）
112	宮台遺跡	天津	包蔵地	縄文，平安
113	天津厨屋	天津	包蔵地	中近世
114	松ヶ鼻貝塚	内浦	貝塚	縄文（後）
115	松ヶ鼻西方の岬貝塚	内浦	貝塚	縄文
116	萩ノ巣遺跡	内浦	包蔵地	平安
117	合戸遺跡	内浦	包蔵地	奈良・平安
118	貝戸遺跡	内浦	包蔵地	縄文（中），古墳（後）、奈良・平安
119	皆ケ谷遺跡	内浦	包蔵地	奈良・平安
120	誕生寺経塚	内浦	塚	中近世

121	清澄山麓古墳	清澄	古墳	古墳
122	二夕間遺跡	天津	包蔵地	縄文（中），弥生，古墳，平安，近世
123	妙見山遺跡	清澄	寺院跡	中近世
124	城崎城跡	天津	城館跡	中世
125	鹿野岡城跡	打墨	城館跡	中世
126	嶺岡牧野馬土手群鴨川支群	貝渚	牧跡	近世
127	嶺岡牧野馬土手群田原第１支群	田原西	牧跡	近世
128	嶺岡牧野馬土手群田原第２支群	田原西	牧跡	近世
129	嶺岡牧野馬土手群曽呂第１支群	二子	牧跡	近世
130	嶺岡牧野馬土手群曽呂第２支群	東	牧跡	近世
131	嶺岡牧野馬土手群主基第１支群	主基西	牧跡	近世
132	嶺岡牧野馬土手群主基第２支群	主基西	牧跡	近世
133	嶺岡牧野馬土手群主基第３支群	主基西	牧跡	近世
134	嶺岡牧野馬土手群吉尾西支群	吉尾西	牧跡	近世
135	嶺岡牧野馬土手群吉尾平塚支群	吉尾平塚	牧跡	近世
136	嶺岡牧野馬土手群大山平塚第１支群	大山平塚	牧跡	近世
137	嶺岡牧野馬土手群大山平塚第２支群	大山平塚	牧跡	近世
138	嶺岡牧野馬土手群大山平塚第３支群	大山平塚	牧跡	近世
139	嶺岡牧野馬土手群八丁支群	吉尾平塚	牧跡	近世

・寺院

	名称	地区	備考
1	宝昌院	代	曹洞宗
2	東善寺	畑	曹洞宗
3	東福寺	宮	曹洞宗
4	宝泉寺	宮	曹洞宗
5	宝寿院	二子	曹洞宗
6	宮本山蓮花院	西	真言宗智山派
7	慈眼寺	畑	曹洞宗
8	神宮寺	畑	曹洞宗

9	林秀院	上	曹洞宗
10	金光寺	仲	曹洞宗
11	林浄院	代	真言宗智山派
12	地済院	代	曹洞宗
13	宝寿院	代	曹洞宗
14	天面山西徳寺	天面	真言宗智山派
15	地蔵庵	天面	真言宗智山派
16	宝幢院	太海	真言宗智山派
17	宝光寺	太海	曹洞宗
18	常念寺（廃寺）	天面	浄土宗
19	西福寺（廃寺）	太海	曹洞宗
20	清水山浄照寺	西江見	真言宗智山派
21	御嶽山長泉院	西江見	曹洞宗
22	熊野山長興院	東江見	曹洞宗
23	東光山薬王院	江見青木	真言宗智山派
24	江見山古泉院	東真門	曹洞宗
25	真門山常応寺	西真門	曹洞宗
26	無量山玉泉寺（廃寺）	東真門	曹洞宗
27	明光山神蔵寺	横渚	真言宗智山派
28	松風山本覚寺	貝渚	浄土真宗本願寺派
29	永長山妙昌寺	貝渚	日蓮宗
30	磯村山釈迦寺	貝渚	日蓮宗（当初は天台宗）
31	竜光山東勝寺	貝渚	真言宗智山派
32	亀祥山永泉寺	貝渚	曹洞宗
33	普門山観音寺	横渚	真言宗智山派
34	寿慶山心巌寺	貝渚	浄土宗
35	海満山金剛院	磯村	真言宗智山派
36	石見堂	貝渚	真言宗金剛院に属す

37	恵日山福田寺	貝渚	浄土真宗本願寺派
38	小松原山鏡忍寺	広場	日蓮宗
39	袈裟山掛松寺	広場	日蓮宗
40	慧日山永明寺	西町	曹洞宗
41	慈眼花蔵院	和泉	真言宗智山派
42	妙見山大光院（来福寺に合併）	和泉	真言宗智山派
43	不動山竜性院	西町	真言宗智山派
44	慈雲山竜泉寺	西町	曹洞宗
45	妙祐山長泉寺	和泉	日蓮宗
46	男金山安養寺	和泉	真言宗智山派
47	福聚山正因寺	打墨	曹洞宗
48	普門山忠西院（廃寺）	打墨	曹洞宗
49	金剛山金乗院	打墨	真言宗智山派
50	飛竜山竜蔵院（宝国寺に合併）	打墨	真言宗智山派
51	天道山宝国寺	打墨	真言宗智山派
52	慈永山薬王院	粟斗	真言宗智山派
53	長高山妙満寺	八色	日蓮宗
54	神明山慈恩寺	花房	真言宗智山派
55	弥陀山蓮花寺（廃寺）	花房	真言宗智山派
56	花房山蓮華寺	花房	日蓮宗
57	常経山蓮行寺	花房	日蓮宗
58	金剛山泉福寺	滑谷	曹洞宗
59	普光山来福寺（花蔵院に合併）	和泉	真言宗智山派
60	清水山成就院	太田学	真言宗智山派
61	桂林山多門院勝福寺	川代	真言宗智山派
62	飛竜山滝山寺	太尾	真言宗智山派

63	春日山西福寺	竹平	曹洞宗
64	地蔵院	池田	曹洞宗
65	玉竜山楞厳寺	池田	真言宗智山派
66	勝蔵院	京田	真言宗智山派
67	熊満山小沢寺	京田	真言宗智山派
68	真福寺	大里	曹洞宗
69	長光山正法寺	大里	日蓮宗
70	西方山満光院	来秀	真言宗智山派
71	妙見山長福院	北小町	真言宗智山派
72	大森山森蔵寺（廃寺）	南小町	真言宗智山派
73	西方山来迎寺（廃寺）	南小町	真言宗智山派
74	菩提山密蔵院（廃寺）	南小町	真言宗智山派
75	永慶山等覚院（廃寺）	成川	真言宗智山派
76	昭和院	上小原	真言宗智山派 72～75 が合併
77	東養山西福院（小原寺）	下小原	真言宗　智山派
78	三湯山光善寺	北小町	曹洞宗
79	福聚山大徳寺	北小町	曹洞宗
80	南谷山長泉院	北小町	曹洞宗
81	円諦山方広寺	成川	天台宗
82	白滝山不動教会	上小原	真言宗智山派
83	神河山舎那院（廃寺）	北小町	真言宗智山派
84	鎮護山観明院（廃寺）	南小町	真言宗智山派
85	熊野山照善寺	細野	真言宗智山派
86	長福寺	松尾寺	曹洞宗
87	吉峰山善能院	大川面	真言宗智山派
88	普光山円明院	仲	真言宗智山派
89	富川山長安寺	宮山	曹洞宗

90	高福山道種院	宮山	真言宗智山派
91	重盛山竜江寺	大幡	曹洞宗
92	亀井山真福寺	大幡	真言宗智山派
93	根岸山常秀院	横尾	真言宗智山派
94	仏日山安国寺	北風原	曹洞宗
95	畤倉山延命院	北風原	真言宗智山派
96	永谷山天沢寺	北風原	曹洞宗
97	金剛山永泉院	金束	真言宗智山派
98	悉地院	平塚	真言宗智山派
99	長興山遠本寺	奈良林	日蓮正宗
100	普門山常福院	平塚	真言宗智山派
101	無量山西禅寺	平塚	曹洞宗
102	西方山阿弥陀寺	佐野	浄土宗
103	薬王山三島寺	奈良林	真言宗　智山派
104	高藏山大山寺	平塚	真言宗智山派
105	長徳院（廃寺）	古畑	修験道
106	明星山日澄寺	天津	日蓮宗
107	宝蔵山海福寺	天津	真言宗智山派
108	長谷山善覚時	天津	浄土真宗
109	蔵王山万福寺	天津	天台宗
110	音無山自性院浪切寺	天津	真言宗智山派
111	光玉山多聞寺	浜荻	日蓮宗
112	千光山清澄寺	清澄	日蓮宗
113	蓬来山見星院	四方木	臨済宗
114	古谷山善龍寺	内浦	浄土真宗本願寺派
115	岩高山日蓮寺	内浦	日蓮宗
116	妙日山妙蓮寺	小湊	日蓮宗
117	光瑞山高生寺	内浦	日蓮宗

118	小湊山誕生寺	小湊	日蓮宗
119	東光山西蓮寺	内浦	天台宗

・神社

	名称	地区	祭神　他
1	熊野神社	畑	伊邪那岐命・伊邪那美命
2	市井神社	畑	大山祇命
3	八雲神社	上	須佐之男命
4	石尊神社	二子	大山祇命
5	東宮神社	宮	瓊瓊杵命・木花開耶姫命
6	奥野神社	仲町	長狭姫命
7	八雲神社	代	須佐之男命
8	事平神社	西	金山彦命
9	西神社	西	大山祇命
10	東神社	東	大山祇命
11	皇大神社	江見太夫崎	天照大神
12	皇大神社	江見吉浦	天照大神
13	山祇神社	西山	素戔嗚尊
14	四社神社	天面	瓊瓊杵尊・木花開耶姫・大山祇尊・誉田別尊
15	香指神社	太海	弟橘媛
16	神明神社	東江見	天照皇大神
17	八幡神社	東江見	天照皇大神・品陀和気命
18	諏訪神社	青木	建御名方命
19	日枝神社	江見内遠野	大山咋命
20	日枝神社	西真門	大山祇命
21	天道神社	東真門	大日霊貴命
22	諏訪神社	横渚	建御名方命

23	八雲神社	貝渚	天照大神・須佐之男命・事代主命
24	白幡神社	貝渚	日本武尊
25	八幡神社	貝渚	誉田別命・比売大神・神功皇后
26	熊野神社	横渚	伊邪那岐命・速玉男命・泉津事解男命
27	厳島神社	磯村	市杵島姫命
28	住吉神社	横渚	表筒男命・中筒男命・底筒男命
29	稲荷神社	横渚	受食保命
30	厳島神社	横渚	市杵島姫命
31	日枝神社	前原	大山祇命
32	浅間神社	貝渚	木花開耶姫命
33	八幡神社	東町	誉田別命
34	庤神社	西町	大日霎女貴（天照大神の別名）
35	須賀神社	広場	須佐之男命・罔象女神・源義家
36	八坂神社	広場	須佐之男命
37	男金神社	和泉	天御中主命
38	打墨神社	打墨	大日霎女貴（天照大神の別名）・少彦名命
39	春日神社	粟斗	天児屋根命
40	熊野神社	粟斗	伊邪那岐命・伊邪那美命
41	神明神社	八色	大日霎神
42	熊野神社	八色	伊弉諾尊・伊弉冉尊
43	滝口神社	花房	天日鷲命・素盞戔命・応神天皇・菅原道真
44	天照皇大神社	滑谷	大日霎女貴・伊弉諾命
45	熊野神社	滑谷	伊弉冉命
46	熊野神社	川代	速玉男命・大己貴命・伊邪那岐命・伊邪那美命・仁徳天皇など 8 柱
47	滝口神社	太尾	天日鷲命・天太玉命など 12 柱
48	須賀神社	川代	素戔嗚尊

49	天満神社	来秀	菅原道真
50	御嶽神社	押切	大己貴神
51	愛宕神社	坂東	軻遇突智・誉田別命・建御名方命・保食神など 8 柱の神
52	八幡神社	大里	誉田別命
53	八幡神社	坂東	誉田別命
54	北辰神社	北小町	天御中主神・天照大神・天穂日命・国常立命
55	熊野神社	北小町	伊邪那岐命・伊邪那美命
56	加茂神社	成川	別雷命・倉稲魂命・大山祇命・大山咋命
57	熊野神社	成川	伊邪那岐命
58	奥野神社	南小町	玉依姫命・奥野甚五郎
59	八雲神社	南小町	須佐之男命
60	水神社	南小町	水速女命
61	山神社	南小町	大山祇命
62	八雲神社	南小町	須佐之男命
63	日枝神社	上小原	大山咋命
64	水神社	上小原	水速女命
65	石尊神社	上小原	日本武命
66	吾妻神社	上小原	橘姫命
67	諏訪神社	下小原	建御名方命
68	皇大神社	大幡	天照大神
69	横山神社	横尾	大山祇命
70	春日神社	北風原	天兒屋根命
71	春日神社	寺門	天兒屋根命
72	吉保八幡神社	仲	誉田別命・天穂日命
73	八幡神社	松尾寺	誉田別命
74	宮山神社	宮山	息長帯比売命

75	熊野神社	細野	国常立命・伊弉諾命・伊弉冉命
76	八雲神社	仲	素佐之男命
77	神明神社	大川面	天照大御神
78	三島神社	奈良林	溝咋姫尊
79	諏訪神社	古畑	建御名方命
80	八幡神社	平塚	誉田別命・玉依姫命
81	日枝神社	釜沼	大山祇命、大山津御神
82	八雲神社	金束	素戔嗚尊
83	八幡神社	佐野	誉田別命
84	高蔵神社	平塚	日本武尊
85	神明神社	天津	天照大神・事代主命・大山祇命・木花咲耶姫命・豊受比売命など 11 柱
86	諾冉社	天津	伊邪那岐命・伊邪那美命
87	須賀社	天津	素戔嗚命
88	貴船神社	浜荻	高龗神・誉田別命・猿田彦命
89	天富神社	清澄	天富命・事勝国勝長狭命・大山祇命・倉稲魂命
90	熊野神社	四方木	伊邪那美命・速玉之男命・事解之男命
91	大山祇神社	内浦	大山祇命・素戔嗚命
92	小湊神社	小湊	天照大神
93	八雲神社	内浦	素戔嗚命
94	吾妻神社	内浦	橘姫命
95	大嶽神社	内浦	大国主命・木花咲耶姫命ほか 2 柱
96	若宮八幡神社	内浦	大雀命・天照大神

【用水】

No.	名称	地域
1	滝根入用水	和泉

2	金山疏水	打墨
3	袋倉用水	東町

【井戸】

No.	名称	地域
1	傷洗い井戸	花房
2	傷洗い井戸	浜荻
3	傷洗い井戸	小湊
4	明星の井戸	清澄

【その他の遺跡】

	遺跡名	所在	時代（時期）等
1	旗懸松(白幡神社跡)	広場	中近世
2	郡屋敷・郡山城	宮山	中世
3	伊八の生家跡	打墨	近世
4	日枝神社津波避難丘	前原	近世
5	房総煉乳主基工場跡	南小町	近代
6	真田煉乳牛酪製造所跡	大川面	近代
7	磯貝安房煉乳所跡	金束	近代
8	ニッケル鉱山・工場跡	貝渚・宮	近代
9	特攻兵器震洋基地跡	小湊	近代

・名勝地

	名称	備考
1	鴨川松島	新日本百景
2	前原横渚海岸	日本の渚百選

・動者、植物、地質鉱物

	種別	名称	備考
1	動物	クサフグ産卵地	実入海岸
2	植物	袈裟掛け松	広場掛松寺
3		逆さ梅	広場龍性院
4		スダジイ自然林	大山高蔵神社周辺
5		浅間山	東京大学千葉演習林内、林業遺産

6		大賀ハス	
7		大銀杏	内浦西蓮寺
8		スダジイ	粟斗薬王院
9		スダジイ	北風原春日神社
10		大ソテツ	代宝昌寺
11		成川山入の観音桜	
12	地質鉱物	鴨川松島	千葉県の地層 10 選
13		保田層群のカオス層	千葉県の地層 10 選
14		嶺岡層群中の団塊(馬蹄石)	
15		心巖寺閃緑岩岩体	
16		角閃石はんれい岩岩体	
17		嶺岡白滝不動石灰質岩・硬砂岩	

⑤文化的景観

	名称		備考
	大山千枚田		
	鯛の浦と誕生寺の門前景観		ちば文化的景観、かおり風景百選
	画家の愛した波太（太海）地区の漁村集落景観		ちば文化的景観
	霊場景観	清澄寺	ちば文化的景観
		大山寺	
	漁村集落景観	小湊	ちば文化的景観
		天津	
		浜荻	
	棚田と集落景観	川代	
		二子	ちば文化的景観「曽呂」
		山入	

【池】

No.	名称	地域
1	いさき池	北風原
2	星が池	畑

【滝】

No.	名称	地域
1	第六天滝	東江見
2	鹿嶋滝	東江見
3	タイの下の滝	天面
4	天面浅間滝	天面
5	太海不動滝	江見太夫崎
6	星井滝	畑
7	堀の沢三段の滝	畑
8	谷の滝	畑
9	金杖の滝	西
10	一本松の滝	西
11	田かしらの滝	仲町
12	尊房が滝	仲町
13	白絹の滝	上小原
14	元名猿口の滝	細野
15	堂の滝	金束
16	泉川滝	粟斗
17	仲根の滝	西町
18	イゴベエ滝	東町
19	ヒッコシの滝	東町
20	ネコの滝	東町
21	大津滝	東町
22	さんさの滝	東町
23	袋倉川東股の滝	東町
24	観音滝	清澄
25	稚児の滝	清澄
26	粟ヶ沢の滝	清澄
27	だるまの滝	内浦
28	中沢の滝	内浦
29	不動滝	四方木

・風景・眺望

	名称	備考
1	清澄寺旭が森からの初日の出	日本朝日百選
2	魚見塚展望台の 360 度眺望	
3	大山寺境内から望む長狭平野の風景	
4	二つ山からの眺望	平塚地区。富士山眺望
5	天富神社境内地展望台	清澄地区。関東の富士見百景
6	歌川広重が描いた清澄からの眺望	歌川広重「六十余州名所図会　安房清住山」
7	歌川広重が描いた内浦からの眺望	歌川広重「六十余州名所図会　安房　小湊内浦」「山海見立相撲　安房小湊」
8	一戦場公園の桜	
9	東条の桜並木	市役所裏・北部道路
10	内浦山県民の森の桜	
11	総合運動施設の桜	
12	加茂川沿いの桜	権現橋から貝渚橋
13	古泉院のシダレ桜	江見東真門
14	清澄寺のツツジ	東国花の寺
15	四方木白岩橋の紅葉	

⑥【石造物】

『鴨川の石造物百選』

	No.	名称	所在	時代	備考
小湊	1	三重層塔	誕生寺（宝物館）	14 世紀	市指定文化財
	2	井筒	誕生寺	寛永 10 年（1633）	
	3	手水石	誕生寺	延宝 2 年（1674）	
	4	題目塔	誕生寺	明和７年（1770）	
	5	日待塔	誕生寺	元禄 5 年（1692）	
	6	道標	妙蓮寺	天保 12 年（1841）	
	7	日蓮聖人像	日蓮寺	延享４年（1747）	
	8	馬頭観音	西蓮寺	江戸時代後期	武田石翁作
天津	9	石幢	清澄寺（妙見山）	応永 31 年（1424）	県指定文化財
	10	宝篋印塔	清澄寺	応永 14 年（1407）	県指定文化財
	11	板碑（毘沙門天図像）	清澄寺	応永 14 年（1407）	市指定文化財
	12	板碑（六地蔵彫像）	延寿堂	応永 35 年（1428）	市指定文化財
	13	五大明王	自性院	江戸時代後期	市指定文化財

	14	石棒	王子神社	縄文後期	
	15	宝篋印塔	多聞寺	江戸時代前期	西郷家員室墓塔
東条	16	薬師如来	袋倉共同墓地	文政 7 年（1824）	
	17	六観音塔（巡拝塔）	東町　集会場	元禄９年（1696）	
	18	光明真言塔	元龍性院	文化 11 年（1814）	
	19	宝篋印塔	永明寺		
	20	道標	西町地先	天明 5 年（1785）	
	21	大日如来	龍性院	永禄４年（1561）	
	22	地蔵菩薩	龍性院	16 世紀後半	背面に五輪塔陽刻
	23	如意輪観音	広場　集会場前墓地	安永 2 年（1855）	
鴨川	24	宝塔	金剛院	応永 10 年（1403）	
	25	手水石	八雲神社	文政 3 年（1820）	武田石翁作
	26	馬頭観音	嶺岡林道脇	江戸時後期	
	27	板碑（地蔵･阿弥陀彫像）	浅間神社	15 世紀前半	
	28	富士講供養塔	浅間神社	明治 15 年	栄行真山供養塔
	29	血盆経供養塔	東勝寺	寛文 10 年（1670）	（石幢）
	30	手水石	八幡神社	文化元年	
	31	釈迦如来	心巌寺	寛文 4 年（1664）	
	32	磨崖仏	貝渚・石子山	享保元年（1716）	弥勒種子
	33	五智如来	白幡神社脇観音堂	宝永 6 年（1709）	
西条	34	日記念仏塔	蓮華寺	元禄 9 年（1696）	
	35	日記念仏塔	花房青年館	延宝 8 年（1680）	
	36	大日如来	花房　大日堂	宝永 8 年（1711）	金剛界大日陽刻
	37	題目塔	蓮行寺	寛政 8 年（1796）	
	38	庚申塔	金乗院	延宝 2 年（1674）	石祠
	39	光明真言塔	金乗院	安永 7 年（1778）	子安地蔵陽刻
	40	妙見石祠	金乗院	明治 33 年（1900）	
	41	宝篋印塔	宝国寺	天正 5 年（1577）	2 基　夫妻逆修塔
田原	42	虫供養塔	来秀　共同墓地	天明元年（1781）	
	43	来秀五輪塔群	来秀　小林家墓地	永承 5 年（1508）他	市指定文化財
	44	水神	成就院	明治 6 年	
	45	清正公大神	太尾　共同墓地	江戸時代後期	清正公陽刻
	46	地蔵菩薩	滝山寺	享保 13 年（1728）	
	47	名号塔	川代　柿ノ木台共同墓地	貞亨 4 年（1687）	

	48	道標	坂東　追分十字路	文政 4 年（1821）か	
	49	湯殿山供養塔	押切　御嶽神社裏	享保 13 年（1728）	
主基	50	出羽三山行人墓	下小原　富坂家墓地	明治 12 年	
	51	陽刻五輪塔	下小原　小原家墓地	天文 9 年（1540）	
	52	天狗	上小原　石尊神社	宝暦 9 年（1759）か	
	53	水陸塔	北小町　堰土手	寛延 4 年（1751）	
	54	堅牢地神	北小町　川岸公会堂	江戸時代中期	女人像陽刻
	55	子安地蔵	北小町　川岸公会堂	宝暦 2 年（1752）	
	56	二十三夜塔	北小町　川岸公会堂	宝暦 3 年（1753）	勢至菩薩陽刻
	57	鳥居	北小町　北辰神社	文化 7 年（1810）	
	58	夏念仏塔	成川　方広寺	宝暦 7 年（1757）	
吉尾	59	力石	仲　花輪薬師堂	文政 11 年（1828）	
	60	山口志道顕彰碑	吉保八幡神社	明治 28 年	宮亀年刻
	61	蝗神供養塔	吉保八幡神社	寛延 3 年（1750）	
	62	大黒天	東光寺観音堂	安永 7 年（1778）	
	63	車地蔵	大川面　国道 410 号線脇	寛永 8 年（1796）	
	64	五輪塔	長安寺	慶長 10 年	
	65	石宮	細野　愛宕神社	江戸時代後期	
	66	馬頭観音	龍江寺	江戸時代後期	
大山	67	宝塔	遠本寺	室町時代	
	68	百体地蔵	金束　引越	文政元年（1818）	
	69	富士講供養塔	金束　木ノ根峠	明治 13 年（1880）	
	70	光明真言塔	金束　戸越集会所	天明 4 年（1784）	
	71	宝篋印塔	大山寺	文和 2 年（1353）	市指定文化財
	72	役行者	大山寺	江戸時代後期	武田石翁作か
	73	綿打神	平塚　房田	安永 4 年（1857）	
	74	不動明王	平塚　朝見塚	文政 3 年（1820）	
	75	道祖神	平塚　山田家	万延元年（1860）	道標銘を伴う
曽呂	76	宝篋印塔	畑　神宮寺不動堂	文和４年（1355）	
	77	狛犬	畑　熊野神社	江戸時代後期	
	78	庚申塔	西　九本木	宝暦 5 年（1755）	
	79	馬頭観音	東　東神社入口	安永 4 年（1857）	
	80	庚申塔	代　八雲神社	貞亨元年（1684）	
	81	地蔵菩薩	代　地済院	室町時代前期	
	82	庚申塔	二子　石尊神社	慶安 2 年（1649）か	阿弥陀・二猿陽刻

	83	馬頭観音	宮　宮橋付近	安永 2 年（1855）	
	84	庚申塔	宮　共同墓地	永禄 2 年（1559）	六地蔵陽刻
太海	85	狛犬	太海　香指神社	文政 7 年（1824）	
	86	千手観音	西徳寺	文化 10 年（1813）	
	87	十九夜塔	西徳寺	享保 2 年（1717）	如意輪観音陽刻
	88	百体観音	太夫崎　波切不動	寛政年間	
	89	倶利迦伽羅竜王	太夫崎　波切不動	江戸時代後期	
	90	狛犬	太夫崎　波切不動	江戸時代後期	
	91	庚申塔	太夫崎 297 地先	延宝 8 年（1680）	
	92	武蔵板碑	東覚寺	14 世紀	市指定・当館寄託
江見	93	三尊仏	古泉院	永禄頃	
	94	廻国塔	青木　薬師堂	正徳 2 年（1712）	地蔵陽刻
	95	道祖神	青木 45 地先	嘉永 4 年（1851）	
	96	弘法大師	青木８-1 地先	江戸時代後期	
	97	出羽三山供養塔	長泉院	明治 38 年（1905）	
	98	如意輪観音	東江見 387 地先	享保 19 年（1734）	
	99	六地蔵	東真門　真門公会堂	享保 2 年（1717）	
	100	両界大日如来	西真門　虚空蔵堂	14～15 世紀	

【句碑・歌碑】

	作者	句・歌	所在地
1	正岡子規	雉鳴くや　背丈にそろふ　小松原	鏡忍寺
2	富安風生	古希といふ　春風に居る　鈴かな	鏡忍寺
3	香川進	春あさき　光りの流れ　戦いの跡を　移ろうは　静かなるかも	鏡忍寺
4	杉田博	ふけてゆく　台風のそら　ほのゝゝと　沖にたつなみ　見せてくらミぬ	鏡忍寺
5	曽我部雅文	小松原の　秋静かなり　かくり世の　人呼ぶごとく　百舌鳥の高鳴く	鏡忍寺
6	石井守	新春詠　日蓮の大きみ寺の寒椿　紅燃えて年改まる	鏡忍寺
7	鈴木真砂女	初凪や　もののこほらぬ　国に住み	鴨川グランドホテル
8	鈴木真砂女	あるときは　船より高き　卯浪かな	仁右衛門島
9	源講修	以津の世に　ひらき初けむ　仙人の　壽美可に奈らふ　古例の蓬島	仁右衛門島
10	松尾芭蕉	海暮れて　鴨の聲　ほのかに白し	仁右衛門島
11	水原秋桜子	巌毎に　怒涛をあけぬ　春の海	仁右衛門島
12	水原秋桜子	虹立つや　雨雲ひくき　波の列	仁右衛門島

13	水原秋桜子	鶺鴒も　千鳥も飛ふよ　初あらし	仁右衛門島
14	水原秋桜子	冬凪きて　岩壁映ゆる　夕焼雲	仁右衛門島
15	富安風生	初渚　ふみて齢を　愛しけり	仁右衛門島
16	岡本眸	女手に　井のふたおもき　雪柳	仁右衛門島
17	小出秋光	暖かし　わた津みに降る　ものヽ声	仁右衛門島
18	小枝秀穂女	鯛曼陀羅の　海をはるかに　髪洗ふ	仁右衛門島
19	相聞往来の歌	安波峰ろの　峰ろ田に生はる　たはみ蔓引かばぬるぬる　吾を言な絶え	太海フラワーセンター
20	古泉千樫	みんなみの　嶺岡山の　焼くる火の　こよひも赤く　見えにけるかも	古泉千樫誕生地
21	古泉千樫	久美の葉の　しろく光れる　なぎさ道　牛ひとつゐて　海にむきたつ	汐入公園
22	安田稔郎	風ふけば　そらの青さよ　いただきに　肌ぬぎて汗を　ふきにけるかも	嶺岡苑
23	富安風生	梅こぼれ　庭の真砂に　浜千鳥	永明寺
24	富安風生	老松の　賑いたてる　みどりかな	永明寺
25	富安風生	生くる　ことやうやく　たのし老の春	亀の井ホテル
26	富安風生	うら山に　鳶一望に　波涼し	イーストベイサイドマンション
27	富安風生	わが道を　ふりかへり見て　月涼し	鳥海竹心邸
28	上皇陛下	刈り終へし、棚田に稲葉青く茂り、あぜのなだりに彼岸花咲く	大山千枚田
29	丈部与呂麿	たちこもの　発ちの騒きに　相見てし　妹が心は　忘れせぬかも	真福寺
30	松尾芭蕉	春なれや　名もなき山の　朝霞	宮山神社
31	松尾芭蕉	雲をりをり　人を休める　月見哉	蓮華院
32	松尾芭蕉	山里は　万歳おそし　梅の花	旧水田家住宅
33	松尾芭蕉	海暮て　鴨の声　ほのかに白し	仁右衛門島
34	松尾芭蕉	石の香や　夏艸赤く　露暑し	日枝神社（上小原）
35	松尾芭蕉	ほろほろと　山吹ちるか　滝の音	白滝不動協会
36	松尾芭蕉	此あたり　目に見ゆもの　みな涼し	安国寺
37	松尾芭蕉	野を横に　馬引むけよ　ほととぎす	大田代
38	東久世通禧	金山乃太可きいさをは　引く三徒のな可礼て世々に　堂えしと楚おも婦	打墨神社
39		ゆく水に数かきおける写し絵は　定めなき世に経ぞ語らむ	原中観音堂
40	山口愛良	ながれてこの世にもしらなむもののふのたけきその名のみちはるの淵	袋倉　第二ダム脇北側の山
41		かわり世の神のみかとにうつし世の　返りことせむまふていたらは	諏訪神社隣　太子堂墓地
42		川越すと　ゆうは涼しき（△△△）	慈恩寺集会所
43	加藤清正	時なれや　妙の浦□□　咲く花の　日のもと匂ふ　法の一りん	誕生寺

44	重成	あなたふと　妙法を万代に　つたへ栄む このえなの松	誕生寺
45	廣明	おん母の　命四年を　延はまして　かたみの寺と　聞くは　親しむ	誕生寺
46	高山人	三畳も　時雨聞には　廣過る	誕生寺
47	抱芦女	笠程な家に　客あり初時雨	誕生寺
49	廣明	二重なす　瞼の切れの聰明に　経持ちて 立ゝす　幼み姿	誕生寺
50	竹丈	老たりと　独りおもふや　冬篭	誕生寺
51	亀井光成	たれといふ　名はしらねとも　今年より 法の教をまもる人かな	誕生寺
52	上皇后陛下	波の間に　姿を見せつゝ　鯛のむれ　ふなへりちかく　あまたよりくる	鯛の浦遊歩道
53	石渡魚風	空蝉と　なりても力　抜かざりし	旧小湊中学校校庭
54		水月の主を□人と　人とハゝ唯松風□　音とこたえむ	海福寺
55	一統舎貫志	枯艸や　人のうへにも　たつ月日	自性院
56		参里来て　受けし功徳で　罪も消へ　こゝころも身をも　清澄のてら	女人堂跡
57		目に見へぬ　こゝろの□り　晴れ□り　千光照らす　清澄の山	女人堂跡
58	平田月虹	山男鹿の　つきくる木戸を　締めにけり	清澄寺
59		汀にはたちも　寄られす山賤の　かけはつかしき　清澄の池	清澄寺
60	兜木洞岳（正演）	土かをる　大樹のもとや　苔の花	清澄寺
61		草も木もともに唱へん　妙法の五字にかゞやく　清澄のみね	清澄地区
62		参りて来て受けし　功徳でつみも消え こゝろも身をも　清澄のてら	清澄地区

⑦その他の分類

・地名（小字）

・鴨川地区

【貝渚】	
南川田	ミナミカワダ
北川田	キタカワダ
中川間	ナカカワマ
下川間	シモカワマ
上川間	カミカワマ
東原	ヒガシハラ
南原	ミナミハラ
北原	キタハラ
西原	ニシハラ
北臺	キタダイ

東臺	ヒガシダイ
澤田	サワダ
前荒谷	マエアラヤ
下堺	シモザカイ
上堺	カミザカイ
中原峰	ナカハラミネ
西峰	ニシミネ
東峰	ヒガシミネ
西向荒谷	ニシムコウアラヤ
向荒谷	ムコウアラヤ
小田	オダ
大谷	オオヤツ
石塚	イシヅカ
下西ノ作	シモニシノサク
西ノ作	ニシノサク
萩塚	ハギヅカ
上野辺地	カミノベチ
中野辺地	ナカノベチ
燈篭塚	トウロウヅカ
下野辺地	シモノベチ
石子山	イシゴヤマ
北一戦場	キタイッセンバ
冨士根	フジネ
魚見塚	ウオミヅカ
南一戦場	ミナミイッセンバ
北八岡道上	キタヨオカミチウ
南八岡道上	ミナミヨオカミチウエ
南八岡道下	ミナミヨオカミチシタ
北八岡道下	キタヨオカミチシ
西ノ浜	ニシノハマ
和合	ワゴウ
川口	カワグチ
汐留	シオドメ
加茂川	カモガワ
茱萸島	グミジマ
嶺岡東下牧	ミネオカヒガシシモマキ
【横渚】	
五反目	ゴタンメ
堂目	ドウメ
鎌田	カマダ
亀井	カメイ
田丸	タマル
川崎	カワサキ
洲崎	スサキ
前原下	マエバラシタ
蔵之臺	クラノダイ

新田町	シンタマチ
芝	シバ
川田	カワタ
馬場	ババ
砂田	スナダ
沼里	ヌマリ
東峰	ヒガシ
大坪	オオツボ
堀井	ホリイ
栗木	クリキ
作田	サクダ
上原	ウエハラ
大久保	オオクボ
【前原】	
本町	ホンマチ
仲町	ナカチョウ
下本町	シモホンチョウ
山王町	サンノウチョウ
日影町	ヒカゲチョウ
愛宕町	アタゴチョウ
福井町	フクイチョウ
稲荷町	イナリチョウ
田町	タマチ
芝町	シバチョウ
浜町	ハマチョウ
北浜	キタハマ
前浜	マエハマ
川尻	カワジリ
【磯村】	
西ノ崎	ニシノザキ
新町	シンマチ
陣屋町	ジンヤチョウ
上ノ地	カミノチ
山ノ腰	ヤマノコシ
殿町	トノマチ
北町	キタマチ
小合浦	コゴウラ
大浦	オオウラ
鵜島	ウジマ
弁天島	ベンテンジマ
荒島	コウジマ

・東条地区

【和泉】	
前田	マエダ
代見	ダイミ
明神脇	ミョウジンワキ
代見堰田	ダイビセキダ
亀井	カメイ
小宮	コミヤ
大六天	ダイロクテン
梅田	ウエダ
駒木下	コマギシタ
駒木	コマギ
池田	イケダ
片吹	カタブキ
女神前	メガナマエ
男神前	オガナマエ
青木下	アオキシタ
西会久根	ニシアイグネ
竹ノ下	タケノシタ
間渡	マワタリ
上ノ芝	ウエノシバ
飯倉	イイグラ
棒作	ボウヅクリ
能当田	ノトダ
東会久根	ヒガシアイグネ
髙田	タカダ
澤田	サワダ
樋口	トイグチ
荒田	アラダ
田中	タナカ
山王前	サンノウマエ
山王堰下	サンノウセキシタ
カクミ	カクミ
滝ノ澤	タキノサワ
睦ヶ澤	ムツガサワ
鷲ノ澤	ワシノサワ
二ノ山	ニノヤマ
一ノ山	イチノヤマ
臺ノ上	ダイノウエ
山王臺	サンノウダイ
富部臺	トンベダイ
根方	ネガタ
小田	オダ
小田原	オダワラ
男金	オガナ
女神	メガナ
塚ノ合	ツカノアイ

嶺	ミネ
上金井戸	カミカナイド
下金井戸	シモカナイド
川間	カワマ
舞臺	ブタイ
保田前	ホタマエ
大藤	オオフジ
江里	エリ
大久保	オオクボ
石田	イシダ
東小谷	トウゴヤ
落口	オチグチ
和田	ワダ
滝ノ上	タキノウエ
大台	オオダイ
山ノ神	ヤマノカミ
上ノ台	ウエノダイ
石休場	イシヤスミバ
松ケ澤	マツガサワ
鵯澤	ヌイザワ
高倉	タカクラ
寺跡	テラアト
小倉	コグラ
切通	キリドウシ
伐掛澤	キツカケザワ
御倉澤	ミクラザワ
東保台	ヒガシホダイ
西保台	ニシホダイ
猿澤	サルサワ
遠澤	トオサワ
鳴子	ナルコ
中澤	ナカザワ
東澤	ヒガシサワ
北山	キタヤマ
西澤	ニシザワ
桑木	クワノキ
滝根入	タキネイリ
臑張	スネハリ
柑子ヶ谷	コウジガヤツ
舟ヶ谷	フネガヤツ
口明澤	クチアケザワ
棹ケ松	ソウガマツ
野田倉	ノダグラ
澤尻	サワジリ
【広場】	
八坂脇	ヤサカワキ

小宮	コミヤ
東鎌田	ヒガシカマダ
西鎌田	ニシカマダ
堰田	セキダ
堰下	セキシタ
五反目	ゴタンメ
柳坪	ヤナギツボ
谷堀	ヤツボリ
三本杉	サンボンスギ
不春知	ハシラズ
澤田	サワダ
中堰	ナカゼキ
諏訪田	スワダ
豆田	マメダ
下堰	シモゼキ
川間田	カワマダ
上川	カミカワ
後広場	ウシロヒロバ
臼井戸	ウスイド
下田	シモダ
上ノ臺	ウエノダイ
汐入	シオイリ
松崎	マツサキ
入ノ臺	イリノダイ
下芝	シタシバ
下広場	シタヒロバ
渚ノ谷	スワノヤ
渡り戸	ワタリド
上広場	ウエヒロバ
中広場	ナカヒロバ
小松原	コマツバラ
八坂前	ヤサカマエ
細谷	ホソヤ
西下澤	ニシシタザワ
東下澤	ヒガシシタザワ
上芝	ウワシバ
聖人塚	ショウニンヅカ
西池田	ニシイケダ
東池田	ヒガシイケダ
青木原脇	アオキバラワ
宮地	ミヤジ
青木原上	アオキバラワキ
時計原	トケイバラ
谷時計原	ヤツトケイバラ
合戸前	ゴウドマエ
赤澤	アカザワ

板田	イタダ
掛松寺	ケイショウジ
作ノ田	サクノダ
長所	ナガドコロ
中滝	ナカダキ
法正寺	ホウショウジ
根元谷	ネモトヤツ
中台谷	ナカダイヤツ
上峰	ウエミネ
松森	マツモリ
宝正寺谷	ホウショウジヤツ
【西町】	
松口	マツグチ
佃	ツクダ
長尾田	ナガオダ
門前	カドマエ
田中	タナカ
六反目	ロクタンメ
塚前	ツカマエ
栗坪	クリツボ
長町	ナガマチ
上人塚	ショウニンヅカ
宮地	ミヤジ
時計原	トケイハラ
ビヤク	ビヤク
西臺	ニシダイ
小川原	オガワハラ
仲臺	ナカダイ
根本	ネモト
堂ノ下	ドウノシタ
下芝	シタシバ
両芝	リョウシバ
原	ハラ
御屋敷跡	オヤシキアト
須賀野谷	スガノヤ
小宮	コミヤ
袋倉谷	フクログラヤツ
松崎	マツサキ
根本峰	ネモトミネ
仲臺峰	ナカダイミネ
西峰	ニシミネ
【東町】	
赤澤	アカザワ
石田	イシダ
馬場毛	ババケ
堂ノ下	ドウノシタ

中原	ナカハラ
六反目	ロクタンメ
田中	タナカ
門前	カドマエ
柑子ヶ谷	ハラ
城戸内	キドウチ
宝性寺	ホウショウジ
中滝	ナカダキ
清明前	セイメイマエ
十二天	ジュウニテン
後川間	ウシロカワマ
川間	カワマ
小松山	コマツヤマ
長所	ナガドコロ
御屋敷跡	オヤシキ
天神東	テンジンヒガシ
諏訪東	スワヒガシ
上浦ノ脇	カミウラノワキ
中浦ノ脇	ナカウラノワキ
下浦ノ脇	シモウラノワキ
馬立場	ウマタテバ
八幡東	ハチマンヒガシ
若宮東	ワカミヤヒガシ
坂下	サカオリ
上袋倉	カミフクログラ
中袋倉	ナカフクログラ
下袋倉	シモフクログラ
大川間	オオカワマ
汐入場	シオイリバ
下芝	シタシバ
中芝	ナカシバ
五反目	ゴタンメ
時計原	トケイハラ
栗坪	クリツボ
影山	カゲヤマ
上袋倉谷	カミフクログラヤ
中袋倉谷	ナカフクログラヤ
下袋倉谷	シモフクログラヤ
合尻	ゴウジリ
入道谷	ニュウドウヤツ
宝性寺谷	ホウジョウジヤツ
西上ノ山	ニシウエノヤマ
東上ノ山	ヒガシウエノヤマ
松崎	マツサキ
【東元浜荻飛地】	
吹通	フキドオシ

倉掛	クラカケ
西山際	ニシヤマギワ
天神東	テンジンヒガシ

・西条地区

【滑谷】	
苗代	ナワシロ
板田	イタダ
下干谷	シモホシヤ
上干谷	カミシモヤ
中島	ナカジマ
下ノ原	シモノハラ
合惣	ガッソウ
上関田	カミセキダ
下関田	シモセキダ
原田	ハラダ
高沢	タカザワ
堀上	ホリアゲ
五反目	ゴタンメ
関下	セキシタ
惣作	ソウザク
荒蒔	アラマキ
門田	カドタ
後場	ウシロバ
郷貫	ゴウヌキ
西ヶ谷	ニシガヤツ
味薗	ミソノ
宮田	ミヤダ
川間	カワマ
上の原	ウエノハラ
【粟斗】	
砂田	スナダ
川間	カワマ
南	ミナミ
横捲	ヨコマキ
仲代	ナカダイ
梅田	ウメダ
込堂	コミドウ
馬々崎	ババサキ
向谷	ムカイヤツ
石田	イシダ

仲野	ナカノ
大久保	オオクボ
房面	ボウメン
平田	ヒラタ
西谷	ニシヤツ
大道	オオミチ
上峰	ウエミネ
椎木	シイノギ
三谷	ミヤツ
宮ノ脇	ミヤノワキ
宮ノ前	ミヤノマエ
辻	ツジ
房坂	ボウザガ
足原	アシワラ
横手	ヨコテ
岩渕	イワブチ
津花	ツバナ
湯谷	ユヤツ
平滝	ヒラタキ
奥谷	オクヤツ
天神	アマガネ
橘	タチバナ
滝ヶ谷	タキガヤツ
【打墨】	
大里境	ダイリザカイ
諸内	モロウチ
佐久間畑	サクマバタケ
大畑	オオバタケ
小塚前	コヅカマエ
野中	ノナカ
寺ノ下	テラノシタ
東廻リ塚	ヒガシマワリヅカ
宮田	ミヤダ
西廻リ塚	ニシマワリヅカ
洞坂	ボラザカ
森ノ下	モリノシタ
荒田	アラタ
代別当	ダイベットウ
鍛冶屋坂	カジヤザカ
西久保	ニシクボ
荒谷	アラヤ
諏訪代	スワダイ
廣田	ヒロタ
大日下	ダイニチシタ
大日町	ダイニチマチ
下帰田	シモカエリダ

上帰田	カミカエリダ
東峰	ヒガシミネ
向峰	ムカイミネ
東仲村	ヒガシナカムラ
西仲村	ニシナカムラ
下畑	シタバタケ
下前田	シモマエダ
上前田	カミマエダ
坂口	サカグチ
上津辺	カミツベ
下津辺	シモツベ
漆畑	ウルシバタ
冬青木	モチノキ
花房	ハナブサ
南久保田	ミナミクボタ
北久保田	キタクボタ
越砂	コエサゴ
郷中	ゴウナイ
原田	ハラダ
動山	ドウサン
石塚	イシヅカ
ミノゲバ	ミノゲバ
仲野原	ナカノハラ
向	ムカイ
鹿野岡	カノオカ
奥谷	オクヤツ
立岩	タテイワ
小谷	コヤツ
京田	キョウデン
由井	ヨシイ
峰山	ミネヤマ
地年貢	ジネング
芝崎	シバザキ
川坂	カワサカ
大西	オオニシ
押本	オシモト
キドンボウ	キドンボウ
龍崎	リュウザキ
ミノ口	ミノグチ
釜神	カマガミ
グジウジ	グジウジ
日ノ窄	ヒノサク
押出シ	オシダシ
下渕田	シモフチダ
上渕田	カミフチダ
花輪	ハナワ

間	ハザマ
竹田山	タケダヤマ
二百代	ニヒャクダイ
沢田	サワダ
上大畑	カミオオハタ
牛坂	ウシザカ
下鷹ノ巣	シモタカノス
片倉	カタクラ
上鷹ノ巣	カミタカノス
川嶋	カワジマ
切貫	キリヌキ
船石	フナイシ
荏畑	エバタケ
豆ヶ堀	マメガボリ
三百代	サンビャクダイ
斧落	オノオトシ
ハリタケグ子	ハリタケグネ
背稲澤	セイナザワ
【花房】	
関下	セキシタ
昭田	シヨウデン
安田	ヤスダ
大関	オオゼキ
和田	ワダ
数木谷	カズキヤツ
改田	カイデン
石塚	イシヅカ
掛田	カケダ
外沼	トヌマ
上貫	ウワヌキ
神明	シンメイ
下池	シモイケ
梶畑	カジバタケ
大木下	オオキシタ
大木	オオキ
中島	ナカジマ
川田	カワタ
川崎	カワサキ
寺ノ下	テラノシタ
秀路	シユウジ
門脇	カドワキ
風蔵	フウラ
萩原	ハギワラ
宮崎	ミヤザキ
女神向	メガナムコウ
台畑	ダイバタケ

川間	カワマ
青雲	セイウン
源太谷	ゲンダヤツ
長畑	ナガバタケ
芝﨑	シバザキ
根方	ネカタ
大和田	オオワダ
谷	ヤツ
峰山	ミネヤマ
峰	ミネ
峰田	ミネダ
焼澤	ヤキザワ
矢ノ田	ヤノタ
【八色】	
長尾作	ナガオサク
永代	エイダイ
堂ノ後	ドウノウシロ
真光寺	シンコウジ
南下原	ミナミシモバラ
川間	カワマ
高溝前	タカミゾマエ
惣作	ソウザク
姥田	ウバタ
石畑	イシバタケ
高溝	タカミゾ
川作	カワザク
大木	オオキ
後場	ウシロバ
蔵ノ脇	クラノワキ
町目	チョウメ
学田	ガクダ
水神田	スイジンダ
木田	キダ
大里境	ダイリザカイ
尾江島	オエジマ
吉田	ヨシダ
鶴島	ツルジマ
大塚	オオツカ
関田	セキダ
八色前	ヤイロマエ
石塚	イシヅカ
八色	ヤイロ
峰	ミネ
篭政	カゴマサ
西ヶ谷	ニシガヤツ
ヘナ畑	ヘナバタケ

大日	ダイニチ
小塚	コヅカ

・田原地区

【坂東】	
常盤	トキワ
武井戸	ブイド
大塚	オオツカ
笠松	カサマツ
坂東代	バンドウダイ
川田	カワタ
下坂東	シタバンドウ
坂東代下	バンドウダイシタ
末崎	スエサキ
倉作	クラヅクリ
西ノ前	ニシノマエ
八幡前	ハチマンマエ
代ノ前	ダイノマエ
下畑	シタバタケ
力石	チカライシ
清水場	シミズバ
東川田	ヒガシカワタ
寉舞	ツルマイ
勝木	カチキ
亀田	カメダ
宮ノ脇	ミヤノワキ
竹平臺	タケヒラダイ
猿貝戸	サイガイド
君付	キミツケ
坂場	サカバ
鍛冶畑	カジバタケ
遠明	エンミョウ
西川崎	ニシカワサキ
上久保田	カミクボタ
山田	ヤマダ
一分新田	イチブシンデン
一分新田下	イチブシンデンシ
京田前	キョウデンマエ
堰下	セキシタ
久根ノ内	クネノウチ
八反目	ハッタンメ
越廻	コシメグリ
宮崎	ミヤサキ
南谷	ナンヤツ

祝井戸	イワイド
最中	モナカ
海老屋敷	エビヤシキ
池田原	イケダハラ
吉田	ヨシダ
【押切】	
尾塚	オツカ
堀頭	ハリガシラ
落合	オチアイ
澤田	サワダ
火渡	ヒワタリ
山ノ神	ヤマノカミ
作田	サクダ
後原	ウシロハラ
上ノ原	ウエノハラ
東上ノ代	ヒガシウエノダイ
西上ノ代	ニシウエノダイ
貝戸	カイド
新田	シンデン
川間	カワマ
【川代】	
坊中	ボウチュウ
門田	カドタ
堀ノ内	ホリノウチ
小里	コザト
合戸	ゴウド
水姓免	スイショウメン
代野沼	ダイノヌマ
花野木	ハナノキ
谷根	ヤツネ
熊野道	クマノドウ
榎田	エノキダ
仲嶋	ナカジマ
永田	ナガタ
反田	ソウダ
花輪田	ハナワダ
東青尾	ヒガシアオオ
西青尾	ニシアオオ
柿木代	カキノキダイ
赤土	アカツチ
花戸	ハナド
松山	マツヤマ
仲尾町	ナカオマチ
大場代	オオバダイ
道田	ドウダ
清水尻	シミズチリ

宮ノ脇	ミヤノワキ
藤免	フジメン
腰房	コシボウ
藤塚	フジツカ
大平	オオヒラ
馬屋代	ウマヤダイ
丸塚	マルヅカ
角鎌	スミガマ
【池田】	
八反目	ハッタンメ
最中	モナカ
池田原	イケダハラ
堰下	セキシタ
苗代台	ナワシロダイ
南	ミナミ
海老屋敷	エビヤシキ
武井戸	ブイド
常盤	トキワ
花下	ハナゲ
花金田	カキンデン
畑中	ハタナカ
前田	マエダ
堀切	ホッキリ
新堰	ニイゼキ
向原	ムカイハラ
青木原	アオキバラ
西不動原	ニシフドウハラ
小見田	コミタ
東不動	ヒガシフドウ
太田学	オダガク
北	キタ
小澤下	オザワシタ
神川	カニガワ
前大作	マエオオサク
奥大作	オクオオサク
仲ノ澤	ナカノサワ
峰	ミネ
太田学原	オダガクハラ
百目木	ドウメキ
鴻ノ巣	コウノス
芝際	シバギワ
向ヶ谷	ムコウガヤツ
和田	ワダ
新田	シンデン
一部新田	イチブシンデン
久保田	クボタ

仲ノ台	ナカノダイ
下坂東	シタバンドウ
山田作	ヤマタサク
仲山	ナカヤマ
片鐚	カタビタ
風早	カゼハヤ
神川作	カニガワサク
小滝	コダエ
【竹平】	
稲荷	イナリ
坂場	サカバ
君附	キミツケ
愛宕前	アタゴマエ
惣作	ソウサク
猿貝戸	サルガイド
望洋台	ボウヨウダイ
横尾	ヨコオ
大原	オオハラ
家ノ下	イエノシタ
山ノ神	ヤマノカミ
川田	カワタ
寉舞	ツルマイ
亀田	カメダ
将軍	ショウグン
宮ノ脇	ミヤノワキ
宮崎	ミヤザキ
南谷	ナンヤツ
岩井戸	イワイド
堰下	セキシタ
天沼	アマヌマ
丸山	マルヤマ
一分新田	イチブシンデン
打口	ウチグチ
鍛冶畑	カジバタケ
横手	ヨコテ
下久保田	シモクボタ
上久保田	カミクボタ
附野尾	ツケノオ
谷津	ヤツ
平柳	ヒラヤナギ
山田作	ヤマダサク
和田前	ワダマエ
和田	ワダ
新堰	ニイゼキ
常盤	トキワ
武井戸	ブイド

最中	モナカ
池田原	イケダハラ
池田堰下	イケダセキシタ
池田新田	イケダシンデン
京田前	キョウデンマエ
久根ノ内	クネノウチ
八反目	ハッタンメ
蔵造	クラヅクリ
笠松	カサマツ
川向	カワムコウ
末﨑	スエサキ
西ノ前	ニシノマエ
八幡前	ハチマンナエ
代ノ前	ダイノマエ
力石	チカライシ
円明	エンミョウ
吉田ｲﾂﾎﾞ	ヨシダイツボ
【京田】	
青木原	アオキバラ
向原	ムカイハラ
西原	ニシハラ
太田学	オダガク
猪久保	イノクボ
三十ノ尾	ミソノオ
清水澤	シミズサワ
小澤	オザワ
神川	カニガワ
大作	オオサク
大峰	オオミネ
仲ノ澤	ナカノサワ
峰前	ミネマエ
中道	ナカミチ
田仲	タナカ
鴻ノ巣	コウノス
芝際	シバギワ
太田学原	オダガクハラ
峰堰下	ミネセキシタ
峰	ミネ
坂本	サカモト
峰堰	ミネゼキ
藤沢	フジサワ
日摺間	ヒスルマ
長滝	ナガダキ
谷津	ヤツ
上久保田	カミクボタ
下久保田	シモクボタ

西川﨑	ニシカワサキ
山田	ヤマダ
山田作	ヤマダサク
附野尾	ツケノオ
一部	イチブ
竹平堰下	タケヒラセキシタ
稲荷	イナリ
坂場	サカバ
猿貝戸	サルガイド
南谷	ナンヤツ
宮ノ脇	ミヤノワキ
川田	カワタ
寉舞	ツルマイ
下坂東	シタバンドウ
八反目	ハッタンメ
最中	モナカ
久根ノ内	クネノウチ
京田前	キョウデンマエ
京田	キョウデン
池田堰下	イケダセキシタ
池田原	イケダハラ
イビヤシキ	イビヤシキ
苗代台	ナワシロダイ
新田	シンデン
和田前	ワダマエ
和田	ワダ
前田	マエダ
堀切	ホッキリ
花金田	カキンデン
新堰	ニイゼキ
円明	エンミョウ
田頭	タガシラ
笠松	カサマツ
【太尾】	
下田	シタダ
川田	カワタ
下畑	シタバタケ
惣作	ソウサク
太尾川	フトオガワ
太尾	フトオ
青木下	アオキシタ
宮本前	ミヤモトマエ
西貝戸	ニシカイド
三反田	サンタンダ
宮本	ミヤモト
松葉	マツバ

長所	ナガドコロ
鬼ヶ作	オニガサク
宮原	ミヤハラ
宮原芝	ミヤハラシバ
久保	クボ
川端	カワバタ
竹ノ下	タケノシタ
一本松	イッポンマツ
五十作	ゴジュウサク
滝山	タキヤマ
貢城	グジョウ
大平	オオヒラ
平代	ヒラダイ
亀ノ下	カメノシタ
細木山	ホソギヤマ
谷田	ヤツダ
森田	モリタ
垣ノ内	カキノウチ
貝戸	カイド
松ノ代	マツノダイ
中里	ナガザト
大宮	オオミヤ
梅田	ウメダ
茱萸ノ木	グミノキ
来秀芝	ライシュウシバ
芝添	シバゾエ
中谷	ナカタニ
石田	イシダ
西ノ町	ニシノマチ
下谷	シタニヤ
宇津木	ウヅキ
久保	クボ
【太田学】	
日摺間	ヒスルマ
平柳	ヒラヤナギ
長滝	ナガダキ
上久保田	カミクボタ
下久保田	シモクボタ
一部堰下	イチブセキシタ
京田前	キョウデンマエ
久根ノ内	クネノウチ
最中	モナカ
代ノ前	ダイノマエ
清水	キヨミズ
力石	チカライシ
下畑	シタバタケ

下坂東	シタバンドウ
笠松	カサマツ
海老屋敷	エビヤシキ
常盤	トキワ
苗代台	ナワシロダイ
堰下	セキシタ
新田	シンデン
和田前	ワダマエ
和田	ワダ
山田	ヤマダ
山田作	ヤマダサク
長峰	ナガミネ
津波井新田	ツバイシンデン
前田	マエダ
堀切	ホッキリ
新堰	ニイゼキ
花下	ハナゲ
青木原	アオキバラ
西原	ニシハラ
込田	コミタ
榎久保	エノクボ
三十野	ミソノオ
太田学	オダガク
今樋	コンドイ
鴻ノ巣	コウノス
芝際	シバギワ
向谷	ムカイヤツ
太田学原	オダガクハラ
中道	ナカミチ
神川	カニガワ
大作	オオサク
大峰	オオミネ
中ノ澤	ナカノサワ
峰田	ミネダ
峰	ミネ
峰堰下	ミネセキシタ
坂本	サカモト
藤澤	フジサワ
日ノ日摺間	ニノヒスルマ
屋津	ヤツ
上ノ代	ウエノダイ
下谷	シタヤツ
吉田	ヨシダ
五反目	ゴタンメ
清水	キヨミズ
太田学	オダガク

小滝	コダキ
宮尻	ミヤジリ
打越	ウツコシ
鷹ノ巣	タカノス
金山	カネヤマ
藤ヶ作	フジガサク
湯坪	ユツボ
中山	ナカヤマ
【来秀】	
下谷	シタヤツ
聖人	ヒジリ
前畑	マエハタ
堺	サカイ
松山	マツヤマ
根岸	ネギシ
小柴	コシバ
石田	イシダ
来秀	ライシュウシバ
西ノ町	ニシノマチ
来秀芝	ライシュウシバ
茱萸ノ木田	グミノキダ
蓮台場	レンダイバ
柴添	シバゾエ
仲居	ナカイ
穴田	アナダ
山ノ神	ヤマノカミ
神白	コウジロ
宮ノ前	ミヤノマエ
舞台	ブタイ
宮田原	ミヤタハラ
上ノ田	ウエノダ
山田	ヤマダ
小谷	コヤツ
細木山	ホソギヤマ
門田	カドタ
梅田	ウメダ
開戸	カイド
亀ノ下	カメノシタ
平台	ヒラダイ
滝山	タキヤマ
青木下	アオキシタ
宮本	ミヤモト
宮本前	ミヤモトマエ
太尾川	フトオガワ
下畑	シタバタケ
大宮	オオミヤ

宿前	シクマエ
【大里】	
川間	カワマ
西ヶ谷	ニシガヤツ
橋詰	ハシズメ
水神木	スイジンギ
五反目	ゴタンメ
宇都木	ウズキ
下タ田	シタダ
宮前	ミヤマエ
房ヶ谷	ボウガヤツ
上ノ原	ウエノハラ
榎田	エノキダ
荒神畑	コウジンバタ
松ノ下	マツノシタ
宮畑	ミヤハタ
宿前	シクマエ
南ヶ谷	ミナミガヤツ
落合	オチアイ
宮前	ミヤマエ

・主基地区

【成川】	
女田ケ原	メダガハラ
後川谷	ゴセンヤ
原	ハラ
鬼原	オニバラ
下関谷	シモセキヤツ
上関谷	カミセキヤツ
柳谷	ヤナギヤツ
梅田	ウメダ
川谷	カワヤツ
雛畑	ヒナバタケ
大田子	オオダコ
川田	カワタ
川音	カワオト
澤又	サワマタ
小原	コバラ
山王	サンノウ
小堀	コボリ
大番沢	オオバンザワ
中尾	ナカオ
中居草	ナカイグサ
台畑	ダイバタケ
下芋庭	シモイモニワ
中芋庭	ナカイモニワ
上芋庭	カミイモニワ
背負澤	セオイザワ
嶺	ミネ
石伊奈	イシイナ
下袖木	シモソデキ
上袖木	カミソデキ
田隅	タズミ
中山入	ナカヤマイリ
髙見	タカミ
上山入	カミヤマイリ
下山入	シモヤマイリ
下大芝	シモオオシバ
上大芝	カミオオシバ
鍛冶谷	カジヤ
下谷屋敷	シモヤツヤシキ
上谷屋敷	カミヤツヤシキ
蔵谷	ゾウヤツ
新関	ニイゼキ
下新関	シモニイゼキ
腰越	コシゴエ
西広田	ニシヒロタ

広田	ヒロタ
中広田	ナカヒロタ
下広田	シモヒロタ
東台	トウダイ
中台	ナカダイ
西台	ニシダイ
中西	ナカニシ
中東	ナカヒガシ
北下台	キタシモダイ
坂場	サカバ
川坂	カワザカ
南下台	ミナミシモダイ
作畑	サクバタケ
袖木	ソデキ
加茂台	カモダイ
比丘尼田	ビクニダ
京岳	キョウガク
奥川谷	オクカワヤツ
風雨流田	フウリユウダ
笹塚	ササヅカ
髙塚	タカツカ
滝ノ澤	タキノサワ
【上小原】	
岩田	イワノタ
空木	クウギ
小田分	コダケ
林下	リンゲ
津花田	ツバナダ
広田	ヒロタ
疋田	ヒエダ
長幾	ナガイク
道陸神	ドウロクジン
粟畑	アワバタケ
滝	タキ
大原台	オオハラダイ
三貫目	サンカンメ
狐塚	キツネヅカ
金堀	カナホリ
松山	マツヤマ
向原	ムカイバラ
川田	カワタ
山王	サンノウ
山王前	サンノウマエ
大近戸	オオチカド
仲尾	ナカオ
金蔵	コンゾウ

大森	オオモリ
吹込	フキコミ
立野	タツノ
漆作	ウルシザク
泉田	イズミダ
兎谷	ウサギヤツ
黒石	クロイシ
荒牧	アラマキ
白石	シライシ
相川	アイガワ
仲野	ナカノ
柳生	ヤギュウ
袋田	フクロダ
広畑	ヒロバタケ
西ノ久保	ニシノクボ
髙塚	タカツカ
【下小原】	
宮田	ミヤタ
湯貫田	ユヌキダ
房田	ボウダ
下大畑下	シモオオハタシタ
上大畑下	カミオオハタシタ
大畑代	オオハタダイ
柿田	カキダ
宮ノ下	ミヤノシタ
七保寺	シチホジ
代	ダイ
下前田	シモマエダ
上前田	カミマエダ
江澤	エザワ
小原	コバラ
澤田	サワダ
下川久保	シモカワクボ
上川久保	カミカワクボ
川崎	カワサキ
向川崎	ムコウカワサキ
上川崎	カミカワサキ
川田	カワタ
吉田	ヨシダ
花輪	ハナワ
東西原	ヒガシニシバラ
北西原	キタニシバラ
上西原	カミニシバラ
南西原	ミナミニシバラ
山ノ神	ヤマノカミ
山田	ヤマダ

丸芝	マルシバ
袋山	フクロヤマ
下髙塚	シモタカツカ
上髙塚	カミタカツカ
貝津田	カイズダ
石間寺	セキガンジ
上細野	カミホソノ
中細野	ナカホソノ
下細野	シモホソノ
奥山田	オクヤマダ
分山	ワケヤマ
【北小町】	
玉川	タマガワ
西川間	ニシカワマ
北丁目	キタチョウメ
南丁目	ミナミチョウメ
坂下り	サカオリ
柳久尾	ヤナギウ
石畑	イシバタケ
寺久保	テラクボ
川間	カワマ
荒平	アラヘイ
川岸	カシ
大塚	オオツカ
向町	ムカイマチ
込田	ゴミタ
紺屋ケ谷	コンヤガヤツ
大平	オオビラ
神川	カニガワ
堂ノ谷	ドウノヤツ
立場	タチバ
楠	クスノキ
向眞行	ムコウシンギョウ
前眞行	マエシンギョウ
勝方目	カッポウメ
勝方目作	カッポウメサク
金堀	カネホリ
柳作	ヤナギサク
細畑	ホソバタケ
椎ノ木作	シイノギサク
小谷	コヤツ
蚕場	カイコバ
川坂	カワザカ
芝	シバ
芝ノ下	シバノシタ
谷	ヤツ

髙谷	タガヤツ
熊野前	クマノマエ
天神	テンジン
仲居	ナカイ
観音後	カンノンゴ
花田	ハナダ
仲ノ坪	ナカノツボ
関澤	セキザワ
石神	イシガミ
大澤	オオサワ
伽藍	ガラン
大澤谷	オオサワヤツ
白岩	シロイワ
棒山	ボウヤマ
ヌタノヲ	ヌタノヲ
山ノ神	ヤマノカミ
大畑	オオバタケ
ヤタラゴウ	ヤタラゴウ
太尾野	フトオノ
クヨレ	クヨレ
見出シ	ミダシ
銘川	メイカワ
西ノ久保	ニシノクボ
尾塚	オヅカ
【南小町】	
町目	チョウメ
相川	アイガワ
下川田	シモカワタ
上川田	カミカワタ
前田	マエダ
前玉川	マエタマガワ
住吉	スミヨシ
垣内	カキウチ
北ケ谷	キタガヤツ
沼川	ヌマガワ
免上	メンジョウ
道見	ドウゲン
仲原	ナカハラ
和泉田	イズミダ
籠免	カゴメン
奥野	オグノ
和田	ワダ
雁田	ガンダ
山ノ田	ヤマノタ
石田	イシダ
市井澤	イチイザワ

清水	シミズ
鳥居台	トリイダイ
市倉	イチクラ
菅田	スゲダ
楠木	クスノキ
関頭	セキガシラ
豆口	マメグチ
松林	マツバヤシ
岩ノ田	イワノタ
【主基西】	
嶺岡東上牧	ミネオカヒガシカ

・吉尾地区

【大幡】	
仲山	ナカヤマ
狭根田	シュウネダ
遠目塚	トウメヅカ
峯ノ越	ミネノコシ
井戸向	イドムカイ
猿見堂	サルミドウ
丑前台	ウシマエダイ
戸庭	トニワ
宮田	ミヤダ
吉野入	ヨシノイリ
大平	オオヒラ
桑ノ木	クワノキ
船場	フナバ
山ノ神	ヤマノカミ
小山	オヤマ
畑中	ハタナカ
六地蔵	ロクジゾウ
原田	ハラダ
川端	カワバタ
芳林	ヨシバヤシ
三駄田	サンタダ
池月	イケヅキ
池月向	イケヅキムコウ
杉ノ越	スギノコシ
諏訪山	スワヤマ
兔田	ウサギダ
上作掛	カミサツカケ
作掛	サツカケ
市場	イチバ

市場峯	イチバミネ
洞田	ボラダ
【大川面】	
神明作	シンメイサク
神明前	シンメイマエ
横枕	ヨコマクラ
穴田	アナダ
柳作	ヤナギサク
上ノ原	ウエノハラ
中原	ナカハラ
吉門作	ヨシカドサク
吉門上	ヨシカドウエ
門郷	モンゴウ
上門郷	カミモンゴウ
門郷下	モンゴウシタ
松ヶ作	マツガサク
東大作	ヒガシオオサク
大作上	オオサクウエ
西大作	ニシオオサク
作田	サクダ
走リ落	ハシリオチ
茗荷作	ミョウガサク
姫子田	ヒメコダ
孫田	マゴタ
大谷上	オオヤツウエ
大谷中	オオヤツナカ
大谷下	オオヤツシタ
峯﨑	ミネザキ
横手	ヨコテ
西台	ニシダイ
前川田	マエカワダ
向川田上	ムコウカワダウエ
向川田下	ムコウカワダシタ
木﨑下	キサキシタ
西ノ条	ニシノジョウ
鬼塚	オニヅカ
木﨑	キサキ
東板屋	ヒガシイタヤ
西板屋	ニシイタヤ
松ノ木	マツノキ
南板屋	ミナミイタヤ
西ノ原	ニシノハラ
森際	モリギワ
六反目	ロクタンメ
金井坂	カナイザカ
大久保	オオクボ

川畑	カワバタ
低リ松	サガリマツ
石畑	セキバタ
関下	セキシタ
関尻	セキジリ
岩渕	イワブチ
下岩渕	シモイワブチ
下田	シタダ
東	ヒガシ
櫻木	サクラギ
作田	サクダ
前田	マエダ
向作	ムカイサク
柳坪	ヤナギツボ
横尾地	ヨコオジ
中臺	ナカダイ
上横尾寺	カミヨコオジ
恵呉田	エゴタ
馬具屋敷	バグヤシキ
五反目	ゴタンメ
平内関	ヘイナイゼキ
西ノ原	ニシノハラ
八﨑	ハツサキ
仲町	ナカマチ
梅田	ウメダ
川坂	カワザカ
桒ノ木	クワノキ
芳ヶ臺	ヨシガダイ
鳴澤	ナルサワ
八丁	ハツチョウ
西澤	ニシザワ
大黒塚	ダイコクヅカ
【北風原】	
金堀	カネホリ
仲瀬	ナカセ
坂ノ下	サカノシタ
砂押	スナオシ
橋ノ下	ハシノシタ
上川	カミカワ
西北風田	ニシナライダ
森ノ後	モリノアト
宮ノ谷	ミヤノヤツ
大塚	オオツカ
道ノ下	ミチノシタ
本名原	モトナハラ
能酒	イエサギ

石合	イシアイ
大日下	ダイニチシタ
本名	モトナ
南山	ミナミヤマ
大金渕	オオゴンブチ
山居谷	サンキヤツ
打越向	オツコシムコウ
小谷	コヤツ
打越	オツコシ
東北風田	ヒガシナライダ
吹ノ台	フキノダイ
安国寺台	アンコクジダイ
数ヶ谷	カズガヤツ
天王	テンノウ
上ノ台	ウエノダイ
名越	ナゴエ
細工田	サイクダ
大田	オオタ
善五作	ゼンゴサク
洞田	ボラダ
高倉	タカクラ
麦生田	ムギウダ
吉作	ヨシサク
鹿ヶ山	ロクガヤマ
豆木東	マメギヒガシ
豆木西	マメギニシ
豆木向	マメギムコウ
貝古場	カイコバ
高堂下	タカドウシタ
釜ヶ谷	カマガヤツ
石田尾	イシダオ
官明	カンミョウ
西沢	ニシザワ
【寺門】	
上ノ臺	ウエノダイ
後川	ウシロガワ
中屋敷	ナカヤシキ
東間	トウカン
苗代臺	ナワシロダイ
川井戸	カワイド
仲芝	ナカシバ
作	サク
尾澤	オザワ
下川	シタガワ
【仲】	
櫻木	サクラギ

下作田	シモサクダ
作田	サクダ
上作田	カミサクダ
吉井	ヨシイ
澤田	サワダ
向作	ムカイサク
横尾地	ヨコオジ
柳坪	ヤナギツボ
■ノ木	モチノキ
菌塚山	キノヅカヤマ
菌塚	キノヅカ
馬具屋敷	バグヤシキ
上横尾地	カミヨコオジ
恵呉田	エゴタ
本蔵	モトグラ
寺ノ臺	テラノダイ
寺ノ後	テラノアト
鳥居前	トリイマエ
鬼塚	オニヅカ
西ノ城	ニシノジョウ
金井坂	カナイザカ
西臺	ニシダイ
大久保	オオクボ
川畑	カワバタ
低松	サガリマツ
堀ノ内	ホリノウチ
五段目	ゴダンメ
中臺	ナカダイ
前田	マエダ
東	ヒガシ
鯛田	タイダ
石畑	セキバタ
関下	セキシタ
青木下	アオキシタ
岩渕	イワブチ
下岩渕	シモイワブチ
関尻	セキジリ
下田	シタダ
上ノ臺	ウエノダイ
堂ノ脇	ドウノワキ
堂ノ下	ドウノシタ
川田	カワタ
花輪	ハナワ
前川田	マエカワタ
木﨑	キサキ
板谷	イタヤ

森際	モリギワ
中町	ナカマチ
西ノ原	ニシノハラ
初﨑	ハツサキ
六反目	ロクタンメ
玉ノ木	タマノキ
太夫臺	タユウダイ
東臺	ヒガシダイ
菌塚	キノヅカ
宮山	ミヤヤマ
堂上田	ドウショウダ
桒ノ木	クワノキ
百目鬼	ドウメキ
菖蒲田	ショウブダ
仲ノ坪	ナカノツボ
楠	クスノキ
錠際	ジョウギワ
滑リ	スベリ
丸塚	マルヅカ
鳴澤	ナルサワ
苗代町	ナワシロマチ
清水作	シミズサク
堀切	ホリキリ
蓮花坊	レンゲボウ
西八丁	ニシハッチョウ
上八丁	カミハッチョウ
下八丁	シモハッチョウ
林	ハヤシ
■畑	ヘナバタケ
休場	ヤスミバ
角山	カドヤマ
奥	オク
一ノ関	イチノセキ
日影	ヒカゲ
一ノ堰	イチノセキ
西澤	ニシザワ
【横尾】	
川坂	カワザカ
堀ノ内	ホリノウチ
出口	デグチ
八幡	ハチマン
津部	ツベ
下ノ原	シタノハラ
沖ノ原	オキノハラ
田尻	タジリ
上ノ原	ウエノハラ

相作田	アイサクダ
曲田	マガリダ
宮ヶ谷	ミヤガヤツ
川久保	カワクボ
根岸	ネギシ
廻リ戸	マワリト
栗木谷	クリキヤツ
関下	セキジタ
根方	ネカタ
蓑口	ミノグチ
横峯	ヨコミネ
樋ノ谷	ヒノヤツ
仲田	ナカダ
百目木	ドウメキ
鎗田	ヤリタ
星ヶ谷	ホシガヤツ
奥通リ	オクドオリ
川田	カワタ
臺	ダイ
鴻ノ巣	コウノス
狭田	ハサミダ
向	ムカイ
上鼬澤	カミイタチザワ
下鼬澤	シモイタチザワ
夏苅	ナツガリ
川	カワ
尾沢	オザワ
【細野】	
竹ノ下樋口	タケノシタトイグチ
竹ノ下中町	タケノシタナカマチ
竹ノ下外川間	タケノシタソトカマ
根廻	ネマワリ
梅田	ウメダ
向川嶋	ムコウカワシマ
後田	ウシロダ
天神田	テンジンダ
前川嶋	マエカワシマ
上川嶋	カミカワシマ
祖父田	ジイダ
堂ヶ谷	ドウガヤツ
細田	ホソダ
銭神	ゼニガミ
横峯	ヨコミネ
猪卸	イノオロシ
大猿	オオザル
大猿舞	オオザルマイ

石原	イシハラ
取替畑向	トリカエハタムコウ
取替畑	トリカエハタ
谷取替畑	タニトリカエハタ
正山	ショウザン
大畑	オオハタ
瀧山	タキヤマ
【細野】	
蟻ヶ臺	アリガダイ
上大石	カミオオイシ
下大石	シモオオイシ
大姥懐	オオバアブトリ
小姥懐	コバアブトリ
小谷	コヤツ
苗代田	ナワシロダ
渡戸	ワタド
吹ノ臺	フキノダイ
左安場	ヒダリヤスバ
金堀	カナホリ
小金院	コガネイン
馬場	ババ
堂谷	ドウヤツ
龍宮寺	リュウグウジ
小林	コバヤシ
下畑	シモハタ
西ノ前	ニシノマエ
堀ノ内	ホリノウチ
兔田	ウサギダ
仲尾	ナカオ
上澤田	カミサワダ
下澤田	シモサワダ
糖ノ木	トウノキ
榊井戸	サカキイド
向山	ムコウヤマ
向林	ムカイバヤシ
小向林	コムカイバヤシ
山梅田	ヤマウメダ
【宮山】	
海道渕	カイドウブチ
金井坂	カナイザカ
大久保	オオクボ
石畑	セキバタ
中台	ナカダイ
東	ヒガシ
堰下	セキシタ
青木下	アオキシタ

岩渕	イワブチ
花輪	ハナワ
下作田	シモサクダ
吉井	キチイ
向作	ムカイサク
上作田	カミサクダ
柳坪	ヤナギツボ
■ノ木	モチノキ
澤田	サワダ
霭舞	ツルマイ
恵呉田	エゴタ
横尾地	ヨコオジ
五反目	ゴタンメ
寺ノ台	テラノダイ
本蔵	モトグラ
寺ノ後	テラノアト
久根際	クネギワ
北山ノ神	キタヤマノカミ
腰巻	コシマキ
八幡前	ハチマンマエ
鬼塚	オニヅカ
木埼下	キサキシタ
木埼上	キサキウエ
森際	モリギワ
玉ノ木	タマノキ
下六反目	シモロクタンメ
西ノ原	ニシノハラ
中台	ナカダイ
東	ヒガシ
堰下	セキシタ
青木下	アオキシタ

岩渕	イワブチ
花輪	ハナワ
下作田	シモサクダ
吉井	キチイ
向作	ムカイサク
上作田	カミサクダ
柳坪	ヤナギツボ
■ノ木	モチノキ
澤田	サワダ
霭舞	ツルマイ
恵呉田	エゴタ
横尾地	ヨコオジ
五反目	ゴタンメ
寺ノ台	テラノダイ
本蔵	モトグラ

寺ノ後	テラノアト
久根際	クネギワ
北山ノ神	キタヤマノカミ
腰巻	コシマキ
八幡前	ハチマンマエ
鬼塚	オニヅカ
木埼下	キサキシタ
木埼上	キサキウエ
森際	モリギワ
玉ノ木	タマノキ
下六反目	シモロクタンメ
西ノ原	ニシノハラ
西板谷	ニシイタヤ
板谷	イタヤ
三反目	サンタンメ
梅田	ウメダ
仲町	ナカマチ
初崎	ハツサキ
上六反目	カミロクタンメ
鍛冶屋敷	カジヤシキ
【宮山】	
堂上田	ドウジョウダ
川坂	カワサカ
百目鬼	ドウメキ
■ノ木	モチノキ
大滝	オオタキ
鯉太郎	コイタロウ
菖蒲田	ショウブダ
芝本前	シバモトマエ
釜田	カマタ
五平澤	ゴベザワ
日影山	ヒカゲヤマ
刈谷場	カリヤツバ
冨川前	フカワマエ
新三郎屋敷	シンサブロウヤシキ
一ノ関	イチノセキ
申榎	サルエノキ
黒星	クロボシ
瓜畑	ウリバタケ
古畑尻	コバタジリ
芳ヶ台	ヨシガダイ
丸塚	マルヅカ
彦四郎屋敷	ヒコシロウヤシキ
鳴澤	ナルサワ
楊慮木原	ウツキハラ
吹附	フキツケ

■畑	ヘナバタケ
岩塚	イワツカ
上芝本前	カミシバモトマエ
上鯉太郎	カミコイタロウ
新右衛門屋敷	シンウエモンヤシキ
向台	ムカイダイ
内居台	ウチイダイ
東台	ヒガシダイ
樋詰	トイヅメ
宮山	ミヤヤマ
東台	ヒガシダイ
樋詰	トイヅメ
宮山	ミヤヤマ
本作	モトサク
鮒ノ作	フナノサク
平内関	ヘイナイゼキ
向芝本	ムコウシバモト
芝本谷	シバモトヤツ
芝本	シバモト
笠木	カサギ
内ノ作	ウチノサク
赤松	アカマツ
引通シ	ヒキドオシ
富川	フカワ
古畑山	コバタヤマ
大黒塚	ダイコクヅカ
東澤	ヒガシサワ
【松尾寺】	
荒戸	アラト
久保田	クボタ
三反田	サンタダ
景	カゲ
前ノ原	マエノハラ
峯	ミネ
山ノ中	ヤマノナカ
小作田	コサクダ
■ノ木	モチノキ
加羅虫	カラムシ
谷	ヤツ
関谷	セキヤツ
関下	セキシタ
上作	カミサク
芝本下	シバモトシタ
芝本	シバモト
打越	オツコシ
味噌野	ミソノ

鮒ヶ作	フナガサク
下田	シタダ
板屋	イタヤ
上ノ原	ウエノハラ
腰巻	コシマキ
芝	シバ
下川	シモカワ
上川	カミカワ
芝新田	シバシンデン
【吉尾西】	
嶺岡東上牧	ミネオカヒガシカミ
【吉尾平塚】	
嶺岡西牧	ミネオカニシマキ

・大山地区

【平塚】	
下仲尾	シモタカオ
上仲尾	カミナカオ
菰草	コモグサ
丸塚	マルヅカ
萩原	ハギハラ
大田代	オオダシロ
石塚	イシヅカ
東仲作	ヒガシナカサク
平	ヒラ
仲台	ナカダイ
嶺ノ越	ミネノコシ
岩森	イワモリ
三本木	サンボンギ
東三本木	ヒガシサンボンギ
南柳原	ミナミヤナギハラ
東澤	ヒガシサワ
石尾	イシオ
木田	キタ
外ノ芝	ソトノシバ
高畑	タカハタ
大平根	オオヒラネ
大平目	オオヒラメ
奥入田	オクイリダ
入田前	イリダマエ
野中	ノナカ
向小金	ムコウコガネ
金上	カネガミ

小金作	コガネサク
小金	コガネサク
仲作	ナカサク
明治	メイジ
小金下	コガネシタ
高蔵堀	タカクラボリ
鳥居	トリイ
菅ノ入	スゲノイリ
土ヶ塚	ツチガツカ
房田	ボウダ
柳作	ヤナギサク
杉ノ木	スギノキ
仲ノ原	ナカノハラ
入田	イリダ
大台	オオダイ
土口	ツチグチ
向尾	ムコウオ
大ナイメ	オオナイメ
柳原	ヤナギハラ
大堀田	オオホリダ
大沢台	オオサワダイ
モチノ木	モチノキ
大楠	オオグス
作田	サクダ
松返	マツガエシ
舟付	フナツケ
山口	ヤマグチ
大日影	オオヒガゲ
峠	ヨコミチ
大道	ダイドウ
石嶋	イシジマ
石原	イシハラ
布袋後	ホテイゴ
布袋後堀	ホテイゴホリ
三岳	ミタケ
ヘナダ	ヘナダ
椎郷	シイゴウ
上ノ内	ジョウノウチ
清水ケ谷	シミズガヤツ
北ケ谷	キタガヤツ
本郷	ホンゴウ
高蔵	タカクラ
風早	カザハヤ
大山下	オオヤマシタ
大山	オオヤマ
朝見塚	アサミヅカ

井草卿	イグサゴウ
金場	カナバ
仲田	ナカダ
新井	アライ
新井向	アライムコウ
細田	ホソダ
日影	ヒカゲ
峠澤	トウゲサワ
穴上澤	アナガミザワ
富士ノ越	フジノコシ
南石神	ミナミイシガミ
奥石神	オクイシガミ
仲石神	ナカイシガミ
前石神	マエイシガミ
大作台	オオサクダイ
嶋田	シマダ
大ノ坂	ダイノサカ
一ノ坪	イチノツボ
奥野	オグノ
石畑	セキバタ
金堀	カナホリ
上ノ山	ウエノヤマ
大鍋	オオナベ
楠ノ木	クスノキ
仲道	ナカミチ
池ノ谷	イケノヤツ
長越	ナガコシ
源内	ゲンナイ
原	ハラ
大澤	オオサワ
大澤向	オオサワムコウ
月ノ木	ツキノキ
四方木	ヨモギ
下保切	シモホッキリ
槍田	ヤリダ
仲立	ナカダテ
五井田	ゴイダ
三京	サンキョウ
大黒田	ダイコクダ
長谷	ナガヤツ
奥	オク
煤金	ススガネ
滝ノ沢	タキノサワ
法明	ホウミョウ
細尾	ホソオ
穴窯	アナガマ

木ノ根坂	キノネザカ
寒澤	サムサワ
四良台	シロダイ
上円	ジョウエン
立目	タツメ
東	東
京田	キョウデン
岡道	オカミチ
藤巻	フジマキ
【金束】	
木ノ間	コノマ
曲田	マガリタ
釜ノ前	カマノマエ
埋田原	ウメダハラ
川間田	カワマダ
鳥居下	トリイシタ
三浦清水	ミウラシミズ
越ヶ崎	コシガサキ
万堂地	マンドウチ
苅谷場	カリヤバ
上久保	カミクボ
向万堂地	ムコウマンドウチ
力石	チカライシ
大山坂	大山坂
高蔵	タカクラ
池田	イケダ
濁澤	ニゴリサワ
御塚	オツカ
栗原地	クリハラヂ
川原田	カワハラダ
蔵ノ前	クラノマエ
横井戸	ヨコイド
入	イリ
木出	キデ
入上	イリジョウ
原ノ下	ハラノシタ
渕田	フチダ
横畑	ヨコハタ
石木谷	イシキダニ
横岩	ヨコイワ
滝ノ谷	タキノヤツ
小日影	コヒカゲ
小澤	オザワ
山田欠	ヤマダカケ
山田原	ヤマダハラ
山ノ内	ヤマノウチ

澤田	サワダ
山田	ヤマダ
大鍋	オオナベ
田頭	タガシラ
大台	オオダイ
笹ノ谷	ササノヤツ
ソツカネ	ソツカネ
布施野	フセノ
野太	ノブト
尾曽根	オゾネ
大塚	オオツカ
柳作	ヤナギサク
猪谷	イノヤツ
池成	イケナリ
夜麦	ヨムギ
小山	コヤマ
谷	ヤツ
大日影	オオヒカゲ
大日	ダイニチ
奴田	ヤッコダ
関ノ谷	セキノヤツ
臼ヶ作	ウスガサク
狭戸	セバド
女郎師	ジョロウシ
永ノ田奥	ナガノタオク
永ノ田奥	ナガノタ
田上	タガミ
小滝	コダキ
白滝	シラタキ
黒滝	クロタキ
大滝	オオタキ
津守	ツモリ
滝ノ前	タキノマエ
堂ノ根	ドウノネ
椎ノ木	シイノキ
立畑	タチバタケ
井戸澤	イドサワ
亀石	カメイシ
猿橋	サルハシ
道ノ下	ミチノシタ
猿口	サルクチ
引越	ヒッコシ
細工田	サイクダ
初ノ尾	ハツノオ
柿木台	カヤキダイ
野中	ナガオ

花立	ハナダテ
石田	イシダ
火渡	ヒワタシ
一ノ坪	イチノツボ
稗畑	ヒエバタケ
宮田	ミヤタ
鳥見塚	トリミヅカ
湯澤	ユザワ
打越	オッコシ
安倉谷	アグラヤツ
松郷	マツゴウ
堀馬屋	ホリウマヤ
毛無塚	ケナシヅカ
関谷	セキヤツ
岩ノ下	イワノシタ
丸塚	マルヅカ
根木	ネキ
中ノ台	ナカノダイ
富貴澤	フキザワ
次郎十田	ジロジュウダ
見坂	ミサカ
嶋田	シマダ
【奈良林】	
菅ノ田	スゲノタ
中山	ナカヤマ
原	ハラ
滝谷沢	タヤザワ
萩ノ尾	ハギノオ
猿毛田	サルゲダ
曲田	マガリタ
判官坊	ハンガンボウ
百目	ヒャクメ
一貫目	イッカンメ
雉畑	キジバタケ
田尻	タジリ
道満	ドウマン
覆盆子畑	イチゴバタケ
勘解由殿	カゲユドノ
池ノ奥	イケノオク
池ノ尻	イケノシリ
梨木作	ナシギサク
鎌苅	カマカリ
谷	ヤツ
板谷	イタヤ
植田	ウエダ
古川	フルカワ

大磯	オオイソ
小金	コガネ
中芝	ナカシバ
滝ノ下	タキノシタ
吉原	ヨシハラ
風早	カザハヤ
花後田	ハナゴダ
狸穴	ムジナアナ
向山	ムコウヤマ
長尾町	ナガオマチ
切立	キリタテ
平山	ヒラヤマ
堀口	ホリクチ
横石	ヨコイシ
唐澤	カラサワ
下り山	サガリヤマ
久保	クボ
水神	スイジン
川崎原	カワサキハラ
川久保	カワクボ
亡鬼	ボウキ
へナ	へナ
【古畑】	
川坂	カワサカ
池作	イケサク
狐塚	キツネヅカ
観音堂	カンノンドウ
滝	タキ
風早	カザハヤ
亀井	カメイ
銭田	ゼニダ
西ノ下	ニシノシタ
山ノ神	ヤマノカミ
北井	キタイ
藤代	フジシロ
川又	カワマタ
砂田	スナダ
古畑	コバタ
木ノ間	コノマ
五十嵐	イガラシ
淵田	フチダ
荒戸	アラト
腰越	コシゴエ
関ノ谷	セキノヤツ
雷松	カミナリマツ
高井	タカイ

諏訪	スワ
蕗澤	フキザワ
立根	タチネ
太夫畑	タユウバタ
白髭	シラヒゲ
大崖	オオガケ
正観内	ショウガンナイ
池	イケ
【釜沼】	
坂ノ上	サカノウエ
上大利	カミオオリ
中大利	ナカオオリ
前大利	マエオオリ
堀口	ホリクチ
濁沢	ニゴリサワ
大石	オオイシ
堂地理	ドウチリ
稲木作	イナギサク
楠木田	クスノキダ
西釜ヶ谷	ニシカマガヤツ
東釜ヶ谷	ヒガシカマガヤツ
角倉	ツノグラ
倉後	クラゴ
岩部	イワブ
日渡	ヒワタシ
折倉	オリグラ
向辺奈	ムカイベナ
新田	シンダ
下タ田	シタダ
清水	シミズ
五反田	ゴタンダ
鍛治下	カジシタ
下子ノ神	シノネノカミ
西ノ谷	ニシノヤツ
尾曽根	オゾネ
曽利田	ソリダ
猪久保	イノクボ
松木田	マツキダ
小平太	コヘダ
勇木沢	ユウキザワ
越路	ケイジ
萩ノ作	ハギノサク
谷田	ヤツダ
二又	フタマタ
上子ノ神	カミネノカミ
釜沼	カマヌマ

中尾	ナカオ
向百目木	ムコウドウメキ
百目木	ドウメキ
【佐野】	
堀	ホリ
川田	カワダ
外和田	ソトワダ
住吉	スミヨシ
田中代	タナカダイ
カシ釜	カシカマ
甲斐元	カイモト
栗ノ木	クリノキ
代田屋敷	シロタヤシキ
佐ノ原	サノハラ
溝下	ミゾシタ
北ヶ谷	キタガヤツ
幸膳	コウゼン
堀際	ホリギワ
竹ノ内	タケノウチ
上ノ代	ウエノダイ
堂谷	ドウヤツ
仲山沢	ナガヤマザワ
山田	ヤマダ
白石	シライシ
二的	フタマト
堀	ホリ
川田	カワダ
外和田	ソトワダ
住吉	スミヨシ
【大山平塚】	
嶺岡西牧	ミネオカニシマキ

・曽呂地区

【畑】	
西ノ原	ニシノハラ
竹ノ下	タケノシタ
戸崎田	トザキダ
堂ノ後	ドウノアト
大谷	オオヤツ
砂田	スナダ
山ノ下	ヤマノシタ
戸越	トゴエ
栂ノ作	ツガノサク

若宮	ワカミヤ
堂ノ前	ドウノマエ
宮田	ミヤタ
久ノ木	クノグ
大畑	オオバタ
堀	ホリ
峯	ミネ
西	ニシ
不動畑	フドウハタ
素里女	ソリメ
小谷	コヤツ
和田原	ワダハラ
東畑	ヒガシバタケ
和田	ワダ
打越	ウチコシ
大峯	オオミネ
菅ノ代	スガノダイ
森ノ脇	モリノワキ
東畑	ヒガシ
丸畑	マルバタケ
桐木作	キリギサク
久保抜	クボヌキ
高鶴山	タカヅルヤマ
馬知屋敷	バチヤシキ
冷田	ヒエダ
清水澤	シミズサワ
上荒戸	カミアラト
下荒戸	シモアラト
立場	タテバ
三石	ミツイシ
荒戸	アラト
滑坂	ナメサカ
倉澤	クラサワ
岩郷	イワゴウ
柿木代	カキノキダイ
森ノ腰	モリノコシ
宮下谷	ミヤシタヤツ
谷口	ヤツグチ
奥谷	オクヤツ
菅ノ谷	スゲノヤツ
西畑	ニシバタケ
菅ノ谷	スゲノヤツ
西畑	ニシバタケ
市井原	イチイバラ
胡麻田	ゴマダ
藤造森	トウゾウモリ

川向	カワムコウ
夜嵐	ヨアラシ
大戸	オオト
【西】	
白崩	シラクズレ
井戸川	イドガワ
小越	コゴエ
西ノ作	ニシノサク
吹原	フキハラ
西	ニシハラ
吉指	キツサシ
宮ノ作	ミヤノサク
内屋敷	ウチヤシキ
通シ谷	トオシヤツ
植田	ウエダ
谷	ヤツ
石畑	イシバタケ
清水	シミズ
助代	スケダイ
薙目	ヤギメ
中森	ナカモリ
山田	ヤマダ
九本木	クウギ
山口	ヤマグチ
石田	イシダ
小西	コニシ
中尾	ナカオ
長澤	ナガサワ
田代	タシロ
嶺岡西牧	ミネオカニシマキ
嶺岡東上牧	ミネオカヒガシカ
【東】	
一ノ作	イチノサク
谷	ヤツ
坂本	サカモト
南	ミナミ
榎田	エノキダ
毛牛作	ケギュウサク
山ノ中	ヤマノナカ
向ノ作	ムカイノサク
葛綿	クズワタ
堀切	ホリキリ
経塚	キョウヅカ
柳作	ヤナギサク
馬場	ババ
宮ノ前	ミヤノマエ

久保山	クボヤマ
松葉	マツバ
下松葉	シモマツバ
花畑	ハナバタケ
海道	カイドウ
横手	ヨコテ
合ノ作	アイノサク
野中	ノナカ
黒岩	クロイワ
高田	タカダ
清水澤	シミズサワ
奥ノ隅	オクノスミ
孫太畑	マゴタバタケ
堀	ホリ
嶺岡東上牧	ミネオカヒガシカミマキ
【上】	
川崎	カワサキ
赤石	アカイシ
高田	タカダ
婦津志起	フツシキ
榎田	エノキダ
西ノ澤	ニシノサワ
堂浄下	ドウジョウシタ
矢頭田	ヤトウダ
垣ノ内	カキノウチ
源治屋敷	ゲンジヤシキ
堂目起	ドウメキ
畑造	ハタゾウ
苗目	ナエメ
岩岸	イワギシ
大石	オオイシ
籠田	カゴダ
中尾尻	ナカオジリ
高鶴	タカヅル
秀金	ヒデガネ
打起	ウチコシ
鳥居野	トリイノ
板橋	イタバシ
栗ノ木	クリノキ
南京塚	ミナミキョウヅカ
物木澤	モノキザワ
煙田	ケムリダ
古畑	フルバタ
向山	ムコウヤマ
糖穂種田	トウボシダ
四反田	シタンダ

小向	コムカイ
鶴舞	ツルマイ
北京塚	キタキョウヅカ
日ノ爪	ヒノツメ
連珠田	レンジュダ
嶺岡東下牧	ミネオカヒガシシモマキ
【仲町】	
真我庭	マガニワ
尊房	ソンボウ
石塚	イシヅカ
天ヶ谷	アマガヤツ
片畑	カタバタケ
中野田	ナカノダ
濁澤	ニゴリサワ
久保向	クボムカイ
下川	シモカワ
久保	クボ
高畑	タカバタケ
上野山	ウエノヤマ
小山坂	コヤマザカ
半女房	ハンニョウボウ
川崎	カワサキ
尾崎	オザキ
宮野前	ミヤノマエ
宮野後	ミヤノウシロ
赤石	アカイシ
吉原	ヨシワラ
家野上	イエノウエ
上ノ田	ウエノダ
小入道	コニュウドウ
町山	マチヤマ
木戸下	キドシタ
石田	イシダ
嶺岡東下牧	ミネオカヒガシシモ
【宮】	
東田	ヒガシダ
中嶋	ナカジマ
古房	フルボウ
長場	オサバ
湯ノ谷	ユノヤツ
山下	ヤマシタ
稗田	ヒエダ
曲田	マガリダ
中尾	ナカオ
彦治郎	ヒコジロウ
愛宕	アタゴ

宮下	ミヤシタ
奈良	ナロウ
伊良田	イラダ
原	ハラ
北ノ澤	キタノサワ
鎌倉	カマクラ
蛭田	ヒルタ
赤羽	アカバネ
小田明	オダアケ
倉骨	クラボネ
下谷	シモヤツ
牛卸	ウシオロシ
崩之澤	ホウノサワ
嶺岡東下牧	ミネオカヒガシシモ
【二子】	
石打場	イシウチバ
木戸本	キドモト
滝下	タキシタ
関根	セキネ
遠目塚	トオメヅカ
樋ノ沢	ヒノサワ
二子	フタゴ
西峯	ニシミネ
蟹田	カニダ
石畑	イシバタケ
芝尾谷	シバオヤツ
足ヶ作	アシガサク
間野山	マノヤマ
舞臺	ブタイ
作ノ田	サクノダ
曲庭	マガリニワ
板田	イタダ
越塚谷	コシヅカヤツ
湯ノ谷	ユノヤツ
曲庭	マガリニワ
西田	ニシダ
下久保	シタクボ
原畑	ハラバタケ
濁澤	ニゴリサワ
二反田	ニタンダ
嶺岡東下牧	ミネオカヒガシシモマキ
【代】	
作ノ田	サクノダ
舞臺	ブタイ
足ヶ作	アシガサク
芝尾	シバオ

西田	ニシダ
井ノ貝戸	イノカイド
下久保	シタクボ
熱畑	アツバタ
石打場	イシウチバ
二反田	ニタンダ
濁澤	ニゴリサワ
石原	イシワラ
塔ノ山	トウノヤマ
越塚	コシヅカ

・太海地区

【太海】	
向田	ムカエバラ
上ノ臺	ウエノダイ
向原	ムカエバラ
百目木	ドウメキ
冨士山	フジヤマ
木戸脇	キドワキ
琵琶畑	ヒワバタケ
下牛卸	シモウシオロシ
上牛卸	カミウシオロシ
関内	セキウチ
峯岡	ミネオカ
大日	ダイニチ
トギヤシキ	トギヤシキ
権水	ゴンズイ
上平松	カミヒラマツ
滝尻	タオジリ
下平松	シモヒラマツ
ヘナ松	ヘナマツ
ハツサキ	ハツサキ
泉	イズミ
堀切	ホリキリ
下赤羽根	シモアカバネ
上赤羽根	カミアカバネ
下蛭田	シモヒルタ
上蛭田	カミヒルタ
向赤羽根	ムコウアカバネ
小田欠	オダカケ
向小田欠	ムコウオダカケ

小溝	コミゾ
新田	シンデン
猿畑	サルバタケ
仙谷	センヤツ
猪ケ谷	シシガヤツ
新林	シンバヤシ
打越	ウチコシ
石畑	イシバタケ
向蟹田	ムコウカニダ
蟹田	カニダ
ツガイ	ツガイ
北ケ谷	キタガヤツ
北條	キタジョウ
仲村	ナカムラ
馬場	ババ
峯	ミネ
大渕	ダイブチ
波太谷	ナブトヤツ
風早	カザハヤ
佛入	ホトケイリ
宮ノ下	ミヤノシタ
塩焼場	シオヤキバ
【太海浜】	
ガワメキ	ガワメキ
佛入	ホトケイリ
仙ケ堀場	センガホリバ
切通下	キリドウシシタ
上要畑	カミヨウバタ
長者屋敷	チョウジャヤシキ
牛込	ウシゴメ
ヲク	ヲク
アラト	アラト
宮ノ下	ミヤノシタ
要明塚	ヨウメイヅカ
西風早	ニシカザハヤ
風早	カザハヤ
波太谷	ナグトヤツ
大渕	ダイブチ
峯	ミネ
馬場	ババ
仲村	ナカムラ
北ケ谷	キタガヤツ
ツガイ	ツガイ
ドウメキ	ドウメキ
向原	ムカエバラ
富士山	フジヤマ

上ノ臺	ウエノダイ
泉	イヅミ
上牛卸	カミウシオロシ
関内	セキウチ
■屋敷	トギヤシキ
権水	ゴンヅイ
下平松	シモヒラマツ
ヘナ田	ヘナダ
上赤羽根	カミアカバネ
向赤羽根	ムコウアカバネ
下赤羽根	シモアカバネ
堀切	ホリキリ
小田掛	オダカケ
打越	ウチコシ
谷	ヤツ
蓬嶋	ヨモギジマ
【天面】	
小田訳	オダワケ
カキソイ	カキソイ
上ノ原	ウエノハラ
北上ノ原	キタウエノハラ
吉原	ヨシワラ
坂口	サカグチ
下り谷	クダリヤツ
北下谷	キタガヤツ
笹ケ谷	ササガヤツ
鷹ノ巣	タカノス
東駿河浜	ヒガシスルガハマ
中駿河浜	ニシスルガハマ
西駿河浜	ニシスルガハマ
北根	キタネ
京塚	キョウヅカ
前田	マエダ
立石	タテイシ
山生	ヤモウメ
苗割	ナエワリ
仁反田	ニタダ
登り谷中	ノボリヤツナカ
登り谷奥	ノボリヤツオク
計り谷	ハカリヤツ
兵工田	ヘエダ
別当場	ベットウバ
西谷	ニシヤツ
花廻り	ハナマワリ
作田	サクダ
川原	カワハラ

茶畑	チャバタケ
横根谷口	ヨコネヤツグチ
横根谷奥	ヨコネヤツオク
倉入	クライリ
山居東坂	サンキョヒガシザ
西坂	ニシザカ
北西坂	キタニシザカ
黒木	クロキ
山居谷	サンキョヤツ
【西山】	
向坊	ムカエボウ
青木	アオキ
タキワキ	タキワキ
尾崎	オザキ
下野町	シタノマチ
下畑ケ	シモバタケ
上野山	ウエノヤマ
小花輪	コハナワ
久保畑	クボバタケ
塩田	シオダ
洞畑	ドウバタケ
沢口	サワグチ
葛法ケ	クヅボツケ
梅野木	ウメノキ
長作	ナガサク
木蓮	モクレン
仲野谷	ナカノヤツ
鳶巣	トビス
【江見吉浦】	
梶畑	カジバタケ
上ノ田	ウエノタ
岩坂	イワサカ
岸髙崎	ガンコウザキ
台原	ダイバラ
諏訪下	スワノシタ
風早	カザハヤ
横手	ヨコテ
滝ノ上	タキノウエ
滝ノ下	タキノシタ
前田	マエダ
鰯淵	イワシブチ
江見田	エミダ
【江見太夫崎】	
浜田	ハマダ
道下	ミチシタ
大川戸	オオカワド

道上	ミチウエ
真崎	マサキ
藪	ヤブ
塚前	ツカマエ
塚後	ツカゴ
山生	ヤモウメ
下権太郎	シモゴンダロウ
上権太郎	カミゴンダロウ
新眞崎	シンマサキ
【太海西】	
嶺岡東下牧	ミネオカヒガシシモ

・江見地区

【東江見】	
鼠田	ネズミダ
中原	ナカハラ
房川	フサガワ
江見田	エミダ
大川戸	オオカワド
寒風	サムカゼ
鎌倉	カマクラ
横根	ヨコネ
座場見	ザバミ
廣田	ヒロダ
三本松	サンボンマツ
鹿嶋	カシマ
北畠	キタバタケ
登り道	ノボリミチ
上ノ原	ウエノハラ
根古屋	ネゴヤ
不動谷	フドウヤツ
米賣	コメウリ
馬場	ババ
新道	ニイミチ
水神下	スイジンシタ
小舟附	コブナツケ
畑ヶ中	ハタガナカ
鍛冶屋	カジヤ
関口	セキグチ
峠山	トウゲヤマ
山王	サンノウ
清水尻	シミズジリ
宮方	ミヤカタ
西山向	ニシヤマムカイ

蟹田	カニダ
古二当	コニトウ
飯森	イイモリ
鴻巣	コウノス
平六	ヘイロク
勝田	カツタ
竹ノ谷	タケノヤツ
助田	スケダ
森脇	モリワキ
分田谷	ブンダヤツ
桑ノ木	クワノキ
角木	ツノギ
曲木	マガリキ
山波	ヤマナミ
軍田	グンデン
馬洗	ウマアライ
野田	ノダ
蛇山	ジャヤマ
【西江見】	
鼠田	ネズミダ
小舟附	コブナツケ
水神下	スイジンシタ
道ノ下	ミチノシタ
鍛冶屋	カジヤ
大船付	オオブナツケ
馬場	ババ
松木	マツキ
関口	セキグチ
神田	カンダ
一本松	イッポンマツ
畑中	ハタケナカ
登り道	ノボリミチ
北畑	キタバタケ
江見田	エミダ
子ノ神	ネノカミ
大川戸	オオカワド
横根	ヨコネ
廣田	ヒロダ
三本松	サンボンマツ
岩井作	イワイサク
前田	マエダ
根子屋	ネゴヤ
不動谷	フドウヤツ
米賣	コメウリ
髙ノ谷	コウノヤツ
峠山	トウゲヤマ

峠山谷	トウゲヤマヤツ
軍田	グンデン
清水尻	シミズジリ
塩喰	シオクライ
久保山	クボヤマ
宮ケ田	ミヤガタ
西山	ニシヤマ
平六	ヘイロク
金銅	コントウ
狢堀	ムジナボリ
曲り木	マガリキ
角木	ツノギ
桑の木	クワノキ
森脇	モリワキ
森前	モリマエ
助田	スケダ
向ノ原	ムカイノハラ
宮田	ミヤタ
澤又	サワマタ
馬洗	ウマアライ
野田	ノダ
蛇山	ジャヤマ
【江見内遠野】	
西前田	ニシマエダ
新町	シンマチ
寄神	ヨリガミ
田尻	タジリ
東前田	ヒガシマエダ
合戸	ゴウド
上ノ原	ウエノハラ
馬込	マゴメ
蟹田	カニダ
馬洗	ウマアライ
澤又	サワマタ
煮溢シ	ニコボシ
向台	ムコウダイ
野中	ノナカ
蟹川	カニカワ
曲田	マガリタ
滝ノ原	タキノハラ
稗ケ沢	ヒエガサワ
井戸谷	イドヤツ
堀ノ内	ホリノウチ
向畑	ムカイハタ
カツチク	カツチク
火打谷	ヒウチヤツ

山居	サンキョ
ヲツガ澤	ヲツガサワ
大関	オオゼキ
苗代台	ナワシロダイ
向原	ムカイハラ
西山	ニシヤマ
横根	ヨコネ
弐反田	ニタダ
【江見青木】	
鍛冶屋	カジヤ
道上	ドウジョウ
堀合	ホリアイ
小舟附	コブナツケ
濱田	ハマダ
今泉	イマイズミ
子ノ神	ネノカミ
堀切	ホリキリ
合ノ田	アイノタ
稗田	ヒエタ
長町	ナガマチ
登越	ノボリコシ
青木	アオキ
上ノ山	ウエノヤマ
大川戸	オオカワド
下長入	シモナガイリ
上長入	カミナガイリ
高畑	タカバタケ
立幡作	タチマンサク
横根	ヨコネ
黒木	クロキ
西山	ニシヤマ
栂澤	トガサワ
峠山	トウゲヤマ
トウメキ	トウメキ
澤又	サワマタ
軍田	グンデン
馬洗	ウマウライ
白幡	シラハタ
ヒヤリ原	ヒヤリバラ
洞石	ボライシ
田尻	タジリ
神田	カンダ
仲原	ナカハラ
入目谷	イリメヤツ
青木	アオキ
【江見東真門】	

日鑓原	ヒヤリハラ
日鑓谷	ヒヤリヤツ
野田	ノダ
七反目	シツタメ
野田谷	ノダヤツ
槲谷	クヌギヤツ
中野田	ナカノダ
釜沼	カマヌマ
畑ケ合	ハタケアイ
東	ヒガシ
的場	マトバ
東貝津田	ヒガシカイツダ
西貝津田	ニシカイツダ
関谷	セキヤツ
西谷	ニシヤツ
雉子谷	キジヤツ
大塚	オオツカ
女鹿倉	メカグラ
大澤	オオサワ
ナブソク	ナブソク
森下	モリシタ
ヒジキ田	ヒジキダ
金銅	コントウ
山﨑	ヤマザキ
西山	ニシヤマ
清水尻	シミズジリ
【江見西真門】	
川合	カワアイ
米賣	コメウリ
西貝津田	ニシカイツダ
東貝津田	ヒガシカイツダ
的場	マトバ
神根	カミネ
番場	バンバ
雉子谷	キジヤツ
西谷	ニシヤツ
関谷	セキヤツ
山田	ヤマダ
女鹿倉	メカグラ
大澤	オオサワ
野田谷	ノダヤツ
槲谷	クヌギヤツ
東	ヒガシ
釜沼	カマヌマ
畑ケ合	ハタガアイ
中野田	ナカノダ

七反目	シッタメ
野田	ノダ
日鑓原	ヒヤリハラ
日鑓谷	ヒヤリヤツ
川谷	カワヤツ
西山	ニシヤマ
【江見外堀】	
六郎谷	ロクロウヤツ
外堀原	ソトボリハラ

・天津地区

【天津】	
不入	フニュウ
梶原宿	カジワラジュク
川脇	カワワキ
城山	シロヤマ
引土	ヒキツチ
川久保	カワクボ
土橋	ドバシ
石上	イシガミ
塩辛田	シオカラダ
栗坪	クリツボ
天道	テンドオ
二タ間	フタマ
二タ間谷	フタマヤツ
内田	ウチダ
川原田	カワハラダ
杉谷	スギヤツ
筋作	スヂサク
曲松	マガリマツ
竜ケ尾	リュウガオ
葛川	クズガワ
神作	カミサク
四反田	シメンタ
堀切	ホリキリ
芝	シバ
山神前	ヤマガミマエ
間瀬口	マセグチ
北城戸	キタキド
南城戸	ミナミキド
天王下	テンノオシタ
濱町	ハマチョウ
仲町	ナカチョウ
池ノ谷	イケノヤツ

橋本	ハシモト
谷	ヤツ
武ノ内	タケノウチ
新町	シンマチ
山王下	サンノウシタ
御園	ミソノ
作田	サクダ
霜田	シモダ
砂田	スナダ
前荒勺	マエアラク
中荒勺	ナカアラク
奥荒勺	アクアラク
大關	オオゼキ
四軒台	シケンダイ
松尾	マツオ
有ケ谷	アリガタニ
下津ケ谷	ゲツガヤツ
要害	ヨウガイ
小屋ケ原	コヤガハラ
向台	ムカンダイ
滑山	ヌカリヤマ
大森坂	オオモリサカ
田代	タシロ
市野々	イチノノ
松ケ久保	マツガクボ
宮台	ミヤノダイ
宮脇	ミヤノワキ
宮前	ミヤマエ
小関	コゼキ
小関ケ谷	コゼキガヤツ
仲ノ谷	ナカノヤツ
海ヶ谷	ウミガヤツ
大蔵	オオゾオ
下川間	シモカワマ
御武	ミタケ
向原	ムカイハラ
正木	マサキ
白崎	シロサキ
實入	ミイリ
石倉	イシグラ
鳥居下	トリイシタ
二ノ坪	二ノ坪
打越	ウチコシ
早尾田	ハヤオダ
坂本	サカモト
太田	オオダ

日陰	ヒカゲ
音無	オトナシ
長坂	ナガサカ
澤	サワ
根多羽	ネタバ
奥谷	オクヤツ
前谷	マエヤツ
貉堀	ムジナボリ
横手	ヨコテ
根方	ネガタ
瀧ノ上	タキノウエ
佛供田	ブッキョウデン
小谷	コヤツ
川原田	カワハラダ
【浜荻】	
吹通	フキトオシ
倉掛	クラカケ
門郷	モンゴオ
太田	オオタ
奈良野	ナラノ
梅田	ウメダ
高部	タカベ
坊谷	ボウヤツ
向原	ムカイハラ
川島	カワシマ
薬師前	ヤクシマエ
元薬師	モトヤクシ
崩	クズレ
下姿	シモスガタ
上姿	カミスガタ
三枚畑	サンマイハタ
天道山腰	テンドオヤマゴシ
児ケ澤	チゴガサワ
鰐口	ワニグチ
飯森塚	イイモリヅカ
陰山	カゲヤマ
西山際	ニシヤマギワ
東山際	ヒガシヤマギワ
葛ケ崎	クズガサキ
東中通	ヒガシナカドオリ
西中通	ニシナカドオリ
天神東	テンジンヒガシ
影山	カゲヤマ
上袋倉谷	カミフクログラヤ
坂下り	サカオリ
元東飛地	モトヒガシトビチ

地蔵堂堀	ジゾオドオボリ
大下り東	オオクダリヒガシ
大下り西	オオクダリニシ
今澄	イマズミ
鹿島	カシマ
表口	オモテグチ
北向	キタムカイ
南向	ミナミムカイ
香掛畑	クツカケバタ
飛越	トビコシ
妙見山	ミョウケンザン
後澤	ウシロサワ
観音南澤	カンノンミナミサ
切通南沢	キリトオシミナミサ
新町井戸澤	シンマチイドサク
小屋ヶ尾	コヤガオ
大窪	オオクボ
新町松葉	シンマチマツバ
向峰壱の台	ムカイミネイチノダ
一盃水	イッパイミズ
向峰硯石	ムカイミネスズリイ
【四方木】	
久保	クボ
四方木	ヨモギ
入り	イリ
向イ	ムカイ
田代	タシロ
小畑	コバタ
坂本	サカモト
西原	ニシバラ
杉ノ上	スギノウエ
西野	ニシノ
櫻澤	サクラザワ
古川	フルカワ
向古川	ムカイフルカワ
白岩	シロイワ
深堀	フカボリ
亀ノ沢	カメノサワ
池ニ沢	イケニサワ
小屋沢	コヤザワ
荒樫	アラカシ
二ノ沢	ニノサワ
女滝	メダキ
長尾	ナガオ
真根沢	マネザワ
大仙場	オオセンバ

平塚	ヒラツカ
白岩沢	シライワサワ

・小湊地区

【内浦】	
美ノ輪	ミノワ
山ノ下	ヤマノシタ
下見坂	シタミザカ
残切	ザンギリ
壱反田	イツタダ
薩葉	サッパ
小五郎谷	コゴロウヤツ
下坂	シタザカ
狐塚	キツネヅカ
洞ケ谷	ホラガヤツ
奥薩摩	オクサッパ
石ノ上	イシノウエ
皆ケ谷	ミナガヤツ
新町	シンマチ
市川	イチカワ
風早	カザハヤ
猿戸	サルド
岩高山	イワタカヤマ
市ケ坂	イチガサカ
関ケ谷	セキガヤツ
内浦山	ウチウラヤマ
撫島	ナデシマ
上深堀	カミフカボリ
松ケ鼻	カツガハナ
長所	ナガトコロ
深堀	フカボリ
滑川	ナメリカワ
奥谷	オクヤツ
端崎	ハツサキ
中奥谷	ナカオクヤツ
下土岐	シモドギ
上土岐	カモドギ
下原	シモハラ
川島	カワシマ
苗代台	ナワシロダイ
杓子台	シャクシガダイ
半道坂	ハンドウザカ
新田	シンデン

谷	ヤツ
大久保	オオクボ
八景	ハッケ
合戸	ゴウド
原	ハラ
大浦	オオウラ
塩田	シオダ
貝戸	カイト
貝戸向	カイトムカイ
入道谷	ニュウドウヤツ
寄浦	ヨリウラ
塩手	シオテ
中塩手	ナカシオテ
奥塩手	オクシオテ
大風沢	オオビゾ
大風沢谷	オオビゾヤツ
三駄田	サンタダ
下梅田	シモウメダ
上梅田	カミウメダ
打越	ウチコシ
萩ノ巣	ハギノス
柿木田	カキノキダ
下大畑	シモオオハタ
上大畑	カミオオハタ
戌丸	イヌマル
中戌丸	ナカイヌマル
奥戌丸	オクイヌマル
下松尾	シモマツオ
上松尾	カミマツオ
見立田	ミタツダ
滝ノ和田	タキノワダ
関川	セキカワ
道円坊	ドウエンボウ
【小湊】	
田町	タマチ
北町	キタマチ
小船谷町	コブナヤツチョウ
小湊山	コミナトザン
祓町	ハライチョウ
祓山	ハライヤマ
海ケ谷	ウミガヤツ
板取谷	イタドリヤツ
越ケ谷	コシガヤツ
長谷	ナガヤツ
岡ノ谷	オカノヤツ
辨ケ谷	ベンガヤツ

小舟谷	コブナヤツ
大森谷	オオモリヤツ
朝倉谷	アサクラヤツ
狢ケ谷	ムジナガヤツ
煙草谷	タバコヤツ
奥煙草谷	オクタバコヤツ
深沢谷	フカザワヤツ
月ケ谷	ツキガヤツ
上之谷	カミノヤマ
戌丸谷	イヌマルヤツ
山下	ヤマシタ
美濃輪	ミノワ
見立田	ミタツダ
風早	カザハヤ
弁天	ベンテン
小山	コヤマ
下川	シモカワ

・民話

	名称	地域
1	房総開拓の神話	長狭
2	稚児の木	長狭
3	寺門堂	長狭
4	雨ごい塚	長狭
5	お鍋が淵	長狭
6	空井戸の話	長狭
7	白滝山のわらたたき	長狭
8	狐塚	長狭
9	大山不動尊（大山不動尊のはじまり）	長狭
10	大阪地蔵の話	長狭
11	嶺岡の天狗様	長狭
12	長狭珍話	長狭
13	狸森の由来（たぬき森の話）	長狭
14	逆川について（逆川のじぞうさま）	長狭
15	大川面の神明河童	長狭
16	村の迷信ー長狭地方の古い行事と珍しい地名ー	長狭

17	源頼朝にまつわる話　・古畑のほら穴	長狭
18	片目の犬	鴨川
19	竜光山にまつわる話	鴨川
20	始末とは臭いもの	鴨川
21	まんげの源さん	鴨川
22	むじなう	鴨川
23	うわばみ源頼朝にまつわる話（旅人とうわばみ）	鴨川
24	磯ものとりの海女	鴨川
25	あしか島の由来	鴨川
26	八岡夜風	鴨川
27	西条の伝説（西条の地名の話）	鴨川
28	大里塚の伝説	鴨川
29	蜘蛛滝の由来	鴨川
30	馬捕りと天狗	鴨川
31	与五郎と山姥	鴨川
32	廻塚由来記	鴨川
33	金山城の埋蔵金	鴨川
34	幻の磯村一番地	鴨川
35	日蓮の小松原法難	鴨川
36	袈裟掛松	鴨川
37	小松原の難、傷洗い井戸	鴨川
38	旗かけ松	鴨川
39	万騎坂	鴨川
40	待崎	鴨川
41	逆さ梅	鴨川
42	源頼朝にまつわる話「待崎」「旗懸松」「福生院の逆さ梅」「万騎坂」	鴨川
43	章魚ケ渕の伝説（章魚ケ渕）	鴨川
44	大浦のたこと漁師	鴨川
45	かじや権十郎とぜんぜん滝	鴨川
46	浜波岡波（浜波太と岡波太）	江見
47	おてねが島	江見
48	九頭竜様	江見

49	はやり神様	江見
50	古泉院の洪水（古泉院の山つなみ）	江見
51	天面善光寺にまつわる話	江見
52	にゅうじょう様	江見
53	怪魚の話	江見
54	カブト虫	江見
55	天狗山（高鶴山の天狗）	江見
56	馬作仏像	江見
57	菊姫寺	江見
58	お袈裟秘話	江見
59	源頼朝にまつわる話「仁右衛門島」「一戦場」	江見
60	源頼朝から与えられた仁右衛門島の財宝	江見
61	馬蹄石（太夫黒と馬蹄石）	江見
62	星ヶ池	江見
63	子の姫	江見
64	浦島太郎じいさんの話	江見
65	弱い天狗（清澄山の弱い天狗）	天津
66	魔縁川の怪（魔縁川の怪物）	天津
67	あめを買う女	天津
68	単純な女衆	天津・布入
69	亀んこの木枕	天津
70	乳っ児神さま	天津
71	天津村の黒船	天津・布入
72	校庭の大木せんだんの木	天津
73	「天津」という地名について	天津
74	天津の方言あれこれ	天津
75	観光天津小唄の完成まで	天津
76	太田稲荷の話	小湊
77	明神様にまつわる話（明神様のさめ）	小湊
78	くらげに骨なし（骨なしクラゲ）	小湊
79	お仙ころがし	小湊
80	お市が坂と日蓮さま	小湊

81	火傷の痛みを和らげる	小湊
82	日蓮さまにまつわる小さな話	小湊
83	日蓮が生まれた時に起こった三つの不思議なできごと「誕生水」「蓮の花」「鯛」	小湊
84	しょぜんどんのとげぬき井戸水	浜荻
85	子安地蔵さんと酔い止め地蔵さん	浜荻
86	ひびわれかぶ	浜荻
87	うるしがぶれを治したおまじない	浜荻
88	孫釣大明神（孫釣明神）	浜荻布入
89	浜名主　斉藤半左衛門さん	浜荻
90	角田丹後守の碑と八幡さま	引土
91	地名についての一口ばなし	引土
92	けさ坊様	清澄
93	弁信法師	清澄
94	清澄山の五郎次郎さん	清澄
95	清澄山明星井戸	清澄
96	虚空蔵菩薩とうなぎ	清澄

・事績と逸話

	氏名（生没年）	分野	事績と逸話	備考
1	丈部与呂麿（奈良時代）	防人の歌	万葉集に、天平勝宝７年(755)、北九州に派遣された東国の防人が、家族との別れの悲しみや旅の苦しみなどを詠んだ歌が載せられ、その中に、長狭郡から出征した丈部与呂麿の歌がある。丈部は地名で、研究によって、市内大幡と大山地区に比定されている。	歌碑
2	日蓮（1222～1283）	新仏教の開祖	日蓮宗(法華宗)の開祖。鴨川市小湊の生まれ。誕生地に建立された誕生寺や勉学に勤しみ、法華経を主とした教義を確立させた清澄寺、法難にあった鏡忍寺など所縁のある寺院と史跡、伝説が数多く残る。	誕生寺 清澄寺 鏡忍寺　他
3	日向（1253～1314）	日蓮の弟子	鴨川市和泉(男金)生まれと伝わる。日蓮六老僧の一人。身延山久遠寺二世、藻原妙光寺（今の藻原寺）二世。建治２年（1276 年）、使者として日蓮の師道善房の墓前に赴き、日蓮による師追悼のための著述『報恩抄』を代読している。釈迦寺の縁起に登場する。	釈迦寺

4	武志伊八郎信由 （1752～1824）	房州の彫物大工	鴨川市打墨生まれの彫物大工。市域だけでなく、君津・いすみ地域、江戸や湯河原まで広く作品を残している名工。市域には若い頃の作品が多く、市指定文化財・県指定登録文化財となっている。武志伊八郎の名は昭和中ごろまで５代続いた。	鏡忍寺 薬王院 金乗院 大山寺　他
5	山口志道 （1765～1842）	国学者	鴨川市寺門生まれ。学問に優れ、国学のほかに、漢詩、和歌、俳句、彫刻等に才能を注ぎました。市内には幟旗や書などが残されている。65 歳の頃京都に出向き、国書を公卿に講じ、光格上皇、仁孝天皇の侍講も勤める。その業績がたたえられ、禁階紅梅 1 枝を賜わり、没後には「齋瑲霊神」の神号が贈られた。誕生地には石碑が建ち、史跡となっている。	山口志道誕生地　他
6	堀江顕斎 （1805～1850）	数学者	鴨川市和泉生まれ。郷土史研究の先覚者として、日蓮所縁の地をまとめた「蓮祖旧蹟志」、源頼朝の伝承や伝統などをまとめた「佐殿草創記」を出版する。数学者でもあり、名主として農業を営みながら地域の教育に努めた。	「蓮祖旧蹟志」「佐殿草創記」
7	飯塚伊右工門 （嘉永年間）	金山疎水の実現	上打墨村の名主。金山川の水を耕地に通すための工事を計画。村を挙げて工事に取り組み、元治元年(1864)9 月に着工、慶応 3 年(1867)3 月に竣工した。鑿（のみ）で掘ったトンネルが約 667m、切り開いた水路が 4,180mに及ぶ。金山疎水と呼ばれるこの水路の完成により、新たに十数町歩の耕地が開かれたといわれている。	金山疎水顕彰碑
8	沼野玄昌 （1836～1877）	医師	江戸の生まれ。母の実家である小湊・沼野家へ養子に入り、佐倉順天堂で学び、医師として活動する。開業した小湊では、「神輿事件」や「人体発掘事件」などの逸話を残す。当時の鴨川町でコレラが発生した際、防疫活動を行っていたが、流言飛語を信じた地元民に襲撃され亡くなった。遺体が引き上げられた汐留公園に弔魂碑が建立されている。	墓碑 弔魂碑
9	畠山勇子 （1865～1891）	憂国の烈女	鴨川市前原生まれ。日本史上の一大事件・大津事件の際、京都府庁前で遺書を残し自殺。当時、烈女として新聞に取り上げられるとともに、小泉八雲(ラフカディオ＝ハーン)が紹介するなど外国人にも影響を与えた。観音寺には分骨を納めた墓があり、勇子の雛人形が納められ、ひな祭りに展示されている。	観音寺 勇子の雛人形
10	縣房儀 （1852～1925）	政治家	静岡県にあった横須賀藩出身。花房に移封となって居住した。花房村の戸長、安房・平・朝夷・長狭郡書記、前原出張所長を歴任。明治 22 年（1889）初代鴨川町長となり、長らく町政に携わった。花房銀行、鴨川信用組合なども創設し、経済の活性化にも努めた。	

11	佐久間吉太郎 （1859～1946）	自由民権運動家	鴨川市奈良林生まれ。明治９年(1876)、18歳で大幡小学校の教職となる。明治 14 年（1881)、鴨川地域に民権結社「浩鳴社」、を設立し、自由民権運動に傾倒した。明治 17 年(1884)、加波山事件の首謀者を匿った罪で投獄。獄中でキリスト教を信奉し、出獄後牧師として全国各地を伝道。昭和８年(1933)、郷里に戻り、前原に鴨川聖公会教会、敬愛幼稚園を設立。農漁村の伝道に専念した。	
12	古泉千樫 （1886～1927）	歌人	鴨川市細野生まれの歌人。アララギ派に属し、短歌の創作と研究に活躍した。本名・幾太郎。上京して東京住まいになったが、山焼きや椿の井戸、牛など故郷の風景を詠った作品が残っている。生家跡が公園化され、県指定史跡となっている。	古泉千樫誕生地
13	富安風生 （1885～1979）	俳人	愛知県出身。本名は謙次。高浜虚子に師事。逓信省に勤めながら俳誌「若葉」を主宰。温和な作風で知られた。昭和 19 年(1944)、和泉に疎開。一時再疎開したが、戦後は毎年のように再訪し、多くの俳句を残した。疎開に際し、俳句愛好会・蛍火会が結成され、地元の俳人の育成に努めている。	句碑 旅行鞄
14	島口駒夫 （1911～1945）	作曲家	鴨川市貝渚生まれ。日本ビクターレコード専属の作曲家として活躍。海軍に召集され館山航空基地に配属となった後、昭和 20 年 3 月 17 日に硫黄島で玉砕した。主な曲には、「ラバウル小唄」「お山の戦争」「兵隊さんご苦労様」「進軍落下傘部隊」があります。また、出征の朝に書いた「いざ征かん」「さらば妻子よ」の未完五線譜が残されています。	鴨川郷土史保存会島口駒夫三十三回忌記念事業・額
15	安田稔郎 （1903～1984）	歌人・実業家	鴨川市北風原生まれ。本名・安田良治。牛乳関係の機械、器具、容器等を製造していた安田製缶所を引き継ぎ、昭和 22 年(1947)、株式会社安田鉄工所（現ヤスダファインテ）を設立。日本有数のステンレス機器メーカーに育て上げた。歌人でもあり、稔郎は雅号。古泉千樫に師事し、歌誌の発行や歌碑の建立など、千樫の顕彰に努めた。	歌碑
16	水田三喜男 （1905～1976）	政治家	鴨川市西生まれ。大蔵大臣など経済閣僚を歴任した、戦後日本の代表的な財政家。教育にも強い関心を抱き、城西大学を創始した。文化・芸術作品の収集にも力を注ぎ、明治・大正時代の伊藤博文、山縣有朋など著名な政治家の書も収集し、大臣の辞令などの愛用品とともに郷土資料館に保管展示されている。	旧水田家住宅 愛用品　他
17	長谷川昂 （1909～2012）	彫刻家	鴨川市粟斗生まれ。彫刻家。木の持つ自然の美しさや愛を詠い上げる独自の鉈彫りの技法で、優雅さと荒々しさを兼ね備えた逸品を数多く生み出した。数多くの作品が市に寄贈されており、魚見塚展望台に立つ「暁風」は鴨川市のシンボルとなっている。	暁風 浄池　他

18	近藤啓太郎 （1920～2002）	作家	三重県四日市市生まれ。鴨川市内に移住。漁師のの後、鴨川中学校の図画教師となり、教職のかたわら創作を行う。昭和 31 年(1956)、「海人舟」で芥川賞受賞。吉行淳之介、安岡章太郎、小島信夫ら各氏とともに「第三の新人」として注目を集めた。妻の死を描いた「微笑」、美術の経歴を生かした「大観伝」などでも知られる。	
19	金剛宥性 （1821～1895）	僧侶	鴨川市平塚生まれ。太田学・成就院で僧侶となり、京都智積院各地で修業をする。天保 12 年（1841）西町竜性院住職となり、弘化元年（1844）清澄寺 23 世寺主に転じる。醍醐三宝院、醍醐寺を経て、明治 22 年（1890）智積院 43 世となって多くの弟子を育成した。後藤義光はそのうちの一人であり、清澄寺や竜性院の他、御詠歌の額など、宥性所縁の場所に作品を残している。	地蔵菩薩像
20	田中儀平 （1836～1916）	篤農家	鴨川市南小町生まれ。実家は川村家で、幼い頃は金次郎といった。25 歳の時に北小町村の田中家に婿入りした。奉公で得た給金で農具や牛などを揃え、後に日本農会有栖川宮から「今二宮」の称号を与えられる。農事に専念し、改善・対策に努め、安房を代表する篤農家として表彰を受けた。	顕彰碑
21	吉田謹爾 （1850～1914）	地方政治	鴨川市貝渚生まれ。貝渚村戸長、区長、香取郡長を務め、明治 14 年（1881）から安房・平・朝夷・長狭郡長に就任。畜産業の振興に努めた。	
22	川名　傳 （1875～1948）	地方政治	鴨川市成川生まれ。主基村長、県会議員の他要職を歴任し、昭和 10 年（1935）に全国の優良村として表彰を受ける原動力となった。指導者としても、藍綬褒章が授与されている。耕地整理や溜池の設置を行い、農業の振興に努め、組合長となった主基村産業組合を通じて農作物の販売や肥料・日用品等の購買を行い、明治製菓の練乳工場とも連携して畜産業の振興を図った。	顕彰碑
23	落合匡太郎 （1890～1958）	地方政治 評論家	鴨川市大幡生まれ。獣医師として房州酪農の指導に携わる。安房郡、千葉県獣医師会の創立委員にもなり、酪農畜産業の振興の振興と郷土の活性化を図り、牛乳の消費拡大、乳業の発展等にも尽力した。吉尾村会議員、吉尾村長、初代長狭町町長などを歴任し、鴨川市国保病院の前身・吉尾国保病院、県立長狭高校吉尾分校の設立に活躍した。「牛延」の号と共に、時事問題や酪農問題を批評して、新聞雑誌に発表した評論家でもあった。	
24	原田祖岳 （1871～1961）	僧侶 教育者	福井県小浜市生まれ。駒澤大学教授。宮山長安寺 41 世住職。大正７年（1918）自ら院長となり、境内に中等教育機関「大正学院」を設立。鴨川市域だけでなく、富津市や鋸南町などから多くの生徒が集まり、人材の育成にあたった。組合立長狭中学校の設立	

			に伴い、大正 13 年（1924）閉校。卒業生には、歯科の医学博士尾形利二や東京甘栗協会会長磯貝博、東条村長杉田博、長狭町助役佐久間達雄などがいる。	
25	原進一 （1891～1967）	医師	鴨川市大幡生まれ。吉尾小学校、県立安房中学校、仙台第二高等学校へと進み、東京帝国大学医学部医学科を卒業。その後、神田の杏雲堂醫院や東京大学法医学教室を経て、東京大森で開業。昭和 5 年(1930)、鴨川市前原に戻り個人医院を開業。昭和 16 年(1941)に鴨川文化協会を設立し、鴨川自由大学や成人学校の開催、読書会、映画会、美術展、ダンスや音楽会、文化祭など文化振興に尽力。戦後は、鴨川町立図書館長も務めた。	
26	横尾とき （1894～1984）	教育者	印西市生まれ。郷里で各小学校の訓導を務め、広島、東京で高等女学校の教諭となった。昭和４年（1929）、夫・横尾卯之吉の出身地天津町に近接する鴨川町に、長狭実践女学校を設立。女子教育に尽力した。現在は鴨川令徳高等学校となっている。	
27	竹澤章	実業家	鴨川市古畑生まれ。上京し蚕業新報社を設立。全国的規模で養蚕技術の啓蒙に努めた。蚕を家の中で飼わずに野外や土室の中で飼う方法を考案し近代養蚕の基を築いた。	大山寺（記念碑）

・方言

方言	標準語／意味
アンダ	何だ
アーボ	にわとこの木
アゴム	またぐ
アジシタ	どうした
アジョンモ　カジョンモ	どうにも　こうにも
アジョウシベエ	どうしたらよいだろう
アヅエ	小豆
アンダンケ	何ですか
アブウ	餅
アマンブシ	干柿
アメヤーゴ	あまえる
アヤッコ	幼女
アーンガ	いいや
アンゴ	蛙
アノサア	あのね
アンモ	何も
アーンモ	何も
アンチャン	兄
アソーチ	朝食前
アンベア	具合、調子

アバヨ	さようなら
アッチ	あちら
アガッペ（ト）	上り口
アサッパラ	朝早く
イイッペ	いいだろう
イイッペイ	いいだろう
イキレル	蒸暑い
イケスカネー	気に入らない
イーデン	よいです
イナブラ	藁ぼち
イスス	石うす
ウント	多く
ウッセア	うるさい
ウッサヤー	うるさい
ウッチャル	捨てる
ウップーレル	寒さにふるえる
ウナミチ	山頂道
ウヌシ	汝
ウラッポ	梢
ウンザリ	がっかり
ウンテエ	重い
ウンネル	ふて寝
ウンマネー	うまくない
ウワッカ	表面
ウンジイ	長男以外の男の子
エナサ	南東風
エツコ	お手玉
エエ	家
エカイ	大きい
エサシ	掛物
エシ	石
エマシ	麦飯
エム	破れる
エラーク	沢山
エンコ	犬子
エテコウ	猿
エエツエル	云いつける
エグ	行く
エップウ	一服、一休み
エセエデ	急いで
エネア	居らない
エスス	石臼
エッチャ	一羽
エッペアー	沢山
エナブラ	稲むら
オッケヤール	倒れる

オエネア	困る
オシレエ	白粉
オカンガヘシ	物売り
オカンジン	乞食
オシロコ	汁粉
オダス	叱る
オンジイ	次男以下の男
オッカク	折る、割る
オツケ	味噌汁
オッパシル	追う
オッパレル	おいだす
オッペス	押す
オンベイ	長女以外の女の子
オンバア	次女以下の女子
オバゴ	伯母
オメエラア	お前さん達
オッカネア	こわい
オッカネエ	おっかない　こわい
オジヤ	雑炊
オッカア	母親
オトテー	一昨日
オイネッペヨ	よくないでしょう
オッタマゲタ	びっくりした
オーコヤー	くたびれる
オンチャー	おんどり
カザンバ	庭園
カシケー	狡猾
カセル	食わせる
カソウ	誘う
カッテバ	炊事場
カンコ	下駄
カンノンサマ	虱
カンマース	かきまわす
ガエ	男の子
ガーナル	大声で叱る
カラッケツ	無一物
カツチイ	緑肥
カッチー	5、6月頃田に入れるため刈
カッアレアー	竹かぶ等の削げ切り
ガンダメシ	半にえめし
キビショ	急須のこと
キジリ	かまど焚口
キサッセエ	来なさい
キサッシェー	来なさい
キドコネ	ごろ寝
キドコロネ	ごろ寝

キンノウ	昨日
キビショ	急須
ギボ	こぶ
キモオイル	心配
キャーセロ	聞かせろ
キリバン	まな板
クラッセア	ください
クッチャメ	まむし
クデ	くず
クリマワシ	やりくり
クンロ	ください
クロ	畔　田の畔
クデエ	繰返し云う事
クタブレタ	つかれた
クソボーロク	あかはら（ツグミ）
ゲシイ	米とぎ汁
ケアラッタ	お出になった
ケデア	みの
ケブテア	煙い
ゲー	無駄、多すぎ
ケナス	悪く云う
ゲアーロ	蛙の卵
ケャーツコ	貝がら
ケャーッチャ	裏返し
ケャーッタリー	だるい
ケーッタルイ	だるい
ゲッツリ	しゃっくり
ケャーッテ	むしろ
ケナリイ	うらやましい
ケンガ	けれども
コエー	つかれた
ゴクソツ	禁物
コケラ	鱗
コゲール	こごえる
ゴザッテル	死んでる
ゴジヤ	おやつ
コジャ	おやつのこと
ゴショウンナル	助かる、功徳になる
コテンコテン	目茶苦茶
コッペイ	理屈
コソバユイ	面はゆい
ゴザアンス	御座います
ゴトアンゴ	殿様蛙
コッチ	こちら
コンマデ	ここまで
サイズチ	役立たず

サクデア	使用人
サツカエ	ひさし
ササヅル	手さぐり
サナゲル	まぜる
サビイ	寒い
サアーサ	さかさ
サルベアオチル	転がり落ちる
サアッポラ	小川
シタゲール	従わせる
シタゲ	唾液
シタヂ	正油
シタタウ	たくさん
シダラガネー	だらしがない
シッケル	田植
シテーモノ	単衣
ショネム	ねたむ
ショッチュウ	年中
シッペゲアシ	はね返す
シッテア	完成
シイッチョ	馬追虫
シブチャアンゴ	土かえる
スエモン	吸物
スクンダ	驚いた
ズーシ	熟柿
スーモ	籾がら
スルンカ	籾ぬか
スモトリバナ	すみれ
スベタ	女の子
スッタモンダ	云い合い
ズモク	果物
スエダー	好きだ
スッテンテン	無一物
セセクル	さわる
セブル	ゴマかし取る
セヤーセヤ	度々
セツネア	苦しい
セナア	息子
セバッチョ	せまい場所
セアバシ	煮物箸
セア	副食物
セアセア	時々
セワシネー	忙しい
セガム	貰いたがる
ソーエタ	言った
ソーエテヤル	言い付けてやる
ソンナコンナ	あれやこれや

ソンデア	それでは
ソバエル	ふざける
ソコネッチョ	根性
ソーバッカ	粗末
ソーソラウ	でたらめ
ソーダッペ	そうでしょう
ソーラジュウ	方々で
タツボ	タニシ
タテゴヤ	建具屋
タテメー	上棟式
タボー	煙草
タマゲル	驚く
ダッペエ	だろう
ダケンガ	けれども
チットバアリ	少しばかり
チャンチャンコ	袖なし
チンチン	雀
チャッケー	小さい
チャン	父親
ツバエ	唾液
ツップス	うつむく
ツットース	突き刺す
ツバクロ	ツバメ
ヅツネア	横着者
ツンノメル	倒れる
テンノウグサ	げんのしょうこ
デー	奥座敷
テンツラテン	短い着物
テノゲエ	手拭
デアーコン	大根
デヤーブ	沢山
デアドコ	台所
テレンカゴ	魚屋が魚をいれてくるかご
デッケー	大きい
テンデ	とても
デエジナ	だいじな　たいせつな
トンテ	とても思って
トットウ	鳥
トンガラス	尖らす
ドッサリ	沢山
トツッアン	父
ドヤス	叱る
トヤス	溶かす
トグチ	入口
トッパズシ	あやまって
ドン	家号の下につける敬語

トウロク	農業の仕事着（紺の木綿）
ナーゴ	蝗
ナーマハギリ	仲間はずれ
ナセ	仕事をする
ナセア	そうですね
ナマッコ	生煮え
ナレエ	北風
ナセアマシ	なさいませ
ニシ	お前
ニイシイ	新しい
ニッツエジャノコ	小豆飯
ニャーンコ	小猫
ヌッグー	拭く
ヌクトマル	暖まる
ヌキイ	暖かい
ヌートバッコ	陽なたぼっこ
ヌルイ	風呂のゆかげん
ネー	姉
ネール	煮える
ネダル	貰いたがる
ネンネエ	赤児
ネブテア	眠い
ノエバ	軒端
ノホホン	呑気
ノノー	曽祖父母
ノータリン	低知能者
ノンダクレ	大酒呑
ノーテンキ	無鉄砲
ノンノー	太陽、神様
ノベツ	句切のない
ハダエル	広げる
ハル	打つ
ハンコ	印かん
ハンメヤビツ	自家用米びつ
ハッタオス	なぐる
ハンドン	土曜日
ハンメア	自家用米
ハゲヤアル	始める
ハシケエ	すばしこい
バワー	馬鹿
バチカガサ	竹皮のかさ
ハナ	始め
バンガタ	夕方
ヒマチ	休日
ピーピー	無一物
ヒゲアーリ	天気が変わる

ヒシゲピヨリ	曇り日、小雨
ヒヤメシゾーリ	藁草履
ヒャッケエ	冷たい
フグス	こわす
フッグズム	踏み込む
フゴ	小さいざる
フッゴミバモネア	乱雑
フーレツラ	仏頂面
フウアンゴ	がま蛙
フウガワリイ	きまりが悪い
ヘヨッコ	雛
ヘアラッセア	お入りなさい
ヘートウ	乞食
ヘイトウ	乞食
ヘンテコ	変な
ヘド	吐しゃ物
ヘッツイ	かまど
ペエ	でしょう、だろう
ヘボ	ひも
ホエル	育つ
ホトエ	仏
ホシカエモ	乾燥芋
ボッコー	無愛想
ポーポー	筒
ホンヌイ	堀抜き井戸
ボッコウレル	破れる
ボテフリ	魚行商人　魚売り
マチ	祭
マガット	曲り角、まがった処（主と
マーヤ	牛馬小屋
マット	もっと
ミノテ	水口　田の水の上り入り、
ミノゲ	鳥羽の芽
ムリコ	子守
ムゲエ	かわいそう
メッカチ	盲人
メド	穴
メヤーメヤ	かたつむり
メンドウミル	世話をする
メアーンチ	毎日
メエーチヤリ	燃え残り
メンチャー	めんどり
メヤアンヒ	前日
モミゴシリ	籾のまま精白した米
モンピイ	股引
モコー	向う

モゲエ	可愛い
ヤンクソ	いやだ
ヤーテ	人手
ヤンベエ	やりましょう
ヤーブ	歩く
ヤーベー	歩け
ヤーバッセア	お出なさい
ヤーケエ	軟らかい
ヤダー	いやだ
ヤァーッケイ	やわらかい
ユル丰	いろり
ヨゴシ	あえもの
ヨケイ	沢山
ヨナゲル	撰別
ワケヤンドン	青年達
ワッシ	私

３　報告書・出版物リスト

（１）鴨川市文化財の把握調査及び報告書

類型			調査名	実施主体	実施年度
有形文化財	建造物	社寺建築	近世社寺建築調査	千葉県教育委員会	昭和 52 年
		近代建造物	近代建造物実態調査	千葉県教育委員会	平成 5 年
			千葉県の近代和風建築調査	千葉県教育委員会	平成 16 年
	美術工芸品	彫刻	『波の伊八』	長谷川治一	平成 5 年
			県指定有形文化財　木造不動明王坐像及び両脇侍立造調査	鴨川市教育委員会	平成 7 年
			鴨川市内波の伊八所在調査	鴨川市	平成 8 年
			長狭三十三観音調査	鴨川市郷土史研究会	平成 9 年
			神仏像調査	天津小湊町	平成 9～14 年
			『南総の彫工　初代後藤義光』	G プロジェクト	平成 25 年
			『初代波の伊八武志伊八郎信由作品集』	當麻隆代	平成 27 年
		古文書	竹沢家文書調査	鴨川市立図書館	昭和 52 年～53 年
			町史編さん事業文書調査	天津小湊町	昭和 61 年～
			市史編さん事業文書調査	鴨川市	昭和 62 年～
		石造物	石造物調査	天津小湊町	平成 8～11 年
			石造物調査	鴨川市	平成 8 年
			房総の道標調査	金田英二	平成 9 年
			石造物調査	鴨川市郷土史研究会	平成 15～20 年
			房総の道標追加調査	金田英二	平成 16 年
			続房総の石仏百選	房総石造文化財研究会	平成 22 年
民俗文化財	有形	民俗	文化財実態調査報告書　絵馬・奉納額・建築彫刻	千葉県教育委員会	平成 8 年
			鴨川市域の山車・屋台調査	鴨川市郷土史研究会	平成 10 年
			房総の神輿　上総・下総・安房篇	内田　栄一	平成 28 年
	無形	民俗	千葉県民謡緊急調査	千葉県教育委員会	昭和 54 年～55 年
			千葉県民俗地図	千葉県教育委員会	昭和 58 年
			房総の漁民俗撈調査（外房における漁具・漁法とその習俗）	千葉県教育委員会	昭和 58 年
			天津の民俗調査	跡見学園女子大学民俗研究会	平成 5 年
			千葉県史編さん資料　千葉地域民俗調査　第 1 集	財団法人千葉県史料研究財団	平成 6 年
			千葉県史編さん資料　千葉地域民俗調査　第 3 集	財団法人千葉県史料研究財団	平成 8 年

			祭り・行事調査	千葉県教育委員会	平成 11～13 年
			妙蓮寺の歌題目・ひげ題目調査	天津小湊町	平成 14 年
		民話・伝承	長狭地方の民話と伝説調査	鴨川市郷土資料館	平成 5 年
			四方木の生活と伝承調査	武蔵大学人文学部	平成 6 年
記念物	史跡	遺跡	ロシア人来航の記録調査	天津小湊町	昭和 61 年
			千葉県生産遺跡詳細分布調査	千葉県文化財保護協会	昭和 61 年
			鴨川市埋蔵文化財現地調査	鴨川市	昭和 62 年
			天津小湊町埋蔵文化財現地調査	天津小湊町	昭和 62 年
			廻塚遺跡発掘調査	鴨川市廻塚遺跡発掘調査会	昭和 57 年
			天津小湊町内遺跡発掘調査(貝戸遺跡・二タ間遺跡・砂田遺跡)	天津小湊町	平成 4 年
			葛ヶ崎城跡調査	天津小湊町	平成 5 年
			中世城跡調査（葛ヶ崎城跡・城崎城跡・金山城跡・江見根古谷城跡）	天津小湊町	平成 3～9 年
			東条地区遺跡発掘調査	東条地区遺跡調査会・鴨川市教育委員会	平成 4～6 年
			東条地区遺跡群発掘調査（中原条里跡・根方上ノ芝条里跡・西条氏館跡）	鴨川市遺跡調査会・鴨川市教育委員会	平成 4～9 年
			中原条里跡発掘調査	鴨川市教育委員会	平成 6 年
			東条地区遺跡発掘調査・茱萸ノ木田遺跡発掘調査	鴨川市遺跡調査会・鴨川市教育委員会	平成 7 年
			千葉県所在中近世城館跡詳細分布調査-旧上総・安房国-	千葉県教育委員会	平成 8 年
			千葉県やぐら分布調査	千葉県教育委員会	平成 8 年
			東条地区遺跡群発掘調査	鴨川市遺跡調査会・鴨川市教育委員会	平成 8 年
			茱萸ノ木田遺跡発掘調査	鴨川市遺跡調査会・鴨川市教育委員会	平成 8～9 年
			千葉県産業・交通遺跡実態調査	千葉県教育委員会	平成 10 年
			千葉県内埋蔵文化財基礎資料調査	千葉県教育委員会	平成 11 年
			湯貫田遺跡・花輪遺跡発掘調査	鴨川市・総南文化財センター	平成 14 年
			千葉県所在洞穴遺跡・横穴墓詳細分布調査	千葉県教育委員会	平成 15 年
			葛ヶ崎城跡発掘調査	鴨川市教育委員会	平成 17 年
			県内遺跡詳細分布調査　房総の近世牧跡	財団法人千葉県教育振興財団	平成 18 年
			鹿野岡城跡調査	鴨川市	平成 27 年
			嶺岡牧野馬土手調査	鴨川市	平成 30 年
			千葉県内縄文時代集落・貝塚詳細分布調査	千葉県教育委員会	令和 3 年

	地質鉱物	『鴨川地域の地質』	通商産業省工業技術院地質調査所	昭和 56 年
		千葉県地質鉱物基礎調査	千葉県教育委員会	平成 7 年
		『鴨川市域の岩石』	真田三郎	平成 10 年
		地形と地質調査	天津小湊町	平成 10 年
	動植物	千葉県天然記念物保存調査	千葉県教育委員会	昭和 49 年
		植物調査	天津小湊町	昭和 63～平成 6 年
		海浜生物調査	天津小湊町	平成 5 年
その他の文化財		千葉県歴史の道調査 12　伊南房州通往還Ⅱ	千葉県教育委員会	平成 2 年
		県・市指定文化財及び史跡状況調査	鴨川市	平成 8 年
		鴨川市内歌碑・句碑所在調査	鴨川市	平成 8 年
		集落・町並実態調査報告	千葉県教育委員会	平成 14 年
		『大山の千枚田文化的景観保存活用計画』	大山の千枚田文化的景観保存活用実行委員会	平成 18 年
		『戦後五十年事業＝平和へのねがい＝作文集』	鴨川市	平成 7 年
		『鴨川の戦争とくらし　５０人の証言』	戦争を語り伝える会 in 鴨川	令和 2 年
		『食の文化を創造する鴨川味の方舟－鴨川の食の魅力を磨く－』	プロジェクト味の方舟	平成 23 年
		『発掘鴨川の味　太巻寿司・なめろう』	プロジェクト味の方舟	平成 24 年

（２）鴨川市の出版物

	名称	発行者	発行年
1	「鴨川沿革史」上・中・下巻	鴨川町立図書館	昭和 39 年
2	「鴨川風土記」創刊号　鴨川市立図書館創立三十周年記念	鴨川市立図書館	昭和 55 年
3	鴨川史料目録（一）　竹沢家史料文書付史料解題	鴨川市立図書館	昭和 55 年
4	鴨川市郷土資料館「収蔵目録」　第一集	鴨川市郷土資料館	昭和 57 年
5	鴨川市郷土資料館「収蔵目録」　第二集	鴨川市郷土資料館	昭和 58 年
6	鴨川市郷土資料館「収蔵目録」　第三集	鴨川市郷土資料館	昭和 59 年
7	鴨川市の文化財	鴨川市教育委員会	昭和 60 年
8	鴨川市郷土資料館「収蔵目録」　第四集	鴨川市郷土資料館	昭和 61 年
9	天津小湊町史　史料集１	天津小湊町	平成 2 年
10	鴨川市史 史料編（一）	鴨川市	平成 3 年

11	「鴨川風土記」第二号　鴨川市立図書館創立四十周年記念	鴨川市立図書館	平成 4 年
12	鴨川市史 史料編（二 ）	鴨川市	平成 5 年
13	史談天津小湊　第一号	天津小湊町	平成 5 年
14	天津小湊の海浜生物	天津小湊町	平成 6 年
15	PHOTO　GRAPH　天津小湊	天津小湊町	平成 6 年
16	新訂　鴨川町誌	鴨川市史編さん室	平成 6 年
17	長狭地方の民話と伝説	鴨川市郷土資料館	平成 6 年
18	天津小湊の植物	天津小湊町史編さん室	平成 7 年
19	ロシア人来航の記録　－元文の黒船資料集－	天津小湊町	平成 7 年
20	新訂　東条村誌	鴨川市史編さん室	平成 7 年
21	新訂　西条村誌	鴨川市史編さん室	平成 7 年
22	新訂　吉尾村誌	鴨川市史編さん室	平成 7 年
23	戦後五十年事業　平和へのねがい　「昭和二十年八月十五日　その時私は」　－作文集－	鴨川市	平成 7 年
24	鴨川市史 通史編	鴨川市	平成 8 年
25	千葉県指定有形文化財　木造不動明王坐像及び両脇侍立像保存修理報告書	宗教法人高蔵神社	平成 8 年
26	郷土人物史誌	鴨川市史編さん室	平成 8 年
27	鴨川市の文化財	鴨川市教育委員会	平成 9 年
28	長狭三十三観音　巡礼ガイド	鴨川市郷土資料館	平成 10 年
29	鴨川市史 読本編 鴨川のあゆみ	鴨川市	平成 10 年
30	天津小湊の歴史（上下編）	天津小湊町	平成 10 年
31	新訂　江見村誌	鴨川市史編さん室	平成 10 年
32	天津小湊の地形と地質	天津小湊町	平成 11 年
33	鴨川市史年表	鴨川市教育委員会	平成 11 年
34	天津小湊の石造物	天津小湊町	平成 11 年
35	史談天津小湊　第二号	天津小湊町	平成 12 年
36	主基のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 12 年
37	大山のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 14 年
38	天津小湊町の日蓮宗信仰と講集団－妙蓮寺の歌題目・ひげ題目の調査報告をかねて－	天津小湊町	平成 15 年
39	田原のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 15 年
40	天津小湊の神仏像調査報告書	天津小湊町	平成 16 年
41	曽呂のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 16 年

42	町立中学校の歴史	天津小湊町	平成 17 年
43	太海のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 18 年
44	小湊のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 19 年
45	天津のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 21 年
46	民話あまつこみなと	鴨川市教育委員会生涯学習課	平成 22 年
47	子どものための郷土史　ふるさと鴨川	鴨川市教育委員会	平成 22 年
48	開設 20 周年記念誌　鴨川のむかし話	鴨川市教育委員会	平成 22 年
49	鴨川市の指定文化財	鴨川市教育委員会	平成 22 年
50	民話あまつこみなと　第二集	鴨川市教育委員会生涯学習課	平成 22 年
51	鴨川町のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 23 年
52	鴨川の石造物 100 選	鴨川市教育委員会	平成 25 年
53	東条のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 25 年
54	わたしたちの鴨川市　歴史編	鴨川市教育委員会	平成 26 年
55	吉尾のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 27 年
56	江見のあゆみ	鴨川市教育委員会	平成 29 年
57	西条のあゆみ	鴨川市教育委員会	令和元年
58	増訂　主基のあゆみ	鴨川市教育委員会	令和 3 年
59	増訂　天津のあゆみ	鴨川市教育委員会	令和 7 年

4 鴨川市文化財に関する市民アンケート

集計結果

（1）　回答期間　令和５年９月１日～10月31日

（2）　配布数

① 住民基本台帳から無作為抽出した16歳から89歳までの市民300人

無作為抽出の条件	16歳～34歳	75人
	35歳～49歳	75人
	50歳～64歳	75人
	65歳～89歳	75人

② 指定文化財所有者、管理者又は保存団体　30団体

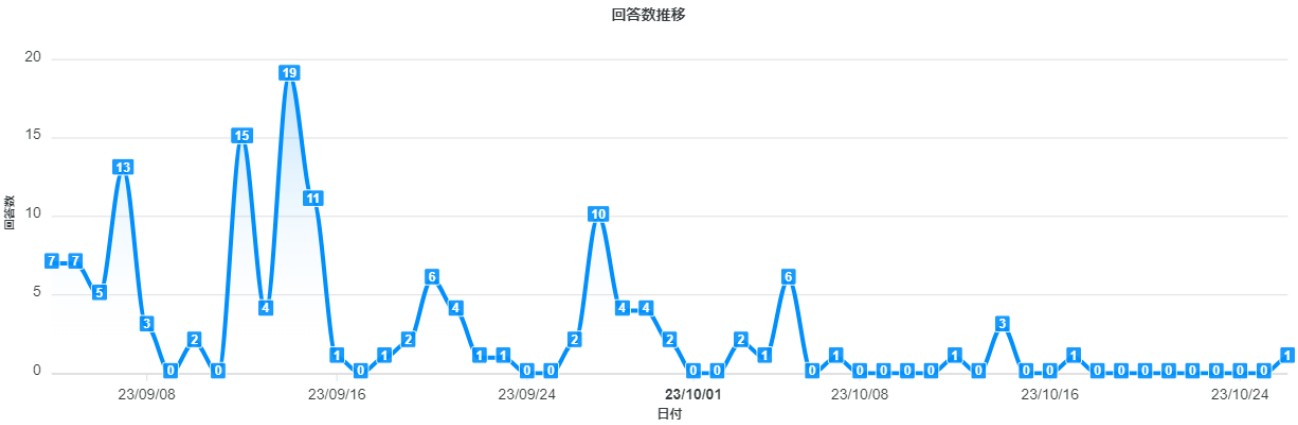
③ 歴史文化の関係団体及び会員　40人

④ 市ホームページによるアンケートの案内

⑤ Line及びXによるアンケートの案内

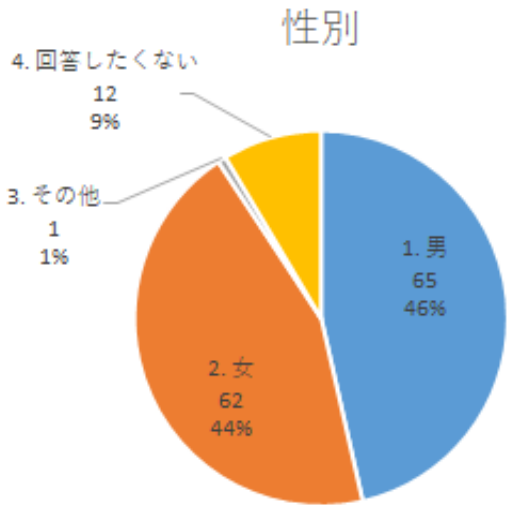
（3）　回答数　140件

（4）　集計結果



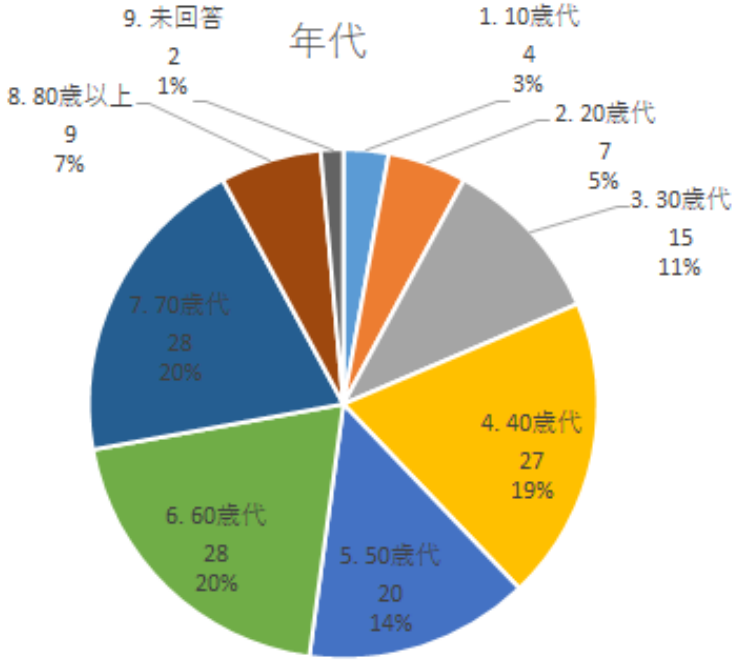
問１　性別

性別	件数	割合
1. 男	65	46.4%
2. 女	62	44.3%
3. その他	1	0.7%
4. 回答したくない	12	8.6%
	140	

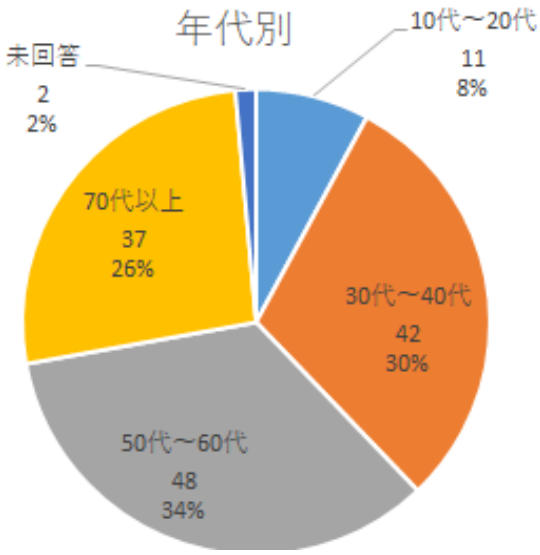


問２　年代

年代	件数	割合
1. 10歳代	4	2.9%
2. 20歳代	7	5.0%
3. 30歳代	15	10.7%
4. 40歳代	27	19.3%
5. 50歳代	20	14.3%
6. 60歳代	28	20.0%
7. 70歳代	28	20.0%
8. 80歳以上	9	6.4%
9. 未回答	2	1.4%
総回答数	140	

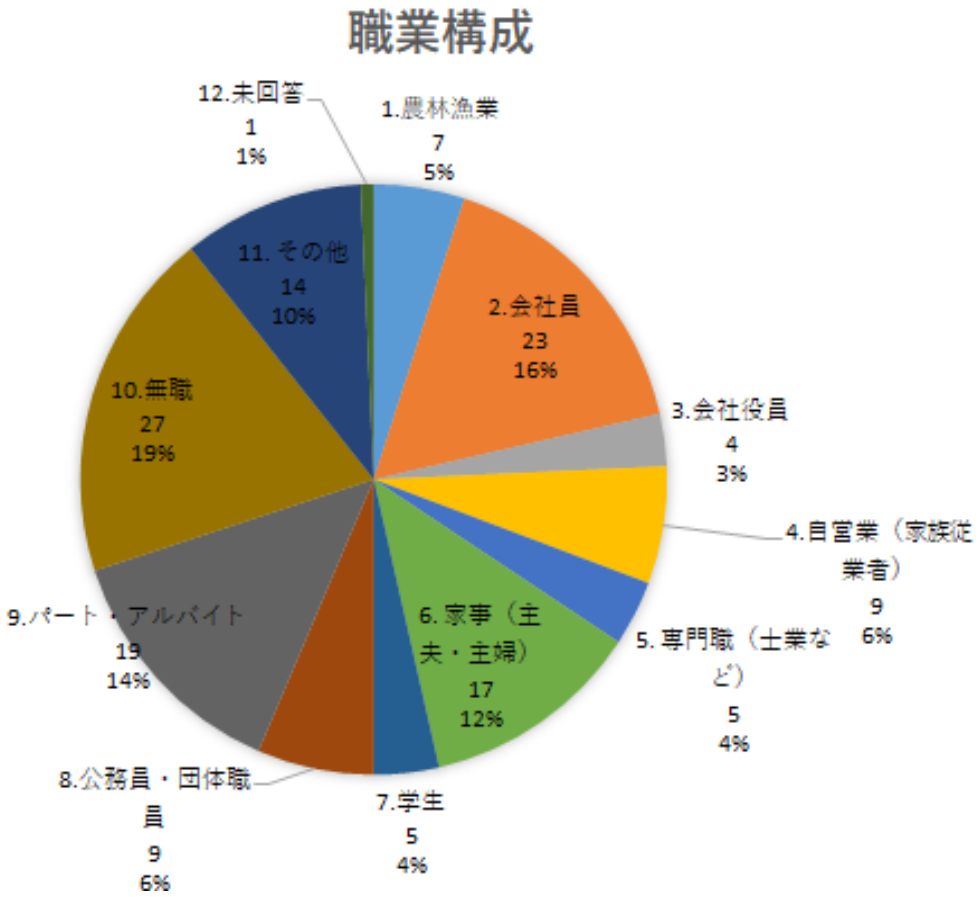


年代	人数	割合
10代～20代	11	7.9%
30代～40代	42	30.0%
50代～60代	48	34.3%
70代以上	37	26.4%
未回答	2	1.4%
総回答数	140	



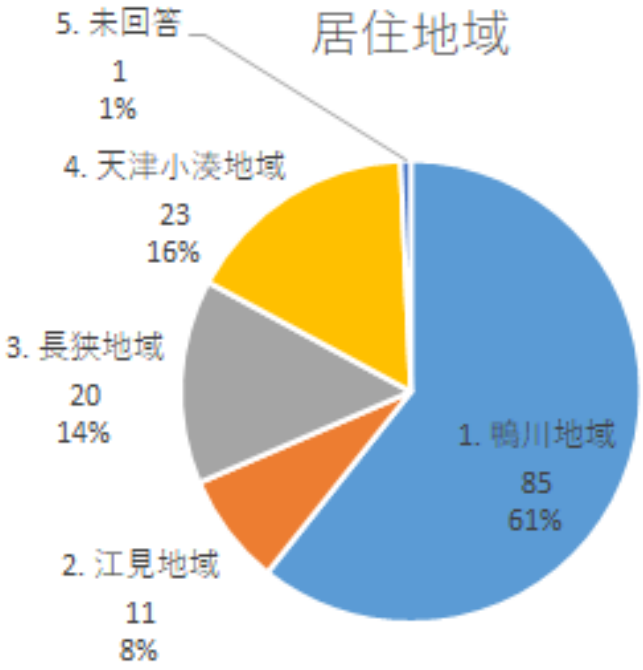
問３　職業構成

職種	件数	割合
1.農林漁業	7	5.0%
2.会社員	23	16.4%
3.会社役員	4	2.9%
4.自営業（家族従業者）	9	6.4%
5. 専門職（士業など）	5	3.6%
6. 家事（主夫・主婦）	17	12.1%
7.学生	5	3.6%
8.公務員・団体職員	9	6.4%
9.パート・アルバイト	19	13.6%
10.無職	27	19.3%
11. その他	14	10.0%
12.未回答	1	0.7%
	140	



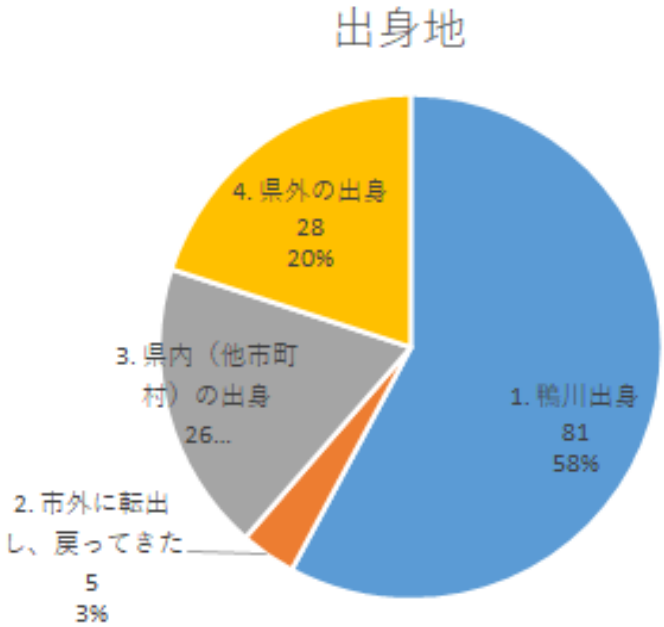
問4　居住地域

地域	件数	割合
1. 鴨川地域	85	60.7%
2. 江見地域	11	7.9%
3. 長狭地域	20	14.3%
4. 天津小湊地域	23	16.4%
5. 未回答	1	0.7%
	140	



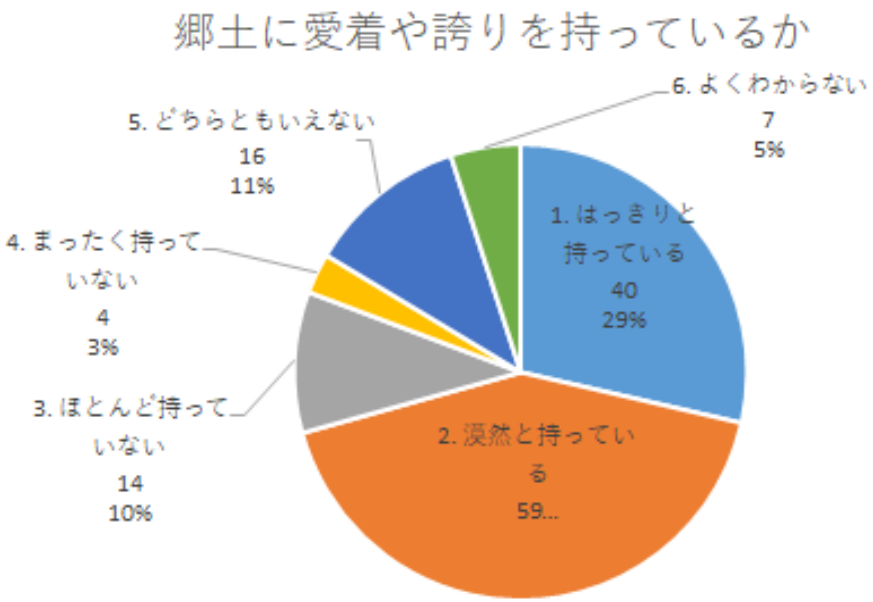
問5　出身地

出身地	件数	割合
1. 鴨川出身	81	57.9%
2. 市外に転出し、戻ってきた	5	3.6%
3. 県内（他市町村）の出身	26	18.6%
4. 県外の出身	28	20.0%
	140	

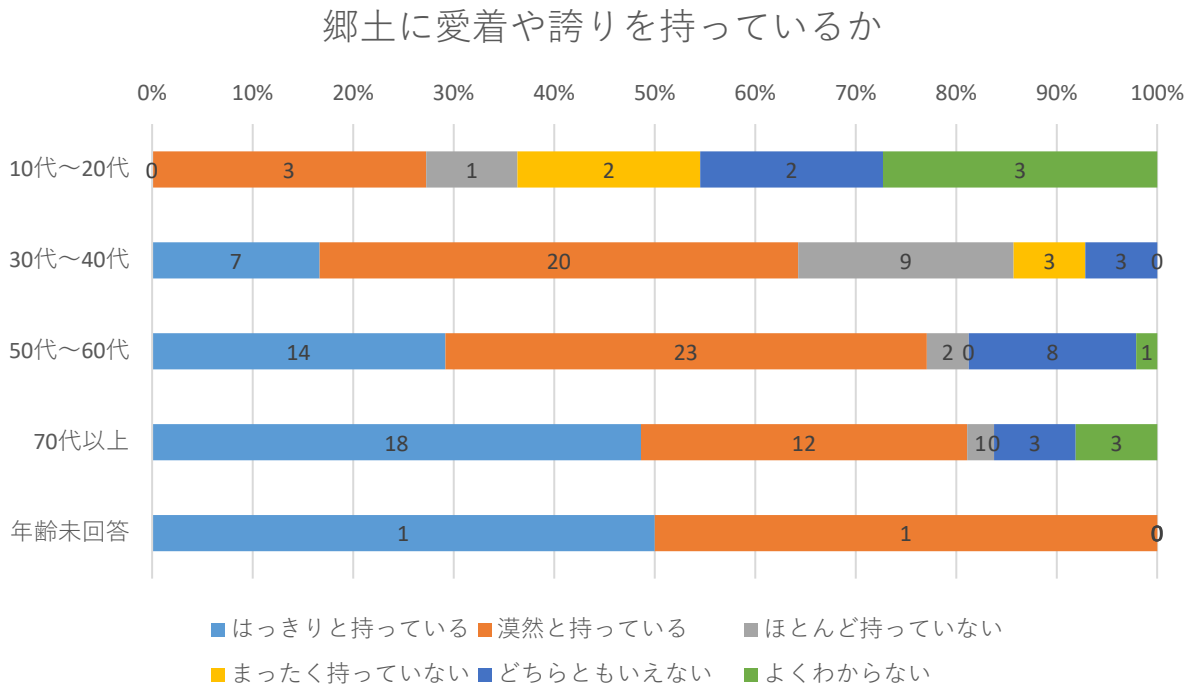


問6　郷土に愛着や誇りを持っているか

郷土に愛着や誇りを持っているか	件数	割合
1. はっきりと持っている	40	28.6%
2. 漠然と持っている	59	42.1%
3. ほとんど持っていない	14	10.0%
4. まったく持っていない	4	2.9%
5. どちらともいえない	16	11.4%
6. よくわからない	7	5.0%
	140	



郷土に愛着や誇りを持っているか	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
はっきりと持っている	0	7	14	18	1	40
漠然と持っている	3	20	23	12	1	59
ほとんど持っていない	1	9	2	1	0	13
まったく持っていない	2	3	0	0	0	5
どちらともいえない	2	3	8	3	0	16
よくわからない	3	0	1	3	0	7
						140

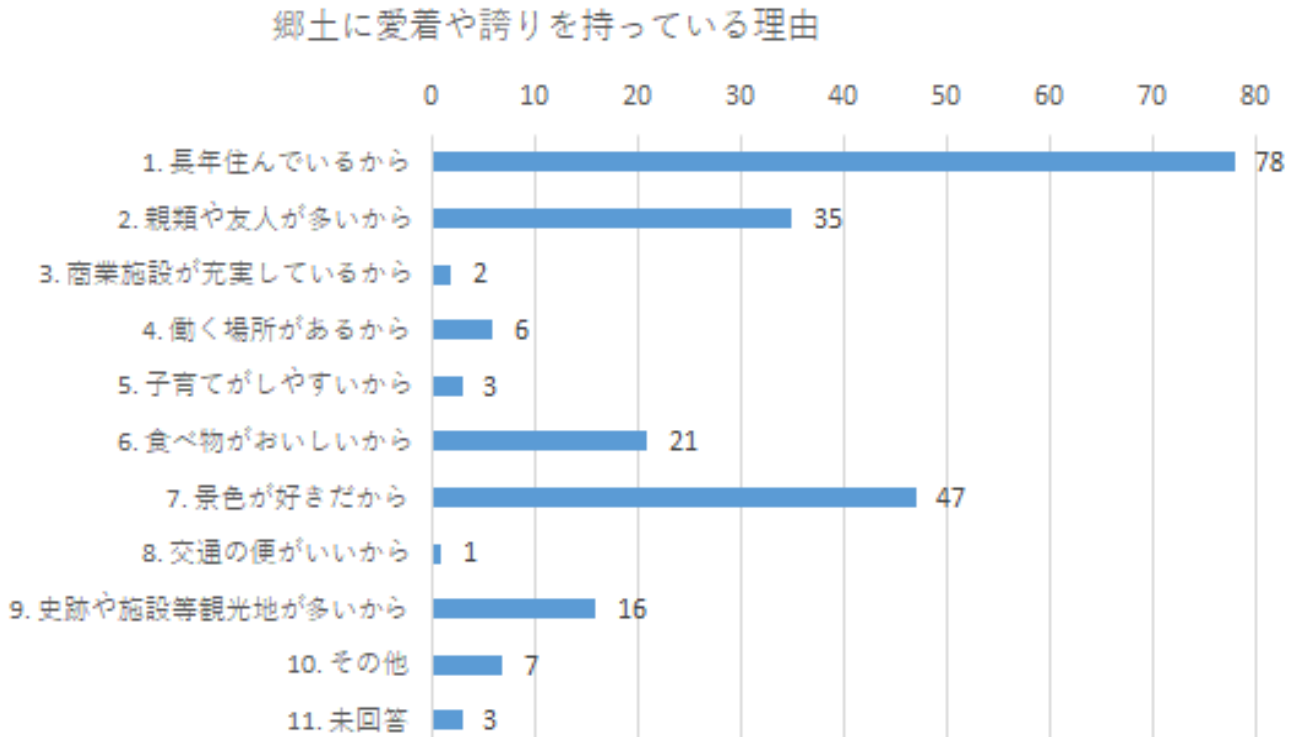


問７　郷土に愛着や誇りを持っている理由

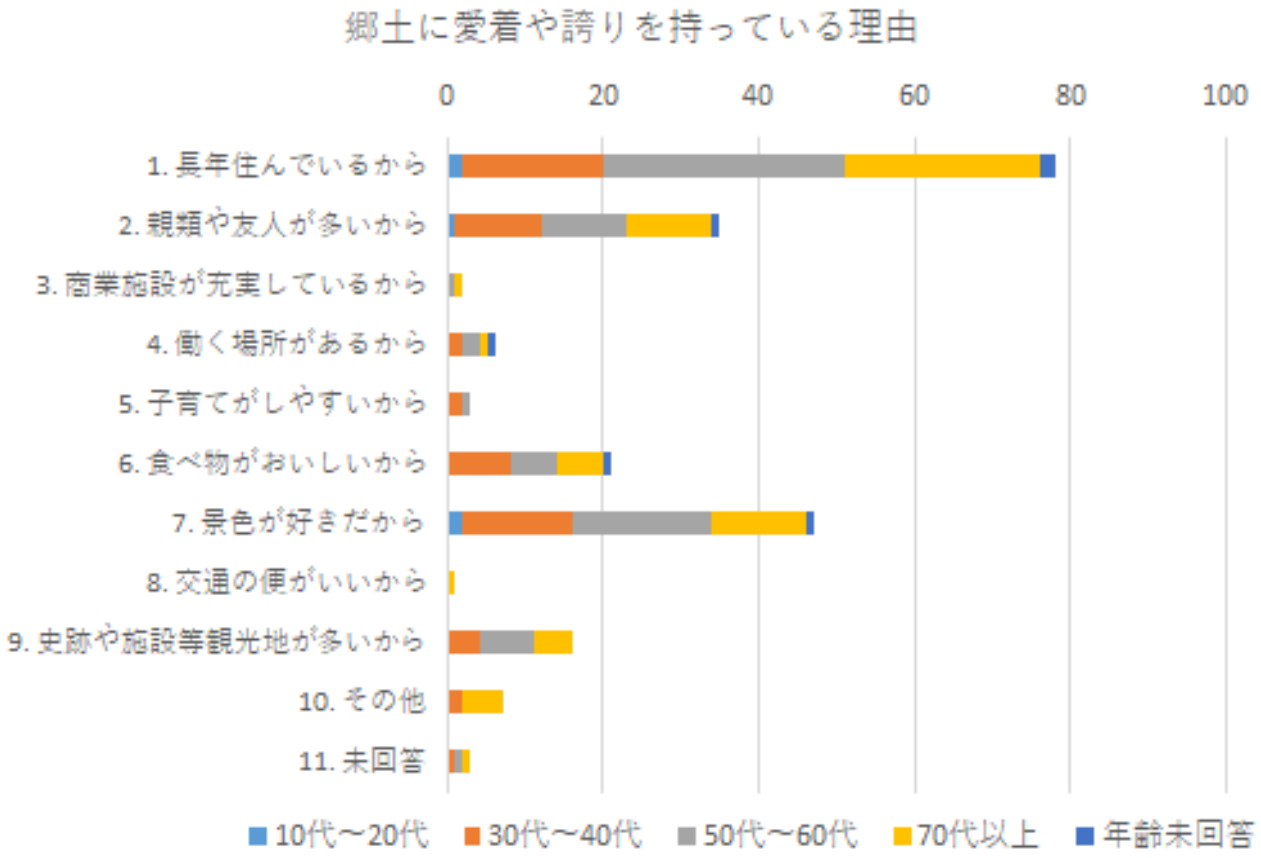
理由	件数
1. 長年住んでいるから	78
2. 親類や友人が多いから	35
3. 商業施設が充実しているから	2
4. 働く場所があるから	6
5. 子育てがしやすいから	3
6. 食べ物がおいしいから	21
7. 景色が好きだから	47
8. 交通の便がいいから	1
9. 史跡や施設等観光地が多いから	16
10. その他	7
11. 未回答	3
	219

その他

- 雰囲気として落ち着けるから
- 日蓮聖人の聖地だから
- 日蓮の誕生地であること。日蓮の教えは、現在、192か国の人々に広まり、世界宗教と言える現状です。鴨川市の偉人のお一人であり、誇りです。
- 夫のふるさと
- 生まれた土地を知りたいから
- 先祖代々の墓を守る為



郷土に愛着や誇りを持っている理由	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 長年住んでいるから	2	18	31	25	2	78
2. 親類や友人が多いから	1	11	11	11	1	35
3. 商業施設が充実しているから	0	0	1	1	0	2
4. 働く場所があるから	0	2	2	1	1	6
5. 子育てがしやすいから	0	2	1	0	0	3
6. 食べ物がおいしいから	0	8	6	6	1	21
7. 景色が好きだから	2	14	18	12	1	47
8. 交通の便がいいから	0	0	0	1	0	1
9. 史跡や施設等観光地が多いから	0	4	7	5	0	16
10. その他	0	2	0	5	0	7
11. 未回答	0	1	1	1	0	3
						219



問8　あなたの好きなもの（歴史や文化）は何ですか。（複数回答可）

内容	件数
1　西徳寺	2
2　水田三喜男	6
3　牛洗い行事	4
4　仁右衛門島	41
5　入定塚	0
6　賽の河原	5
7　魚見塚	24
8　一戦場	29
9　枕状溶岩	5
10　江見根古屋城跡	1
11　房州鋸	3
12　塩屋子安観音堂	1
13　波切不動	5
14　吉浦の武蔵板碑	0
15　山生橋梁	2
16　九頭竜様	1
17　曽呂温泉	9
18　嶺岡牧馬捕場跡	13
19　鏡忍寺	27
20　波の伊八	37
21　長谷川昂	10
22　鈴木真砂女	6
23　和泉の三役	7
24　鴨川合同祭	23
25　大浦の担ぎ屋台巡行	18
26　厳島神社御開帳	18
27　嶺岡牧	20
28　鴨川冨士（鹿野岡城跡）	11
29　鴨川松島	36
30　降神の槙	3
31　金山城跡	3
32　後広場古墳群	2
33　万祝	18
34　諏訪講・山王講の山車と人形	9
35　和泉公会堂	10
36　滝根入用水	1
37　金山疎水	5
38　来秀五輪塔群	4
39　野馬土手	6
40　伊勢エビ	41
41　さんが焼き	43
42　安国寺	5
43　長安寺	6
44　大山寺	25

内容	件数
45　吉保八幡神社	18
46　山の城跡	3
47　山口志道	2
48　古泉千樫	8
49　吉保八幡のやぶさめ	33
50　北風原の羯鼓舞	5
51　大山千枚田	45
52　主基斎田	9
53　鴨川のバクチノキ群生地	0
54　大賀ハス	12
55　正木環斉屋敷跡	3
56　道種院	3
57　太巻き寿司	18
58　チッコカタメターノ	11
59　誕生寺	54
60　清澄寺	58
61　天津神明神社	34
62　日蓮	32
63　沼野玄昌	3
64　鯛供養弁天祭	5
65　小湊の歌題目	5
66　鯛の浦	27
67　式年鳥居木曳祭	16
68　東京大学千葉演習林	14
69　葛が崎城跡	2
70　ロシア人来航の地	2
71　清澄の大スギ	20
72　まるばちしゃの木	4
73　清澄のモリアオガエル	15
74　クサフグ産卵地	6
75　善覚寺の近世文書	1
76　ハバノリ	28
77　房州ひじき	46
78　キンメダイ	40
79　その他	17

※その他　1144

浜荻貴船神社祭礼　天津天王祭

日蓮大聖人御生誕の地

鴨川おけさ、小湊音頭、黒潮音頭、大山音頭

天津須賀社の祭礼、城崎海岸、東条長狭の水田域

日蓮聖人関係、天津小湊地区文化財

天津地区祭礼、景勝地

森永乳牛の誕生地、明治乳業の誕生地、磯貝安房練乳所跡、牧士家住宅、馬頭観音

名称	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年代未回答	合計
1. 西徳寺	1	1	0	0	0	2
2. 水田三喜男	0	1	2	2	1	6
3. 牛洗い行事	0	1	2	1	0	4
4. 仁右衛門島	0	11	18	12	0	41
5. 入定塚	0	0	0	0	0	0
6. 賽の河原	1	1	2	0	1	5
7. 魚見塚	2	9	8	5	0	24
8. 一戦場	2	13	8	5	1	29
9. 枕状溶岩	0	1	1	3	0	5
10. 江見根古屋城跡	0	0	1	0	0	1
11. 房州鋸	0	0	1	2	0	3
12. 塩屋子安観音堂	0	0	0	0	1	1
13. 波切不動	0	1	2	2	0	5
14. 吉浦の武蔵板碑	0	0	0	0	0	0
15. 山生橋梁	0	0	1	1	0	2
16. 九頭竜様	0	0	0	0	1	1
17. 曽呂温泉	0	2	4	3	0	9
18. 嶺岡牧馬捕場跡	0	1	3	8	1	13
19. 鏡忍寺	1	6	7	13	0	27
20. 波の伊八	1	10	12	14	0	37
21. 長谷川昂	1	2	1	6	0	10
22. 鈴木真砂女	0	0	2	4	0	6
23. 和泉の三役	0	0	2	5	0	7
24. 鴨川合同祭	2	8	9	4	0	23
25. 大浦の担ぎ屋台巡行	0	5	8	5	0	18
26. 厳島神社御開帳	0	5	5	8	0	18
27. 嶺岡牧	0	5	6	9	0	20
28. 鴨川冨士（鹿野岡城跡）	0	1	6	4	0	11
29. 鴨川松島	0	8	16	12	0	36
30. 降神の槙	0	1	0	2	0	3
31. 金山城跡	0	0	1	2	0	3
32. 後広場古墳群	0	0	1	1	0	2
33. 万祝	0	5	7	6	0	18
34. 諏訪講・山王講の山車と人形	1	4	1	3	0	9
35. 和泉公会堂	0	1	2	7	0	10
36. 滝根入用水	0	0	0	1	0	1
37. 金山疎水	0	0	1	4	0	5
38. 来秀五輪塔群	0	0	2	2	0	4
39. 野間土手	0	1	2	3	0	6
40. 伊勢エビ	3	16	15	7	0	41
41. さんが焼き	1	16	16	10	0	43

名称	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年代未回答	合計
42. 安国寺	0	0	2	3	0	5
43. 長安寺	0	1	4	1	0	6
44. 大山寺	0	4	10	11	0	25
45. 吉保八幡神社	0	3	6	9	0	18
46. 山の城跡	0	0	3	0	0	3
47. 山口志道	0	0	1	1	0	2
48. 古泉千樫	0	1	3	4	0	8
49. 吉保八幡のやぶさめ	0	9	9	15	0	33
50. 北風原の羯鼓舞	0	0	2	3	0	5
51. 大山千枚田	4	10	19	12	0	45
52. 主基斎田	0	0	3	6	0	9
53. 鴨川のバクチノキ群生地	0	0	0	0	0	0
54. 大賀ハス	0	4	5	3	0	12
55. 正木環斉屋敷跡	0	0	2	1	0	3
56. 道種院	0	0	3	0	0	3
57. 太巻き寿司	0	3	9	5	1	18
58. チッコカタメターノ	0	3	4	4	0	11
59. 誕生寺	3	13	24	14	0	54
60. 清澄寺	3	17	25	13	0	58
61. 天津神明神社	1	14	11	7	1	34
62. 日蓮	0	9	13	10	0	32
63.沼野玄昌	0	0	2	1	0	3
64. 鯛供養弁天祭	0	3	0	2	0	5
65. 小湊の歌題目	0	3	1	1	0	5
66. 鯛の浦	0	8	11	8	0	27
67. 式年鳥居木曳祭	1	6	6	3	0	16
68. 東京大学千葉演習林	0	4	4	6	0	14
69. 葛が崎城跡	0	1	1	0	0	2
70. ロシア人来航の地	0	1	0	1	0	2
71. 清澄の大スギ	0	6	8	6	0	20
72. まるばちしゃの木	0	0	0	4	0	4
73. 清澄のモリアオガエル	1	4	4	6	0	15
74. クサフグ産卵地	2	1	2	1	0	6
75. 善覚寺の近世文書	0	0	1	0	0	1
76. ハバノリ	1	11	9	7	0	28
77. 房州ひじき	3	16	14	13	0	46
78. キンメダイ	2	16	15	7	0	40
79. その他	1	4	6	6	0	17
						1144

問９　あなたがお住まいの地域又は身近な地域に残る風習や行事、石碑、風景などで、あなたしか知らない「自慢できる（とっておき）」ものを教えてください。（複数回答可）

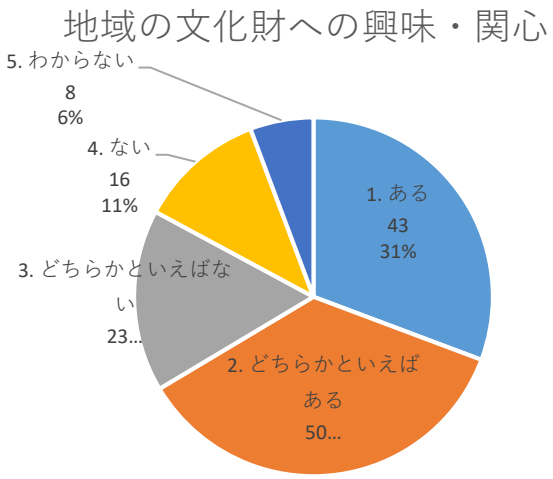
鴨川は細道が多いが、そこから見える海は空と一体化しているみたいで綺麗
鴨川小学校校歌
天津の神輿には兄弟神輿があること 浜荻貴船神社の神輿の正式な新調時期(平成14年新調で広まっている)
海山が有り，自然豊かなところ，けど、進歩が無いところ、GU，ドンキ等等娯楽が何も無い、住みにくい市です。福祉，警察官が，信用出来ない市だと感じました。
道種院に残る真言密教の修法巻子状36巻、奥書がほぼ鎌倉時代の年号 同じく道種院の天井絵64枚は、狩野派と思われる狩野洞水という人の絵
文学碑（鏡忍寺他各地域にある歌碑）　上人塚　　二ツ山（実入り）　酪農発祥の地
清澄山から眺望できる景色の素晴らしさ 山、海とあり大自然を感じられるので その観光資産を上手に活用出来ればと思います。
良い風景があったが開発で壊された
保台ダム周辺の景観
特にわからない。（ここに住んで５年なので……）
式年鳥居木曳祭。誕生寺。蓮華が潭。清澄寺。鏡忍寺。大山寺。大山千枚田。嶺岡の牧
大山不動の火渡り
鴨川富士 波の伊八
海沿いの景色。北部道路の桜。
自然が沢山ある。星が見える。海沿いの景色。北部道路の桜。
元名の鉱泉，庚申講
天津城跡（日澄寺），城崎海岸，須賀神社祭礼（天津）
大山寺正面階段から見る長狭平野から太平洋へ続く景色が大好きです。 お不動様の上にある高倉神社も長狭街道から江戸へ続く歴史をいろいろ思わせてくれます。
Cafe＆Meal_MUJIみんなみの里の市民割引
太海の海岸でやぐらを組んだ茅を燃やす行事。今は見えなくなってしまったが、曽呂十字路から太海に向かった時に広がる海の景色。
馬頭観音、棚田、筒粥、大山寺の護摩
前原海岸
海は澄んでいてきれい
松ヶ鼻（天津実入）山頂のながめ、なぎなみ山（神明神社境内）
海に落ちそうな大きな満月はすばらしいです
実入から寄浦地区江戸時代に使用された歩道
郷土の伝説と史跡を探る上の細道が送られて来ました。和田町が出来た事や昔の牛の事、一部鴨川
松島
江見地区の10月行われる祭（手おどり）子供から老人まで

鏡忍寺の稚児祭文
私は天津の生まれですが、須賀神社の祭礼が好きで地元に戻って来ました。 祭りは、子供の頃より、今の方が好きになっています。 祭りにも楽しみ方があり、神社に納める前は、東から納める。そのルールは絶対で、時間で美しく納めたい青年及び氏子総代と、まだ納めたくないそれ以外の人たちのせめぎ合い。青年が力を誇示するように納める美しさ、最後に会場全てが一体となる手打ち式など楽しめるポイントがいくつもあるのに、深く関わった人しかわからないのが寂しいところです。 どこの祭りでも、ここは見ておきたいポイントがわからないから、自分のところの祭り以外はそれほど楽しめないんだと思います。 この祭りはこの時間にこのあたりが見どころとわかれば、もっと興味を持ってもらえると思います。 祭りもいくつかあって、重要な部分では緊張感を持って動いている人もいて、この瞬間にかけているきともいます。天津の祭りでいえば、神輿の屋根に上がって飾り付けする時、上に乗るのは人生で最後かもしれない緊張感があり、いつも見ていて格好いいとおもいます。 そんなマニアックな資料作ってもらえませんかね。 地元の人間もわからないマニアックな資料があると、祭りが何倍も面白くなりますよね。どこどこ神社はなんの神様を祀っている神社です。とかネットで調べられるものの説明とか、どうでもいい。 私のように祭りが好きで、地元に戻ろうとする者もいます。地元の人から祭りの魅力について語りたくなるような資料を作って欲しいです。 祭りってダラダラと長いのは、私もあまり好きではありません。見どころがわからない祭りに行きたいと思いますか。ならこの時間のこの場所ではこんな見どころがありますと分かれば、それだけでも見たいから行こうかなと考えると思います。 長々と書きましたが、祭りを通して、郷土愛を育んで欲しいです。
海、山のながめ
自然に群生する花々を（花嫁街道や、東大演習林等々）もっとみんなに見てもらいたい
貴船神社の６月３０日輪くぐりという行事、地域・家族の安心安全を願う事.
大日の伊八作品
散歩に最適なマリーナ。 開発が進んで商業施設ができましたが、まだまだ残念な状態。せっかく人を呼ぶんであればもっとできる事がありそう。 前に咲いていたハマナスのきも枯れてしまいました。草木がおいしげり、猫が住み着いています。 景色はだいぶ変わってしまいましたが、綺麗な海が目の前にある鴨川が大好きです。 後世に残せる海岸を残して下さい。
曽呂の金物（現在はないと思うが）
お祭り
天津地区須賀神社のお宮から見る夜明けや夏の日の風景
大山千枚田からの田園風景はとても落ち着いて綺麗です。
灯籠流し
天津バイパスの歩道を散歩しながら見る夕陽と海岸
自分しか知らない、という訳では無さそうですが、ベイシアの近くの加茂川にかかる橋から見る夕日は、素晴らしいです。
天津地区祭礼
田原、地蔵院脇に建つ馬頭観音群中にある牛大日如来の浮き彫りの石仏。曽呂の久保山は文字塔だが地蔵院脇の牛大日如来は浮き彫りで、日本でも類例が無いと言われています。酪農の仏である大日如来と、馬の仏が「陽刻でセット」になっている唯一の例です。

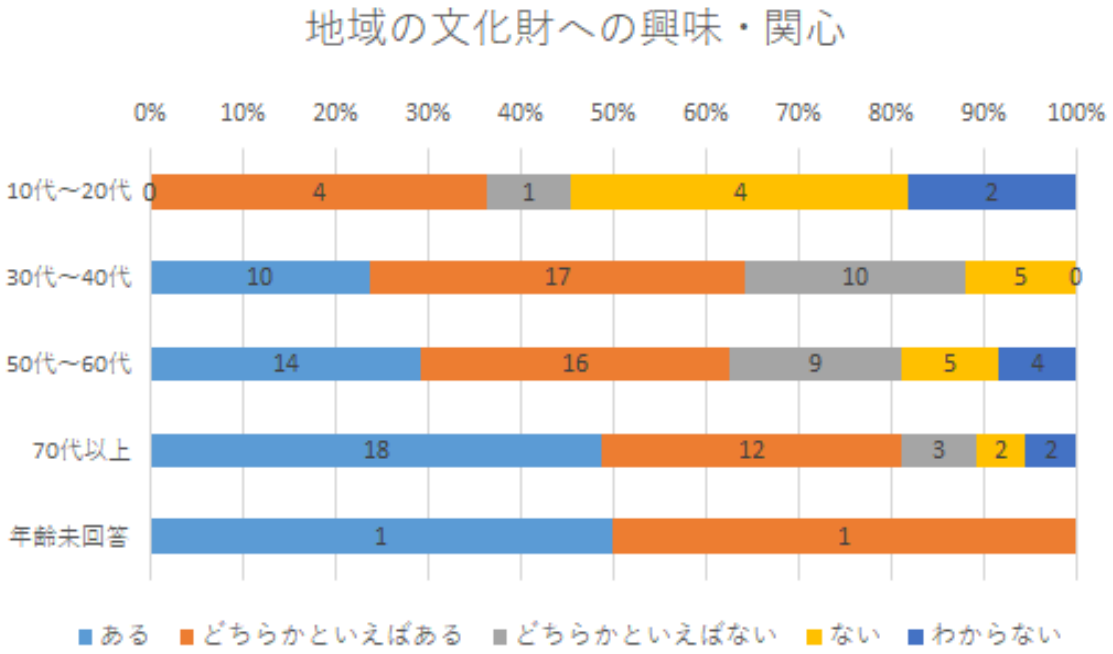
１月１０日、瀧口神社でどんど焼きを行い、神社で汁粉を食べる １月１１日、鏡開きで男の人が手羽先を食べる ２月３日、節分で、湯飲みに炒り豆と梅干しを入れて湯を注いで飲む ２月１５日、ぼた餅ひやり。宿回りで大きなぼた餅重箱に四つ入れて持って行く
南小町の天王様で泥鰌素麺を作って食べる。南小町の町目に嶺岡牧の牧士であった前田家が建てた馬頭観音がある。房総練乳株式会社の四工場の一つで、明治乳業の誕生地となった主基工場跡や社員宿舎あとなどがある。上小原から嶺岡牧へはいる入口に虎口状の大木戸がつくられ、木戸外側に馬頭観音が建てられている。
自由民権運動ゆかりの地　　太平洋戦争戦跡と被災地　　元禄地震災害地図　　縄文・弥生遺跡 源頼朝の9／3の行動　　八丁陣屋　　西郷氏館跡　七鈴鏡
石堂寺多宝塔　　後藤義光彫物〔寺庭の屋台（山車）〕　　早川雪洲生誕地
各地区で１月のはじめ（中ごろ。22日）「綱つり」をやります。消防署近くの電柱にもその飾りがあります。（雨風でなくなります。）稲わらで、さんだわらやとっくり、わらじ・ぞうり（大きなものを片方ずつ）などを作り、地区のはしとはし２カ所にぶらさげます。 子安講・・今は都合で休会中。コロナ前まで「子安様」を唱えていました。義母からいただいた半紙に書かれた「子安様（歌詞）」があります。（昭和55年にいただきました）

問10　地域の文化財への興味・関心があるか

地域の文化財への興味・関心があるか	件数	割合
1. ある	43	30.7%
2. どちらかといえばある	50	35.7%
3. どちらかといえばない	23	16.4%
4. ない	16	11.4%
5. わからない	8	5.7%
	140	



地域の文化財への興味・関心があるか	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
ある	0	10	14	18	1	43
どちらかといえばある	4	17	16	12	1	50
どちらかといえばない	1	10	9	3		23
ない	4	5	5	2		16
わからない	2	0	4	2		8
						140



問11　どのような文化財に興味・関心があるか

興味・関心のある文化財	件数
1. 寺社や仏像など	56
2. 古い町並みなど	25
3. 城跡や古墳などの遺跡や出土品	23
4. 庭園や滝などの名勝や文化的な景観	30
5. 伝統的な祭りや古くから伝わる風習・行事	57
6 昔の生活道具やその製造道具などの民具	20
7. 伝統工芸や技術	27
8. 動物・植物・地質・鉱物などの天然記念物	21
9. 歴史的な古文書や書籍など	19
10. 絵画や書・刀・陶磁器などの美術品	23
11. 民話や伝承	24
12. その他	6

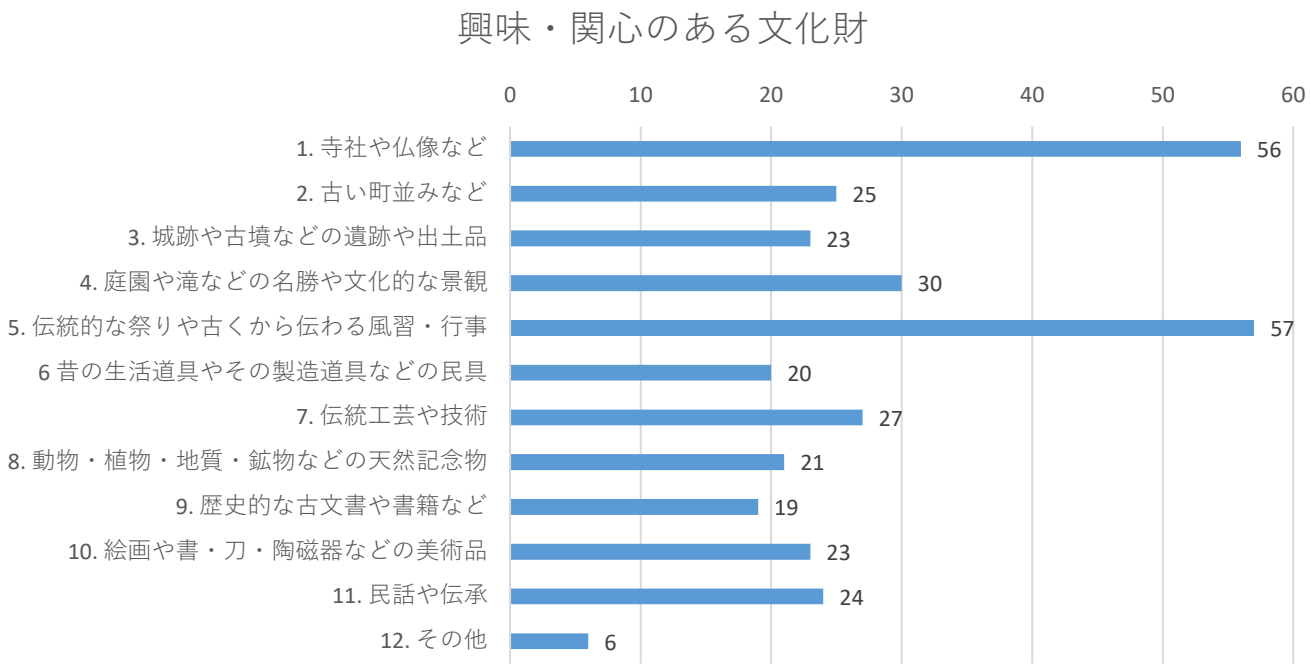
その他　331

無形文化財　各音頭、音楽、華道、茶道など

食文化関係や和歌など歌に係わる文化財

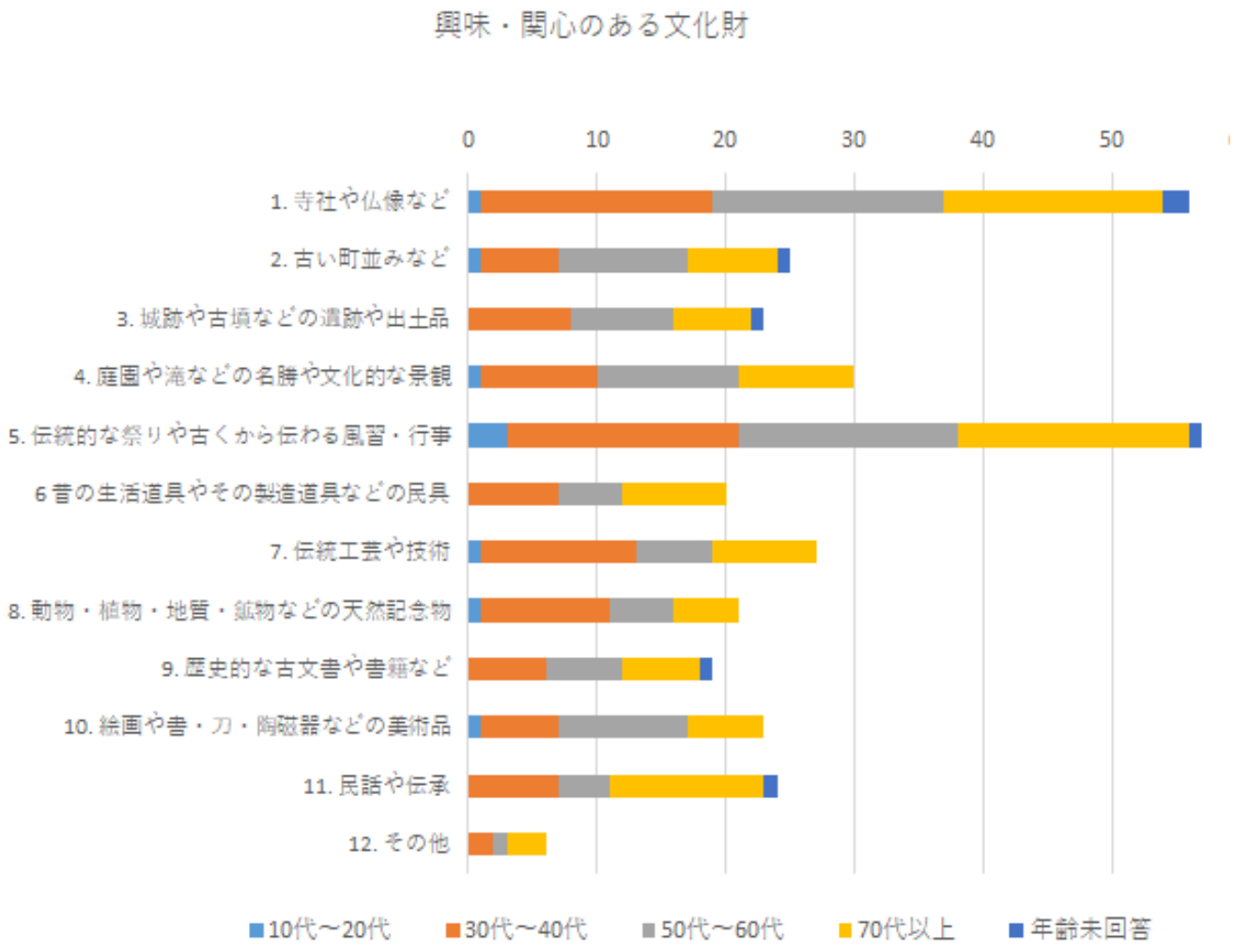
食文化、鴨川味の方舟品目、和歌、着物文化

現在に続く生活文化



興味・関心のある文化財	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 寺社や仏像など	1	18	18	17	2	56
2. 古い町並みなど	1	6	10	7	1	25
3. 城跡や古墳などの遺跡や出土品	0	8	8	6	1	23
4. 庭園や滝などの名勝や文化的な景観	1	9	11	9	0	30
5. 伝統的な祭りや古くから伝わる風習・行事	3	18	17	18	1	57
6 昔の生活道具やその製造道具などの民具	0	7	5	8	0	20
7. 伝統工芸や技術	1	12	6	8	0	27
8. 動物・植物・地質・鉱物などの天然記念物	1	10	5	5	0	21
9. 歴史的な古文書や書籍など	0	6	6	6	1	19
10. 絵画や書・刀・陶磁器などの美術品	1	6	10	6	0	23
11. 民話や伝承	0	7	4	12	1	24
12. その他	0	2	1	3	0	6

331



問12　多くの方に歴史や文化財に興味・関心を持ってもらうためにはどうしたらよいか

多くの方に歴史や文化財に興味・関心を持ってもらうための取り組み	件数
1. 資料館等での展示会や講座の充実	37
2. 文化財をめぐるウォーキングやツアーの開催	49
3. 地域の歴史や文化財をわかりやすく紹介するコンテンツの充実	58
4. 資料館など展示施設の整備	28
5. 学校教育における歴史学習の充実や文化財の活用	65
6. 体験教室の開催	41
7. 季節などにあわせた情報の発信	55
8. その他	9
9. 未回答	13

その他　355

体験教育実習　田植え・稲刈り

SNS活用

SNSを利用

デジタル社会に合わせた配信，SNSなどの活用，今のZ世代にどう関心を持ってもらうか

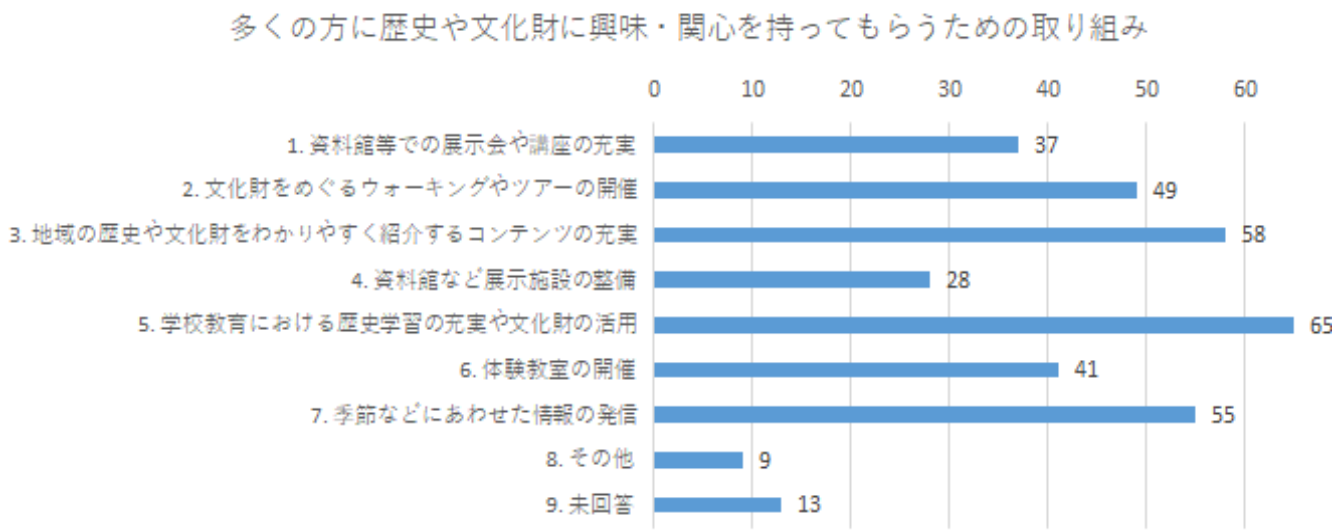
小・中学校で文化財についての授業などをすることで、若い世代からその親などの世代の方が興味・関心を持つ可能性があると思う。

地域ごとにグランドデザインを作ること（地域ごとの文化財の魅力をまとめ、各地域の人々が自分の地域の魅力を理解することで、観光資源に活用出来る。）

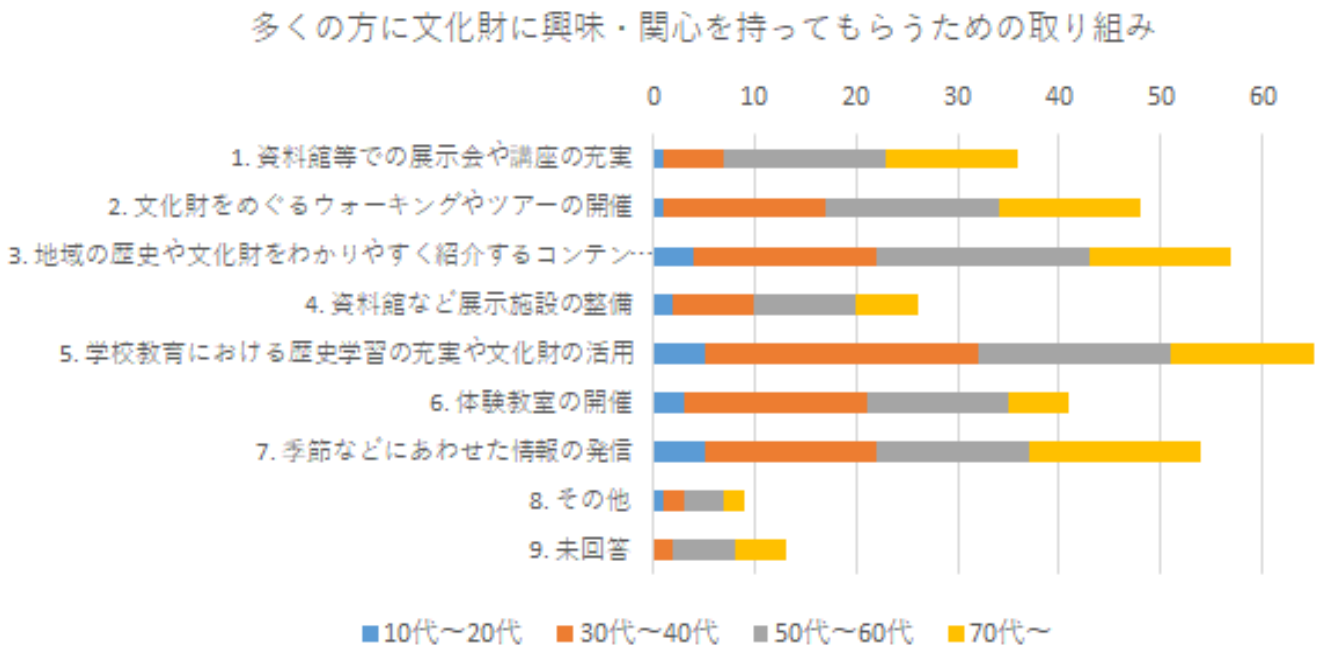
もっと，市をアピールするために，他の施設，娯楽作る！

料理教室など暮らしの文化を支援する活動

文化財で起こっていたことを現地で体験できること。食生活などの生活文化で、鴨川らしい暮らしが続けられるようにする。

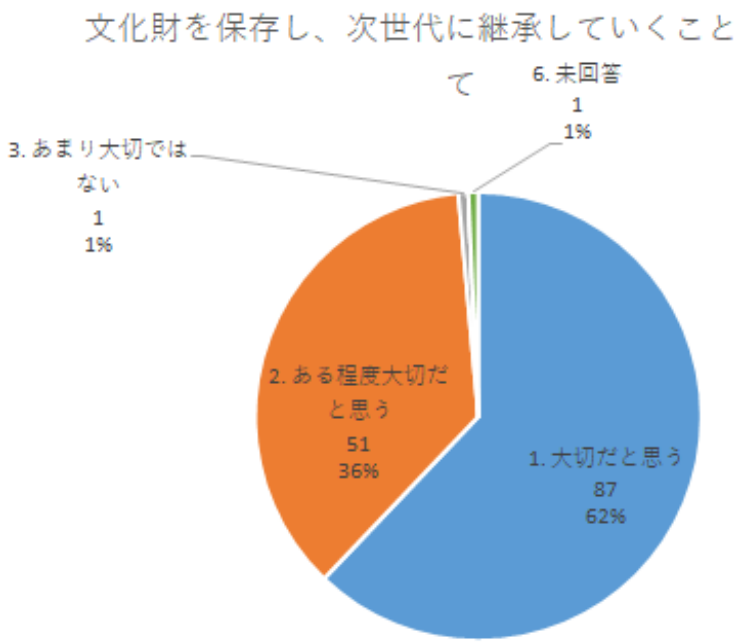


多くの方に歴史や文化財に興味・関心を持ってもらうための取り組み	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代～	年齢未回答	合計
1. 資料館等での展示会や講座の充実	1	6	16	13	1	37
2. 文化財をめぐるウォーキングやツアーの開催	1	16	17	14	1	49
3. 地域の歴史や文化財をわかりやすく紹介するコンテンツの充実	4	18	21	14	1	58
4. 資料館など展示施設の整備	2	8	10	6	2	28
5. 学校教育における歴史学習の充実や文化財の活用	5	27	19	14	0	65
6. 体験教室の開催	3	18	14	6	0	41
7. 季節などにあわせた情報の発信	5	17	15	17	1	55
8. その他	1	2	4	2	0	9
9. 未回答	0	2	6	5	0	13
						355

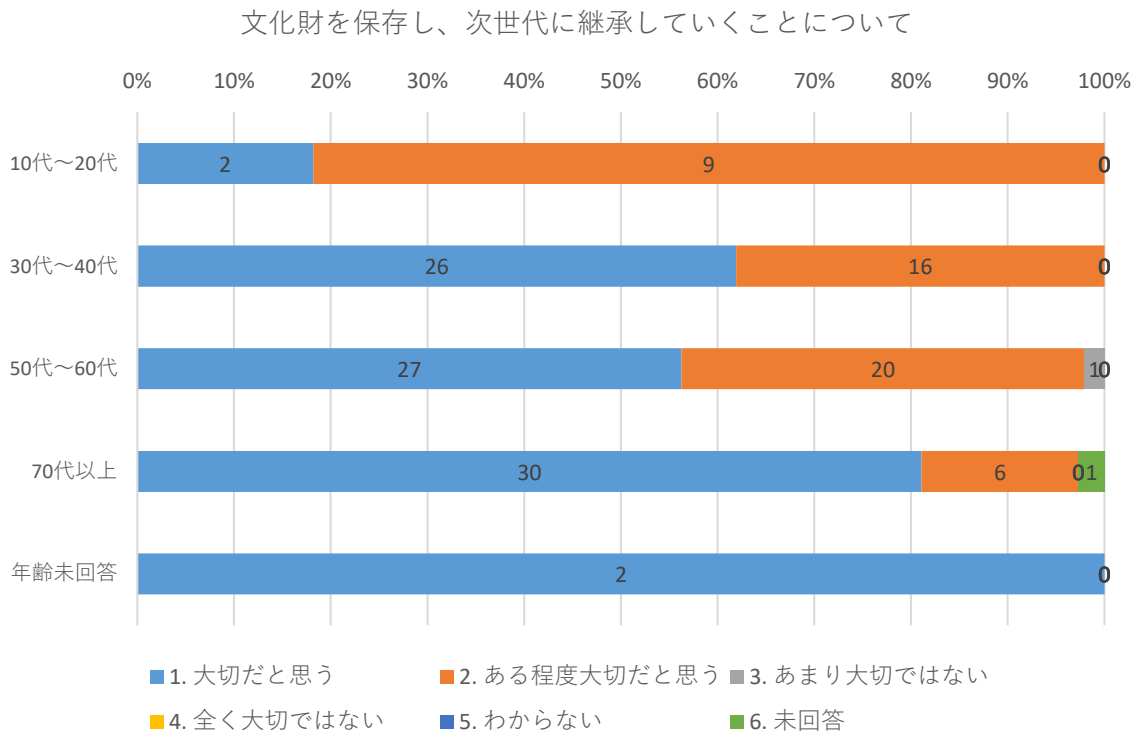


問13　文化財を保存し、次世代に継承していくことについてどう考えるか

文化財を保存し、次世代に継承していくこと	件数
1. 大切だと思う	87
2. ある程度大切だと思う	51
3. あまり大切ではない	1
4. 全く大切ではない	0
5. わからない	0
6. 未回答	1
	140



文化財を保存し、次世代に継承していくこと	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答
1. 大切だと思う	2	26	27	30	2
2. ある程度大切だと思う	9	16	20	6	0
3. あまり大切ではない	0	0	1	0	0
4. 全く大切ではない	0	0	0	0	0
5. わからない	0	0	0	0	0
6. 未回答	0	0	0	1	0



問14　文化財を保存し、次世代に継承していくことが大切だと思う理由

文化財を保存し、次世代に継承していくことが大切だと思う理由	件数
1. 歴史的事実を伝えるものであるため	81
2. 他にはない、かけがえのないものであるため	47
3. 過去から未来へと受け継いでいくべきものであるため	80
4. 地域の魅力であり、観光客の増加につながるため	48
5. 地域にとって古くから親しまれ、愛着があるため	44
6. 文化財等を通じて、子どもたち、お年寄りや外国の方など、新たな交流が生まれる可能性があるため	38
7. その他	7
8. 未回答	6

その他　351

その地域にとってのアイデンティティの１つとなり得るから。

文化財を通じて災害への備えなど学ぶべき事もあると思うため

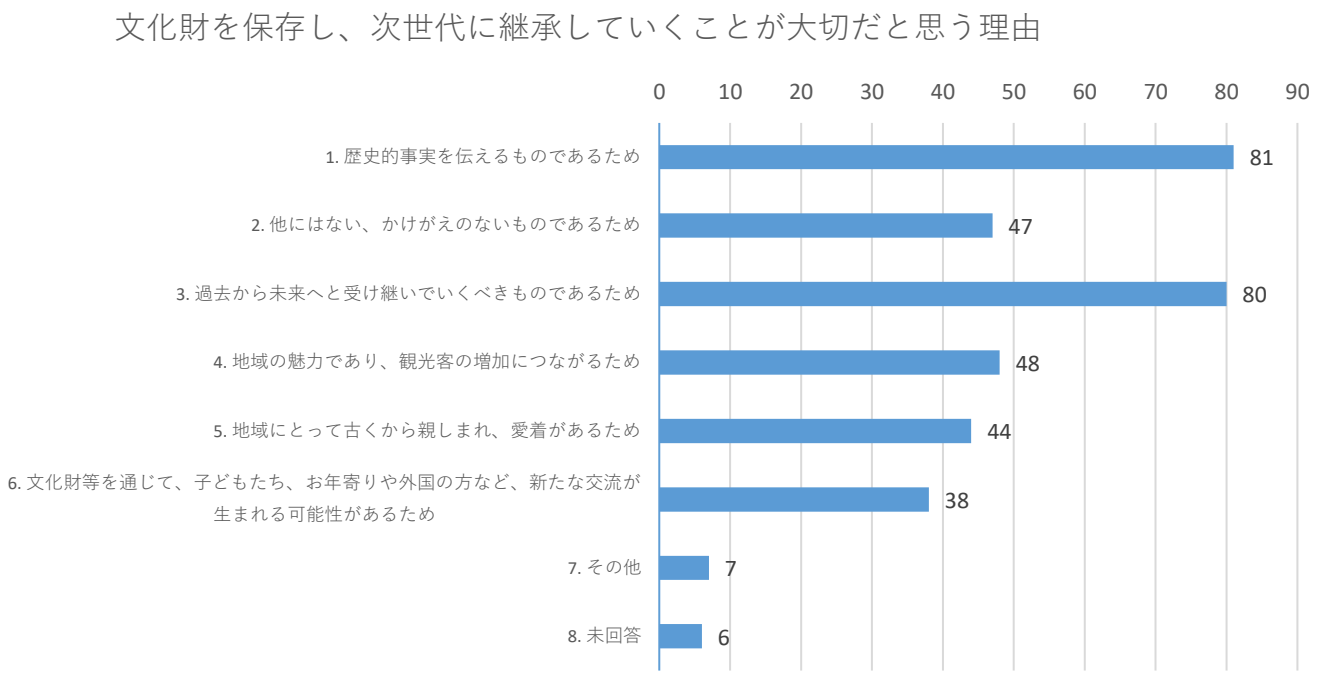
文化とは、人間として、平和と安寧と感謝、美の心等を育むものであるため。ふるさと愛を育む大きな要素となる。

日々の暮らしが豊かになる

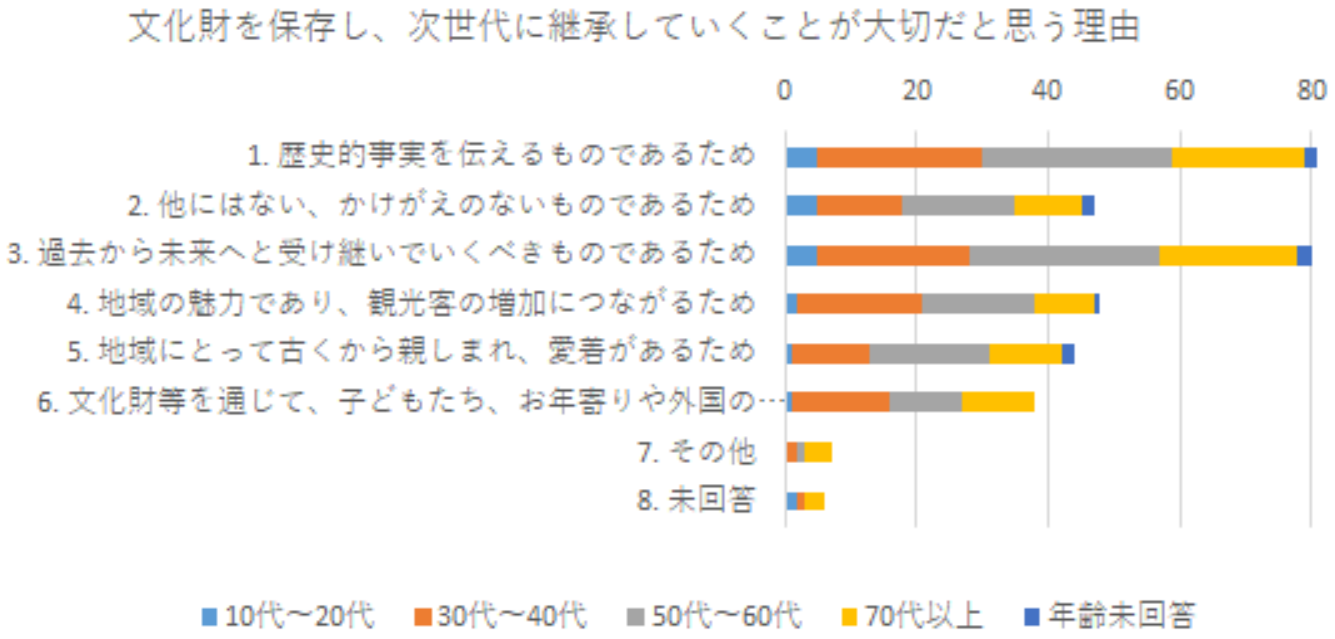
地域活性化の重要な資源だから

郷土愛しいては国を愛する気持ちを育てる

古きをたずねて　新しきを知るため



文化財を保存し、次世代に継承していくことが大切だと思う理由	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 歴史的事実を伝えるものであるため	5	25	29	20	2	81
2. 他にはない、かけがえのないものであるため	5	13	17	10	2	47
3. 過去から未来へと受け継いでいくべきものであるため	5	23	29	21	2	80
4. 地域の魅力であり、観光客の増加につながるため	2	19	17	9	1	48
5. 地域にとって古くから親しまれ、愛着があるため	1	12	18	11	2	44
6. 文化財等を通じて、子どもたち、お年寄りや外国の方など、新たな交流が生ま	1	15	11	11	0	38
7. その他	0	2	1	4	0	7
8. 未回答	2	1	0	3	0	6
						351



問15　市はどのような施策に取り組むべきだと考えるか

取り組むべき施策	件数
1. 歴史や文化財に親しむ機会の充実	63
2. 歴史や文化財の調査研究の推進	31
3. 文化財の管理や修繕などに対する支援	43
4. 伝統芸能や技術などの記録、保存	46
5. 学校教育における郷土史学習の充実や文化財の活用	63
6. 歴史や文化財に関する広報ＰＲの充実	51
7. 博物館などの展示施設の整備	23
8. 歴史や文化財を活用したまちづくり、観光活用	46
9. その他	5
10. 未回答	10

その他　381

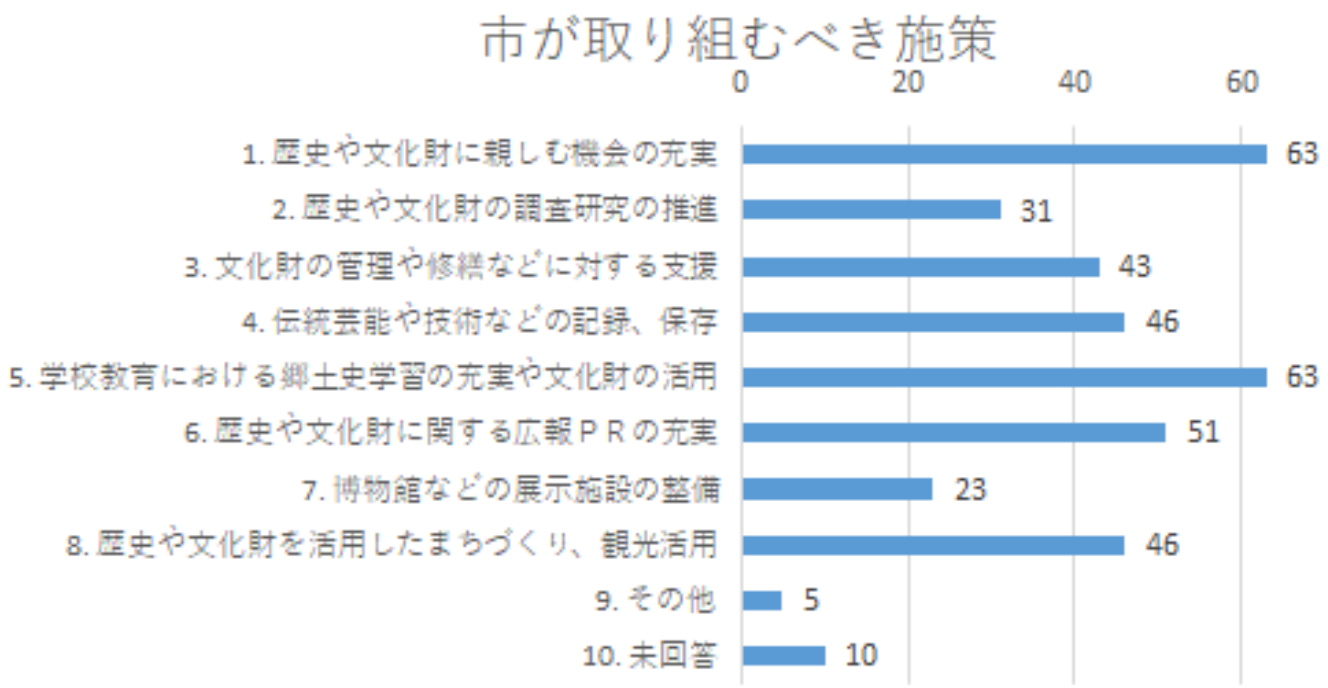
文化財は、地域活性化のために活用することが、継承につながっていくと考えるので、地域ごとの文化財利用計画をつくる。

デジタルアーカイブなどネット時代に対応したコンテンツ

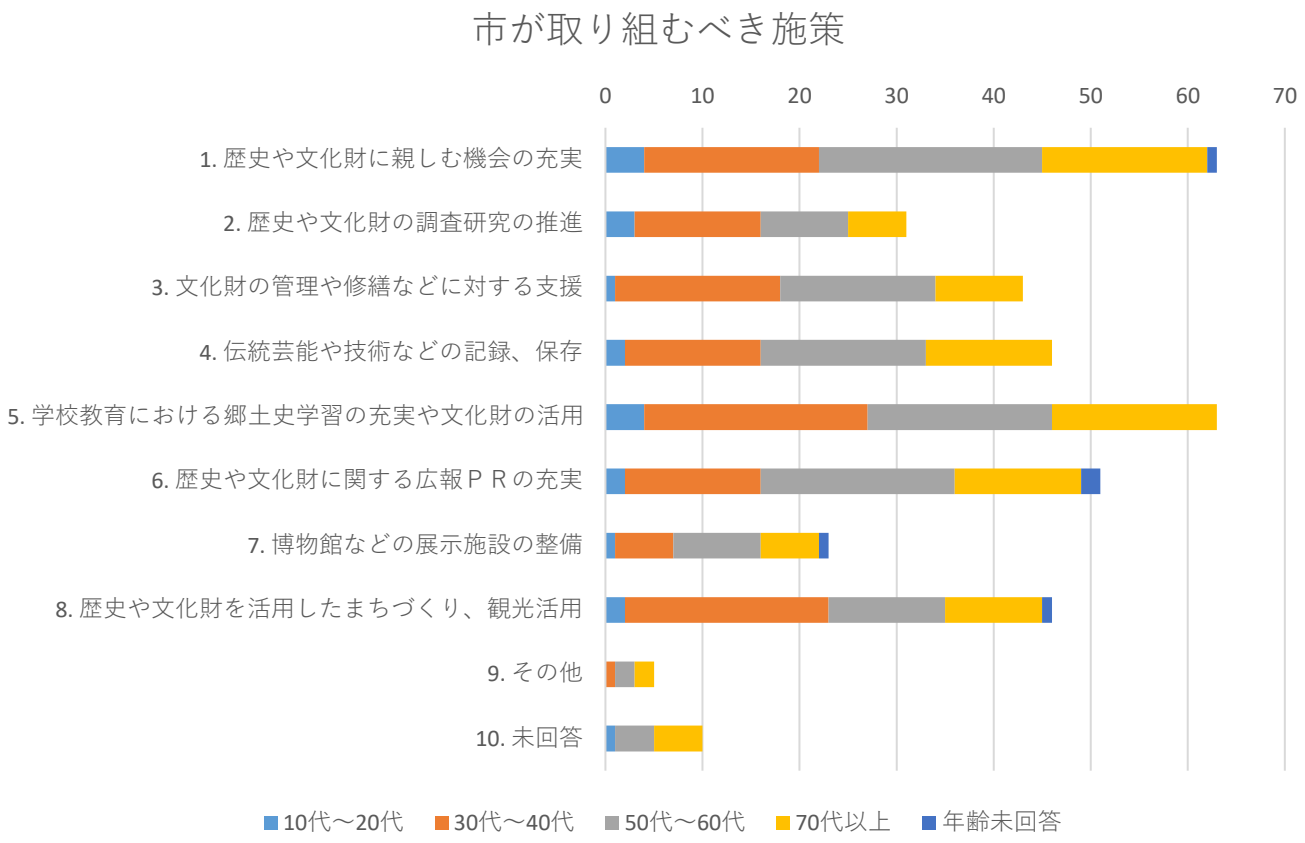
イベント参加できる

生活文化を含め文化財を保存活用する団体の育成支援

高齢女性の引き込み

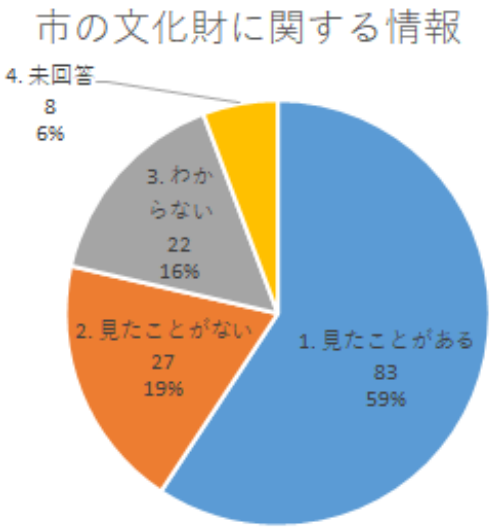


取り組むべき施策	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 歴史や文化財に親しむ機会の充実	4	18	23	17	1	63
2. 歴史や文化財の調査研究の推進	3	13	9	6	0	31
3. 文化財の管理や修繕などに対する支援	1	17	16	9	0	43
4. 伝統芸能や技術などの記録、保存	2	14	17	13	0	46
5. 学校教育における郷土史学習の充実や文化財の活用	4	23	19	17	0	63
6. 歴史や文化財に関する広報ＰＲの充実	2	14	20	13	2	51
7. 博物館などの展示施設の整備	1	6	9	6	1	23
8. 歴史や文化財を活用したまちづくり、観光活用	2	21	12	10	1	46
9. その他	0	1	2	2	0	5
10. 未回答	1	0	4	5	0	10
						381

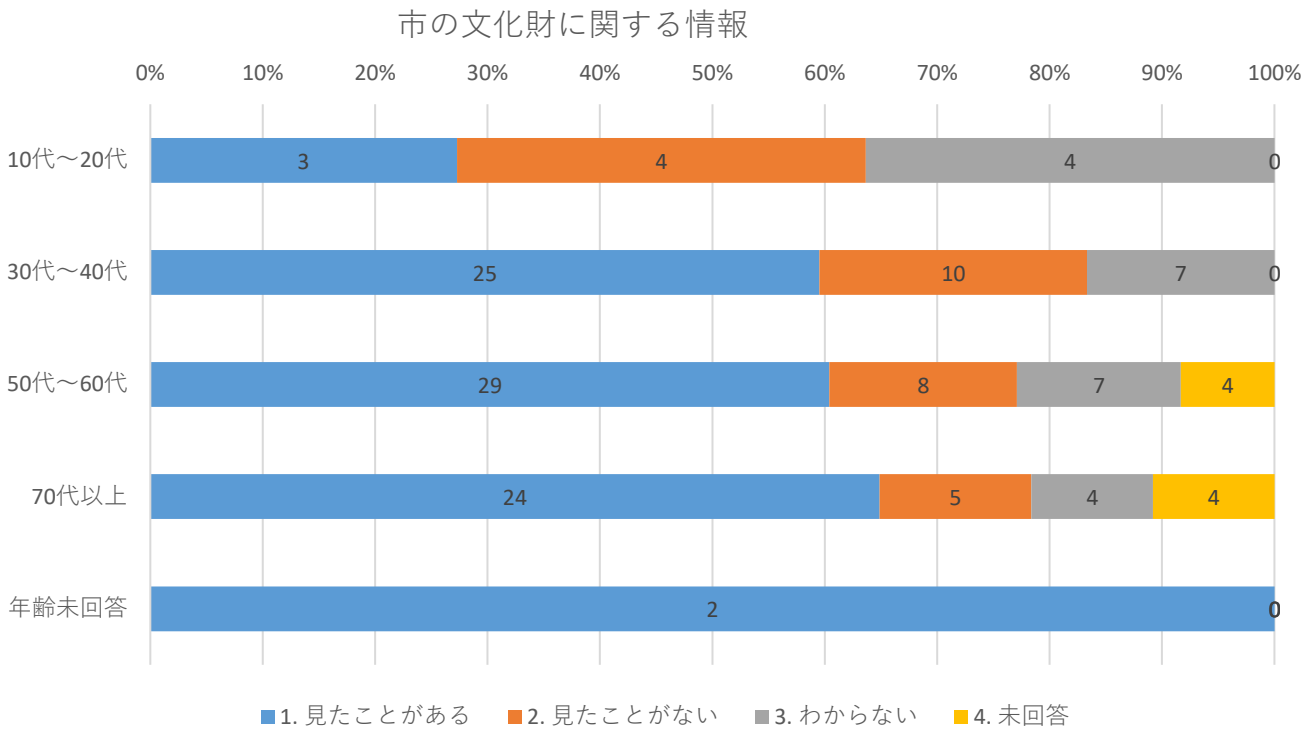


問16　市の文化財に関する情報を見たことがあるか

市の文化財に関する情報	件数	割合
1. 見たことがある	83	59.3%
2. 見たことがない	27	19.3%
3. わからない	22	15.7%
4. 未回答	8	5.7%
	140	



市の文化財に関する情報	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 見たことがある	3	25	29	24	2	83
2. 見たことがない	4	10	8	5	0	27
3. わからない	4	7	7	4	0	22
4. 未回答	0	0	4	4	0	8
						140



問17　市の文化財に関する情報の入手先

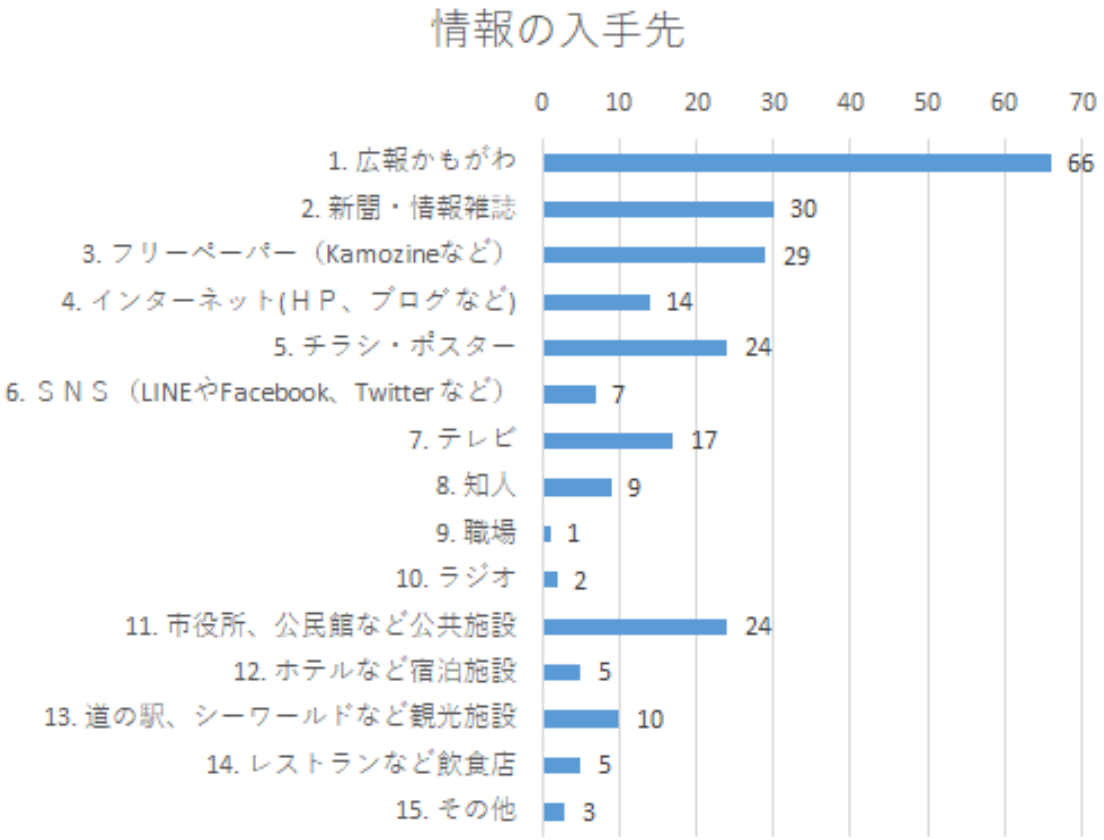
情報の入手先	件数
1. 広報かもがわ	66
2. 新聞・情報雑誌	30
3. フリーペーパー（Kamozineなど）	29
4. インターネット(ＨＰ、ブログ など)	14
5. チラシ・ポスター	24
6. ＳＮＳ（LINEやFacebook、Twitter など）	7
7. テレビ	17
8. 知人	9
9. 職場	1
10. ラジオ	2
11. 市役所、公民館など公共施設	24
12. ホテルなど宿泊施設	5
13. 道の駅、シーワールドなど観光施設	10
14. レストランなど飲食店	5
15. その他	3

その他　246

鴨川市郷土資料研究会　嶺岡牧を知って考える会

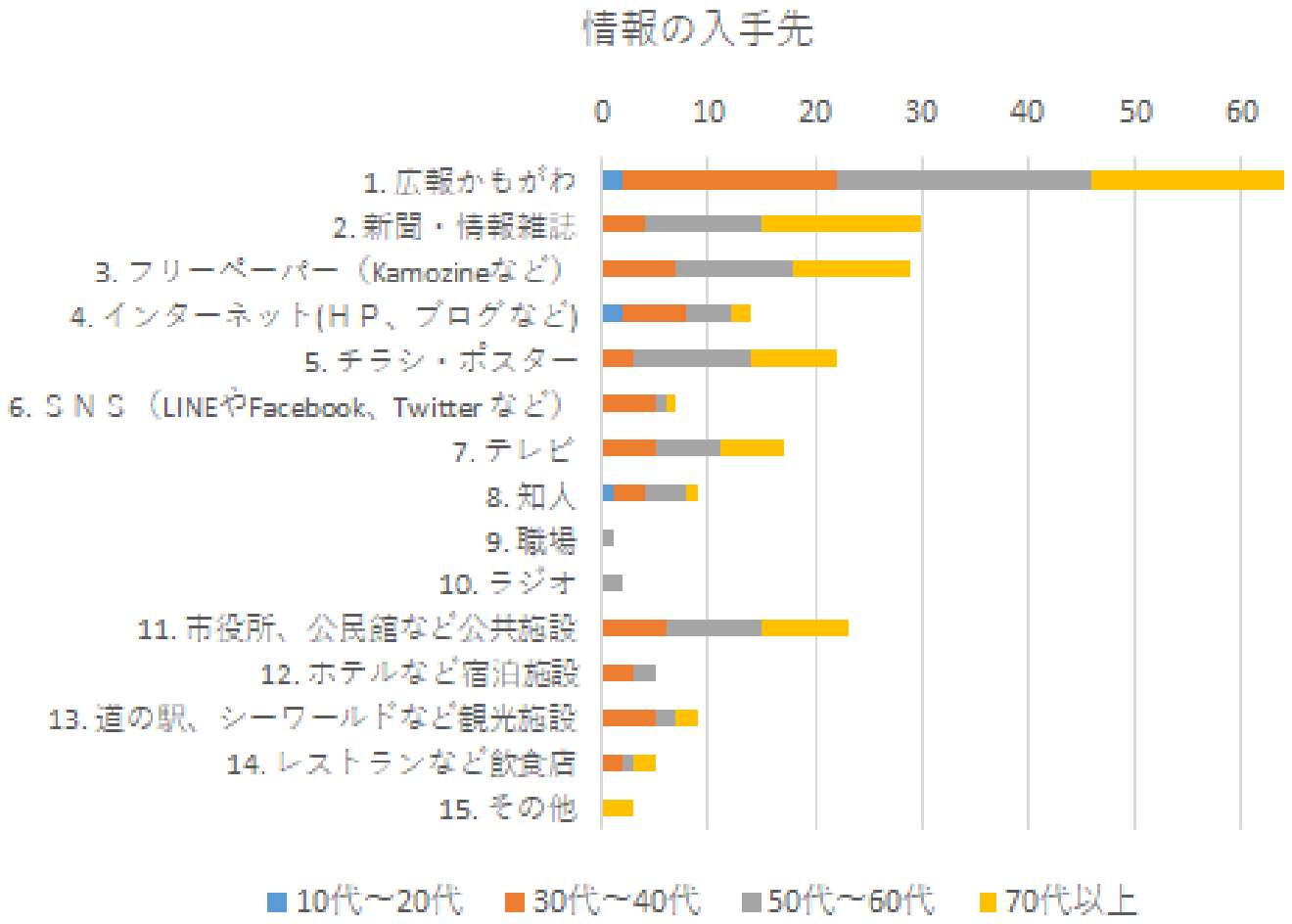
書物

広報 南房総



情報の入手先	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 広報かもがわ	2	20	24	18	2	66
2. 新聞・情報雑誌	0	4	11	15	0	30
3. フリーペーパー（Kamozineなど）	0	7	11	11	0	29
4. インターネット(ＨＰ、ブログ など)	2	6	4	2	0	14
5. チラシ・ポスター	0	3	11	8	2	24
6. ＳＮＳ（LINEやFacebook、Twitter など）	0	5	1	1	0	7
7. テレビ	0	5	6	6	0	17
8. 知人	1	3	4	1	0	9
9. 職場	0	0	1	0	0	1
10. ラジオ	0	0	2	0	0	2
11. 市役所、公民館など公共施設	0	6	9	8	1	24
12. ホテルなど宿泊施設	0	3	2	0	0	5
13. 道の駅、シーワールドなど観光施設	0	5	2	2	1	10
14. レストランなど飲食店	0	2	1	2	0	5
15. その他	0	0	0	3	0	3

246



問18　あなたが協力できること

協力できること	件数
1. 文化財の清掃活動等への参加	29
2. 文化財を守るための寄付	17
3. 文化財の保存や整理、資料館における案内などのボランティア	11
4. 歴史や文化財に関する研究活動	14
5. 地域の祭りや伝統行事などへの参加	59
6. 歴史や文化財に関する情報発信	18
7. わからない	27
8. その他	5
9. 未回答	20

その他　200

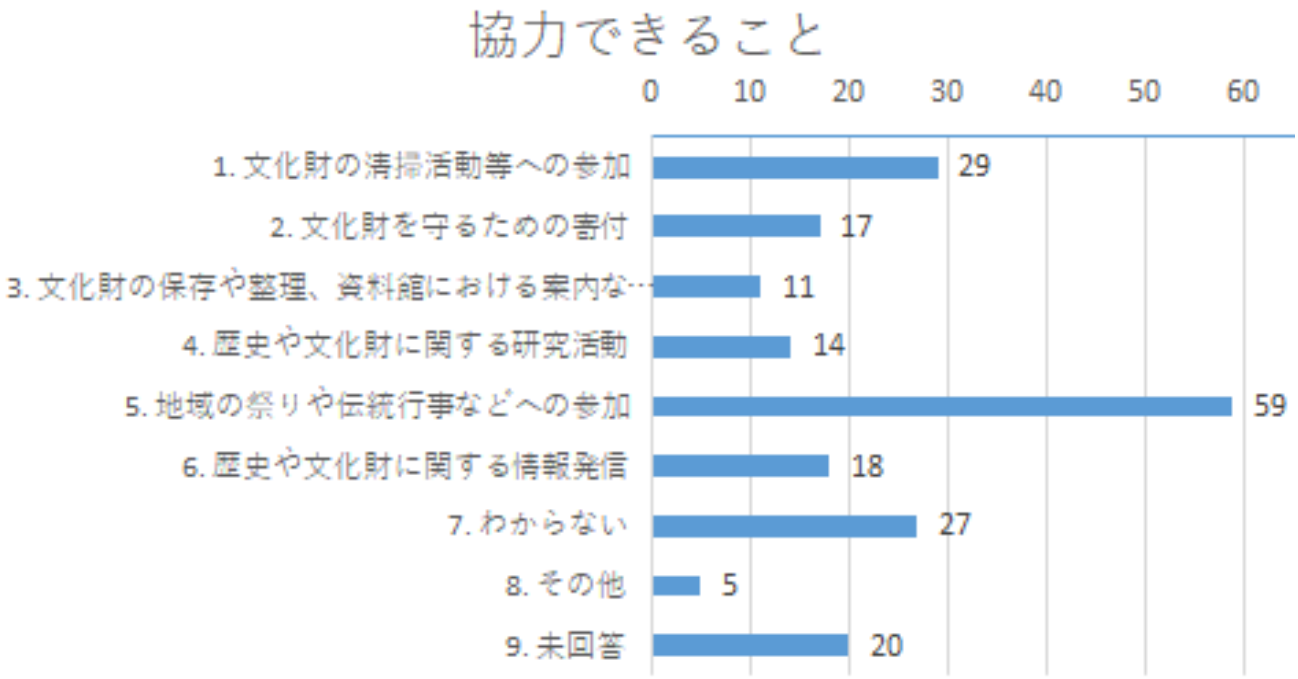
田んぼ貸して稲刈り

文化財の寄贈

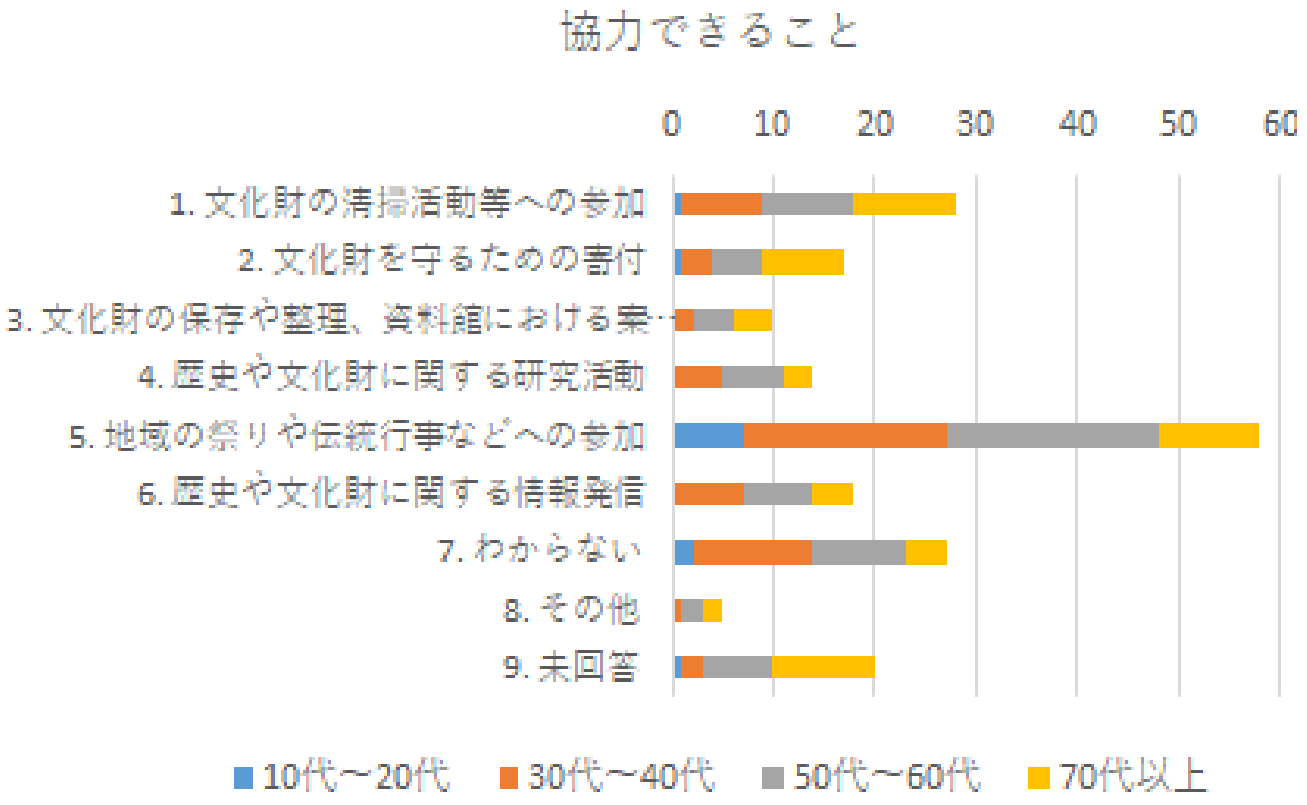
地域活性化につなげるための協議に参加。文化財の利用計画作成等に協力したい。

文化財の保存利用マネジメント

楽しいイベントがあれば参加という形でお友だちを誘って協力できます。



協力できること	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上	年齢未回答	合計
1. 文化財の清掃活動等への参加	1	8	9	10	1	29
2. 文化財を守るための寄付	1	3	5	8	0	17
3. 文化財の保存や整理、資料館における案内などのボランティア	0	2	4	4	1	11
4. 歴史や文化財に関する研究活動	0	5	6	3	0	14
5. 地域の祭りや伝統行事などへの参加	7	20	21	10	1	59
6. 歴史や文化財に関する情報発信	0	7	7	4	0	18
7. わからない	2	12	9	4	0	27
8. その他	0	1	2	2	0	5
9. 未回答	1	2	7	10	0	20
						200



問19　最後に、文化財の保存活用に関して要望やアイデアなどを自由にご入力ください。

サーファーとかのために海を整備するのではなく、月に１回の体験コーナーなどのイベントをする場所を設ける。 参加などできるイベントができると市民も関心をもつ。
「鴨川には大きな公園がない・・・」という声をよくきくので、一戦場公園の活性化！　大変良い場所なのに、物足りなさを感じる。遊具を増やしたり、アドベンチャー的な（アスレチックやターザニア）事を委託して取り入れるのはいかがだろうか。とにかく一戦場は桜だけではもったいない！ 郷土資料館が小さすぎる。場所もいまひとつわかりにくい。 「鴨川」はよい町なのにアピールしきれていない感じがする。
鴨川は忘れられた寒村、いるかのショウと亀田病院だけの村です。政治の貧困は今だに何もしない誰も知らない集落が少し有るだけなのです。 それで良いのですか、将来はあるのですか？
日蓮大聖人御生誕の地なのですね！それを，活用すべき，です。そして，古臭い考え方を捨てて、GU UNIQLO，ドンキ等等作るべきです。 土地は沢山あります。海があり山がある中に、GU，ドンキホーテも，中々お洒落な街です。なので、色んな物を作ると良いと思います。市が明るか，なりますよ。わらわら。
小学生、中学生に文化財に関する授業、見学会を毎年、行う。
今ある文化財を可能な限り高画質のデジタル情報として保存してほしい。それを制限することなく発信し、世界中の誰でも見ることが出来る状態にしてほしいと思います。物質的には火災、地震、津波、台風、劣化等で消えても、デジタル情報とし残せば半永久的に残せるのではないかと思います。
まず外より内。インナーブランディングの強化。
出かけた時に、ぶらりとたち寄れるように、１ヶ月、１週間の開催の情報があると、行けそうです。
人口の減少を抑えるために就職口の確保、移住を募集するなど、伝統行事を守るための人員確保が大事になると思われる、
鴨川市文化財保存活用地域計画の作成目的は、保存と活用を前に進めるためですね。その上で地域活性化プロジェクトといえると思います。鴨川市には、地域の宝物である文化財を、地域の皆様の豊かな生活に更につなげていくことと、観光資源として活用できるだけの【文化財が豊富】にあります。少子高齢化・人口減少の真っ只中での計画作成は鴨川市の生き残りをかけての計画作成であると言っても過言ではないと、思います。 市民の皆様のご意見等を参考に、地域ごとのグランドデザインと文化財の利用計画をつくる事を、提案いたします。
市指定文化財等の保護活動、保全保管に対して助成金なども今後は必要となってくるかと思う。
有形民俗文化財の諏訪・山王の山車と人形や無形民俗文化財の担ぎ屋台巡行は通年を通して見学できる施設があれば、認知度upや集客もできると思う。山車人形は常時展示してるが、山車や担ぎ屋台も文化財。倉庫にしまって年１回しか日の目を浴びないでは宝の持ち腐れ。館山・勝浦・大原など祭りをPRして大勢の観光客を呼んでいる。文化財を有する鴨川もPR次第で肩を並べることができるのに、勿体ない。鴨川合同祭のパンフレット・ポスター、SNSなど簡単にできる事からでもやるべき。市の安易な判断で御仮屋となる合同祭会場がなくなったので、責任をもって代替え地を用意する事も必ずやってください。
やはり、広報PRの充実は必要だと思います。
鴨川市の歴史、文化、素晴らしい景観を市の内外に発信してゆく組織を、鴨川市商工観光課、生涯学習課が音頭を取って、官民一体となって具体的な案を作成していく必要があると思います。
小・中学校で文化財ついて学ぶ機会を更に増やしたり、鴨川市全体やSNSを活用して鴨川市の文化財をアピールできれば興味・関心を持つ人が出てくるのではないかと思います。

小学校や中学校のときに文化財について学ぶ機会を充実させたり、市全体やSNSなどで興味・関心をもっていただけるように鴨川市の文化財を更にアピールすることがいいのではないかなと思いました。
昔の町並（パネル、写真）を道路沿線に掲示し多くの人に知ってもらう。
文化財の活用も保存も財源がなければできません。税金を納めてくださる企業や若い労働人口を増やす方策を行政にもっと考えて欲しい。
身近な小物に現代風にアレンジして取り入れると若い層にも受け入れられやすい？
資料館にわざわざ足を運ぶことはなかなか難しいので、普段の目に触れる場所に置いたり、イベントを文化体育館でおこなったり、子供達の学校教育に織り込むなどの工夫が必要と感じます。
市外から転入してきたのですが、自ら探しにいかない限り、触れる機会が全くないと感じます。私の地域は回覧板などもなく、自分の住んでいるところに何があるのか今回のアンケートで初めて知りました。市内の皆が行くであろうベイシアやイオンなどに協力してもらって、情報を発信する場を設けてもらってもいいのではと思います。
仁右衛門島は鴨川の宝だと思います。宣伝の仕方でものすごいパワースポットになると思っています。太海フラワーセンターのぼさぼさはがっかりです。
保存費のクラウドファウンディング
文化財を活用するという考え方には賛成です。保存するだけではなく、日常的にかかわり、身近なものになれば自然と愛着がわき次世代にも残したいと思えるのではないでしょうか。逆に活用できず淘汰されていくものがあるのも自然なことだと思います。
デジタル社会に合わせた配信，SNSなどの活用，今のZ世代にどう関心を持ってもらうか
学芸員や司書、研究者の待遇改善。小・中学校への出前授業。校外学習で博物館・美術館や史跡などへ行く。
発信がとにかく大切かと思います
文化財のある場所のスタンプラリーなど。名所のハガキなど景品に。 ゴミ袋の表紙に印刷して見てもらう。 エコバック（写真入れて）を作る。
写真をたくさん撮って100年後の鴨川市民に見せる。
クラウドファンディングで資金調達。ふるさと納税での使い方選択肢に入れる。
学校の郊外活動で万祝いの体験をしたと聞いた事があります。伊八の作品を見たり、実際に見て体験する機会がもっと増えればいいと思います。 鴨川出身でない方々にもっと知ってもらいアピールしてもらえればと考えています。
西条生まれ、子供の頃、金山用水や伊八の事など、身近な事全く知りませんでした。情報発信がなかったのかな。 まず広報鴨川で、行事の事や、文化財の見学など１つひとつはじめたらと思います。
身近な環境の歴史に特に興味があるので 生まれ育った地域の歴史が見て分かる様な 写真集や映像など、そういうものが欲しい。 良き古き時代の文化財は興味深いため どの年代でも知る機会が欲しい。
現在文化財についての情報発信が郷土資料館での展示や公民館などにおいてあるだけの状態であり、興味のある方でなければ見向きもしないのが実情ではないか。 学校などの教育現場であれば、半ば強制的にはなるが触れ合う事はできるが、一般の方にももう少し触れ合う機会を設けることができないか？ 人の集まる商業施設にも空きスペースが多い為、そこに情報発信を行い人目につくようにしたらどうか。

情報の周知のしかた
広報鴨川などの紙面を使って 各地区の文化財などを数回にわけて紹介してほしいです。
日本酪農発祥の地で日本近代化の起点である世界遺産級の嶺岡牧と、森永、明治など日本主要製乳業の誕生地跡や関連遺跡、鳶雀鎌、代の牛洗行事や大川面八雲神社・大山寺などでおこなってきた牛の安産祈願としての習俗、稠密に建つ馬頭観音、嶺岡牧が育んだチッコカタメタノ食、古泉千樫の牛の歌など、複合的嶺岡牧文化総体をを生かした歴史体験型・連帯型ツーリズムが求められる。
物質でなく「こと」による文化財の活用、そして活用のための保存が必要だと思います。食具の保存・展示でなく、日常の食生活の中で美味しい地域食が食べ続けられるようにすることを推進することが大切ですので。文化庁から100年フード事業の「近代の100年フード」認定を勧められたチッコカタメタノ食など「鴨川味の方舟品目」での食事を、動画で公表するとともに、サーバーを準備し、地域食のアーカイブをつくれるようにすることが大切だと思います。チッコカタメタノ料理だけでも400料理を超えていますので。
地域にある文化財の保存活用には、第一にそれを進める人材を育成するシステム(鴨川文化財マイスターなど）を整備すること、第2に文化財の持続的利用を目的として行っている団体や生活文化を次世代に伝える活動をしている団体のネットワークをつくること（鴨川文化財ネット）、第3に民間の保存活用組織が展開するよう行政がサポートすること、が必要です。
幼、小、中に「ふるさと鴨川」を知る教育活動の導入を！
興味のある人で組織化し、定期的に研修を開き、知識、理解を深化する。
学校、特に子どもの学習（教育施設と関連させ）と体験、 さらに一般（とりわけ保護者を中心）をまきこむ取り組みが必要 お金をかける前にかかわりをもたせることが大切
次世代へ継承する為に、学校の子ども達に教える機会を多くもつ。
まずは知ること。知ることによって身近かに感じ…大切に思うようになるのではないでしょうか。 子どもたちへの働きかけも大切でしょうが…意外に高齢女性の知的好奇心も役に立つのではないでしょうか。